

令和5年度
高山市まちづくりアンケート調査
—報告書—

令和5年11月
高山市

目次

第1章 調査の概要

1	調査の目的	1
2	調査の期間	1
3	調査の項目	1
4	調査の方法	1
5	回収結果	1
6	標本の構成	2
7	その他	2

第2章 調査結果の分析

1 高山市への想いや生活環境について

1	高山市への「誇り」や「愛着」	3
2	高山市への定住意向	9
3	高山市の暮らしやすさ	18
4	日常生活での不安	26
5	働く場としての高山市の魅力	34

2 高山市の市政運営について

1	市政運営への関心	42
2	今後の重要課題	45
3	取り組みの現在の満足度	53
4	取り組みの今後の重要度	62

4 高山市総合計画について

1	総合計画の認知度	72
2	総合計画の理解度	74
3	計画の共有（わかりやすい計画）	76

5 市民によるまちづくりについて

1	市民によるまちづくりの考え方	78
2	まちづくりの基本的なルール策定による効果	81
3	市民の役割	82
4	行政の役割	83
5	市民の思いが市政やまちづくりに効果的に反映される手段・方法	84
6	まちづくり協議会への参加状況	86
7	町内会への加入状況	92

6 将来に向けた高山市のまちづくりへのご意見など

	自由記述	100
--	------	-----

第1章 調査の概要

1 調査の目的

高山市第八次総合計画の計画期間における市民意識の経年比較、評価検証等

2 調査の期間

令和5年6月29日～8月8日

3 調査の項目

○高山市への想いや生活環境について

- ・高山市への「誇り」や「愛着」
- ・高山市への定住意向
- ・高山市の暮らしやすさ
- ・日常生活での不安
- ・働く場としての高山市の魅力

○高山市の市政運営について

- ・市政運営への関心
- ・今後の重要課題
- ・高山市の取り組みに対する現在の満足度・今後の重要度

○高山市総合計画について

- ・計画の認知度・理解度
- ・計画の共有（わかりやすい計画）

○市民によるまちづくりについて

- ・市民によるまちづくりの考え方
- ・まちづくりの基本的なルール策定による効果
- ・市民・行政の役割
- ・市民の思いが市政やまちづくりに効果的に反映される手段・方法
- ・まちづくり協議会への参加状況
- ・町内会への加入状況

○将来に向けた高山市のまちづくりへのご意見など（自由記述）

4 調査の方法

調査地域	高山市内全地域
実施方法	郵送による配布、郵送・インターネットによる回答、無記名式
調査対象	18歳以上の市民、3,000人
抽出方法	令和5年5月19日現在の住民基本台帳から無作為抽出

5 回収結果

発送数	3,000人
回収数	1,156人
回収率	38.5%

6 標本の構成

		件数 (件)	構成比 (%)
性別	男性	486	42.0
	女性	616	53.3
	無回答	54	4.7
年齢	10・20代	77	6.7
	30代	107	9.3
	40代	164	14.2
	50代	170	14.7
	60代	257	22.2
	70代以上	357	30.9
	無回答	24	2.1
	居住地域	高山地域	724
東地区		49	4.2
西地区		77	6.7
南地区		96	8.3
北地区		126	10.9
山王地区		92	8.0
江名子地区		46	4.0
新宮地区		69	6.0
三枝地区		39	3.4
大八地区		55	4.8
岩滝地区		12	1.0
花里地区		63	5.5
丹生川地域		51	4.4
清見地域		39	3.4
荘川地域		25	2.2
一之宮地域		38	3.3
久々野地域		63	5.5
朝日地域		29	2.5
高根地域		17	1.5
国府地域		94	8.1
上宝・奥飛騨温泉郷地域		45	3.9
無回答	31	2.7	

		件数 (件)	構成比 (%)
家族構成	単身世帯	145	12.5
	夫婦のみ	284	24.6
	二世帯世帯 (うち中学生以下の子と同居)	431 (144)	37.3 (12.5)
	三世帯世帯 (うち中学生以下の子と同居)	238 (138)	20.6 (11.9)
	その他(※1)	32	2.8
	無回答	26	2.3
	職業	農林畜産業	73
自営業		118	10.2
会社員・公務員・団体職員		377	32.6
パート・アルバイト・内職		189	16.4
家事従事者		53	4.6
学生		9	0.8
無職		282	24.4
その他(※2)		23	2.0
定住年数	無回答	32	2.8
	1年未満	17	1.5
	1年以上～5年未満	40	3.5
	5年以上～10年未満	46	4.0
	10年以上～20年未満	93	8.0
	20年以上	950	82.2
居住形態	無回答	23	10
	持ち家(分譲マンション・家族所有含む)	1,003	86.8
	借家(アパート含む)	113	9.8
	間借	5	0.4
	社宅・寮	18	1.6
	その他(※3)	4	0.4
	無回答	13	1.1
「その他」の内容 ※1 四世代世帯、兄弟と同居、 など ※2 会社役員 など ※3 施設入所 など			

7 その他

・この報告書における「回答率」は、次の計算式により算出している。

$$\text{回答率} = \text{回答数} / \text{標本数}$$

回答率は百分率(%)で、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計値が必ずしも100%とならない。また、2つ以上の回答を求めたものについての合計値は100%を超える。

第2章 調査結果の分析

1 高山市への想いや生活環境について

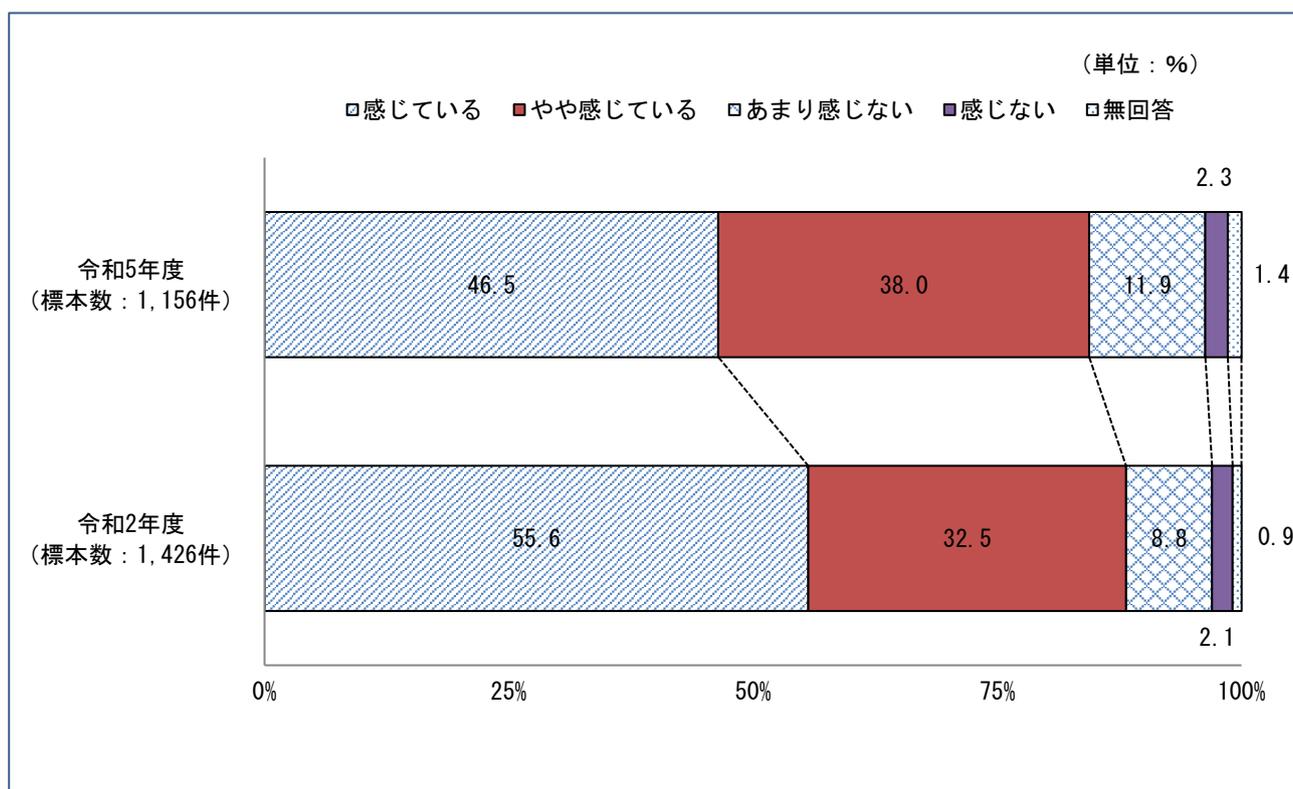
1 高山市への「誇り」や「愛着」

- ・「感じている」の割合が最も高い。
- ・「感じている」の割合については、前回（R2）の調査結果に比べ 9.1 ポイント低下している。一方、「やや感じている」の割合が5.5 ポイント上昇している。
- ・「感じている」と「やや感じている」を合わせると 84.4%を占めているが、前回（R2）の調査結果（88.2%）に比べ3.8 ポイント低下している。

問1 あなたは、高山市に対し「誇り」や「愛着」を感じていますか。（1つに○印）

	回答数（件）	回答率（%）
感じている	537	46.5
やや感じている	439	38.0
あまり感じない	137	11.9
感じない	27	2.3
無回答	16	1.4
計	1,156	

（標本数：1,156件）



属性別集計（年齢別、居住地域別）

		標本数(件)	高山市への「誇り」や「愛着」(%)				
			感じている	やや感じている	あまり感じない	感じない	無回答
年齢	10代・20代	77	46.8	36.4	15.6	1.3	0.0
	30代	107	32.7	40.2	20.6	6.5	0.0
	40代	164	34.1	48.8	14.0	3.0	0.0
	50代	170	51.8	34.7	10.0	2.9	0.6
	60代	257	49.0	35.0	13.6	0.8	1.6
	70代以上	357	52.4	37.3	6.2	2.0	2.2
居住地域	高山地域	724	47.7	37.2	11.7	2.1	1.4
	東地区	49	51.0	32.7	10.2	6.1	0.0
	西地区	77	49.4	40.3	7.8	1.3	1.3
	南地区	96	47.9	40.6	10.4	1.0	0.0
	北地区	126	49.2	33.3	15.1	1.6	0.8
	山王地区	92	46.7	39.1	9.8	2.2	2.2
	江名子地区	46	43.5	34.8	13.0	4.3	4.3
	新宮地区	69	33.3	49.3	14.5	0.0	2.9
	三枝地区	39	51.3	25.6	15.4	5.1	2.6
	大八地区	55	47.3	41.8	9.1	0.0	1.8
	岩滝地区	12	66.7	8.3	25.0	0.0	0.0
	花里地区	63	54.0	33.3	9.5	3.2	0.0
	丹生川地域	51	51.0	37.3	7.8	2.0	2.0
	清見地域	39	53.8	25.6	15.4	2.6	2.6
	荘川地域	25	28.0	44.0	16.0	12.0	0.0
	一之宮地域	38	47.4	31.6	15.8	5.3	0.0
	久々野地域	63	38.1	46.0	11.1	3.2	1.6
	朝日地域	29	44.8	34.5	13.8	6.9	0.0
	高根地域	17	70.6	29.4	0.0	0.0	0.0
	国府地域	94	41.5	46.8	9.6	0.0	2.1
上宝・奥飛騨温泉郷地域	45	37.8	44.4	17.8	0.0	0.0	

【年齢別】

- ・「感じている」と「やや感じている」を合わせた割合は、70代以上（89.7%）が最も高く、30代（72.9%）が最も低い。

【居住地域別】

- ・「感じている」と「やや感じている」を合わせた割合は、高根地域（100.0%）が最も高く、次いで西地区（89.7%）、大八地区（89.1%）が高い。一方、荘川地域（72.0%）が最も低く、次いで岩滝地区（75.0%）、三枝地区（76.9%）が低い。

属性別集計（定住年数別）

		標本数(件)	高山市への「誇り」や「愛着」(%)				
			感じている	やや感じている	あまり感じない	感じない	無回答
定住年数	1年未満	17	52.9	23.5	17.6	5.9	0.0
	1年以上～5年未満	40	25.0	45.0	27.5	2.5	0.0
	5年以上～10年未満	46	32.6	41.3	19.6	6.5	0.0
	10年以上～20年未満	93	28.0	41.9	22.6	5.4	2.2
	20年以上	950	49.8	37.7	9.6	1.7	1.3

【定住年数別】

- ・「感じている」と「やや感じている」を合わせた割合は、20年以上（87.5%）が最も高く、10年以上～20年未満（69.9%）が最も低い。

1-2 高山市への「誇り」や「愛着」を感じるどころ

- ・「自然環境」の割合が最も多い。
- ・上位からの順位は、前回（R2）の調査結果と比べると「歴史・文化」と「町並み・景観」、「教育環境」と「住民活動」は入れ替わっているが、ほぼ同じである。

問1-2 問1で、「感じている」または「やや感じている」に○をつけた方に伺います。どんなところに「誇り」や「愛着」を感じますか。（3つまで○印）

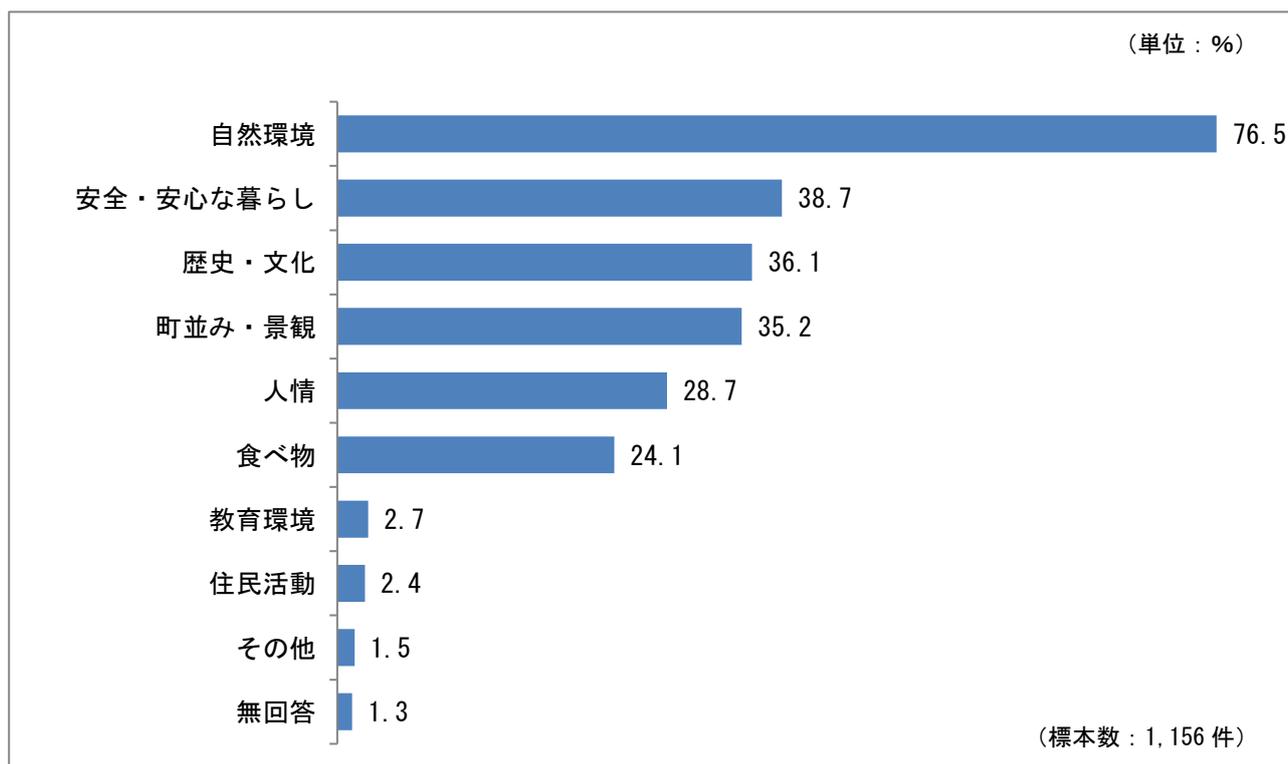
順位		回答数 (件)	回答率 (%)	前回 (R2)	
				順位	回答率 (%)
1	自然環境	747	76.5	1	76.8
2	安全・安心な暮らし	378	38.7	2	48.8
3	歴史・文化	352	36.1	4	32.9
4	町並み・景観	344	35.2	3	35.8
5	人情	280	28.7	5	29.5
6	食べ物	235	24.1	6	22.4
7	教育環境	26	2.7	8	2.5
8	住民活動	23	2.4	7	2.7
	その他	15	1.5		1.5
	無回答	13	1.3		1
計		2,413			

(標本数：976件)

(標本数：1,257件)

※「その他」の内容

- ・「生まれ育った場所だから」、「日本一の面積を有する」 など



属性別集計(年齢別、居住地域別、定住年数別)

		標本数(件)	高山市への「誇り」や「愛着」を感じる場所(%)									
			自然環境	安全・安心な暮らし	歴史・文化	町並み・景観	人情	食べ物	教育環境	住民活動	その他	無回答
年齢	10代・20代	64	65.6	21.9	32.8	51.6	21.9	29.7	3.1	1.6	0.0	7.8
	30代	78	73.1	34.6	23.1	48.7	23.1	35.9	6.4	2.6	0.0	0.0
	40代	136	71.3	32.4	30.1	46.3	22.8	32.4	5.1	0.7	1.5	0.7
	50代	147	74.8	40.8	37.4	50.3	24.5	25.9	0.7	1.4	2.0	0.7
	60代	216	81.0	39.4	43.5	30.1	31.0	19.4	2.8	3.7	1.4	0.5
	70代以上	320	78.8	43.4	37.5	20.0	34.1	19.1	1.3	2.8	2.2	1.6
居住地域	高山地域	614	71.5	38.6	38.8	41.9	26.1	24.8	2.1	2.1	1.5	1.3
	東地区	41	65.9	36.6	29.3	43.9	24.4	14.6	0.0	2.4	2.4	7.3
	西地区	69	66.7	37.7	49.3	44.9	24.6	17.4	0.0	1.4	0.0	1.4
	南地区	85	65.9	30.6	35.3	40.0	31.8	30.6	3.5	0.0	2.4	1.2
	北地区	104	74.0	39.4	39.4	50.0	25.0	24.0	2.9	2.9	0.0	0.0
	山王地区	79	75.9	36.7	36.7	49.4	26.6	26.6	3.8	3.8	1.3	1.3
	江名子地区	36	80.6	44.4	47.2	44.4	22.2	19.4	0.0	0.0	0.0	0.0
	新宮地区	57	75.4	38.6	33.3	35.1	24.6	22.8	5.3	1.8	3.5	1.8
	三枝地区	30	63.3	46.7	53.3	33.3	23.3	33.3	0.0	6.7	3.3	0.0
	大八地区	49	71.4	32.7	36.7	36.7	22.4	30.6	0.0	4.1	2.0	0.0
	岩滝地区	9	88.9	55.6	33.3	44.4	22.2	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	花里地区	55	70.9	49.1	34.5	27.3	30.9	29.1	1.8	0.0	1.8	1.8
	丹生川地域	45	84.4	31.1	26.7	37.8	35.6	17.8	2.2	2.2	2.2	2.2
	清見地域	31	93.5	35.5	38.7	29.0	38.7	16.1	0.0	6.5	3.2	0.0
	荘川地域	18	83.3	27.8	16.7	11.1	61.1	16.7	16.7	5.6	0.0	0.0
	一之宮地域	30	80.0	46.7	30.0	23.3	26.7	10.0	3.3	3.3	3.3	6.7
	久々野地域	53	83.0	45.3	22.6	30.2	20.8	34.0	3.8	1.9	0.0	0.0
	朝日地域	23	95.7	43.5	21.7	8.7	65.2	13.0	13.0	4.3	4.3	0.0
	高根地域	17	70.6	47.1	17.6	5.9	47.1	23.5	5.9	5.9	5.9	11.8
	国府地域	83	85.5	43.4	43.4	24.1	24.1	28.9	1.2	1.2	0.0	0.0
上宝・奥飛騨温泉郷地域	37	94.6	27.0	37.8	13.5	29.7	13.5	0.0	2.7	2.7	0.0	

【年齢別】

- ・全ての年代で「自然環境」の割合が最も高い。
- ・2番目に割合が高いのは、50代以下は「町並み・景観」で、60代は「歴史・文化」、70代以上は「安全・安心な暮らし」である。

【居住地域別】

- ・全ての地域で「自然環境」の割合が最も高い。
- ・高山地域よりも、支所地域の方が「自然環境」の割合が高い傾向にある。

属性別集計(年齢別、居住地域別、定住年数別)

		標本数(件)	高山市への「誇り」や「愛着」を感じる場所(%)									
			自然環境	安全・安心な暮らし	歴史・文化	町並み・景観	人情	食べ物	教育環境	住民活動	その他	無回答
定住年数	1年未満	13	46.2	7.7	15.4	46.2	15.4	23.1	0.0	0.0	7.7	30.8
	1年以上～5年未満	28	75.0	35.7	39.3	67.9	14.3	25.0	3.6	0.0	0.0	0.0
	5年以上～10年未満	34	61.8	20.6	52.9	35.3	20.6	29.4	5.9	0.0	5.9	5.9
	10年以上～20年未満	65	76.9	24.6	23.1	41.5	26.2	21.5	4.6	3.1	0.0	1.5
	20年以上	831	77.7	41.2	36.5	33.6	30.0	24.2	2.4	2.5	1.4	0.7

【定住年数別】

- ・全ての年数で「自然環境」の割合が最も高い（1年未満においては「安全・安心な暮らし」と同率）。

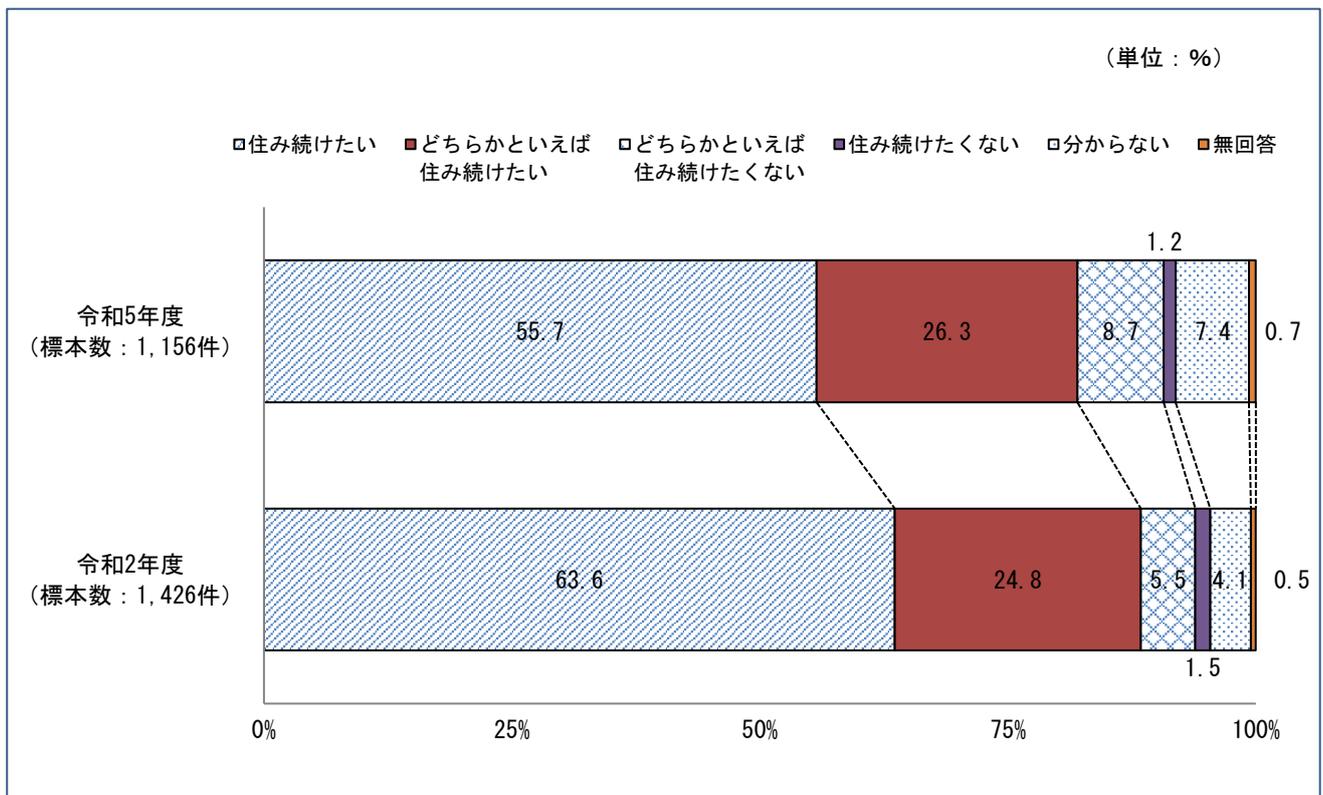
2 高山市への定住意向

- ・「住み続けたい」の割合が最も高い。
- ・「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を合わせると 82.0%を占めているが、前回（R2）の調査結果（88.4%）に比べ6.4ポイント低下している。

問2 あなたは、これからも高山市に住み続けたいと思いますか。（1つに○印）

	回答数 (件)	回答率 (%)
住み続けたい	644	55.7
どちらかといえば住み続けたい	304	26.3
どちらかといえば住み続けたくない	101	8.7
住み続けたくない	14	1.2
分からない	85	7.4
無回答	8	0.7
計	1,156	

(標本数：1,156件)



属性別集計（年齢別、居住地域別）

		標本数(件)	高山市への定住意向(%)					
			住み続けたい	住み続けたい どちらかといえば	住み続けたくない どちらかといえば	住み続けたくない	分からない	無回答
年齢	10代・20代	77	41.6	29.9	10.4	3.9	14.3	0.0
	30代	107	41.1	29.9	11.2	3.7	14.0	0.0
	40代	164	42.1	36.6	12.2	2.4	6.7	0.0
	50代	170	55.3	25.9	9.4	1.8	7.6	0.0
	60代	257	54.9	28.8	9.3	0.0	5.4	1.6
	70代以上	357	69.7	19.3	5.0	0.0	5.0	0.8
居住地域	高山地域	724	55.4	26.9	8.7	1.4	6.9	0.7
	東地区	49	53.1	24.5	8.2	2.0	12.2	0.0
	西地区	77	51.9	27.3	14.3	1.3	5.2	0.0
	南地区	96	56.3	25.0	9.4	2.1	7.3	0.0
	北地区	126	54.8	30.2	4.8	0.8	8.7	0.8
	山王地区	92	56.5	28.3	7.6	3.3	3.3	1.1
	江名子地区	46	60.9	19.6	8.7	0.0	8.7	2.2
	新宮地区	69	53.6	34.8	5.8	1.4	4.3	0.0
	三枝地区	39	48.7	20.5	15.4	2.6	12.8	0.0
	大八地区	55	52.7	32.7	9.1	0.0	3.6	1.8
	岩滝地区	12	83.3	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0
	花里地区	63	58.7	23.8	7.9	0.0	7.9	1.6
	丹生川地域	51	54.9	27.5	5.9	0.0	9.8	2.0
	清見地域	39	56.4	20.5	15.4	0.0	7.7	0.0
	荘川地域	25	44.0	20.0	20.0	0.0	12.0	4.0
	一之宮地域	38	52.6	28.9	7.9	2.6	7.9	0.0
	久々野地域	63	57.1	31.7	6.3	1.6	3.2	0.0
	朝日地域	29	75.9	3.4	13.8	3.4	3.4	0.0
	高根地域	17	47.1	17.6	17.6	0.0	17.6	0.0
	国府地域	94	61.7	29.8	2.1	0.0	6.4	0.0
上宝・奥飛騨温泉郷地域	45	46.7	26.7	13.3	0.0	11.1	2.2	

【年齢別】

- ・「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた割合は、70代以上（89.0%）が最も高く、30代（71.0%）が最も低い。

【居住地域別】

- ・「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた割合は、国府地域（91.5%）が最も高く、次いで久々野地域（88.8%）、新宮地区（88.4%）が高い。一方、荘川地域（64.0%）が最も低く、次いで高根地域（64.7%）、三枝地区（69.2%）が低い。

属性別集計（定住年数別、居住形態別）

		標本数(件)	高山市への定住意向(%)					
			住み続けたい	どちらかといえば住み続けたい	どちらかといえば住み続けたくない	住み続けたくない	分からない	無回答
定住年数	1年未満	17	52.9	23.5	0.0	0.0	23.5	0.0
	1年以上～5年未満	40	22.5	40.0	12.5	7.5	17.5	0.0
	5年以上～10年未満	46	37.0	26.1	17.4	2.2	13.0	4.3
	10年以上～20年未満	93	36.6	32.3	18.3	5.4	7.5	0.0
	20年以上	950	59.9	25.5	7.5	0.5	6.2	0.4
居住形態	持ち家（分譲マンション含む）	1,003	57.7	25.2	9.3	1.0	6.2	0.6
	借家（アパート含む）	113	46.9	35.4	3.5	2.7	11.5	0.0
	間借	5	20.0	20.0	20.0	0.0	40.0	0.0
	社宅・寮	18	5.6	44.4	16.7	5.6	27.8	0.0
	その他	4	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【定住年数別】

- ・「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた割合は、20年以上（85.4%）が最も高く、1年以上～5年未満（62.5%）が最も低い。

【居住形態別】

- ・「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた割合は、その他を除くと、持ち家（82.9%）が最も高く、社宅・寮（40.0%）が最も低い。

2-2 高山市に住み続けたくない理由

- ・「道路事情や交通の便が悪い」の割合が最も高い。
- ・前回（R2）の調査結果と比較すると「道路事情や交通の便が悪い」の割合が最も高く、順位については、上位5位までは同じである。
- ・前回（R2）の調査結果に比べ割合が特に変動したのは、「市内に雇用の場が少ない」が15.0ポイント上昇し、「道路事情や交通の便が悪い」が3.9ポイント低下している。

問2-2 問2で、「住み続けたくない」または「どちらかといえば住み続けたくない」に○をつけた方に伺います。高山市に住み続けたくない理由は何ですか。（3つまで○印）

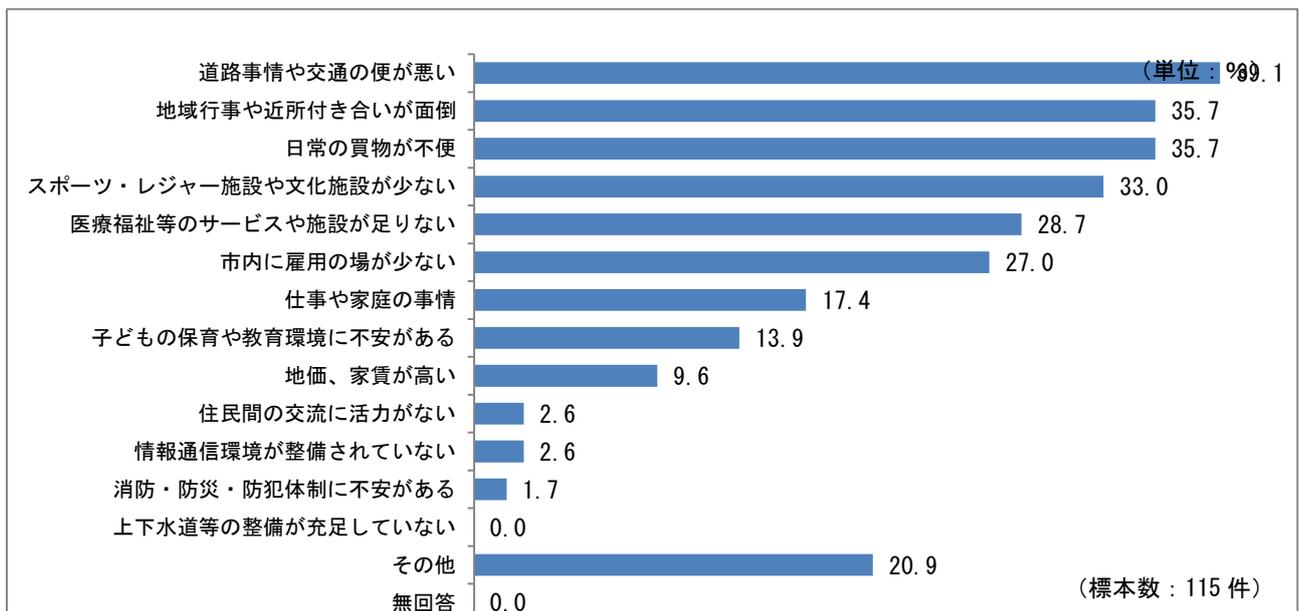
順位		回答数 (件)	回答率 (%)	前回 (H31)	
				順位	回答率
1	道路事情や交通の便が悪い	45	39.1	1	43.0
2	地域行事や近所付き合いが面倒	41	35.7	2	37.0
	日常の買物が不便	41	35.7	3	34.0
4	スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	38	33.0	4	24.0
5	医療福祉等のサービスや施設が足りない	33	28.7	5	19.0
6	市内に雇用の場が少ない	31	27.0	7	12.0
7	仕事や家庭の事情	20	17.4	9	8.0
8	子どもの保育や教育環境に不安がある	16	13.9	7	12.0
9	地価、家賃が高い	11	9.6	6	13.0
10	住民間の交流に活力がない	3	2.6	10	4.0
	情報通信環境が整備されていない	3	2.6	10	4.0
12	消防・防災・防犯体制に不安がある	2	1.7	12	2.0
13	上下水道等の整備が充足していない	0	0.0	13	0.0
	その他	24	20.9		21.0
	無回答	0	0.0		4.0
計		308			

(標本数：115件)

(標本数：100件)

※「その他」の内容

- ・「冬の生活が厳しい（寒さ、除雪の苦勞など）」、「他の地域と比べると給与が安い」など



属性別集計(年齢別)

		年齢					
		10代・20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
標本数(件)		11	16	24	19	24	18
高山市に住み続けたくない理由(%)	道路事情や交通の便が悪い	18.2	43.8	33.3	52.6	33.3	44.4
	地域行事や近所付き合いが面倒	9.1	43.8	41.7	36.8	41.7	33.3
	日常の買物が不便	45.5	18.8	16.7	42.1	50.0	44.4
	スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	63.6	50.0	37.5	10.5	29.2	27.8
	医療福祉等のサービスや施設が足りない	9.1	25.0	16.7	52.6	33.3	27.8
	市内に雇用の場が少ない	27.3	37.5	29.2	31.6	20.8	22.2
	仕事や家庭の事情	27.3	25.0	20.8	15.8	12.5	11.1
	子どもの保育や教育環境に不安がある	18.2	18.8	25.0	21.1	0.0	0.0
	地価、家賃が高い	18.2	18.8	4.2	5.3	8.3	5.6
	住民間の交流に活力がない	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	11.1
	情報通信環境が整備されていない	0.0	6.3	0.0	0.0	4.2	5.6
	消防・防災・防犯体制に不安がある	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0	5.6
	上下水道等の整備が充足していない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	18.2	18.8	20.8	26.3	16.7	22.2
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

【年齢別】

- ・ 30代以下では「スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない」の割合が高い。
- ・ 40代は「地域行事や近所付き合いが面倒」の割合が高い。
- ・ 50代「道路事情や交通の便が悪い」と「医療福祉等のサービスや施設が足りない」の割合が高い。
- ・ 60代は「日常の買物が不便」の割合が高い。
- ・ 70代以上は「道路事情や交通の便が悪い」と「日常の買物が不便」の割合が高い。
- ・ 住み続けたくない理由の割合が高い項目を見ると、各年代においてばらつきがある。

属性別集計（居住地域別）

		居住地域											
		高山地域	東地区	西地区	南地区	北地区	山王地区	江名子地区	新宮地区	三枝地区	大八地区	岩滝地区	花里地区
標本数（件）		73	5	12	11	7	10	4	5	7	5	2	5
高山市に住み続けたくない理由（％）	道路事情や交通の便が悪い	38.4	40.0	16.7	45.5	14.3	60.0	75.0	0.0	57.1	40.0	50.0	40.0
	地域行事や近所付き合いが面倒	31.5	20.0	41.7	18.2	42.9	30.0	25.0	20.0	14.3	60.0	50.0	40.0
	日常の買物が不便	26.0	20.0	16.7	27.3	0.0	20.0	0.0	60.0	71.4	20.0	100.0	0.0
	スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	43.8	20.0	41.7	45.5	42.9	70.0	75.0	40.0	28.6	40.0	0.0	40.0
	医療福祉等のサービスや施設が足りない	26.0	20.0	33.3	0.0	28.6	30.0	25.0	0.0	42.9	40.0	0.0	60.0
	市内に雇用の場が少ない	24.7	20.0	8.3	27.3	14.3	40.0	0.0	40.0	14.3	40.0	50.0	40.0
	仕事や家庭の事情	17.8	0.0	25.0	27.3	0.0	0.0	25.0	40.0	42.9	0.0	50.0	0.0
	子どもの保育や教育環境に不安がある	15.1	0.0	8.3	27.3	28.6	10.0	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0	40.0
	地価、家賃が高い	13.7	20.0	16.7	9.1	0.0	0.0	0.0	20.0	28.6	0.0	0.0	60.0
	住民間の交流に活力がない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	情報通信環境が整備されていない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	消防・防災・防犯体制に不安がある	1.4	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	上下水道等の整備が充足していない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	26.0	20.0	33.3	18.2	28.6	30.0	50.0	40.0	28.6	0.0	0.0	20.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

属性別集計（居住地域別）

		居住地域								
		丹生川地域	清見地域	荘川地域	一之宮地域	久々野地域	朝日地域	高根地域	国府地域	上宝・奥飛騨温泉郷地域
標本数（件）		3	6	5	4	5	5	3	2	6
高山市に住み続けたくない理由（％）	道路事情や交通の便が悪い	66.7	16.7	0.0	50.0	60.0	20.0	66.7	0.0	100.0
	地域行事や近所付き合いが面倒	33.3	50.0	40.0	75.0	60.0	40.0	0.0	50.0	16.7
	日常の買物が不便	33.3	33.3	20.0	50.0	60.0	80.0	66.7	50.0	100.0
	スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	0.0	33.3	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	50.0	0.0
	医療福祉等のサービスや施設が足りない	0.0	16.7	60.0	25.0	20.0	80.0	0.0	50.0	50.0
	市内に雇用の場が少ない	66.7	16.7	20.0	25.0	60.0	20.0	0.0	50.0	0.0
	仕事や家庭の事情	33.3	16.7	20.0	25.0	0.0	0.0	33.3	0.0	16.7
	子どもの保育や教育環境に不安がある	33.3	16.7	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	地価、家賃が高い	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	住民間の交流に活力がない	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	33.3	50.0	0.0
	情報通信環境が整備されていない	0.0	0.0	20.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
	消防・防災・防犯体制に不安がある	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
	上下水道等の整備が充足していない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	33.3	0.0	20.0	25.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

【居住地域別】

※居住地域の標本数が少ないため、分析は行わない。

属性別集計（定住年数別）

		定住年数				
		1年未満	1年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～20年未満	20年以上
標本数（件）		0	8	9	22	76
高山市に住み続けたくない理由（％）	道路事情や交通の便が悪い	—	12.5	11.1	45.5	42.1
	地域行事や近所付き合いが面倒	—	37.5	33.3	31.8	36.8
	日常の買物が不便	—	37.5	33.3	27.3	38.2
	スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	—	50.0	33.3	40.9	28.9
	医療福祉等のサービスや施設が足りない	—	0.0	33.3	22.7	32.9
	市内に雇用の場が少ない	—	25.0	22.2	22.7	28.9
	仕事や家庭の事情	—	62.5	22.2	18.2	11.8
	子どもの保育や教育環境に不安がある	—	25.0	22.2	18.2	10.5
	地価、家賃が高い	—	0.0	11.1	18.2	7.9
	住民間の交流に活力がない	—	0.0	0.0	0.0	3.9
	情報通信環境が整備されていない	—	0.0	11.1	4.5	1.3
	消防・防災・防犯体制に不安がある	—	0.0	0.0	0.0	2.6
	上下水道等の整備が充足していない	—	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	—	0.0	44.4	18.2	21.1
無回答	—	0.0	0.0	0.0	0.0	

【定住年数別】

- ・ 10年以上は「道路事情や交通の便が悪い」の割合が最も高い。

属性別集計（居住形態別）

		居住形態				
		持ち家（分譲マンション・家族所有含む）	借家（アパート含む）	間借	社宅・寮	その他
標本数（件）		103	7	1	4	0
高山市に住み続けたくない理由（％）	道路事情や交通の便が悪い	39.8	42.9	0.0	25.0	－
	地域行事や近所付き合いが面倒	35.9	28.6	100.0	25.0	－
	日常の買物が不便	37.9	14.3	0.0	25.0	－
	スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	33.0	28.6	0.0	50.0	－
	医療福祉等のサービスや施設が足りない	30.1	28.6	0.0	0.0	－
	市内に雇用の場が少ない	28.2	28.6	0.0	0.0	－
	仕事や家庭の事情	16.5	14.3	0.0	50.0	－
	子どもの保育や教育環境に不安がある	14.6	14.3	0.0	0.0	－
	地価、家賃が高い	7.8	14.3	0.0	50.0	－
	住民間の交流に活力がない	2.9	0.0	0.0	0.0	－
	情報通信環境が整備されていない	2.9	0.0	0.0	0.0	－
	消防・防災・防犯体制に不安がある	1.9	0.0	0.0	0.0	－
	上下水道等の整備が充足していない	0.0	0.0	0.0	0.0	－
その他	19.4	57.1	0.0	0.0	－	
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	－	

【居住形態別】

- ・持ち家は「道路事情や交通の便が悪い」の割合が最も高い。

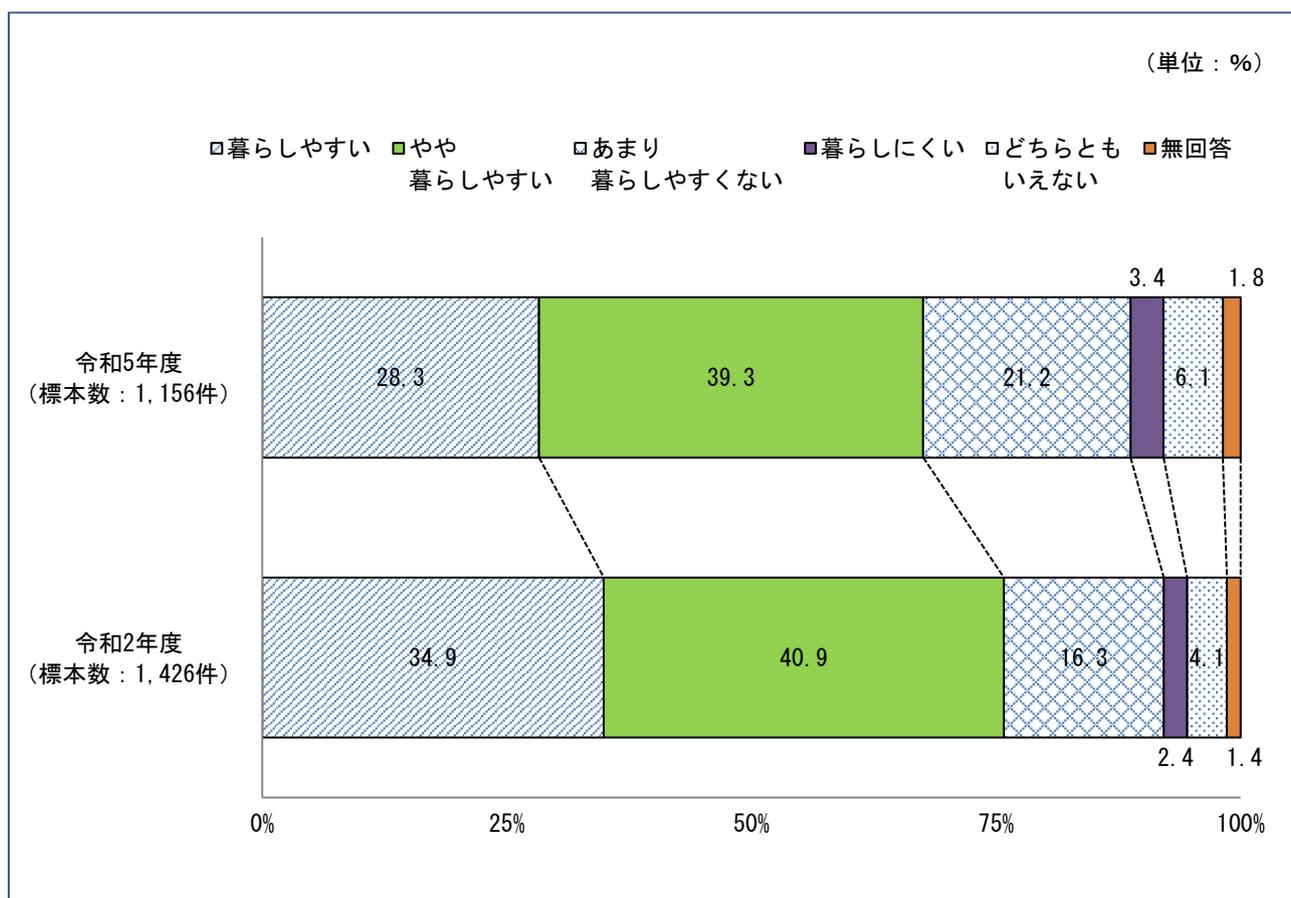
3 高山市の暮らしやすさ

- ・「やや暮らしやすい」の割合が最も高い。
- ・「暮らしやすい」と「やや暮らしやすい」を合わせると 67.6%を占めており、前回（R2）の調査結果（75.8%）に比べ 8.2 ポイント低下している。

問3 全体的に、高山市の暮らしやすさについてどのようにお考えですか。（1つに○印）

	回答数 (件)	回答率 (%)
暮らしやすい	327	28.3
やや暮らしやすい	454	39.3
あまり暮らしやすいくない	245	21.2
暮らしにくい	39	3.4
どちらともいえない	70	6.1
無回答	21	1.8
計	1,156	

(標本数：1,156件)



属性別集計（年齢別、居住地域別）

		標本数 (件)	高山市の暮らしやすさ (%)						
			暮らしやすい	やすい	やや暮らしやすい	やすすくない	あまり暮らしやすい	暮らしにくい	ない
年齢	10代・20代	77	33.8	39.0	19.5	3.9	3.9	0.0	
	30代	107	23.4	38.3	29.9	3.7	4.7	0.0	
	40代	164	23.8	40.2	25.0	3.7	7.3	0.0	
	50代	170	24.7	41.2	21.8	5.9	4.7	1.8	
	60代	257	23.3	44.0	23.0	1.6	6.6	1.6	
	70代以上	357	36.4	35.0	15.7	3.1	6.2	3.6	
居住地域	高山地域	724	29.1	39.9	19.5	2.6	7.3	1.5	
	東地区	49	30.6	44.9	16.3	4.1	4.1	0.0	
	西地区	77	19.5	51.9	24.7	2.6	1.3	0.0	
	南地区	96	37.5	34.4	15.6	5.2	7.3	0.0	
	北地区	126	29.4	40.5	15.9	2.4	10.3	1.6	
	山王地区	92	32.6	35.9	18.5	1.1	8.7	3.3	
	江名子地区	46	30.4	34.8	23.9	0.0	6.5	4.3	
	新宮地区	69	15.9	50.7	17.4	1.4	10.1	4.3	
	三枝地区	39	33.3	25.6	30.8	5.1	5.1	0.0	
	大八地区	55	25.5	40.0	23.6	1.8	7.3	1.8	
	岩滝地区	12	33.3	33.3	16.7	0.0	16.7	0.0	
	花里地区	63	34.9	36.5	19.0	3.2	6.3	0.0	
	丹生川地区	51	25.5	41.2	29.4	2.0	2.0	0.0	
	清見地区	39	25.6	33.3	25.6	5.1	7.7	2.6	
	荘川地区	25	12.0	32.0	40.0	4.0	8.0	4.0	
	一之宮地区	38	26.3	42.1	23.7	5.3	0.0	2.6	
	久々野地区	63	27.0	42.9	15.9	6.3	4.8	3.2	
	朝日地区	29	24.1	37.9	20.7	10.3	3.4	3.4	
	高根地区	17	41.2	23.5	29.4	0.0	0.0	5.9	
	国府地区	94	31.9	45.7	14.9	2.1	3.2	2.1	
上宝・奥飛騨温泉郷地域	45	20.0	22.2	44.4	4.4	8.9	0.0		

【年齢別】

- ・「暮らしやすい」と「やや暮らしやすい」を合わせた割合は、10代・20代（72.8%）が最も高く、30代（61.7%）が最も低い。

【居住地域別】

- ・「暮らしやすい」と「やや暮らしやすい」を合わせた割合は、国府地域（77.6%）が最も高く、次いで東地区（75.5%）、南地区（71.9%）が高い。一方、上宝・奥飛騨温泉郷地域（42.2%）が最も低く、次いで三枝地区と清見地域（各 58.9%）が低い。

属性別集計（家族構成別）

		標本数 (件)	高山市の暮らしやすさ (%)					無回答
			暮らしやすい	やや暮らしやすい	あまり暮らしやすい しくない	暮らしにくい	どちらともいえない	
家族構成	単身世帯	145	31.7	34.5	15.2	3.4	11.7	3.4
	夫婦のみ	284	23.9	39.4	23.9	4.6	6.7	1.4
	二世帯世帯（親と子）	431	27.6	40.4	23.4	2.8	4.6	1.2
	（うち中学生以下の子と同居）	(144)	26.4	38.9	27.8	2.1	4.9	0.0
	三世帯世帯（親と子と孫）	238	30.3	40.3	21.4	2.9	3.4	1.7
	（うち中学生以下の子と同居）	(138)	25.4	42.8	24.6	3.6	2.2	1.4
その他	32	34.4	40.6	6.3	3.1	12.5	3.1	

【家族構成別】

- ・「暮らしやすい」と「やや暮らしやすい」を合わせた割合は、その他を除くと三世帯世帯（70.6%）が最も高く、次いで二世帯世帯（68.0%）となっている。

3-2 暮らしにくさを感じる場所

- ・「道路事情や交通の便が悪い」の割合が最も高い。
- ・1位と2位の順位は、前回（R2）の調査結果と同じである。また、前述の「高山市に住み続けたくない理由」（P12参考）の1位と2位の順位とも同じである。
- ・前回（R2）の調査結果に比べ、「医療福祉等のサービスや施設が足りない」の割合が増加し、「市内に雇用の場が少ない」の割合が大きく低下している。

問3-2 問3で、「暮らしにくい」または「あまり暮らしやすすくない」に○をつけた方に伺います。どんなところに暮らしにくさを感じますか。（3つまで○印）

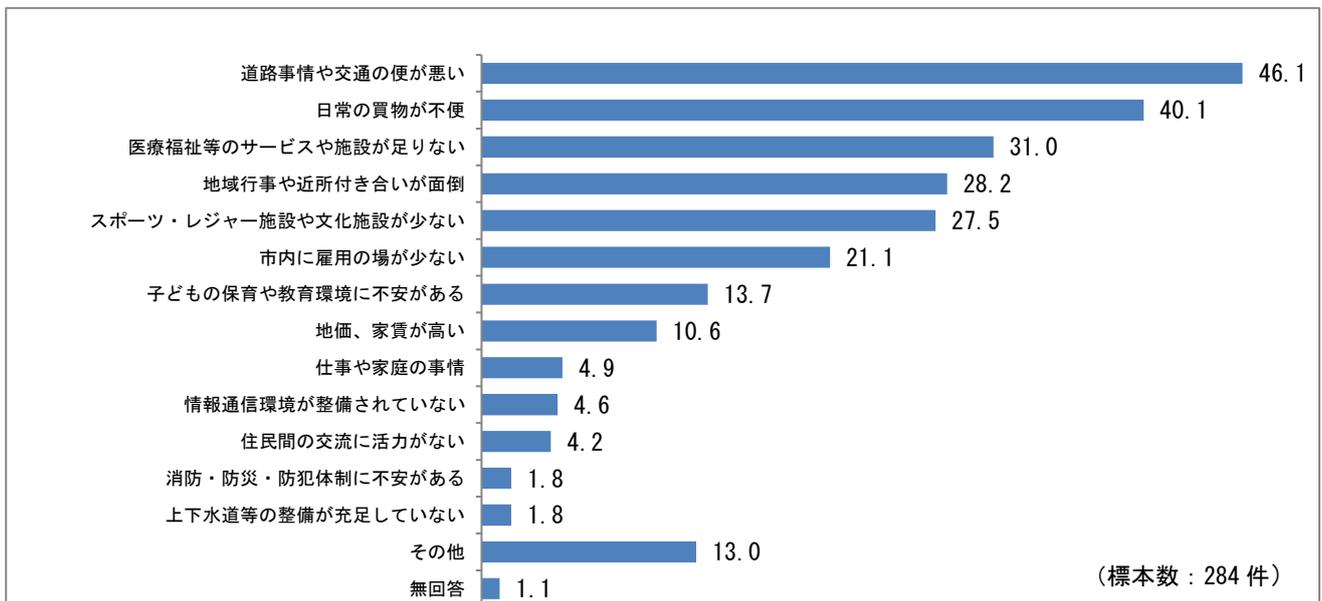
順位		回答数 (件)	回答率 (%)	前回 (R2)	
				順位	回答率 (%)
1	道路事情や交通の便が悪い	131	46.1	1	50.9
2	日常の買物が不便	114	40.1	2	38.6
3	医療福祉等のサービスや施設が足りない	88	31.0	6	26.2
4	地域行事や近所付き合いが面倒	80	28.2	4	27.7
5	スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	78	27.5	5	27.0
6	市内に雇用の場が少ない	60	21.1	3	30.7
7	子どもの保育や教育環境に不安がある	39	13.7	8	11.6
8	地価、家賃が高い	30	10.6	7	13.5
9	仕事や家庭の事情	14	4.9	11	3.0
10	情報通信環境が整備されていない	13	4.6	10	4.1
11	住民間の交流に活力がない	12	4.2	9	5.2
12	消防・防災・防犯体制に不安がある	5	1.8	11	3.0
	上下水道等の整備が充足していない	5	1.8	13	0.7
	その他	37	13.0		11.6
	無回答	3	1.1		0.4
計		709			

(標本数：284件)

(標本数：267件)

※「その他」の内容

- ・「冬の生活が不便」、「公共共通が不便」、「娯楽施設が少ない」 など



属性別集計（年齢別）

		年齢別 (単位：%)					
		10代・20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
標本数（件）		18	36	47	47	63	67
暮らしにくさを感じるところ (%)	道路事情や交通の便が悪い	50.0	47.2	31.9	57.4	46.0	49.3
	日常の買物が不便	38.9	25.0	21.3	34.0	44.4	62.7
	医療福祉等のサービスや施設が足りない	16.7	30.6	19.1	25.5	44.4	37.3
	地域行事や近所付き合いが面倒	5.6	38.9	31.9	31.9	28.6	23.9
	スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	38.9	55.6	27.7	21.3	20.6	19.4
	市内に雇用の場が少ない	27.8	22.2	17.0	21.3	27.0	16.4
	子どもの保育や教育環境に不安がある	22.2	22.2	29.8	10.6	9.5	1.5
	地価、家賃が高い	16.7	11.1	10.6	19.1	4.8	7.5
	仕事や家庭の事情	0.0	8.3	8.5	8.5	4.8	0.0
	情報通信環境が整備されていない	0.0	8.3	6.4	8.5	1.6	3.0
	住民間の交流に活力がない	0.0	0.0	2.1	0.0	6.3	10.4
	消防・防災・防犯体制に不安がある	0.0	0.0	2.1	0.0	3.2	3.0
	上下水道等の整備が充足していない	0.0	2.8	2.1	2.1	1.6	1.5
	その他	11.1	2.8	19.1	12.8	14.3	11.9
無回答	0.0	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0	

【年齢別】

- ・ 40代と70代以上を除いては「道路事情や交通の便が悪い」の割合が最も高い。
- ・ 30代は「スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない」の割合が、70代以上が「日常の買物が不便」の割合が最も高い。

属性別集計（居住地域別）

		居住地域											
		高山地域	東地区	西地区	南地区	北地区	山王地区	江名子地区	新宮地区	三枝地区	大八地区	岩滝地区	花里地区
標本数（件）		160	10	21	20	23	18	11	13	14	14	2	14
暮らしにくさを感じるところ（％）	道路事情や交通の便が悪い	41.9	50.0	28.6	50.0	17.4	33.3	72.7	46.2	50.0	42.9	100.0	50.0
	日常の買物が不便	25.6	30.0	19.0	15.0	13.0	22.2	27.3	38.5	64.3	28.6	100.0	7.1
	医療福祉等のサービスや施設が足りない	31.3	20.0	38.1	20.0	34.8	38.9	27.3	0.0	35.7	50.0	0.0	42.9
	地域行事や近所付き合いが面倒	26.9	40.0	33.3	20.0	26.1	27.8	18.2	23.1	28.6	35.7	0.0	21.4
	スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	38.1	30.0	33.3	30.0	52.2	44.4	63.6	23.1	28.6	35.7	0.0	42.9
	市内に雇用の場が少ない	21.9	10.0	4.8	20.0	30.4	27.8	18.2	30.8	28.6	28.6	0.0	21.4
	子どもの保育や教育環境に不安がある	17.5	10.0	14.3	30.0	26.1	11.1	9.1	7.7	0.0	7.1	0.0	50.0
	地価、家賃が高い	16.9	20.0	23.8	25.0	30.4	11.1	0.0	0.0	7.1	7.1	0.0	28.6
	仕事や家庭の事情	6.9	0.0	4.8	20.0	4.3	0.0	0.0	15.4	14.3	7.1	0.0	0.0
	情報通信環境が整備されていない	2.5	0.0	0.0	0.0	4.3	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3
	住民間の交流に活力がない	3.8	0.0	9.5	5.0	8.7	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	消防・防災・防犯体制に不安がある	2.5	0.0	0.0	0.0	4.3	5.6	0.0	7.7	7.1	0.0	0.0	0.0
	上下水道等の整備が充足していない	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0
	その他	13.1	10.0	19.0	5.0	4.3	16.7	18.2	15.4	7.1	28.6	0.0	14.3
無回答	1.3	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	

属性別集計（居住地域別）

		居住地域								
		丹生川地域	清見地域	荘川地域	一之宮地域	久々野地域	朝日地域	高根地域	国府地域	上宝・奥飛騨温泉郷地域
標本数（件）		16	12	11	11	14	9	5	16	22
暮らしにくさを感じるところ（％）	道路事情や交通の便が悪い	37.5	66.7	18.2	36.4	50.0	22.2	60.0	50.0	86.4
	日常の買物が不便	25.0	58.3	72.7	45.5	64.3	100.0	100.0	43.8	72.7
	医療福祉等のサービスや施設が足りない	25.0	8.3	54.5	9.1	28.6	33.3	0.0	56.3	40.9
	地域行事や近所付き合いが面倒	37.5	16.7	27.3	36.4	35.7	44.4	0.0	50.0	18.2
	スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	6.3	0.0	9.1	36.4	28.6	11.1	40.0	12.5	4.5
	市内に雇用場が少ない	50.0	8.3	18.2	36.4	14.3	11.1	0.0	25.0	13.6
	子どもの保育や教育環境に不安がある	18.8	16.7	9.1	0.0	0.0	22.2	20.0	6.3	0.0
	地価、家賃が高い	6.3	8.3	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	仕事や家庭の事情	6.3	8.3	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	情報通信環境が整備されていない	18.8	8.3	0.0	9.1	7.1	0.0	0.0	0.0	13.6
	住民間の交流に活力がない	6.3	0.0	0.0	9.1	7.1	11.1	0.0	6.3	4.5
	消防・防災・防犯体制に不安がある	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5
	上下水道等の整備が充足していない	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5
	その他	6.3	25.0	18.2	36.4	14.3	0.0	0.0	6.3	4.5
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

【居住地域別】

- ・高山地域では、多くの地区で「道路事情や交通の便が悪い」の割合が最も高い。
- ・支所地域では、「日常の買物が不便」の割合が最も高い。

属性別集計（家族構成別）

		家族構成						
		単身世帯	夫婦のみ	二世帯世帯	(うち中学生以下の子と同居)	三世帯世帯	(うち中学生以下の子と同居)	その他
標本数（件）		27	81	113	(43)	58	(39)	3
暮らしにくさを感じる場所(%)	道路事情や交通の便が悪い	51.9	56.8	46.0	(30.2)	31.0	(28.2)	33.3
	日常の買物が不便	44.4	51.9	37.2	(23.3)	29.3	(35.9)	0.0
	医療福祉等のサービスや施設が足りない	25.9	39.5	23.9	(27.9)	36.2	(33.3)	33.3
	地域行事や近所付き合いが面倒	22.2	22.2	33.6	(37.2)	27.6	(28.2)	33.3
	スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	22.2	16.0	28.3	(46.5)	41.4	(48.7)	66.7
	市内に雇用の場が少ない	22.2	13.6	22.1	(11.6)	29.3	(28.2)	33.3
	子どもの保育や教育環境に不安がある	7.4	7.4	13.3	(25.6)	27.6	(28.2)	0.0
	地価、家賃が高い	14.8	8.6	11.5	(18.6)	8.6	(7.7)	33.3
	仕事や家庭の事情	7.4	1.2	8.0	(4.7)	3.4	(5.1)	0.0
	情報通信環境が整備されていない	7.4	3.7	6.2	(4.7)	1.7	0.0	0.0
	住民間の交流に活力がない	7.4	6.2	1.8	0.0	5.2	(2.6)	0.0
	消防・防災・防犯体制に不安がある	3.7	3.7	0.9	(2.3)	0.0	0.0	0.0
	上下水道等の整備が充足していない	7.4	0.0	0.9	0.0	3.4	(5.1)	0.0
	その他	7.4	16.0	12.4	(7.0)	12.1	(10.3)	33.3
	無回答	0.0	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【家族構成別】

- ・三世帯世帯とその他以外では「道路事情や交通の便が悪い」の割合が最も高い。

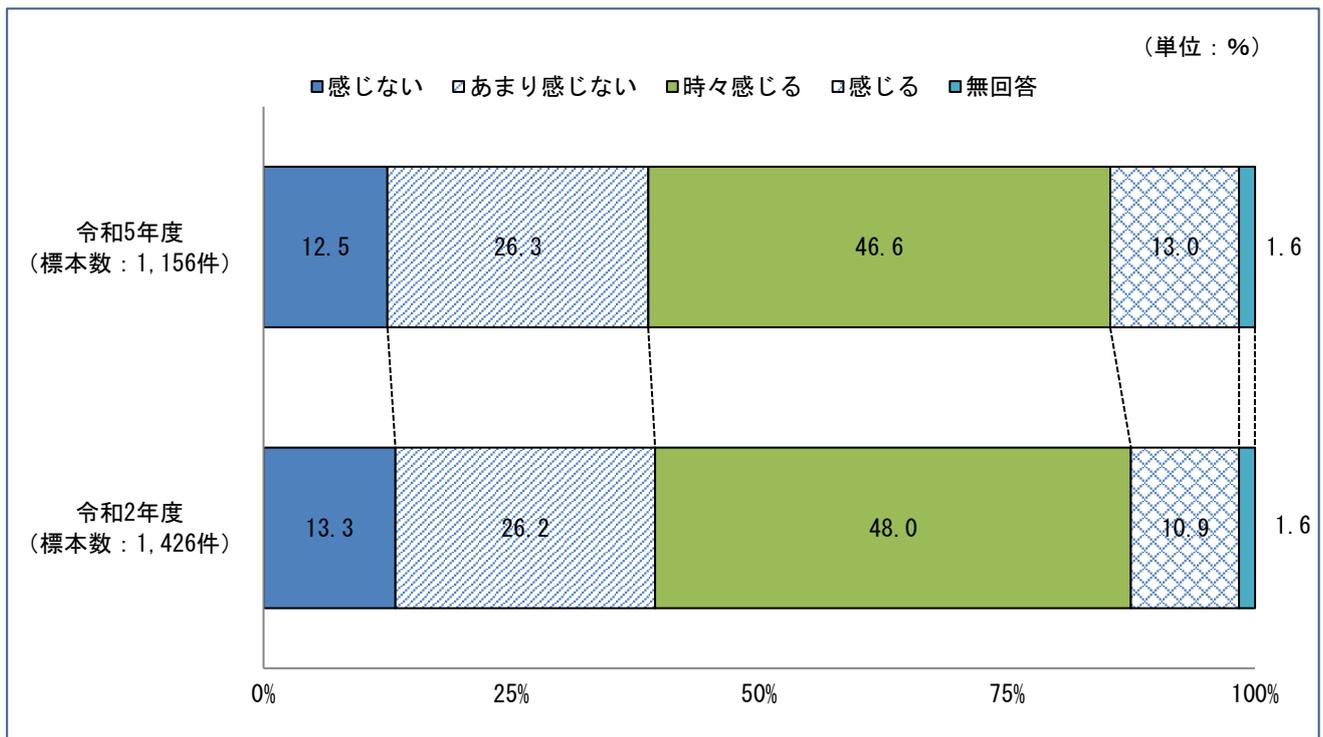
4 日常生活での不安

- ・「時々感じる」の割合が最も高い。
- ・「感じる」と「時々感じる」を合わせると 59.6%を占め、前回（R2）の調査結果（58.9%）に比べ、0.7ポイント低下している。

問4 あなたは、日常の暮らしの中で不安を感じることはありますか。（1つに○印）

	回答数 (件)	回答率 (%)
感じない	144	12.5
あまり感じない	304	26.3
時々感じる	539	46.6
感じる	150	13.0
無回答	19	1.6
計	1,156	

(標本数：1,156件)



属性別集計（年齢別、居住地域別）

		標本数 (件)	暮らしの中での不安 (%)				
			感じない	あまり感じない	時々感じる	感じる	無回答
年齢	10代・20代	77	23.4	32.5	29.9	14.3	0.0
	30代	107	17.8	19.6	46.7	15.9	0.0
	40代	164	11.0	24.4	51.8	11.6	1.2
	50代	170	11.2	29.4	43.5	14.7	1.2
	60代	257	8.2	24.9	54.5	11.3	1.2
	70代以上	357	12.6	28.0	43.4	13.2	2.8
居住地域	高山地域	724	12.3	27.3	45.6	12.7	2.1
	東地区	49	18.4	30.6	28.6	20.4	2.0
	西地区	77	15.6	31.2	35.1	18.2	0.0
	南地区	96	16.7	28.1	46.9	7.3	1.0
	北地区	126	12.7	28.6	46.0	10.3	2.4
	山王地区	92	9.8	25.0	45.7	16.3	3.3
	江名子地区	46	10.9	28.3	47.8	8.7	4.3
	新宮地区	69	7.2	27.5	47.8	15.9	1.4
	三枝地区	39	12.8	15.4	53.8	15.4	2.6
	大八地区	55	7.3	30.9	49.1	9.1	3.6
	岩滝地区	12	25.0	8.3	41.7	25.0	0.0
	花里地区	63	7.9	27.0	57.1	6.3	1.6
	丹生川地域	51	11.8	31.4	49.0	7.8	0.0
	清見地域	39	15.4	20.5	46.2	15.4	2.6
	荘川地域	25	8.0	12.0	64.0	12.0	4.0
	一之宮地域	38	5.3	28.9	52.6	13.2	0.0
	久々野地域	63	11.1	25.4	42.9	19.0	1.6
	朝日地域	29	10.3	17.2	55.2	17.2	0.0
	高根地域	17	17.6	17.6	47.1	17.6	0.0
	国府地域	94	13.8	25.5	50.0	9.6	1.1
上宝・奥飛騨温泉郷地域	45	11.1	20.0	55.6	13.3	0.0	

【年齢別】

- ・「感じる」と「時々感じる」を合わせた割合は、60代（65.8%）が最も高く、10代・20代（44.2%）が最も低い。

【居住地域別】

- ・「感じる」と「時々感じる」を合わせた割合は、荘川地域（76.0%）が最も高く、次いで朝日地域（72.4%）、三枝地区（69.2%）が高い。一方、東地区（49.0%）が最も低く、次いで西地区（53.3%）、南地区（54.2%）が低い。

属性別集計（家族構成別）

		標本数 (件)	暮らしの中での不安 (%)				
			感じない	あまり感じない	時々感じる	感じる	無回答
家族構成	単身世帯	145	11.0	31.7	42.8	11.7	2.8
	夫婦のみ	284	9.5	26.4	48.2	14.4	1.4
	二世帯世帯	431	11.6	24.4	48.5	14.2	1.4
	（うち中学生以下の子と同居）	(144)	(16.0)	(21.5)	(47.9)	(13.9)	(0.7)
	三世帯世帯	238	16.8	27.3	43.7	11.8	0.4
	（うち中学生以下の子と同居）	138	(15.2)	(26.1)	(47.8)	(10.9)	(0.0)
その他	32	18.8	25.0	50.0	0.0	6.3	

【家族構成別】

- ・「感じる」と「時々感じる」を合わせた割合は、二世帯世帯（62.7%）が最も高く、その他を除くと単身世帯（54.5%）が最も低い。

4-2 不安を感じるどころ

- ・「経済的な不安」の割合が最も高い。
- ・1位と2位は、前回（R2）の調査結果と同じである。
- ・前回（R2）の調査結果に比べ、「経済的な不安」の割合が大きく上昇しており、「地震、豪雨災害に対する不安」と「伝染病、感染症に対する不安」の割合が大きく低下している。

問4-2 問4で、「感じる」または「時々感じる」に○をつけた方に伺います。どんなところに不安を感じますか。（3つまで○印）

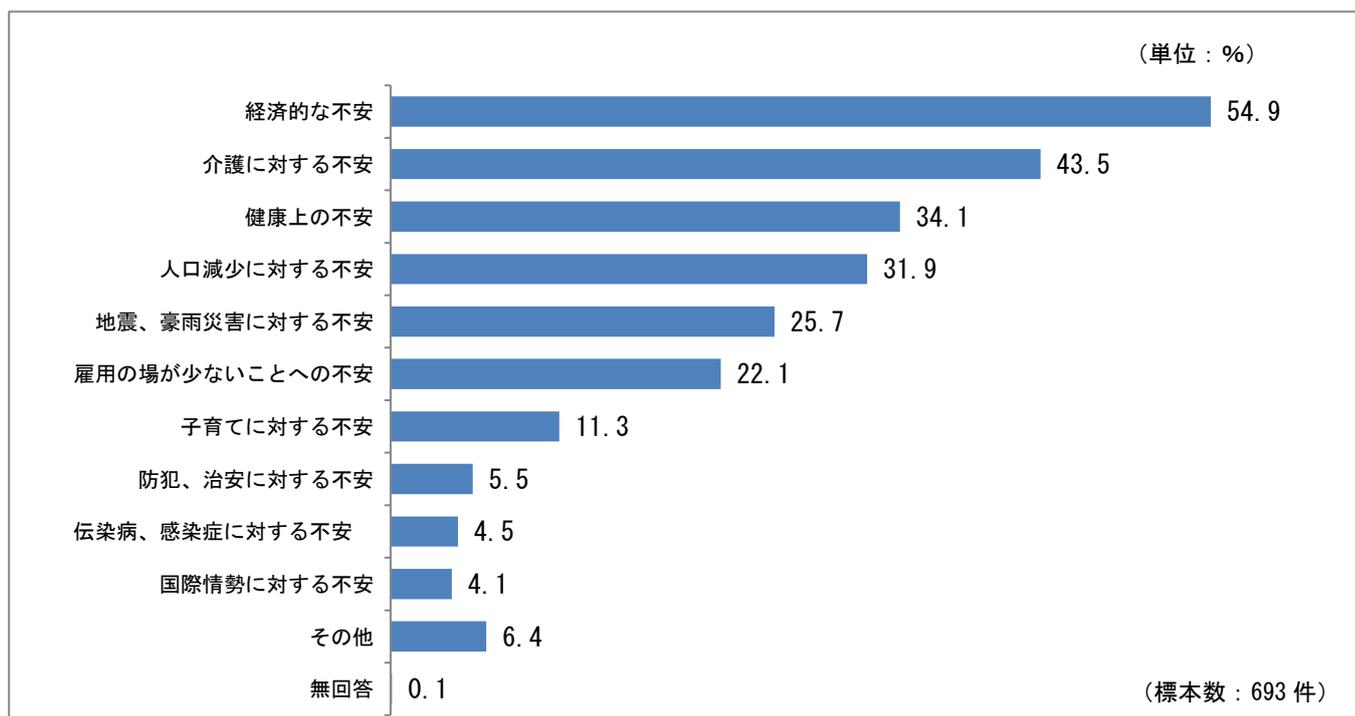
順位		回答数 (件)	回答率 (%)	前回 (R2)	
				順位	回答率 (%)
1	経済的な不安	378	54.9	1	45.8
2	介護に対する不安	300	43.5	2	40.0
3	健康上の不安	235	34.1	4	35.7
4	人口減少に対する不安	220	31.9	6	25.6
5	地震、豪雨災害に対する不安	177	25.7	3	38.0
6	雇用の場が少ないことへの不安	152	22.1	5	26.7
7	子育てに対する不安	78	11.3	8	7.0
8	防犯、治安に対する不安	38	5.5	9	4.8
9	伝染病、感染症に対する不安	31	4.5	7	15.4
10	国際情勢に対する不安	28	4.1	10	3.3
	その他	44	6.4		6.1
	無回答	1	0.1		0.8
計		1,682			

(標本数：689件)

(標本数：840件)

※「その他」の内容

- ・「病院・医師不足」、「老後の暮らし」、「冬季の除雪対策」 など



属性別集計（年齢別）

		年齢					
		10代・20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
標本数（件）		34	67	104	99	169	202
不安を感じるところ（％）	経済的な不安	58.8	62.7	68.3	62.6	50.9	44.6
	介護に対する不安	2.9	26.9	29.8	42.4	47.9	59.4
	健康上の不安	14.7	16.4	14.4	30.3	36.7	53.0
	人口減少に対する不安	35.3	28.4	25.0	37.4	29.6	35.1
	地震、豪雨災害に対する不安	20.6	14.9	26.0	26.3	32.0	26.2
	雇用の場が少ないことへの不安	23.5	28.4	26.9	34.3	19.5	12.9
	子育てに対する不安	26.5	38.8	26.9	5.1	4.1	1.5
	防犯、治安に対する不安	5.9	11.9	2.9	4.0	4.1	6.9
	伝染病、感染症に対する不安	0.0	4.5	6.7	2.0	3.0	5.9
	国際情勢に対する不安	0.0	4.5	6.7	1.0	4.7	4.5
	その他	14.7	4.5	7.7	5.1	9.5	2.5
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5

【年齢別】

- ・ 60代以下は「経済的な不安」の割合が最も高い。
- ・ 70代以上は「介護に対する不安」の割合が最も高い。
- ・ 「介護に対する不安」の割合は、年代が上がるにつれて高くなる。

属性別集計（居住地域別）

		居住地域											
		高山地域	東地区	西地区	南地区	北地区	山王地区	江名子地区	新宮地区	三枝地区	大八地区	岩瀧地区	花里地区
標本数（件）		422	24	41	52	71	57	26	44	27	32	8	40
不安を感じるところ（％）	経済的な不安	58.1	58.3	63.4	53.8	54.9	57.9	57.7	72.7	66.7	50.0	62.5	47.5
	介護に対する不安	44.5	41.7	31.7	50.0	52.1	42.1	46.2	38.6	51.9	46.9	25.0	45.0
	健康上の不安	34.8	37.5	39.0	32.7	33.8	33.3	46.2	34.1	44.4	37.5	12.5	25.0
	人口減少に対する不安	26.8	25.0	29.3	26.9	26.8	33.3	26.9	11.4	11.1	46.9	50.0	22.5
	地震、豪雨災害に対する不安	27.5	33.3	17.1	19.2	23.9	35.1	38.5	29.5	40.7	28.1	37.5	20.0
	雇用の場が少ないことへの不安	18.7	25.0	17.1	21.2	15.5	17.5	19.2	18.2	22.2	12.5	12.5	25.0
	子育てに対する不安	12.3	4.2	22.0	13.5	11.3	8.8	11.5	11.4	7.4	6.3	25.0	20.0
	防犯、治安に対する不安	6.6	4.2	4.9	1.9	7.0	14.0	3.8	2.3	3.7	6.3	12.5	12.5
	伝染病、感染症に対する不安	6.4	12.5	9.8	3.8	4.2	5.3	7.7	9.1	7.4	6.3	0.0	5.0
	国際情勢に対する不安	3.8	0.0	4.9	0.0	2.8	8.8	11.5	0.0	3.7	3.1	0.0	5.0
	その他	5.5	12.5	2.4	5.8	2.8	7.0	0.0	4.5	3.7	6.3	12.5	10.0
	無回答	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0

属性別集計（居住地域別）

		居住地域								
		丹生川地域	清見地域	荘川地域	一之宮地域	久々野地域	朝日地域	高根地域	国府地域	上宝・奥飛驒温泉郷地域
標本数（件）		29	24	19	25	39	21	11	56	31
不安を感じるところ（％）	経済的な不安	51.7	45.8	47.4	52.0	64.1	33.3	18.2	55.4	45.2
	介護に対する不安	41.4	41.7	42.1	44.0	38.5	52.4	63.6	39.3	41.9
	健康上の不安	24.1	33.3	42.1	36.0	25.6	28.6	9.1	35.7	48.4
	人口減少に対する不安	24.1	41.7	52.6	24.0	30.8	66.7	81.8	37.5	48.4
	地震、豪雨災害に対する不安	17.2	20.8	15.8	24.0	33.3	19.0	45.5	21.4	12.9
	雇用の場が少ないことへの不安	24.1	16.7	21.1	44.0	23.1	33.3	27.3	28.6	29.0
	子育てに対する不安	13.8	4.2	10.5	0.0	12.8	14.3	9.1	12.5	3.2
	防犯、治安に対する不安	3.4	12.5	0.0	4.0	2.6	4.8	0.0	3.6	0.0
	伝染病、感染症に対する不安	0.0	4.2	0.0	0.0	2.6	0.0	9.1	1.8	0.0
	国際情勢に対する不安	3.4	4.2	5.3	12.0	0.0	0.0	0.0	7.1	6.5
	その他	6.9	4.2	15.8	12.0	2.6	4.8	0.0	8.9	12.9
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【居住地域別】

- ・「経済的な不安」の割合は多くの地域で最も高い。
- ・「人口減少に対する不安」の割合は、高山地域と支所地域で傾向が異なり、高山地域で30%以上は11地区中3地区、支所地域で30%以上は9地域中7地域（40%以上は5地域）となっている。

属性別集計（家族構成別）

		家族構成						その他
		単身世帯	夫婦のみ	二世代世帯	(うち中学生以下の子と同居)	三世代世帯	(うち中学生以下の子と同居)	
標本数（件）		79	178	270	(89)	132	(81)	16
不安を感じるところ(%)	経済的な不安	58.2	50.0	60.7	(69.7)	50.8	(45.7)	56.3
	介護に対する不安	43.0	46.6	40.4	(24.7)	43.2	(48.1)	56.3
	健康上の不安	50.6	41.0	26.7	(13.5)	28.8	(28.4)	37.5
	人口減少に対する不安	17.7	35.4	28.5	(25.8)	40.9	(40.7)	37.5
	地震、豪雨災害に対する不安	25.3	28.1	27.8	(20.2)	18.9	(14.8)	31.3
	雇用の場が少ないことへの不安	19.0	12.9	25.2	(24.7)	28.8	(27.2)	25.0
	子育てに対する不安	3.8	2.2	16.3	(40.4)	20.5	(24.7)	0.0
	防犯、治安に対する不安	7.6	5.1	5.2	(7.9)	6.1	(3.7)	6.3
	伝染病、感染症に対する不安	5.1	5.1	4.8	(3.4)	2.3	(2.5)	6.3
	国際情勢に対する不安	6.3	5.1	3.0	(3.4)	4.5	(7.4)	0.0
	その他	8.9	6.2	6.3	(4.5)	6.1	(7.4)	0.0
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0

【家族構成別】

- ・すべての世帯で「経済的な不安」の割合が最も高い。

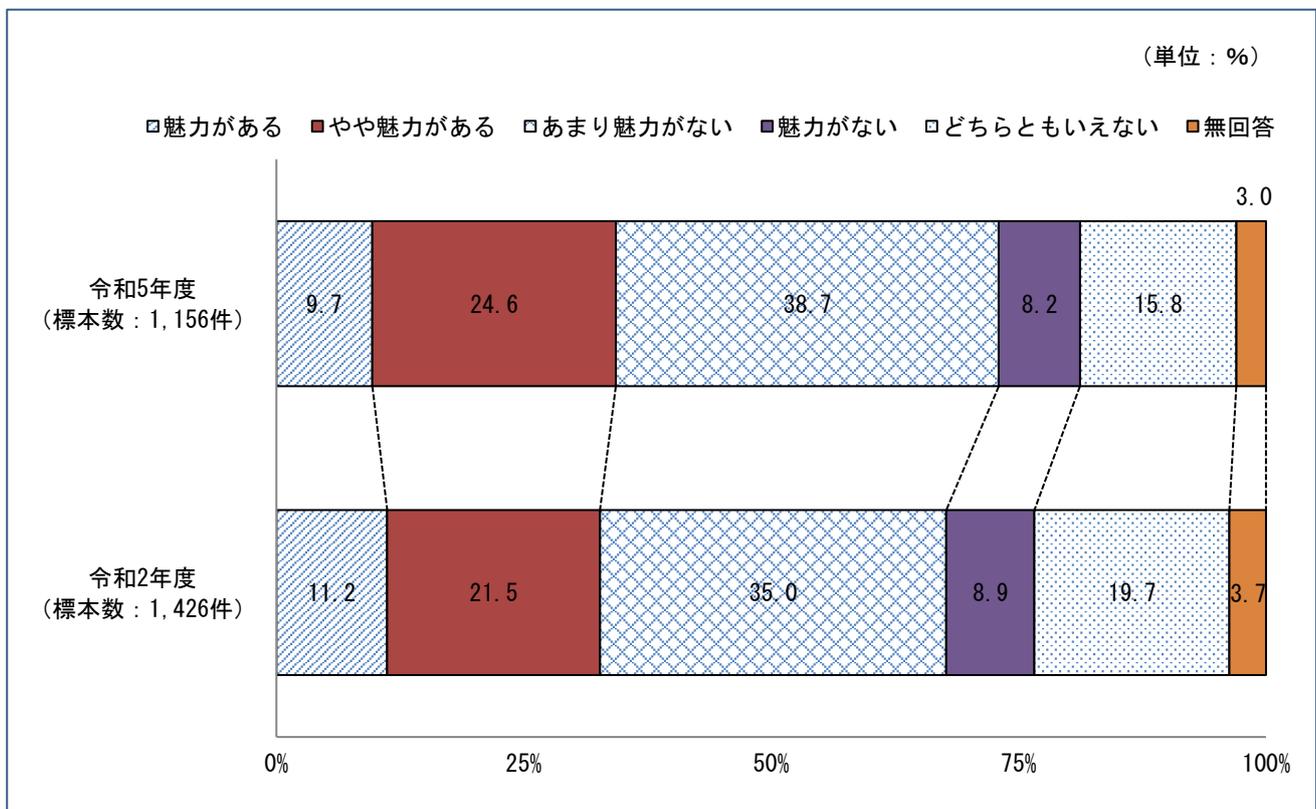
5 働く場としての高山市の魅力

- ・「あまり魅力がない」の割合が最も高い。
- ・「魅力がない」と「あまり魅力がない」を合わせると 46.9%を占めており、前回（R2）の調査結果（43.9%）に比べると 3.0 ポイント低下している。一方で、「魅力がある」と「やや魅力がある」を合わせると 34.3%を占めており、前回（R2、32.7%）と比べると 1.6 ポイント上昇している。

問5 あなたは、働く場としての高山市に魅力を感じますか。（1つに○印）

	回答数 (件)	回答率 (%)
魅力がある	112	9.7
やや魅力がある	284	24.6
あまり魅力がない	447	38.7
魅力がない	95	8.2
どちらともいえない	183	15.8
無回答	35	3.0
計	1,156	

(標本数：1,156件)



属性別集計（性別、年齢別）

		標本数(件)	高山市の働く場としての魅力(%)					
			魅力がある	やや魅力がある	あまり魅力がない	魅力がない	どちらともいえない	無回答
性別	男	486	11.3	27.4	34.8	10.1	14.0	2.5
	女	616	8.0	22.2	42.7	7.0	17.2	2.9
年齢	10代・20代	77	20.8	35.1	22.1	11.7	10.4	0.0
	30代	107	8.4	25.2	43.9	12.1	10.3	0.0
	40代	164	8.5	25.6	42.7	15.2	7.3	0.6
	50代	170	10.6	27.1	45.9	7.1	9.4	0.0
	60代	257	7.4	21.4	50.6	5.8	14.4	0.4
	70代以上	357	9.0	23.2	27.7	5.3	26.1	8.7

【性別】

- ・男女ともに「あまり魅力がない」の割合が最も高い。

【年齢別】

- ・「魅力がある」と「やや魅力がある」を合わせた割合は、10代・20代（55.9%）が最も高く、60代（28.8%）が最も低い。

属性別集計（居住地域別）

		標本数(件)	高山市の働く場としての魅力(%)					無回答
			魅力がある	やや魅力がある	あまり魅力がない	魅力がない	どちらともいえない	
居住地域	高山地域	724	9.7	23.5	41.7	8.0	14.6	2.5
	東地区	49	12.2	20.4	32.7	8.2	22.4	4.1
	西地区	77	10.4	26.0	45.5	5.2	11.7	1.3
	南地区	96	10.4	24.0	38.5	10.4	14.6	2.1
	北地区	126	7.9	24.6	41.3	9.5	15.1	1.6
	山王地区	92	10.9	18.5	46.7	10.9	10.9	2.2
	江名子地区	46	13.0	17.4	37.0	2.2	26.1	4.3
	新宮地区	69	8.7	23.2	43.5	11.6	10.1	2.9
	三枝地区	39	10.3	20.5	38.5	10.3	20.5	0.0
	大八地区	55	9.1	30.9	47.3	1.8	5.5	5.5
	岩滝地区	12	33.3	16.7	8.3	8.3	16.7	16.7
	花里地区	63	1.6	28.6	47.6	4.8	17.5	0.0
	丹生川地域	51	15.7	27.5	33.3	7.8	13.7	2.0
	清見地域	39	10.3	30.8	23.1	12.8	15.4	7.7
	荘川地域	25	12.0	8.0	48.0	0.0	24.0	8.0
	一之宮地域	38	2.6	26.3	31.6	21.1	15.8	2.6
	久々野地域	63	11.1	31.7	33.3	3.2	15.9	4.8
	朝日地域	29	6.9	13.8	58.6	6.9	13.8	0.0
	高根地域	17	11.8	23.5	23.5	0.0	35.3	5.9
	国府地域	94	7.4	28.7	30.9	10.6	18.1	4.3
上宝・奥飛驒温泉郷地域	45	8.9	26.7	35.6	4.4	22.2	2.2	

【居住地域別】

- ・「魅力がある」と「やや魅力がある」を合わせた割合は、岩滝地区（50.0%）が最も高く、次いで丹生川地域（43.2%）、久々野地域（42.8%）が高い。一方、荘川地域（20.0%）が最も低く、次いで朝日地域（20.7%）、一之宮地域（28.9%）が低い。

属性別集計（職業別）

		標本数(件)	高山市の働く場としての魅力(%)					無回答
			魅力がある	やや魅力がある	あまり魅力がない	魅力がない	どちらともいえない	
職業	農林畜産業	73	13.7	41.1	23.3	4.1	16.4	1.4
	自営業	118	19.5	26.3	33.9	7.6	12.7	0.0
	会社員・公務員・団体職員	377	11.1	28.1	42.7	11.1	6.4	0.5
	パート・アルバイト・内職	189	4.2	23.3	50.3	4.2	17.5	0.5
	家事従事者	53	1.9	17.0	41.5	7.5	24.5	7.5
	学生	9	22.2	22.2	44.4	0.0	11.1	0.0
	無職	282	5.3	18.4	33.7	8.9	25.9	7.8
	その他	23	13.0	26.1	34.8	8.7	17.4	0.0

【職業別】

- ・「魅力がある」と「やや魅力がある」を合わせた割合は、農林畜産業（54.8%）が最も高く、家事従事者（18.9%）が最も低い。

5-2 働く場としての魅力がない理由

- ・「給与水準が低い」の割合が最も高い。
- ・1位から3位までの順位は、前回（R2）の調査結果と同じである。
- ・前回（R2）の調査結果に比べ、「雇用の場が少ない」と「職種が少ない」の割合が低下している。

問5-2 問5で、「魅力がない」または「あまり魅力がない」に○をつけた方に伺います。その理由はなんですか。（2つまで○印）

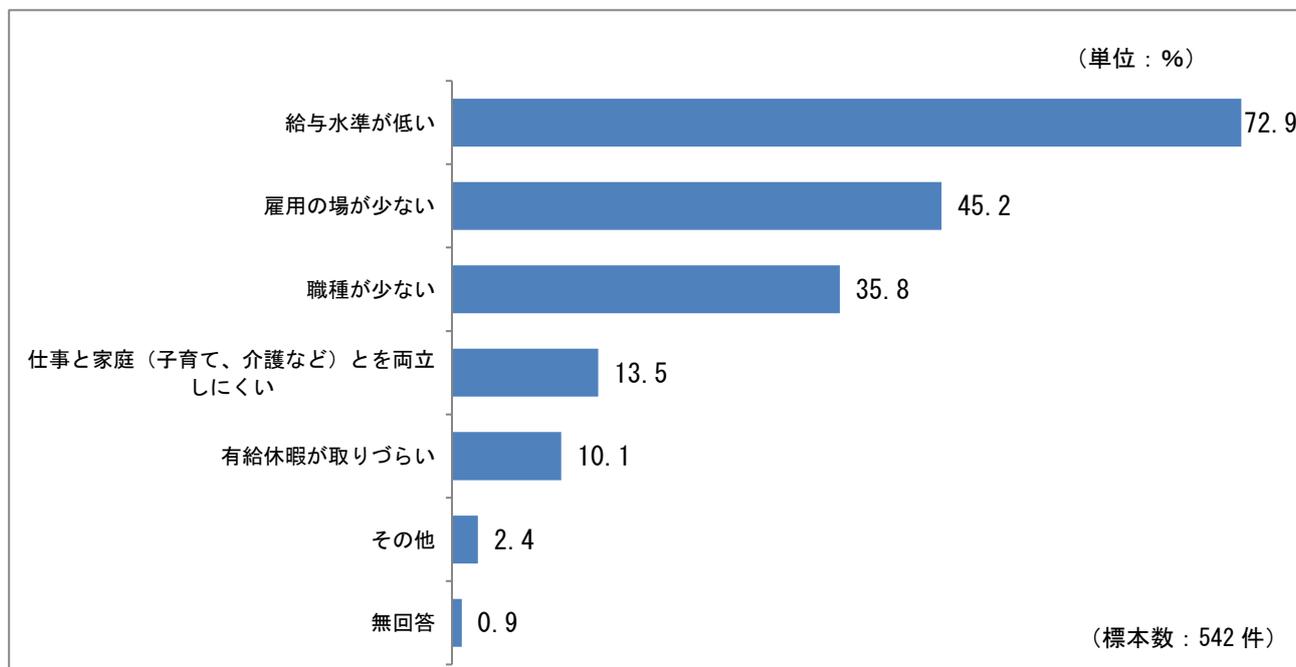
順位		回答数 (件)	回答率 (%)	前回 (R2)	
				順位	回答率 (%)
1	給与水準が低い	395	72.9	1	72.0
2	雇用の場が少ない	245	45.2	2	56.4
3	職種が少ない	194	35.8	3	44.6
4	仕事と家庭（子育て、介護など）とを両立しにくい	73	13.5	5	8.3
5	有給休暇が取りづらい	55	10.1	4	10.7
	その他	13	2.4		3.4
	無回答	5	0.9		0.5
計		980			

(標本数 : 542 件)

(標本数 : 626 件)

※「その他」内容

- ・「若者が働きたくなる環境づくり（魅力ある企業の誘致など）」 など



属性別集計（性別、年齢別）

		標本数(件)	働く場としての魅力がない理由(%)						
			給与水準が低い	雇用の場が少ない	職種が少ない	仕事と家庭とを両立しにくい	有給休暇が取りづらい	その他	無回答
性別	男	218	74.3	50.9	35.8	10.1	10.6	1.8	0.5
	女	306	72.9	40.2	35.3	16.0	10.1	2.9	1.0
年齢	10代・20代	26	76.9	34.6	34.6	11.5	3.8	3.8	0.0
	30代	60	73.3	25.0	36.7	21.7	10.0	5.0	1.7
	40代	95	76.8	31.6	33.7	20.0	14.7	2.1	0.0
	50代	90	84.4	38.9	37.8	6.7	15.6	1.1	0.0
	60代	145	66.9	53.8	36.6	13.1	9.7	2.1	2.1
	70代以上	118	66.9	61.9	33.9	10.2	4.2	1.7	0.8

【性別】

- ・男性、女性とも「給与水準が低い」の割合が最も高く、次いで「雇用の場が少ない」、「職種が少ない」の割合が高い。

【年齢別】

- ・全ての年代において「給与水準が低い」の割合が最も高い。

属性別集計（居住地域別）

		標本数（件）	働く場としての魅力がない理由（％）						
			給与水準が低い	雇用の場が少ない	職種が少ない	仕事と家庭とを両立しにくい	有給休暇が取りづらい	その他	無回答
居住地域	高山地域	360	75.3	44.7	33.1	13.1	10.6	2.5	0.6
	東地区	20	80.0	55.0	35.0	10.0	0.0	0.0	0.0
	西地区	39	84.6	43.6	25.6	12.8	2.6	5.1	2.6
	南地区	47	76.6	51.1	40.4	8.5	8.5	2.1	0.0
	北地区	64	75.0	40.6	34.4	21.9	10.9	1.6	0.0
	山王地区	53	66.0	41.5	45.3	9.4	9.4	3.8	1.9
	江名子地区	18	72.2	50.0	44.4	0.0	5.6	0.0	0.0
	新宮地区	38	81.6	34.2	23.7	10.5	21.1	2.6	0.0
	三枝地区	19	73.7	42.1	15.8	31.6	5.3	0.0	0.0
	大八地区	27	63.0	66.7	29.6	3.7	14.8	0.0	0.0
	岩滝地区	2	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	花里地区	33	81.8	36.4	24.2	18.2	21.2	6.1	0.0
	丹生川地域	21	71.4	52.4	19.0	19.0	9.5	0.0	4.8
	清見地域	14	85.7	35.7	28.6	14.3	14.3	0.0	0.0
	荘川地域	12	50.0	58.3	33.3	25.0	8.3	0.0	0.0
	一之宮地域	20	65.0	40.0	55.0	10.0	15.0	0.0	0.0
	久々野地域	23	69.6	39.1	43.5	13.0	4.3	4.3	4.3
	朝日地域	19	47.4	47.4	68.4	15.8	5.3	5.3	0.0
	高根地域	4	100.0	100.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	国府地域	39	87.2	38.5	41.0	12.8	10.3	2.6	0.0
上宝・奥飛騨温泉郷地域	18	33.3	72.2	38.9	16.7	5.6	5.6	0.0	

【居住地域別】

- ・「給与水準が低い」の割合が多く地域（地区）で最も高い。

属性別集計（職業別）

		標本数 (件)	働く場としての魅力がない理由(%)						
			給与水準が低い	雇用の場が少ない	職種が少ない	仕事と家庭とを両立しにくい	有給休暇が取りづらい	その他	無回答
職業	農林畜産業	20	25.0	60.0	40.0	35.0	5.0	0.0	0.0
	自営業	49	65.3	46.9	40.8	12.2	2.0	2.0	2.0
	会社員・公務員・団体職員	203	82.3	40.4	35.5	12.8	13.3	2.5	0.0
	パート・アルバイト・内職	103	82.5	39.8	26.2	15.5	9.7	2.9	1.9
	家事従事者	26	65.4	46.2	50.0	11.5	7.7	3.8	0.0
	学生	4	25.0	75.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無職	120	62.5	55.0	35.8	10.8	10.8	1.7	1.7
	その他	10	70.0	30.0	50.0	20.0	10.0	10.0	0.0

【職業別】

- ・農林畜産業と学生以外においては、「給与水準が低い」の割合が最も高い。
- ・農林畜産業と学生は「雇用の場が少ない」の割合が最も高い（学生は「職種が少ない」と同率）。

2 高山市の市政運営について

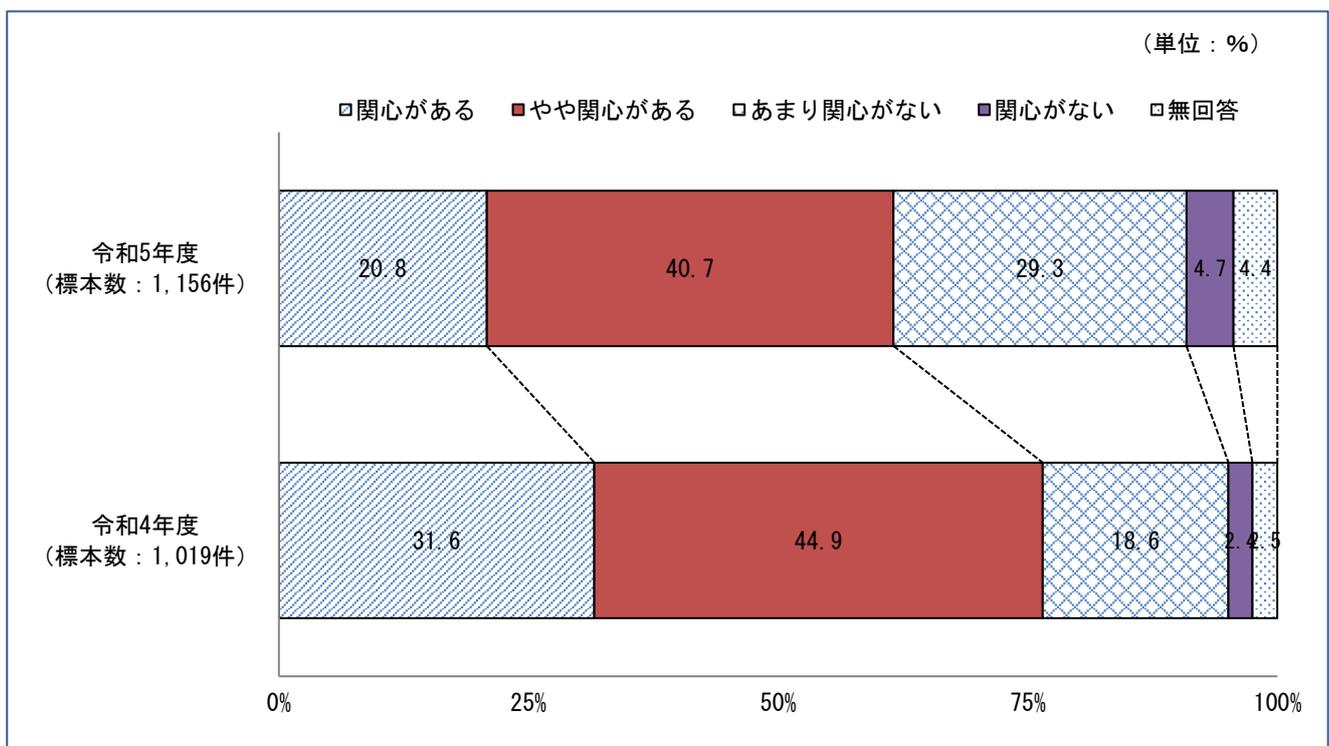
1 市政運営への関心

- ・「やや関心がある」の割合が最も高い。
- ・「関心がある」と「やや関心がある」を合わせると 61.5%を占めているが、前回（R4）の調査結果（76.5%）に比べ 15.0 ポイントと大きく低下している。

問6 あなたは、高山市の市政運営に関心をお持ちですか。（1つに○印）

	回答数 (件)	回答率 (%)
関心がある	241	20.8
やや関心がある	471	40.7
あまり関心がない	339	29.3
関心がない	54	4.7
無回答	51	4.4
計	1,156	

(標本数：1,156件)



属性別集計（年齢別）

		標本数 (件)	市政運営の関心 (%)				
			関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	関心がない	無回答
年齢	10代・20代	77	23.4	29.9	39.0	7.8	0.0
	30代	107	16.8	45.8	26.2	10.3	0.9
	40代	164	18.3	38.4	37.2	4.9	1.2
	50代	170	19.4	43.5	28.8	5.3	2.9
	60代	257	20.6	43.2	30.0	3.1	3.1
	70代以上	357	23.0	40.6	24.6	3.1	8.7

【年齢別】

- ・「関心がある」と「やや関心がある」を合わせた割合は、30代と50代以上が60%以上で、10代・20代が53.3%と最も低い。
- ・前回（R4）に比べ、10代・20代は回答者数が増え（54人→77人）、さらに前回は「やや関心がある」（37.0%）が最も高かった。

属性別集計（居住地域別、定住年数別）

		標本数 (件)	市政運営の関心 (%)				
			関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	関心がない	無回答
居住地域	高山地域	724	21.7	39.5	30.0	4.6	4.3
	東地区	49	16.3	36.7	38.8	6.1	2.0
	西地区	77	27.3	40.3	22.1	6.5	3.9
	南地区	96	21.9	41.7	26.0	5.2	5.2
	北地区	126	19.0	42.9	32.5	2.4	3.2
	山王地区	92	21.7	41.3	28.3	1.1	7.6
	江名子地区	46	17.4	47.8	23.9	6.5	4.3
	新宮地区	69	21.7	36.2	31.9	5.8	4.3
	三枝地区	39	20.5	28.2	38.5	10.3	2.6
	大八地区	55	25.5	38.2	32.7	1.8	1.8
	岩滝地区	12	33.3	33.3	25.0	0.0	8.3
	花里地区	63	22.2	34.9	31.7	6.3	4.8
	丹生川地域	51	13.7	33.3	43.1	7.8	2.0
	清見地域	39	38.5	25.6	33.3	2.6	0.0
	荘川地域	25	16.0	56.0	20.0	0.0	8.0
	一之宮地域	38	15.8	42.1	31.6	7.9	2.6
	久々野地域	63	25.4	34.9	31.7	3.2	4.8
	朝日地域	29	13.8	55.2	20.7	6.9	3.4
	高根地域	17	17.6	58.8	11.8	11.8	0.0
	国府地域	94	18.1	46.8	23.4	4.3	7.4
上宝・奥飛騨温泉郷地域	45	13.3	44.4	31.1	4.4	6.7	
定住年数	1年未満	17	29.4	29.4	41.2	0.0	0.0
	1年以上～5年未満	40	17.5	30.0	30.0	17.5	5.0
	5年以上～10年未満	46	21.7	37.0	32.6	2.2	6.5
	10年以上～20年未満	93	23.7	36.6	32.3	6.5	1.1
	20年以上	950	20.4	42.4	28.7	4.0	4.4

【居住地域別】

- ・「関心がある」と「やや関心がある」を合わせた割合は、高根地域（76.4%）が最も高く、次いで荘川地域（72.0%）、朝日地域（69.0%）が高い。一方、丹生川地域（47.0%）が最も低く、次いで三枝地区（48.7%）、東地区（53.0%）が低い。

【定住年数別】

- ・「関心がある」と「やや関心がある」を合わせた割合は、20年以上（62.8%）が最も高く、1年以上～5年未満（47.5%）が最も低い。

2 今後の重要課題

- ・「急激な高齢者の増加への対応」の割合が最も高い。
- ・項目については、前回（R4）の調査結果と比べ順位の変動はあるものの、上位10位内は同じである。
- ・前回（R4）の調査結果に比べ、特に「人口減少への対応」と「道路環境の整備や公共交通の充実」の割合が低下し、「地域経済の活性化」の割合が上昇している

問7 あなたは、今後、高山市がどのようなことに重点的に取り組むべきだとお考えですか。
（3つまで○印）

順位		回答数 (件)	回答率 (%)	前回 (R4)	
				順位	回答率 (%)
1	急激な高齢者の増加への対応	488	42.2	2	39.6
2	医療・福祉サービスの確保	469	40.6	1	43.5
3	少子化対策	357	30.9	3	32.4
4	人口減少への対応	349	30.2	4	28.6
5	雇用の場の創出	226	19.6	6	23.0
6	地域経済の活性化	197	17.0	7	22.0
7	地震や豪雨災害などへの備え	169	14.6	5	23.2
8	道路環境の整備や公共交通の充実	126	10.9	8	10.5
9	農林畜産業の振興	105	9.1	10	9.1
10	地域力の向上や魅力ある地域づくり	102	8.8	9	9.7
11	自然環境の保全	95	8.2	11	8.5
12	学校教育や生涯学習の充実	90	7.8	12	7.6
13	観光の振興	67	5.8	14	7.3
14	安全安心の確保	64	5.5	13	7.5
15	効率的で持続可能な行財政運営の推進	57	4.9	16	4.1
16	自然エネルギーへの転換	54	4.7	15	5.0
17	伝統文化の保存・活用	51	4.4	17	3.6
18	文化芸術の振興	28	2.4	20	1.2
19	海外戦略	26	2.2	19	1.5
20	郷土への誇り・愛着の醸成	23	2.0	18	3.1
	その他	33	2.9		1.6
	無回答	13	1.1		0.8
	計	3,189			

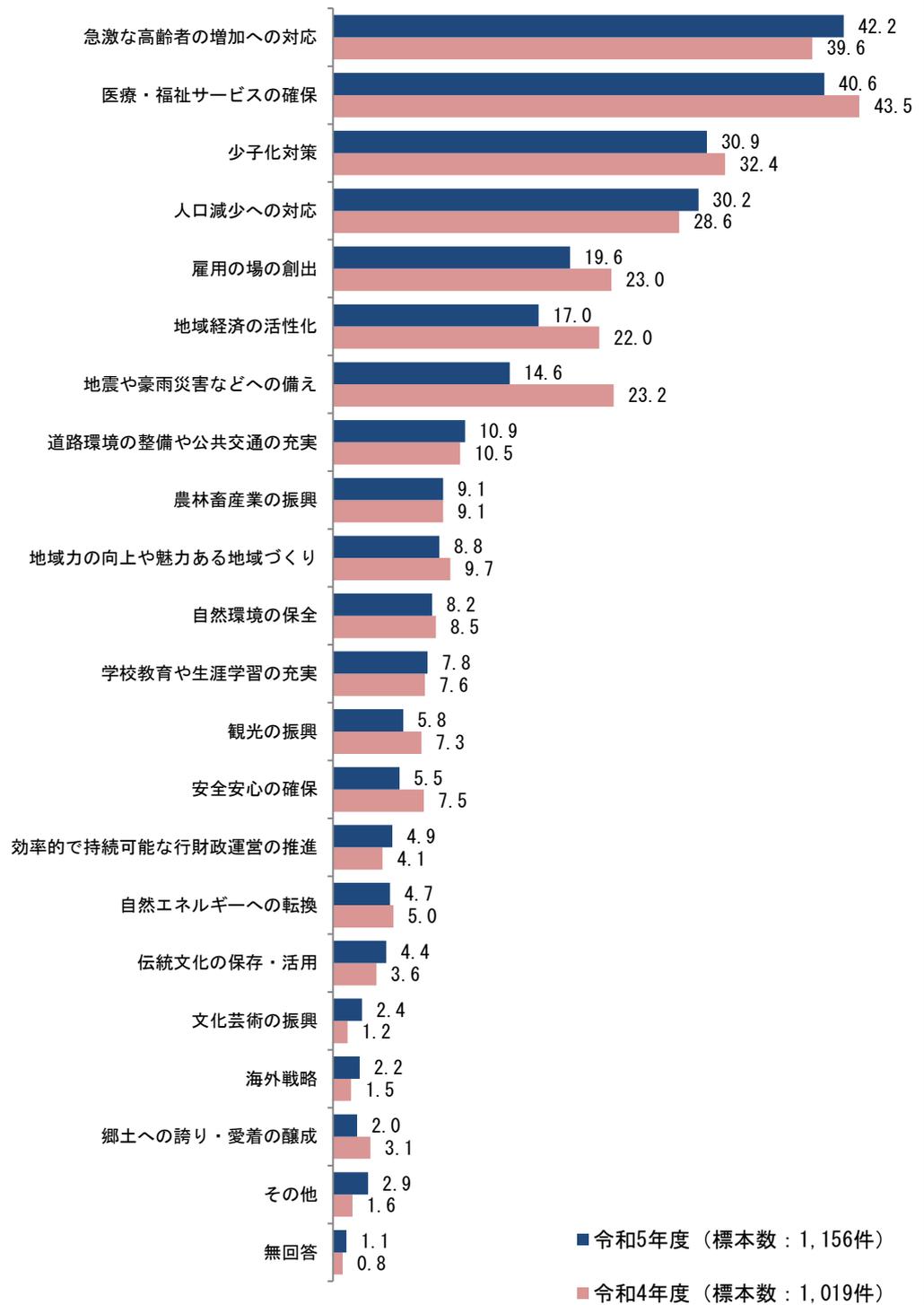
(標本数：1,156件)

(標本数:1,019件)

※「その他」内容

- ・「公園等の市民が楽しめる場所の整備」、「市民生活向上のための行政運営」 など

(単位：%)



属性別集計（年齢別）

		年齢					
		10代・20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
標本数（件）		77	107	164	170	257	357
今後の重要課題（%）	急激な高齢者の増加への対応	11.7	29.0	32.9	45.3	45.5	52.9
	医療・福祉サービスの確保	26.0	38.3	39.0	45.9	43.6	42.0
	少子化対策	51.9	58.9	39.6	27.1	26.1	19.9
	人口減少への対応	15.6	26.2	25.0	30.6	26.1	39.5
	雇用の場の創出	16.9	19.6	23.8	25.3	21.0	13.4
	地域経済の活性化	16.9	14.0	23.2	17.6	17.5	14.3
	地震や豪雨災害などへの備え	14.3	9.3	14.0	13.5	16.7	16.0
	道路環境の整備や公共交通の充実	9.1	9.3	9.8	12.9	10.9	11.5
	農林畜産業の振興	9.1	2.8	11.0	5.3	12.5	9.8
	地域力の向上や魅力ある地域づくり	9.1	8.4	8.5	7.1	9.7	9.0
	自然環境の保全	6.5	5.6	11.0	5.9	9.3	8.7
	学校教育や生涯学習の充実	10.4	16.8	14.6	4.1	6.6	4.2
	観光の振興	11.7	3.7	7.9	4.1	4.3	6.2
	安全安心の確保	5.2	2.8	2.4	3.5	5.8	7.3
	効率的で持続可能な行財政運営の推進	3.9	4.7	5.5	5.3	4.7	5.0
	自然エネルギーへの転換	5.2	1.9	6.7	6.5	5.4	2.8
	伝統文化の保存・活用	5.2	0.9	4.9	4.1	5.8	4.5
	文化芸術の振興	3.9	1.9	2.4	2.9	1.6	2.5
	海外戦略	3.9	2.8	3.7	1.2	1.2	2.5
郷土への誇り・愛着の醸成	2.6	0.9	3.0	1.2	1.2	2.8	
その他	0.0	3.7	3.0	5.3	2.7	1.7	
無回答	0.0	0.9	0.0	0.6	0.8	2.2	

【年齢別】

- ・ 40代以下は「少子化対策」の割合が最も高い。
- ・ 50代は「医療・福祉サービスの確保」の割合が最も高い。
- ・ 60代以上は「急激な高齢者の増加への対応」の割合が最も高い。

属性別集計（居住地域別）

		居住地域											
		高山地域	東地区	西地区	南地区	北地区	山王地区	江名子地区	新宮地区	三枝地区	大八地区	岩滝地区	花里地区
標本数（件）		724	49	77	96	126	92	46	69	39	55	12	63
今後の重要課題（％）	急激な高齢者の増加への対応	42.4	40.8	39.0	38.5	48.4	46.7	41.3	34.8	46.2	36.4	58.3	44.4
	医療・福祉サービスの確保	40.3	42.9	36.4	36.5	40.5	52.2	39.1	42.0	33.3	45.5	33.3	31.7
	少子化対策	30.5	34.7	32.5	30.2	31.0	28.3	28.3	29.0	28.2	23.6	25.0	39.7
	人口減少への対応	26.5	28.6	33.8	30.2	25.4	22.8	19.6	20.3	28.2	36.4	25.0	20.6
	雇用の場の創出	20.0	18.4	15.6	21.9	27.0	17.4	13.0	23.2	10.3	23.6	16.7	19.0
	地域経済の活性化	17.7	14.3	14.3	17.7	15.1	23.9	17.4	21.7	23.1	14.5	16.7	15.9
	地震や豪雨災害などへの備え	15.2	12.2	19.5	11.5	11.1	21.7	10.9	18.8	20.5	16.4	8.3	12.7
	道路環境の整備や公共交通の充実	9.4	2.0	6.5	8.3	8.7	8.7	13.0	17.4	5.1	14.5	0.0	11.1
	農林畜産業の振興	7.7	6.1	6.5	7.3	5.6	10.9	8.7	8.7	12.8	7.3	16.7	4.8
	地域力の向上や魅力ある地域づくり	7.2	14.3	3.9	8.3	5.6	12.0	6.5	5.8	5.1	5.5	16.7	3.2
	自然環境の保全	8.6	8.2	7.8	13.5	8.7	6.5	6.5	8.7	12.8	5.5	0.0	7.9
	学校教育や生涯学習の充実	8.6	4.1	3.9	12.5	6.3	13.0	4.3	10.1	5.1	5.5	16.7	14.3
	観光の振興	5.5	6.1	7.8	8.3	6.3	6.5	4.3	4.3	2.6	0.0	0.0	4.8
	安全安心の確保	6.8	2.0	10.4	6.3	4.8	8.7	6.5	5.8	7.7	7.3	0.0	9.5
	効率的で持続可能な行財政運営の推進	5.7	4.1	7.8	4.2	4.0	7.6	8.7	1.4	5.1	9.1	16.7	4.8
	自然エネルギーへの転換	4.6	0.0	7.8	3.1	3.2	2.2	6.5	7.2	5.1	5.5	0.0	7.9
	伝統文化の保存・活用	4.7	0.0	6.5	7.3	3.2	7.6	4.3	4.3	2.6	3.6	0.0	4.8
	文化芸術の振興	3.0	0.0	3.9	4.2	5.6	3.3	0.0	1.4	0.0	5.5	0.0	1.6
	海外戦略	2.3	0.0	2.6	4.2	3.2	2.2	4.3	1.4	0.0	1.8	0.0	1.6
	郷土への誇り・愛着の醸成	1.8	0.0	0.0	2.1	1.6	2.2	4.3	0.0	0.0	7.3	8.3	0.0
その他	2.5	4.1	3.9	2.1	0.0	1.1	2.2	1.4	2.6	3.6	8.3	6.3	
無回答	1.7	0.0	1.3	1.0	2.4	1.1	6.5	1.4	0.0	1.8	0.0	1.6	

属性別集計（居住地域別）

		居住地域								
		丹生川地域	清見地域	荘川地域	一之宮地域	久々野地域	朝日地域	高根地域	国府地域	上宝・奥飛驒温泉郷地域
標本数（件）		51	39	25	38	63	29	17	94	45
今後の重要課題（％）	急激な高齢者の増加への対応	37.3	46.2	60.0	44.7	31.7	58.6	35.3	43.6	40.0
	医療・福祉サービスの確保	39.2	30.8	40.0	50.0	42.9	31.0	41.2	45.7	40.0
	少子化対策	31.4	33.3	36.0	23.7	36.5	37.9	17.6	29.8	26.7
	人口減少への対応	23.5	41.0	56.0	26.3	38.1	51.7	64.7	35.1	37.8
	雇用の場の創出	17.6	17.9	24.0	18.4	20.6	20.7	11.8	20.2	13.3
	地域経済の活性化	11.8	20.5	0.0	15.8	17.5	20.7	29.4	18.1	20.0
	地震や豪雨災害などへの備え	15.7	10.3	4.0	21.1	17.5	13.8	17.6	13.8	8.9
	道路環境の整備や公共交通の充実	21.6	10.3	4.0	21.1	9.5	3.4	17.6	10.6	31.1
	農林畜産業の振興	11.8	17.9	4.0	5.3	14.3	3.4	17.6	12.8	17.8
	地域力の向上や魅力ある地域づくり	7.8	5.1	20.0	15.8	12.7	20.7	23.5	8.5	11.1
	自然環境の保全	11.8	10.3	12.0	15.8	3.2	0.0	5.9	5.3	8.9
	学校教育や生涯学習の充実	9.8	2.6	4.0	7.9	4.8	17.2	5.9	5.3	6.7
	観光の振興	7.8	2.6	4.0	5.3	7.9	3.4	0.0	5.3	11.1
	安全安心の確保	2.0	5.1	4.0	7.9	0.0	0.0	0.0	2.1	2.2
	効率的で持続可能な行財政運営の推進	2.0	5.1	0.0	5.3	6.3	0.0	5.9	4.3	0.0
	自然エネルギーへの転換	5.9	2.6	4.0	2.6	3.2	3.4	0.0	8.5	4.4
	伝統文化の保存・活用	3.9	7.7	8.0	2.6	4.8	0.0	5.9	3.2	4.4
	文化芸術の振興	2.0	0.0	4.0	2.6	0.0	0.0	0.0	3.2	0.0
	海外戦略	0.0	2.6	0.0	5.3	1.6	0.0	0.0	0.0	4.4
郷土への誇り・愛着の醸成	2.0	0.0	0.0	0.0	3.2	10.3	5.9	3.2	0.0	
その他	3.9	2.6	0.0	2.6	1.6	3.4	5.9	2.1	8.9	
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

【居住地域別】

- ・全20地域（地区）中11地域で「急激な高齢者の増加への対応」の割合が最も高い。それ以外の地域では「医療・福祉サービスの確保」の割合が最も高い。（上宝・奥飛驒温泉郷地域においては両課題が同率）

属性別集計（家族構成別）

		家族構成						
		単身世帯	夫婦のみ	二世帯世帯	(うち中学生以下の子と同居)	三世帯世帯	(うち中学生以下の子と同居)	その他
標本数（件）		145	284	431	(144)	238	(138)	32
今後の重要課題（％）	急激な高齢者の増加への対応	47.6	47.5	37.6	(34.0)	41.2	(40.6)	37.5
	医療・福祉サービスの確保	38.6	43.3	39.4	(32.6)	41.2	(41.3)	40.6
	少子化対策	26.2	26.1	35.5	(55.6)	34.5	(39.9)	18.8
	人口減少への対応	24.1	30.3	30.4	(25.0)	31.5	(31.2)	25.0
	雇用の場の創出	16.6	13.7	22.3	(21.5)	22.3	(20.3)	21.9
	地域経済の活性化	11.7	17.6	18.8	(19.4)	18.1	(21.0)	3.1
	地震や豪雨災害などへの備え	16.6	16.5	17.2	(11.8)	8.4	(4.3)	9.4
	道路環境の整備や公共交通の充実	11.0	14.1	11.4	(8.3)	7.6	(8.0)	6.3
	農林畜産業の振興	7.6	8.1	8.8	(6.9)	10.1	(11.6)	21.9
	地域力の向上や魅力ある地域づくり	9.0	9.2	6.7	(4.2)	11.8	(13.8)	15.6
	自然環境の保全	9.7	9.5	6.5	(4.9)	8.0	(5.8)	15.6
	学校教育や生涯学習の充実	6.2	4.9	7.7	(16.0)	12.2	(13.8)	6.3
	観光の振興	5.5	6.0	4.9	(3.5)	6.7	(5.1)	12.5
	安全安心の確保	10.3	4.6	5.3	(3.5)	2.5	(2.2)	12.5
	効率的で持続可能な行財政運営の推進	4.8	6.0	4.9	(4.2)	3.4	(2.9)	12.5
	自然エネルギーへの転換	8.3	3.9	4.9	(3.5)	3.4	(4.3)	6.3
	伝統文化の保存・活用	4.8	3.9	4.4	(3.5)	4.6	(3.6)	3.1
	文化芸術の振興	2.1	1.4	2.1	(2.1)	3.8	(2.2)	6.3
	海外戦略	2.1	1.4	1.9	(0.7)	2.9	(4.3)	6.3
	郷土への誇り・愛着の醸成	2.8	1.1	1.6	0.0	2.5	(2.9)	3.1
その他	0.7	2.8	3.5	(4.2)	3.8	(4.3)	0.0	
無回答	2.8	1.1	0.0	0.0	1.7	(2.9)	3.1	

【家族構成別】

- ・二世帯世帯と三世帯世帯では「医療・福祉サービスの確保」の割合が最も多い。それ以外の家族構成では「急激な高齢者の増加への対応」の割合が最も高い（三世帯世帯においては両課題が同率）。

属性別集計（職業別）

		職業							
		農林畜産業	自営業	会社員・公務員・団体職員	パート・アルバイト・内職	家事従事者	学生	無職	その他
標本数（件）		73	118	377	189	53	9	282	23
今後の重要課題（％）	急激な高齢者の増加への対応	27.4	40.7	35.3	43.9	45.3	11.1	56.0	34.8
	医療・福祉サービスの確保	24.7	32.2	39.0	44.4	54.7	66.7	44.7	43.5
	少子化対策	37.0	33.1	40.8	29.6	22.6	11.1	20.6	26.1
	人口減少への対応	39.7	35.6	25.5	26.5	35.8	11.1	33.0	26.1
	雇用の場の創出	15.1	16.9	24.7	21.2	13.2	11.1	15.6	17.4
	地域経済の活性化	23.3	29.7	17.8	14.8	9.4	11.1	12.8	17.4
	地震や豪雨災害などへの備え	12.3	16.1	11.9	16.4	17.0	11.1	16.0	13.0
	道路環境の整備や公共交通の充実	15.1	6.8	11.9	10.6	15.1	0.0	9.9	8.7
	農林畜産業の振興	45.2	7.6	5.6	9.0	5.7	11.1	6.4	0.0
	地域力の向上や魅力ある地域づくり	8.2	9.3	8.2	8.5	11.3	0.0	9.2	17.4
	自然環境の保全	9.6	11.9	5.8	9.0	3.8	11.1	9.2	4.3
	学校教育や生涯学習の充実	5.5	5.1	10.3	7.9	1.9	22.2	5.7	13.0
	観光の振興	5.5	7.6	6.1	5.8	7.5	0.0	3.5	8.7
	安全安心の確保	6.8	5.9	4.0	4.8	5.7	0.0	6.7	0.0
	効率的で持続可能な行財政運営の推進	4.1	5.9	6.1	4.8	1.9	0.0	3.9	8.7
	自然エネルギーへの転換	4.1	4.2	5.8	6.3	5.7	0.0	2.5	4.3
	伝統文化の保存・活用	4.1	6.8	2.9	5.8	1.9	11.1	4.6	0.0
	文化芸術の振興	1.4	4.2	1.9	2.1	1.9	0.0	2.1	8.7
	海外戦略	0.0	4.2	2.9	1.1	1.9	0.0	1.8	0.0
	郷土への誇り・愛着の醸成	1.4	0.8	1.6	3.2	0.0	11.1	1.8	0.0
その他	4.1	3.4	2.1	4.2	7.5	0.0	1.1	13.0	
無回答	1.4	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	2.5	0.0	

【職業別】

- ・パート・アルバイト・内職と家事従事者、学生、その他は「医療・福祉サービスの確保」の割合が最も高い。
- ・自営業と無職は「急激な高齢者の増加への対応」の割合が最も高い。
- ・農林畜産業は「農林畜産業の振興」の割合が、会社員・公務員・団体職員、は「少子化対策」の割合がそれぞれ最も高い。

属性別集計（定住年数別）

		定住年数				
		1年未満	1年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～20年未満	20年以上
標本数（件）		17	40	46	93	950
今後の重要課題（％）	急激な高齢者の増加への対応	29.4	22.5	30.4	35.5	44.6
	医療・福祉サービスの確保	35.3	30.0	28.3	36.6	42.2
	少子化対策	29.4	45.0	54.3	35.5	28.8
	人口減少への対応	11.8	20.0	21.7	23.7	32.0
	雇用の場の創出	11.8	20.0	8.7	19.4	20.4
	地域経済の活性化	17.6	12.5	17.4	11.8	17.8
	地震や豪雨災害などへの備え	11.8	12.5	10.9	15.1	14.8
	道路環境の整備や公共交通の充実	17.6	2.5	13.0	9.7	11.3
	農林畜産業の振興	5.9	5.0	8.7	6.5	9.6
	地域力の向上や魅力ある地域づくり	5.9	12.5	10.9	3.2	9.3
	自然環境の保全	35.3	10.0	2.2	6.5	8.1
	学校教育や生涯学習の充実	23.5	10.0	10.9	8.6	7.2
	観光の振興	11.8	10.0	2.2	6.5	5.4
	安全安心の確保	5.9	2.5	4.3	3.2	5.7
	効率的で持続可能な行財政運営の推進	0.0	5.0	2.2	2.2	5.5
	自然エネルギーへの転換	5.9	0.0	6.5	7.5	4.5
	伝統文化の保存・活用	5.9	10.0	0.0	4.3	4.4
	文化芸術の振興	0.0	2.5	2.2	2.2	2.5
	海外戦略	0.0	17.5	2.2	3.2	1.5
	郷土への誇り・愛着の醸成	0.0	2.5	0.0	1.1	2.2
その他	0.0	2.5	10.9	3.2	2.5	
無回答	0.0	0.0	4.3	1.1	0.9	

【定住年数別】

- ・ 1年未満と10年以上～20年未満は「医療・福祉サービスの確保」の割合が最も高い。
- ・ 1年以上～10年未満は「少子化対策」の割合が最も高い。
- ・ 20年以上は「急激な高齢者の増加への対応」の割合が最も高い。

3 取り組みの現在の満足度

- ・満足度の高い分野は、高い順に「上下水道」分野（90.0%）、「観光」分野（84.8%）、「消防」分野（83.5%）となっている。
- ・上位3分野について、初回調査（H26）からの順位の変化については下記のとおり
 - 「上下水道」：初回調査の2位以降は1位で順位が高い状態で推移
 - 「観光」：初回調査の4位から、順位が低下（昨年最低11位）したが、今年上昇
 - 「消防」：初回調査の3位から、順位が低下（最低7位）したものの、その後上昇傾向
- ・満足度の低い分野は、低い順に「土地利用」分野（28.9%）、「住宅公園」分野（30.1%）、「商業」分野（32.1%）となっている。
- ・下位3分野について、初回調査（H26）からの順位の変化については下記のとおり
 - 「土地利用」：初回調査以降、下位から2位又は3位で推移
 - 「住宅公園」：初回調査の28位から、最高で26位の時もあったが、低い順位を推移
 - 「商業」：初回調査の33位から、最高で28位の時もあったが、低い順位を推移
- ・前回（R4）の調査結果に比べ、特に「観光」分野、「海外戦略」分野の順位が大きく上昇している。

問8 あなたは、現在の高山市の行政サービスやまちづくりに関して、どのように感じていますか。
（現在の満足度）

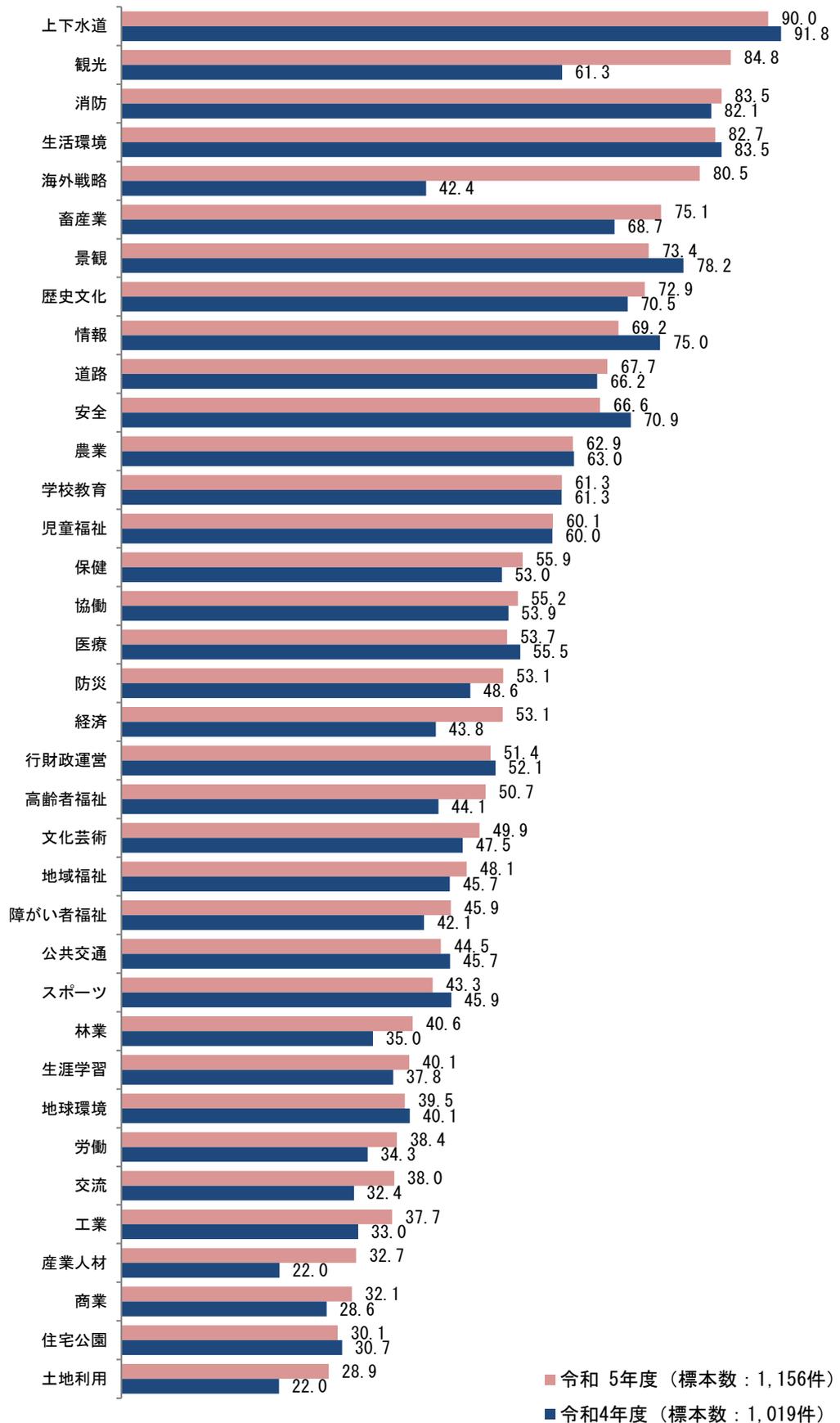
（設問ごとにあてはまる番号にそれぞれ1つに○印）

（満足度の算出方法）

$$\text{満足度} = \frac{\text{「感じている」、「やや感じている」の合計}}{\text{「感じている」、「やや感じている」、「あまり感じない」、「感じていない」の合計}}$$

順位	満足度 (%)	分野	設問	回答数 (件)					前回調査 (R4)	
			満足度指標	感じている	やや感じている	あまり感じない	感じていない	無回答	順位	満足度 (%)
1	90.0%	上下水道	あなたは、「安全でおいしい水が提供され、污水处理が適切に行われている」と感じていますか。	602	418	87	26	23	1	91.8%
2	84.8%	観光	あなたは、「観光客で市内がにぎわい、観光産業が活性化している」と感じていますか。	461	500	140	32	23	11	61.3%
3	83.5%	消防	あなたは、「消防・救急救助体制が整っている」と感じていますか。	397	551	163	24	21	3	82.1%
4	82.7%	生活環境	あなたは、「ごみ処理や分別収集が適切に行われ、良好な生活環境が保たれている」と感じていますか。	412	522	152	44	26	2	83.5%
5	80.5%	海外戦略	あなたは、「外国人で市内がにぎわい、海外との人や物の交流が進んでいる」と感じていますか。	445	464	170	50	27	25	42.4%
6	75.1%	畜産業	あなたは、「地元の畜産物が広く消費され、畜産業が活性化している」と感じていますか。	349	500	224	57	26	8	68.7%
7	73.4%	景観	あなたは、「町並み景観や農山村景観など地域の美しい景観が保たれている」と感じていますか。	311	520	252	49	24	4	78.2%
8	72.9%	歴史文化	あなたは、「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じていますか。	318	501	245	60	32	7	70.5%
9	69.2%	情報	あなたは、「テレビ、ラジオ、インターネットなどを快適に視聴・利用できる環境が整っている」と感じていますか。	326	457	274	75	24	5	75.0%
10	67.7%	道路	あなたは、「安全で快適に移動できる道路環境が整っている」と感じていますか。	243	527	280	88	18	9	66.2%
11	66.6%	安全	あなたは、「犯罪や交通事故などが少なく、安全に暮らせる環境が整っている」と感じていますか。	228	529	322	57	20	6	70.9%
12	62.9%	農業	あなたは、「地元の農産物が広く消費され、農業が活性化している」と感じていますか。	209	497	350	67	33	10	63.0%
13	61.3%	学校教育	あなたは、「学校・家庭・地域が連携した児童生徒の教育環境が整っている」と感じていますか。	192	491	358	73	42	12	61.3%
14	60.1%	児童福祉	あなたは、「子どもが健やかに育つ環境が整っている」と感じていますか。	182	495	351	99	29	13	60.0%
15	55.9%	保健	あなたは、「主体的な健康づくりや病気の予防に取り組む環境が整っている」と感じていますか。	204	430	412	89	21	16	53.0%
16	55.2%	協働	あなたは、「市民、地域、行政が協働してまちづくりに取り組んでいる」と感じていますか。	177	440	415	86	38	15	53.9%
17	53.7%	医療	あなたは、「安心して医療を受けられる環境が整っている」と感じていますか。	208	403	370	157	18	14	55.5%
18	53.1%	防災	あなたは、「災害から命・財産を守るための準備や体制が整っている」と感じていますか。	176	425	438	92	25	18	48.6%
19	53.1%	経済	あなたは、「市内で生産されたものが市内で販売、消費されるなど、地域内で経済が循環している」と感じていますか。	178	421	442	88	27	24	43.8%
20	51.4%	行財政運営	あなたは、「効率的で良質な行政サービスが提供されている」と感じていますか。	164	414	433	114	31	17	52.1%
21	50.7%	高齢者福祉	あなたは、「高齢者が生きがいをもち、安心して暮らせる環境が整っている」と感じていますか。	160	417	447	114	18	23	44.1%
22	49.9%	文化芸術	あなたは、「文化芸術を鑑賞したり、活動が支援されて発表したりできる環境が整っている」と感じていますか。	150	410	435	128	33	19	47.5%
23	48.1%	地域福祉	あなたは、「地域で支え合い、安心して暮らせる環境が整っている」と感じていますか。	135	412	477	114	18	22	45.7%
24	45.9%	障がい者福祉	あなたは、「障がい者が必要な支援を受け、自立して暮らせる環境が整っている」と感じていますか。	135	381	474	135	31	26	42.1%
25	44.5%	公共交通	あなたは、「日常的に利用できる公共交通体系が整っている」と感じていますか。	159	344	386	242	25	21	45.7%
26	43.3%	スポーツ	あなたは、「スポーツをしたり、楽しんだりできる環境が整っている」と感じていますか。	122	364	477	159	34	20	45.9%
27	40.6%	林業	あなたは、「地元の木材が広く利用され、林業・木材産業が活性化している」と感じていますか。	134	321	484	183	34	29	35.0%
28	40.1%	生涯学習	あなたは、「生涯学習に取り組む機会や学習成果を活かすことができる環境が整っている」と感じていますか。	109	340	552	120	35	28	37.8%
29	39.5%	地球環境	あなたは、「自然環境の保全や自然エネルギーの活用をはじめ、地球環境を守る取り組みが進んでいる」と感じていますか。	152	290	544	134	36	27	40.1%
30	38.4%	労働	あなたは、「若者、女性をはじめ、働く意欲のある人の就労の場が確保されている」と感じていますか。	105	325	546	145	35	30	34.3%
31	38.0%	交流	あなたは、「国内外の都市と様々な分野において交流が進んでいる」と感じていますか。	108	315	548	143	42	32	32.4%
32	37.7%	工業	あなたは、「個性・魅力あるものづくりが行われ、工業が活性化している」と感じていますか。	118	305	567	132	34	31	33.0%
33	32.7%	産業人材	あなたは、「地域産業が受け継がれるための人材の確保・後継者育成が進んでいる」と感じていますか。	95	270	581	171	39	35	22.0%
34	32.1%	商業	あなたは、「個性・魅力ある商店経営が行われ、商業が活性化している」と感じていますか。	109	252	532	232	31	34	28.6%
35	30.1%	住宅公園	あなたは、「身近に憩える公園があり、快適な住宅環境が整っている」と感じていますか。	108	231	508	279	30	33	30.7%
36	28.9%	土地利用	あなたは、「保全と開発とのバランスのとれた秩序ある土地利用が行われている」と感じていますか。	104	218	582	212	40	36	22.0%

(単位：%)



属性別集計（年齢別）

		年齢					
		10代・20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
標本数（件）		77	107	164	170	257	357
取り組みに対する満足度（%）	上下水道	96.1	87.7	88.4	92.3	86.9	91.3
	観光	89.6	89.7	82.9	85.2	86.3	81.4
	消防	79.2	73.8	79.9	85.3	83.6	87.8
	生活環境	89.6	79.4	78.7	78.1	81.2	87.4
	海外戦略	85.7	86.9	83.5	88.2	79.6	73.1
	畜産業	88.3	80.4	78.7	81.7	71.8	68.4
	景観	90.9	83.2	73.6	77.6	68.0	68.5
	歴史文化	89.6	70.1	65.2	75.7	66.3	77.4
	情報	76.6	61.7	68.9	66.3	69.6	70.6
	道路	75.3	59.8	64.4	66.5	62.1	73.6
	安全	77.9	62.6	65.2	69.2	60.5	69.1
	農業	80.5	68.9	58.5	65.9	53.4	64.7
	学校教育	66.2	55.7	62.2	63.7	51.2	66.9
	児童福祉	63.6	56.1	54.3	60.0	50.8	69.3
	保健	57.1	52.3	41.5	49.7	49.8	69.6
	協働	70.1	41.1	45.7	55.0	53.4	61.6
	医療	55.8	43.9	39.6	47.9	49.2	68.1
	防災	70.1	50.5	48.8	52.1	42.7	59.3
	経済	77.9	53.3	45.1	56.3	50.6	51.2
	行財政運営	64.9	41.5	39.5	50.6	46.0	60.1
	高齢者福祉	67.5	50.5	40.2	47.6	45.3	55.8
	文化芸術	67.5	46.7	54.3	47.9	39.6	51.7
	地域福祉	63.6	43.9	32.9	45.9	46.8	54.7
	障がい者福祉	57.1	39.3	40.5	45.9	40.5	51.2
	公共交通	53.2	42.5	38.4	37.9	40.1	51.8
	スポーツ	58.4	39.3	37.8	43.8	32.1	51.1
	林業	64.9	56.6	45.7	42.9	27.4	36.1
	生涯学習	67.5	28.3	30.5	33.1	32.4	49.7
	地球環境	70.1	40.2	33.5	36.3	30.4	43.4
	労働	59.7	35.8	27.4	39.9	31.3	43.1
交流	59.7	43.9	36.0	39.1	28.0	38.5	
工業	61.8	40.2	36.6	38.7	28.1	38.1	
産業人材	40.3	27.6	23.8	29.8	28.3	40.3	
商業	61.0	33.6	28.0	34.5	23.4	31.6	
住宅公園	50.6	34.0	28.7	28.2	24.0	30.0	
土地利用	59.7	28.3	29.9	21.3	20.8	31.9	

【年齢別】

- ・30代以外の全ての年代で「上下水道」の割合が最も高い。

属性別集計（居住地域別）

		居住地域（高山地域）											
		高山地域	東地区	西地区	南地区	北地区	山王地区	江名子地区	新宮地区	三枝地区	大八地区	岩滝地区	花里地区
標本数（件）		724	49	77	96	126	92	46	69	39	55	12	63
取り組みに対する満足度（%）	上下水道	91.6	91.8	90.8	92.6	91.1	93.3	91.3	86.6	86.8	96.2	91.7	93.5
	観光	85.9	73.9	88.2	88.4	85.6	88.9	80.4	83.3	89.7	83.0	90.9	90.2
	消防	81.9	77.1	74.7	87.5	77.6	80.2	88.9	87.7	81.6	86.8	90.9	80.6
	生活環境	80.6	89.8	75.0	76.8	79.0	82.4	84.8	81.8	84.2	86.3	91.7	72.6
	海外戦略	81.3	70.2	78.7	86.3	78.4	84.3	71.7	89.4	76.9	86.8	72.7	85.0
	畜産業	76.2	71.7	72.4	77.9	79.0	82.0	73.9	70.1	71.8	79.2	81.8	75.4
	景観	73.6	81.3	70.7	71.6	71.2	79.1	73.9	73.8	73.0	81.1	80.0	62.9
	歴史文化	75.1	78.7	70.7	75.8	73.2	76.9	78.3	75.8	81.6	66.0	81.8	77.0
	情報	69.4	64.6	61.3	72.6	72.0	68.1	71.7	73.8	57.9	69.8	81.8	72.1
	道路	65.6	66.7	63.2	68.4	64.8	62.6	65.2	65.7	65.8	67.9	63.6	67.7
	安全	65.0	70.8	57.3	61.7	68.8	67.0	58.7	66.7	57.9	73.6	90.9	59.7
	農業	63.1	62.2	52.7	63.2	63.7	67.0	67.4	69.7	52.6	69.8	81.8	56.7
	学校教育	58.5	57.4	45.9	54.3	63.4	53.8	64.4	66.2	60.5	63.5	63.6	59.0
	児童福祉	56.2	59.6	45.9	49.0	61.0	52.7	58.7	53.8	53.8	71.7	72.7	59.0
	保健	54.2	63.3	54.7	50.5	53.2	46.2	64.4	59.1	44.7	61.5	63.6	50.8
	協働	51.4	50.0	41.1	47.4	47.5	56.0	63.0	53.1	42.1	49.1	72.7	65.6
	医療	52.1	49.0	41.3	50.5	53.2	48.4	63.0	53.0	56.4	63.5	63.6	50.0
	防災	50.4	42.6	34.7	51.6	55.2	51.1	71.1	50.8	39.5	52.8	80.0	47.5
	経済	51.6	54.3	52.6	46.3	56.1	54.4	52.2	53.0	48.7	58.5	63.6	35.0
	行財政運営	49.3	58.3	45.9	43.8	55.7	44.0	50.0	46.9	47.4	56.6	45.5	47.5
	高齢者福祉	49.2	55.3	47.3	43.8	49.2	46.2	56.5	44.8	51.3	53.8	33.3	57.4
	文化芸術	48.5	45.8	49.3	51.6	48.0	46.2	56.5	47.7	36.8	50.9	50.0	49.2
	地域福祉	44.9	49.0	36.5	43.8	47.2	44.0	47.8	48.5	33.3	49.1	41.7	49.2
	障がい者福祉	45.6	47.9	41.1	47.4	49.2	33.3	56.5	46.0	51.3	49.1	41.7	42.6
	公共交通	45.9	46.8	42.1	44.2	48.0	45.7	52.2	43.9	44.7	43.4	54.5	47.5
	スポーツ	41.4	50.0	42.7	40.0	38.2	40.7	37.0	39.4	47.4	54.7	45.5	32.8
	林業	44.8	45.7	35.6	42.1	48.4	44.3	58.7	51.5	37.8	43.4	41.7	41.0
	生涯学習	38.4	41.7	29.7	41.1	36.9	33.0	43.5	47.7	31.6	34.6	45.5	45.9
	地球環境	36.9	43.5	29.7	31.6	38.5	41.1	45.7	37.5	36.8	39.6	30.0	31.1
	労働	38.2	36.2	25.7	33.7	41.1	35.2	47.8	42.4	39.5	49.1	54.5	35.0
交流	39.6	39.6	29.3	46.3	41.3	41.1	37.0	43.8	36.8	38.0	36.4	37.7	
工業	37.9	34.8	28.0	35.8	37.4	47.2	41.3	37.9	34.2	44.2	63.6	33.3	
産業人材	32.9	38.3	31.5	22.1	37.4	31.8	39.1	34.8	21.1	35.8	60.0	33.3	
商業	31.7	34.8	26.3	28.4	33.9	30.8	26.7	32.3	25.6	42.3	45.5	33.3	
住宅公園	29.8	38.8	30.3	31.6	33.6	23.1	24.4	35.4	21.1	26.9	36.4	26.2	
土地利用	26.4	31.9	14.9	25.3	34.7	22.2	28.3	33.8	16.2	21.6	36.4	26.7	

属性別集計（居住地域別）

		居住地域（支所地域）								
		丹生川地域	清見地域	莊川地域	一之宮地域	久々野地域	朝日地域	高根地域	国府地域	奥飛騨温泉郷地域 上宝
標本数（件）		51	39	25	38	63	29	17	94	45
取り組みに対する満足度（％）	上下水道	88.2	83.8	84.0	86.8	98.3	86.2	86.7	88.0	77.8
	観光	88.2	92.1	83.3	86.1	83.9	82.8	70.6	84.0	70.5
	消防	92.2	86.8	96.0	84.2	91.7	93.1	88.2	79.6	75.6
	生活環境	88.2	89.2	88.0	91.9	86.7	89.7	85.7	83.7	77.8
	海外戦略	88.2	84.2	62.5	83.8	93.5	75.9	64.7	78.3	60.5
	畜産業	78.4	76.3	70.8	66.7	85.2	65.5	58.8	73.1	61.4
	景観	78.4	68.4	80.0	68.4	85.2	55.2	58.8	73.9	59.1
	歴史文化	72.5	73.0	78.3	78.9	70.0	48.3	60.0	67.0	59.1
	情報	76.0	65.8	84.0	60.5	67.2	69.0	64.7	77.2	47.7
	道路	62.7	76.3	88.0	71.1	75.8	79.3	56.3	75.3	45.5
	安全	64.7	71.1	80.0	68.4	63.9	72.4	88.2	72.0	57.8
	農業	74.5	63.2	56.0	51.4	72.6	48.3	52.9	60.4	63.6
	学校教育	66.7	62.2	69.6	69.4	65.0	69.0	78.6	64.4	56.8
	児童福祉	66.0	63.2	70.8	67.6	75.4	55.2	70.6	67.4	54.5
	保健	58.8	68.4	62.5	62.2	53.2	62.1	76.5	52.1	50.0
	協働	62.7	68.4	73.9	52.6	71.2	55.2	71.4	56.7	45.5
	医療	56.9	60.5	79.2	63.2	56.5	51.7	70.6	51.1	35.6
	防災	54.9	65.8	52.0	63.2	65.6	44.8	76.5	58.1	37.8
	経済	62.7	55.3	66.7	40.5	57.4	44.8	64.7	52.7	52.3
	行財政運営	58.0	55.3	58.3	47.4	68.3	48.3	56.3	54.9	44.4
	高齢者福祉	54.9	48.6	64.0	54.1	58.1	48.3	64.7	47.9	42.2
	文化芸術	52.9	47.4	52.2	59.5	58.3	34.5	57.1	48.9	40.9
	地域福祉	43.1	59.5	56.0	59.5	61.3	48.3	58.8	49.5	48.9
	障がい者福祉	58.8	51.4	48.0	37.8	45.9	32.1	64.7	50.0	28.9
	公共交通	35.3	34.2	40.0	44.7	46.7	20.7	68.8	48.4	31.1
	スポーツ	52.0	42.1	43.5	48.6	49.2	31.0	64.3	50.6	31.8
	林業	33.3	36.8	20.0	36.1	42.6	27.6	37.5	32.6	25.0
	生涯学習	50.0	52.6	41.7	51.4	43.3	17.2	66.7	37.8	26.7
	地球環境	46.0	47.4	45.8	43.2	52.5	31.0	47.1	33.0	46.7
	労働	50.0	52.6	45.8	33.3	36.1	27.6	75.0	30.4	27.3
交流	39.2	42.1	26.1	32.4	43.3	37.9	42.9	26.7	23.3	
工業	35.3	47.4	16.7	34.3	46.8	37.9	56.3	32.6	22.7	
産業人材	39.2	42.1	12.5	33.3	33.9	31.0	43.8	30.3	22.7	
商業	33.3	42.1	25.0	22.2	41.0	27.6	31.3	27.2	25.0	
住宅公園	39.2	28.9	33.3	44.7	26.7	17.2	33.3	28.6	11.1	
土地利用	39.2	28.9	37.5	32.4	43.3	31.0	46.7	19.8	22.7	

【居住地域別】

- ・高山地域は、11地区中9地区で「上下水道」の割合が最も高い。
- ・支所地域は、地域によってばらつきがあるものの、9地域中4地域で「消防」の割合が最も高い。

属性別集計（家族構成別）

		家族構成						
		単身世帯	夫婦のみ	二世帯世帯	(うち中学生以下の子と同居)	三世帯世帯	(うち中学生以下の子と同居)	その他
標本数（件）		145	284	431	(144)	238	(138)	32
取り組みに対する満足度（％）	上下水道	93.6	87.4	90.6	(90.2)	91.4	(88.8)	90.6
	観光	89.9	81.2	82.9	(87.4)	91.6	(88.4)	75.0
	消防	84.3	83.9	82.7	(84.6)	84.1	(82.7)	78.1
	生活環境	80.4	81.9	82.4	(83.9)	85.5	(84.4)	81.3
	海外戦略	82.6	74.8	82.8	(87.4)	83.9	(84.8)	75.0
	畜産業	73.7	72.5	76.7	(79.0)	76.8	(75.2)	65.6
	景観	79.4	68.3	76.0	(83.2)	73.3	(69.6)	56.3
	歴史文化	82.4	70.9	71.8	(66.2)	73.1	(65.4)	73.3
	情報	75.7	63.7	68.5	(70.6)	72.4	(72.8)	65.6
	道路	76.6	63.1	65.1	(70.4)	69.8	(69.3)	75.0
	安全	68.6	63.3	64.2	(67.8)	72.3	(67.9)	65.6
	農業	62.2	58.0	63.4	(62.2)	69.0	(68.9)	59.4
	学校教育	64.9	54.6	60.8	(59.9)	66.8	(65.7)	60.0
	児童福祉	58.0	59.1	58.8	(56.6)	64.4	(58.0)	58.1
	保健	63.0	54.7	51.9	(52.4)	59.7	(54.7)	51.6
	協働	54.8	52.9	54.5	(49.3)	60.9	(56.6)	50.0
	医療	65.9	51.1	49.4	(47.6)	55.5	(53.6)	62.5
	防災	57.1	45.7	51.9	(55.2)	59.7	(56.3)	53.1
	経済	60.1	47.8	52.2	(58.2)	53.4	(48.6)	59.4
	行財政運営	60.6	45.0	49.5	(47.2)	53.9	(51.1)	62.5
	高齢者福祉	55.7	48.6	48.4	(51.4)	53.0	(47.1)	56.3
	文化芸術	53.3	45.3	51.3	(53.8)	51.9	(50.0)	43.3
	地域福祉	51.1	47.0	44.9	(41.7)	53.6	(51.4)	48.4
	障がい者福祉	44.5	46.2	45.2	(48.6)	46.8	(36.8)	54.8
	公共交通	49.3	43.1	40.4	(38.0)	48.9	(47.1)	46.9
	スポーツ	51.9	43.1	41.9	(43.7)	41.9	(39.7)	33.3
	林業	42.2	31.4	43.0	(48.6)	44.3	(40.4)	43.8
生涯学習	47.4	37.2	37.0	(35.2)	42.7	(40.0)	37.5	
地球環境	42.6	33.7	39.0	(39.4)	45.9	(41.8)	31.3	
労働	36.6	38.5	36.7	(34.3)	39.1	(33.6)	46.9	
交流	47.0	31.8	37.3	(45.4)	39.7	(36.3)	50.0	
工業	37.0	34.9	39.7	(41.3)	37.4	(32.8)	37.5	
産業人材	31.1	34.9	31.8	(33.1)	30.3	(27.2)	31.3	
商業	40.1	26.9	30.4	(33.6)	34.8	(28.9)	34.4	
住宅公園	32.8	29.3	29.5	(34.0)	30.5	(31.9)	28.1	
土地利用	36.1	23.0	28.3	(33.8)	31.8	(28.9)	28.1	

【家族構成別】

- ・三世帯世帯以外で「上下水道」の割合が最も高い。

属性別集計（職業別）

		職業							その他
		農林畜産業	自営業	会社員・公務員 ・団体職員	パート・アルバイト・内職	家事従事者	学生	無職	
標本数（件）		73	118	377	189	53	9	282	23
取り組みに対する満足度（％）	上下水道	91.7	87.1	91.5	86.2	92.3	88.9	91.9	87.0
	観光	84.7	85.6	86.7	87.8	86.5	100.0	79.4	87.0
	消防	93.1	83.1	75.8	85.7	80.0	100.0	88.6	100.0
	生活環境	87.5	79.5	79.0	80.9	96.1	100.0	85.1	82.6
	海外戦略	88.6	83.1	83.8	84.6	84.3	77.8	70.7	82.6
	畜産業	80.3	81.2	79.0	71.3	78.8	100.0	67.0	73.9
	景観	68.1	66.9	78.5	75.0	71.2	88.9	68.5	82.6
	歴史文化	76.4	72.4	70.4	71.1	78.8	77.8	75.1	81.8
	情報	68.5	66.1	66.8	72.3	72.5	88.9	69.9	73.9
	道路	71.2	65.3	63.4	72.3	61.5	77.8	68.5	78.3
	安全	67.1	69.5	64.9	69.3	61.5	100.0	64.3	78.3
	農業	57.1	61.5	61.3	64.2	60.8	88.9	64.0	78.3
	学校教育	77.8	60.3	57.0	65.6	64.0	66.7	59.8	60.9
	児童福祉	67.1	66.7	51.6	64.4	66.7	77.8	60.8	73.9
	保健	71.8	60.7	41.1	58.0	51.0	88.9	66.2	69.6
	協働	69.4	54.9	49.1	56.1	51.0	66.7	57.8	69.6
	医療	71.8	51.7	42.7	53.2	51.0	77.8	62.9	56.5
	防災	64.4	48.3	50.4	52.7	46.2	77.8	54.5	65.2
	経済	51.4	59.3	52.5	55.9	44.2	66.7	48.7	60.9
	行財政運営	57.5	51.7	44.0	50.0	52.9	77.8	57.4	60.9
	高齢者福祉	60.6	51.7	44.0	51.1	52.9	77.8	53.8	50.0
	文化芸術	59.7	49.1	47.5	50.3	52.9	66.7	48.5	56.5
	地域福祉	59.2	50.8	40.4	50.3	41.2	77.8	51.8	47.6
	障がい者福祉	52.1	50.4	39.2	50.5	50.0	66.7	46.3	50.0
	公共交通	56.9	47.9	39.1	42.0	42.3	55.6	46.6	52.2
	スポーツ	56.9	47.0	38.7	44.6	31.4	55.6	43.8	39.1
	林業	38.0	39.7	41.9	40.4	47.1	77.8	35.9	39.1
	生涯学習	45.8	41.0	32.8	41.7	40.0	66.7	43.9	52.2
	地球環境	45.8	41.4	38.0	42.2	31.4	88.9	36.0	43.5
	労働	45.7	36.2	31.8	39.9	45.1	77.8	41.8	39.1
交流	52.8	38.3	33.7	43.0	43.1	66.7	33.8	39.1	
工業	41.4	31.4	39.3	39.0	36.0	66.7	34.6	39.1	
産業人材	46.4	28.2	25.8	34.2	35.3	44.4	37.9	34.8	
商業	37.7	30.5	34.8	27.7	31.4	44.4	30.5	17.4	
住宅公園	25.4	31.6	30.4	33.0	21.2	55.6	25.9	40.9	
土地利用	30.1	25.0	29.9	27.4	28.6	55.6	26.2	39.1	

【職業別】

・職業よってばらつきがあるものの、「上下水道」と「消防」の割合がそれぞれ高い。

属性別集計（定住年数別）

		定住年数				
		1年未満	1年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 20年未満	20年以上
標本数（件）		17	40	46	93	950
取り組みに対する満足度（％）	上下水道	100.0	92.5	82.2	89.1	90.3
	観光	94.1	97.5	86.7	81.7	84.3
	消防	75.0	87.5	75.6	78.5	84.3
	生活環境	94.1	82.5	73.3	86.7	82.5
	海外戦略	100.0	87.5	82.2	82.8	79.7
	畜産業	88.2	90.0	77.8	80.6	73.7
	景観	100.0	87.5	80.0	74.2	71.9
	歴史文化	100.0	80.0	81.8	71.0	72.0
	情報	58.8	82.5	62.2	72.0	68.7
	道路	76.5	75.0	64.4	73.1	66.7
	安全	58.8	69.2	71.1	64.5	66.6
	農業	62.5	65.0	60.0	65.2	62.5
	学校教育	68.8	60.0	51.2	67.7	61.1
	児童福祉	75.0	60.0	46.7	57.6	60.7
	保健	37.5	50.0	42.2	58.7	56.6
	協働	62.5	42.5	37.8	57.6	56.2
	医療	37.5	47.5	26.7	58.1	55.0
	防災	70.6	57.5	55.6	55.9	51.9
	経済	64.7	52.5	60.0	57.0	52.0
	行財政運営	68.8	50.0	43.2	52.7	51.1
	高齢者福祉	62.5	52.5	44.4	49.5	50.6
	文化芸術	50.0	55.0	43.2	51.1	49.8
	地域福祉	56.3	42.5	31.1	52.7	48.4
	障がい者福祉	50.0	35.0	31.1	57.1	45.7
	公共交通	47.1	47.5	33.3	39.8	45.1
	スポーツ	50.0	50.0	38.6	48.4	42.5
	林業	25.0	52.5	51.1	59.8	37.7
	生涯学習	56.3	35.0	26.7	44.6	40.0
地球環境	52.9	37.5	35.6	47.3	38.7	
労働	43.8	45.0	37.8	50.0	36.7	
交流	52.9	52.5	34.1	46.2	36.3	
工業	50.0	45.0	33.3	51.1	36.0	
産業人材	37.5	35.0	33.3	40.2	31.6	
商業	58.8	52.5	46.7	40.9	28.9	
住宅公園	35.3	35.0	28.9	40.0	28.6	
土地利用	31.3	37.5	24.4	31.9	28.2	

【定住年数別】

- ・1年未満及び10年以上は「上下水道」の割合が最も高く、それ以外の定住年数は「観光」の割合が最も高い（1年未満は複数の分野で割合が同率）。

4 取り組みの今後の重要度

- ・ 重要度の高い分野は、高い順に「消防」分野（97.6%）、「安全」分野・「医療」分野（97.5%）となっている。
- ・ 重要度の低い分野は、低い順に「交流」分野（75.2%）、「海外戦略」分野（80.8%）、「生涯学習」分野（81.9%）となっている。
- ・ 満足度で順位が1位であった「上下水道」分野は、重要度では5位、同じく満足度が2位であった「観光」分野は、重要度では30位となっている。

問8 （あなたは、現在の高山市の行政サービスやまちづくりに関して、どのように感じていますか。）
また、それぞれの取り組みについて、今後どのくらい重要だと思いますか。（今後の重要度）
（設問ごとにあてはまる番号にそれぞれ1つに○印）

（重要度の算出方法）

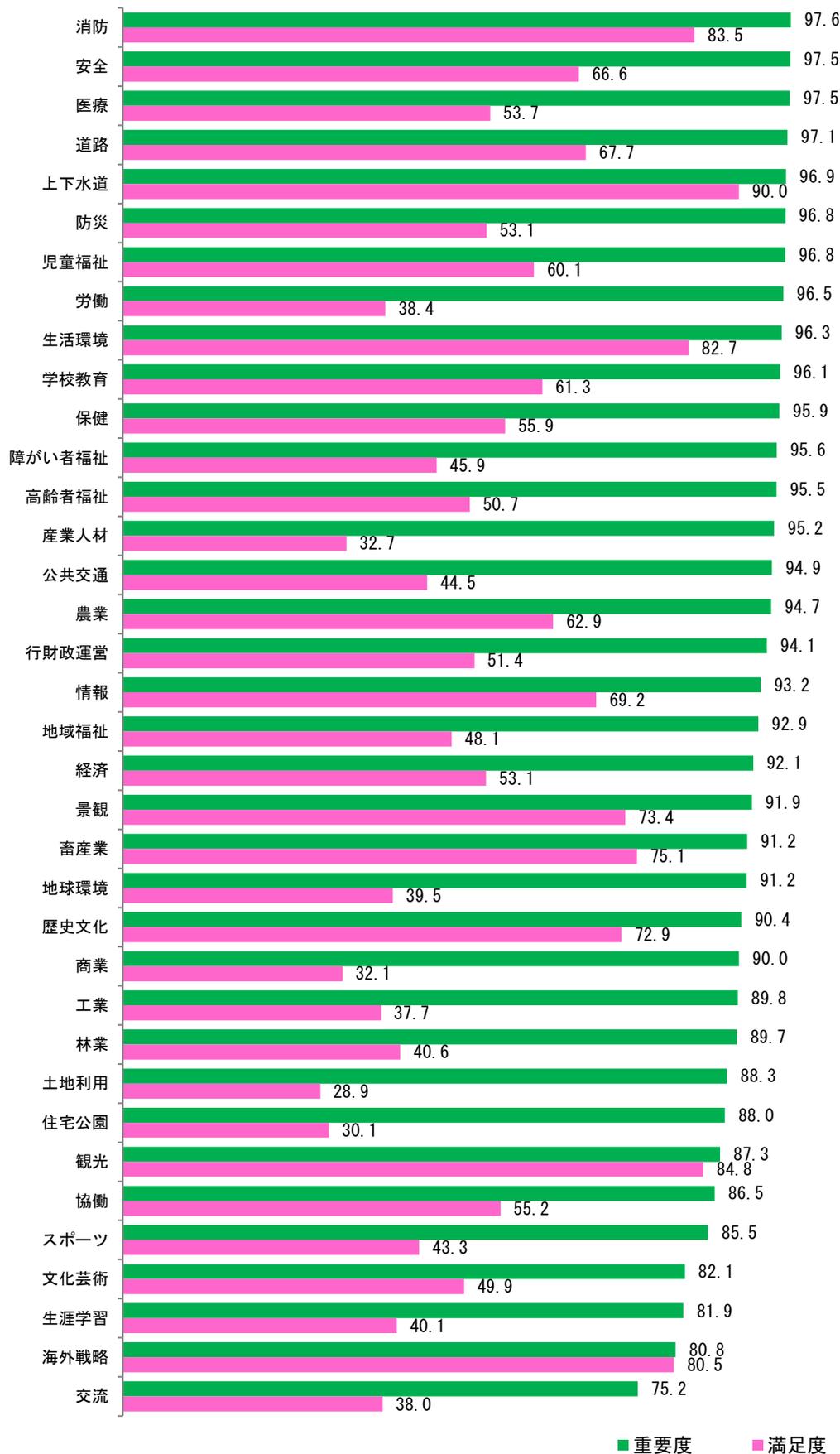
$$\text{重要度} = \frac{\text{「重要である」、「やや重要である」の合計}}{\text{「重要である」、「やや重要である」、「あまり重要でない」、「重要でない」の合計}}$$

※各分野において特に今後、重点的に取り組む必要があると思われる取り組みについては以下のとおりであった。

- ・ 魅力ある公園の整備
- ・ 雇用の場の確保
- ・ 若者が住みやすい環境づくり（魅力ある企業の誘致、支援制度の創設）
- ・ 医療体制の強化（医療施設の充実、医療従事者の確保）
- ・ 災害に備えた防災対策（インフラ整備、迅速な情報提供）
- ・ 人口減少対策
- ・ 子育て世帯に対する支援の充実
- ・ 空家対策
- ・ 効率的な行政運営
- ・ 少子高齢化対策
- ・ まちづくり協議会、町内会のあり方の見直し
- ・ 公共交通の利便性の向上

順位	重要度 (%)	分野	回答数 (件)					参考 (満足度)	
			重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答	順位	満足度 (%)
1	97.6%	消防	890	216	19	8	23	3	83.5%
2	97.5%	安全	830	274	22	6	24	11	66.6%
2	97.5%	医療	941	168	21	8	18	17	53.7%
4	97.1%	道路	793	312	25	8	18	10	67.7%
5	96.9%	上下水道	910	185	28	7	26	1	90.0%
6	96.8%	防災	845	248	29	7	27	18	53.1%
6	96.8%	児童福祉	839	252	23	13	29	14	60.1%
8	96.5%	労働	850	225	28	11	42	30	38.4%
9	96.3%	生活環境	814	269	28	14	31	4	82.7%
10	96.1%	学校教育	772	301	32	12	39	13	61.3%
11	95.9%	保健	756	331	29	17	23	15	55.9%
12	95.6%	障がい者福祉	721	353	37	13	32	24	45.9%
13	95.5%	高齢者福祉	792	292	35	16	21	21	50.7%
14	95.2%	産業人材	755	308	39	15	39	33	32.7%
15	94.9%	公共交通	732	338	49	9	28	25	44.5%
16	94.7%	農業	759	302	44	15	36	12	62.9%
17	94.1%	行財政運営	723	332	53	13	35	20	51.4%
18	93.2%	情報	693	361	56	21	25	9	69.2%
19	92.9%	地域福祉	659	394	62	19	22	23	48.1%
20	92.1%	経済	688	350	74	15	29	19	53.1%
21	91.9%	景観	607	430	75	16	28	7	73.4%
22	91.2%	畜産業	639	390	83	16	28	6	75.1%
23	91.2%	地球環境	658	362	77	22	37	29	39.5%
24	90.4%	歴史文化	580	423	80	27	46	8	72.9%
25	90.0%	商業	593	418	95	17	33	34	32.1%
26	89.8%	工業	506	503	101	13	33	32	37.7%
27	89.7%	林業	654	350	87	28	37	27	40.6%
28	88.3%	土地利用	501	485	110	21	39	36	28.9%
29	88.0%	住宅公園	541	446	117	18	34	35	30.1%
30	87.3%	観光	615	371	107	37	26	2	84.8%
31	86.5%	協働	513	452	123	28	40	16	55.2%
32	85.5%	スポーツ	449	508	135	27	37	26	43.3%
33	82.1%	文化芸術	414	505	169	31	37	22	49.9%
34	81.9%	生涯学習	384	534	181	22	35	28	40.1%
35	80.8%	海外戦略	460	452	153	64	27	5	80.5%
36	75.2%	交流	337	501	216	60	42	31	38.0%

(単位：%)



属性別集計（年齢別）

		年齢					
		10代・20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
標本数（件）		77	107	164	170	257	357
各分野における取り組みの今後の重要度（%）	消防	97.4	98.1	98.2	98.2	98.4	96.5
	安全	97.4	97.2	97.6	98.8	98.8	96.2
	医療	98.7	97.2	97.0	98.2	97.6	97.1
	道路	100.0	96.3	95.7	96.5	98.4	96.8
	上下水道	98.7	95.3	97.0	97.0	96.8	97.4
	防災	100.0	96.3	93.9	97.0	98.4	96.4
	児童福祉	97.4	97.2	97.6	97.1	95.6	97.0
	労働	97.4	96.2	94.5	98.2	97.6	95.7
	生活環境	94.8	96.3	94.5	97.0	97.6	96.2
	学校教育	98.7	94.3	95.7	95.9	96.4	96.3
	保健	94.8	95.3	94.5	96.4	95.7	97.1
	障がい者福祉	97.4	92.5	96.3	98.2	96.0	94.3
	高齢者福祉	94.8	90.7	94.5	96.5	96.5	96.5
	産業人材	97.4	94.3	95.1	97.6	96.0	93.0
	公共交通	98.7	94.3	91.5	95.9	95.6	94.7
	農業	97.4	91.5	95.7	95.2	95.3	94.3
	行財政運営	98.7	93.4	95.7	91.8	95.2	93.1
	情報	96.1	88.8	92.1	92.9	96.0	92.0
	地域福祉	92.2	87.7	88.4	95.9	94.9	94.2
	経済	94.8	91.6	93.3	95.2	90.2	90.7
	景観	98.7	85.0	90.2	91.2	93.7	92.0
	畜産業	94.8	91.6	89.6	92.3	91.8	90.1
	地球環境	96.1	87.9	90.9	89.3	92.8	90.9
	歴史文化	96.1	86.9	89.0	89.2	92.8	89.8
	商業	93.5	90.7	84.8	93.5	88.1	91.3
	工業	88.3	88.8	85.4	92.3	91.3	90.4
	林業	90.9	85.8	85.4	89.8	91.3	91.2
	土地利用	93.5	88.7	86.6	91.1	87.6	86.9
	住宅公園	98.7	91.6	88.4	86.5	88.4	84.6
	観光	93.5	81.3	84.1	86.9	85.1	90.2
協働	93.5	85.0	82.9	86.4	84.0	88.7	
スポーツ	92.2	81.3	82.9	85.8	82.7	88.5	
文化芸術	89.6	76.6	81.1	74.0	83.1	85.8	
生涯学習	90.9	79.2	76.2	78.7	81.2	85.2	
海外戦略	88.3	77.6	76.8	84.0	76.9	82.6	
交流	84.4	75.7	69.5	78.1	71.6	77.4	

【年齢別】

- ・30代と40代においては、「消防」が、50代と60代においては、「安全」の割合がそれぞれ最も高い。

属性別集計（居住地域別）

		居住地域（高山地域）											
		高山地域	東地区	西地区	南地区	北地区	山王地区	江名子地区	新宮地区	三枝地区	大八地区	岩滝地区	花里地区
標本数（件）		724	49	77	96	126	92	46	69	39	55	12	63
各分野における取り組みの今後の重要度（%）	消防	97.2	95.8	98.7	99.0	96.8	95.6	91.3	96.9	100.0	98.1	100.0	98.4
	安全	97.2	93.8	98.7	96.8	98.4	96.7	89.1	98.5	100.0	100.0	100.0	96.8
	医療	97.1	93.9	100.0	95.8	98.4	95.6	91.3	97.0	97.4	100.0	100.0	98.4
	道路	96.9	93.8	94.7	96.8	96.0	97.8	95.7	100.0	97.4	100.0	100.0	96.8
	上下水道	96.6	95.9	100.0	94.7	96.0	96.7	91.3	97.0	97.4	98.1	100.0	98.4
	防災	95.9	95.7	98.7	95.8	94.4	96.7	88.9	95.4	97.4	98.1	100.0	96.7
	児童福祉	96.6	93.6	98.7	96.9	96.7	97.8	93.5	95.4	97.4	94.3	100.0	98.4
	労働	96.6	95.7	100.0	95.7	96.8	96.6	91.3	100.0	94.7	98.1	100.0	93.4
	生活環境	95.8	95.9	97.3	95.8	92.7	96.7	89.1	97.0	100.0	96.1	100.0	98.4
	学校教育	96.0	89.4	97.3	94.7	96.7	95.6	95.6	98.4	100.0	94.3	100.0	96.7
	保健	95.9	91.8	97.4	96.8	96.0	94.5	93.3	97.0	97.3	98.1	100.0	95.1
	障がい者福祉	95.7	89.6	97.3	95.8	96.7	92.3	95.7	96.8	97.4	96.2	100.0	98.4
	高齢者福祉	95.9	93.6	97.3	99.0	96.8	94.5	89.1	95.5	94.7	100.0	100.0	93.5
	産業人材	94.9	89.4	97.3	93.6	96.7	92.1	89.1	97.0	97.4	94.2	100.0	98.4
	公共交通	94.4	93.6	96.1	91.6	92.7	94.6	89.1	97.0	100.0	100.0	100.0	91.8
	農業	94.4	86.7	95.9	92.6	93.5	94.4	89.1	100.0	97.4	96.2	100.0	96.7
	行財政運営	93.6	93.8	91.8	91.7	93.4	92.3	87.0	96.9	97.4	96.2	90.9	98.4
	情報	92.5	89.6	90.7	91.6	90.4	94.5	93.5	92.3	92.1	100.0	100.0	91.8
	地域福祉	92.0	89.8	97.3	87.5	94.4	91.2	84.8	93.8	86.8	96.2	100.0	91.9
	経済	92.6	89.1	98.7	89.5	92.7	90.0	84.8	92.4	97.4	100.0	90.9	93.3
	景観	91.5	85.4	90.7	92.6	92.8	92.3	87.0	93.8	89.2	96.2	100.0	88.7
	畜産業	91.3	89.1	92.1	85.3	88.7	91.0	89.1	95.5	94.7	94.3	100.0	98.4
	地球環境	90.3	84.8	93.2	86.3	91.0	92.2	80.4	95.3	94.7	90.6	90.0	91.8
	歴史文化	90.5	89.4	92.0	90.5	87.6	91.2	89.1	90.9	89.2	92.5	80.0	95.1
	商業	89.6	84.8	94.6	88.4	88.7	87.9	86.7	93.8	86.8	92.2	90.9	90.2
	工業	90.0	87.0	94.7	85.3	88.7	88.9	91.1	93.9	94.6	88.5	100.0	90.2
	林業	89.4	84.8	94.6	87.2	87.1	88.8	87.0	95.5	94.6	88.5	90.9	88.5
	土地利用	88.0	89.4	92.0	90.5	86.0	85.6	84.8	90.8	86.8	90.4	81.8	85.0
	住宅公園	88.6	81.6	92.0	87.4	89.4	89.0	82.2	89.2	89.2	92.3	81.8	91.8
	観光	86.1	84.8	81.6	83.0	89.6	84.4	82.6	90.9	73.7	92.3	90.9	91.8
協働	84.4	85.4	85.1	84.2	85.2	81.3	84.8	81.3	84.2	86.8	81.8	86.9	
スポーツ	85.7	83.3	88.0	85.3	88.6	83.5	78.3	80.3	81.6	90.6	90.9	91.8	
文化芸術	83.0	79.2	94.6	84.2	82.1	79.1	80.4	83.1	84.2	82.7	72.7	80.3	
生涯学習	81.7	85.4	78.7	84.2	79.5	79.1	76.1	86.2	81.6	84.9	81.8	83.6	
海外戦略	79.8	83.0	74.7	81.1	80.8	77.8	78.3	83.3	73.7	86.8	90.9	75.4	
交流	75.7	77.1	80.0	73.7	73.6	74.7	71.7	78.1	71.1	82.4	63.6	78.7	

属性別集計（居住地域別）

		居住地域（支所地域）								
		丹生川地域	清見地域	荘川地域	一之宮地域	久々野地域	朝日地域	高根地域	国府地域	奥飛騨温泉郷地域 上宝・
標本数（件）		51	39	25	38	63	29	17	94	45
各分野における取り組みの今後の重要度（%）	消防	96.1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	94.6	100.0
	安全	96.1	97.4	100.0	100.0	98.3	100.0	100.0	95.7	100.0
	医療	98.0	97.4	100.0	100.0	100.0	96.6	100.0	95.7	97.8
	道路	98.0	97.4	100.0	100.0	100.0	100.0	87.5	92.5	100.0
	上下水道	94.1	97.3	100.0	100.0	100.0	100.0	92.9	94.5	97.8
	防災	96.1	100.0	95.8	97.4	100.0	100.0	87.5	98.9	100.0
	児童福祉	92.0	97.3	95.8	97.4	100.0	96.6	100.0	97.8	97.7
	労働	98.0	100.0	91.7	97.1	96.7	96.6	87.5	94.5	97.7
	生活環境	96.1	97.3	100.0	100.0	100.0	100.0	84.6	94.5	97.8
	学校教育	88.2	97.4	91.3	97.3	98.3	96.6	100.0	97.8	97.7
	保健	92.2	97.4	91.7	100.0	100.0	96.6	94.1	93.6	97.7
	障がい者福祉	96.1	97.4	91.7	97.4	96.8	93.1	81.3	96.7	100.0
	高齢者福祉	96.1	97.4	87.5	97.4	96.8	93.1	87.5	93.6	97.8
	産業人材	92.2	97.3	91.7	97.2	98.4	96.6	87.5	96.7	97.7
	公共交通	90.2	97.4	100.0	100.0	98.3	100.0	100.0	91.1	95.6
	農業	94.1	100.0	95.8	94.6	95.2	96.6	94.1	93.5	97.7
	行財政運営	94.0	89.5	100.0	97.4	96.7	96.6	93.3	92.2	97.8
	情報	90.0	94.7	96.0	97.4	96.7	100.0	87.5	89.2	100.0
	地域福祉	90.2	92.1	100.0	97.4	100.0	96.6	87.5	91.4	93.3
	経済	90.2	89.2	95.8	94.7	98.4	96.4	70.6	88.2	86.4
	景観	94.1	94.7	95.8	89.5	96.6	100.0	68.8	88.0	95.5
	畜産業	80.4	97.4	91.7	86.5	93.4	100.0	82.4	89.2	97.7
	地球環境	84.0	94.7	100.0	97.4	95.0	100.0	81.3	91.2	91.1
	歴史文化	93.9	91.7	78.3	97.3	88.1	92.9	85.7	87.8	88.4
	商業	94.1	97.4	91.7	91.9	90.3	96.6	81.3	82.6	95.5
	工業	88.2	86.8	91.7	91.7	90.3	96.6	81.3	85.9	93.2
	林業	90.2	94.6	95.8	91.9	91.8	93.1	81.3	85.9	95.5
	土地利用	84.3	86.8	91.7	97.4	91.7	86.2	78.6	83.3	90.9
	住宅公園	82.4	86.8	83.3	94.7	93.3	86.2	71.4	83.3	84.4
	観光	92.2	92.1	91.7	83.8	90.3	89.7	88.2	86.2	90.9
協働	86.3	97.4	91.3	89.5	88.1	96.6	92.3	87.6	90.9	
スポーツ	78.0	92.1	87.0	81.1	91.8	89.7	84.6	76.1	93.2	
文化芸術	80.0	84.2	82.6	81.6	75.0	82.8	91.7	77.2	84.1	
生涯学習	80.0	81.6	83.3	81.6	93.3	82.8	85.7	71.9	86.7	
海外戦略	84.3	92.1	79.2	75.7	90.3	79.3	64.7	79.1	77.3	
交流	72.5	76.3	69.6	73.7	75.0	75.9	84.6	68.5	74.4	

【居住地域別】

・全地区・地域によってばらつきがあるものの、「消防」の割合が最も高い。

属性別集計（家族構成別）

		家族構成						
		単身世帯	夫婦のみ	二世 代世帯	(うち中学生以下 の子と同居)	三世 代世帯	(うち中学生以下 の子と同居)	その他
標本数（件）		145	284	431	(144)	238	(138)	32
各分野における取り組みの今後の重要度（%）	消防	97.1	97.1	98.4	(99.3)	97.4	(97.8)	96.9
	安全	97.8	97.8	97.9	(98.6)	96.6	(97.8)	100.0
	医療	97.8	97.5	97.7	(97.9)	97.9	(97.8)	96.9
	道路	97.9	96.1	98.1	(97.9)	97.0	(96.3)	100.0
	上下水道	97.8	97.5	97.4	(98.6)	97.0	(97.0)	96.9
	防災	96.4	96.8	96.9	(95.8)	97.4	(97.0)	96.9
	児童福祉	97.8	95.3	96.7	(97.9)	98.7	(98.6)	96.8
	労働	95.5	97.4	96.2	(97.9)	97.0	(95.6)	96.9
	生活環境	96.4	96.8	96.7	(97.2)	95.3	(96.3)	100.0
	学校教育	96.3	93.4	96.7	(98.6)	98.7	(99.3)	96.7
	保健	94.9	97.5	96.0	(95.8)	97.0	(96.4)	90.3
	障がい者福祉	94.2	96.4	96.0	(97.2)	96.2	(94.2)	93.5
	高齢者福祉	95.7	97.1	94.6	(92.3)	95.4	(94.9)	93.5
	産業人材	94.1	94.5	94.3	(95.1)	98.3	(98.5)	93.8
	公共交通	94.2	96.4	94.6	(94.4)	94.5	(96.3)	100.0
	農業	92.6	95.2	94.6	(95.1)	97.0	(96.3)	87.5
	行財政運営	95.6	92.1	95.3	(94.4)	93.4	(93.2)	100.0
	情報	94.2	92.1	95.3	(95.8)	91.8	(88.9)	93.8
	地域福祉	94.9	93.9	93.2	(93.0)	90.6	(91.9)	96.8
	経済	93.5	88.4	92.2	(95.1)	95.8	(95.7)	90.6
	景観	93.6	92.4	90.6	(90.2)	93.9	(91.0)	87.1
	畜産業	89.1	90.6	91.3	(94.4)	94.5	(94.2)	87.5
	地球環境	91.0	92.0	89.8	(90.8)	94.8	(94.7)	87.5
	歴史文化	92.5	91.9	88.6	(84.5)	91.4	(88.1)	93.3
	商業	91.2	90.5	89.4	(88.1)	90.2	(88.9)	87.5
	工業	89.0	88.7	88.6	(89.5)	94.5	(91.9)	96.9
	林業	86.0	89.7	90.1	(88.8)	92.7	(91.1)	84.4
	土地利用	93.2	85.8	88.1	(87.3)	90.1	(90.4)	90.6
	住宅公園	89.7	85.9	88.6	(94.3)	90.6	(92.6)	90.6
	観光	90.6	87.0	86.6	(88.8)	87.8	(85.5)	84.4
協働	91.1	84.9	84.3	(83.8)	91.5	(89.7)	83.3	
スポーツ	82.8	88.0	83.2	(87.3)	89.3	(89.7)	96.7	
文化芸術	85.9	83.2	79.9	(77.5)	83.4	(82.4)	90.0	
生涯学習	89.6	79.1	80.9	(80.3)	84.2	(84.4)	78.1	
海外戦略	83.3	75.9	82.7	(83.2)	82.3	(81.2)	81.3	
交流	82.0	71.9	74.9	(75.2)	76.9	(72.6)	80.0	

【家族構成別】

- ・その他を除いた各家族構成において、最も高い割合の分野がそれぞれ異なる。

属性別集計（職業別）

		職業							その他
		農林畜産業	自営業	会社員・公務員 ・団体職員	パート・アルバイト・内職	家事従事者	学生	無職	
標本数（件）		73	118	377	189	53	9	282	23
各分野における取り組みの今後の重要度（%）	消防	97.2	96.6	98.4	96.8	100.0	100.0	97.8	95.7
	安全	97.2	97.5	98.1	98.4	100.0	100.0	95.5	100.0
	医療	97.2	99.2	97.1	98.4	98.0	100.0	96.7	100.0
	道路	94.4	94.9	97.6	97.4	100.0	100.0	97.4	95.7
	上下水道	94.4	94.0	97.3	96.8	98.0	100.0	98.1	100.0
	防災	97.2	95.8	96.8	97.9	100.0	100.0	96.2	95.7
	児童福祉	97.1	97.5	97.9	96.8	94.1	100.0	95.9	95.7
	労働	98.6	96.6	96.3	95.2	98.0	100.0	96.9	100.0
	生活環境	94.4	94.9	96.0	97.3	100.0	100.0	96.6	95.7
	学校教育	98.6	95.7	95.7	98.4	98.0	100.0	94.7	95.7
	保健	94.4	97.4	96.0	95.2	96.1	100.0	95.6	100.0
	障がい者福祉	95.8	94.0	95.7	97.4	98.0	100.0	95.5	95.5
	高齢者福祉	94.4	94.1	94.4	95.7	98.0	100.0	97.4	95.7
	産業人材	97.1	95.7	95.7	94.7	98.0	100.0	93.8	95.7
	公共交通	93.0	92.3	95.2	96.3	98.0	100.0	94.3	95.7
	農業	97.2	91.5	94.4	95.2	98.0	100.0	95.1	91.3
	行財政運営	95.8	92.4	93.9	94.6	98.0	100.0	94.3	91.3
	情報	93.1	92.4	92.8	93.1	98.0	100.0	93.6	95.7
	地域福祉	93.0	93.2	92.0	95.7	96.1	88.9	91.2	100.0
	経済	92.9	92.4	92.6	93.6	94.1	100.0	88.7	95.7
	景観	91.4	93.2	91.5	93.6	92.3	100.0	90.3	91.3
	畜産業	94.4	88.8	91.5	92.6	94.1	100.0	89.5	95.7
	地球環境	91.5	91.4	90.7	93.6	90.2	88.9	91.3	87.0
	歴史文化	97.1	87.8	89.5	89.2	92.2	100.0	90.4	95.7
	商業	88.6	93.2	88.1	91.5	89.8	100.0	91.0	91.3
	工業	91.4	89.8	88.1	92.0	93.9	100.0	89.8	95.7
	林業	91.5	87.9	86.7	93.1	96.1	100.0	90.4	82.6
	土地利用	88.9	89.7	88.8	88.7	88.2	100.0	86.5	91.3
	住宅公園	81.4	86.3	89.1	93.1	84.0	100.0	86.4	86.4
	観光	86.1	87.2	85.9	86.1	86.3	100.0	89.6	91.3
	協働	88.7	86.7	85.1	86.1	93.9	88.9	86.6	91.3
	スポーツ	91.5	85.2	84.8	87.1	80.0	100.0	84.5	78.3
	文化芸術	87.1	77.6	80.3	82.8	86.3	100.0	83.1	82.6
生涯学習	83.1	81.9	78.4	83.4	82.4	88.9	85.3	82.6	
海外戦略	84.5	76.3	80.9	80.3	82.4	77.8	82.7	73.9	
交流	81.7	75.7	72.5	78.0	72.5	88.9	75.9	73.9	

【職業別】

・各職業によってばらつきがある。

属性別集計（定住年数別）

		定住年数				
		1年未満	1年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 20年未満	20年以上
標本数(件)		17	40	46	93	950
各分野における取り組みの今後の重要度(%)	消防	94.1	100.0	100.0	97.8	97.4
	安全	94.1	100.0	100.0	98.9	97.2
	医療	100.0	100.0	95.6	98.9	97.2
	道路	100.0	100.0	100.0	97.8	96.7
	上下水道	94.1	97.5	100.0	98.9	96.7
	防災	100.0	100.0	95.6	97.8	96.5
	児童福祉	100.0	97.5	95.6	95.7	96.9
	労働	93.8	100.0	97.8	98.9	96.1
	生活環境	100.0	95.0	97.8	98.9	95.9
	学校教育	94.1	100.0	92.9	96.7	96.1
	保健	88.2	97.5	93.3	95.7	96.1
	障がい者福祉	100.0	95.0	93.3	97.8	95.4
	高齢者福祉	100.0	95.0	93.3	94.6	95.6
	産業人材	94.1	97.5	93.3	96.7	95.0
	公共交通	100.0	100.0	95.6	95.7	94.4
	農業	88.2	100.0	93.3	98.9	94.2
	行財政運営	93.8	97.5	97.7	93.5	94.0
	情報	88.2	95.0	93.3	95.7	92.9
	地域福祉	100.0	90.0	86.7	92.5	93.2
	経済	94.1	95.0	91.1	88.2	92.3
	景観	94.1	95.0	88.9	89.2	92.1
	畜産業	94.1	97.5	93.3	90.3	91.0
	地球環境	76.5	95.0	88.9	94.6	91.1
	歴史文化	94.1	97.5	88.6	87.1	90.4
	商業	88.2	100.0	91.1	92.4	89.5
	工業	68.8	87.5	88.9	91.2	90.3
	林業	76.5	95.0	88.9	89.1	89.7
	土地利用	94.1	90.0	97.8	86.8	87.9
	住宅公園	100.0	92.5	95.6	90.1	87.0
	観光	100.0	92.5	82.2	89.2	86.8
協働	94.1	90.0	91.1	87.0	86.1	
スポーツ	81.3	92.5	84.1	87.1	85.2	
文化芸術	82.4	85.0	84.1	79.3	82.1	
生涯学習	82.4	85.0	84.4	81.5	81.6	
海外戦略	94.1	87.5	75.6	84.9	80.1	
交流	76.5	75.0	81.8	70.3	75.4	

【定住年数別】

- ・各定住年数によってばらつきがある。
- ・もっとも標本数が多い20年以上においては、「消防」の割合が最も高い。

満足度と重要度について

各取り組みにおける満足度と重要度の相関性について、回答結果を点数化した（下図のとおり）。

- ・満足度の平均値（1.65）を下回っている分野で、重要度が最も高い分野は「医療」分野（2.79）、次いで「労働」分野（2.72）、「防災」分野（2.71）であった。
- ・重要度の平均値（2.5）を上回っている分野で、満足度が最も低い分野は「産業」分野（1.26）、次いで「労働」（1.35）、「公共交通」（1.37）であった。

（満足度と重要度の点数化方法）

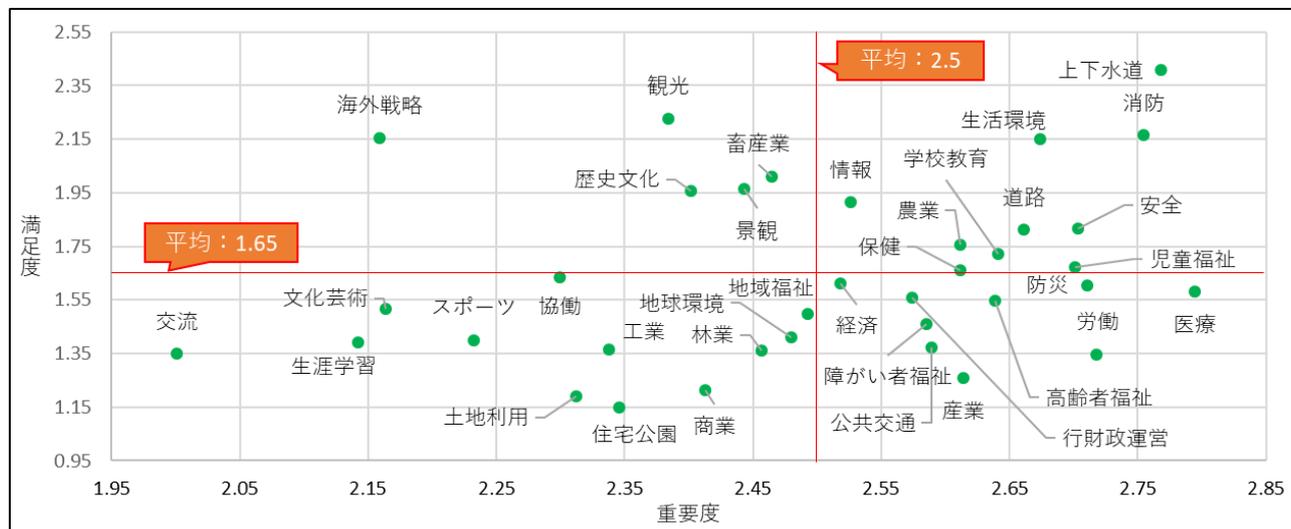
（満足度）

「1. 感じている」を3点、「2. やや感じている」を2点、「3. あまり感じていない」を1点、「4. 感じていない」を0点とし、回答数から平均値を求めた。

（重要度）

「1 重要である」を3点、「2. やや重要である」を2点、「3. あまり重要でない」を1点、「4. 重要でない」を0点とし、回答数から平均値を求めた。

満足度と重要度 相関図（4象限グラフ）



4 高山市総合計画について

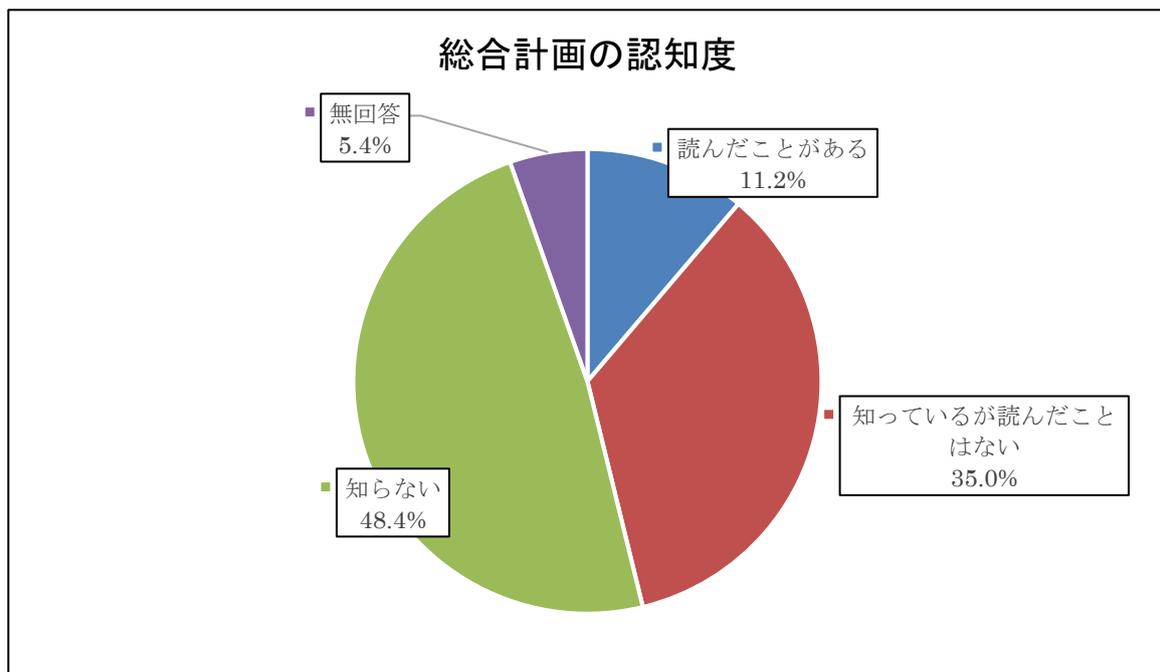
1 総合計画の認知度

- ・ 「「市総合計画」があることを知らない」の割合が最も高い（48.4％）。
- ・ 「冊子や市ホームページに公開している計画書を読んだことがある」と「「市総合計画」があることは知っているが、計画書は読んだことはない」を合わせると46.2％を占めている。

問9 あなたは、「高山市第八次総合計画」（以下「市総合計画」という）を知っていますか。
（1つに○印）

	回答数 (件)	回答率 (%)
冊子や市ホームページに公開している計画書を読んだことがある	129	11.2
「市総合計画」があることは知っているが、計画書は読んだことはない	405	35.0
「市総合計画」があることを知らない	560	48.4
無回答	62	5.4
計	1,156	

(標本数：1,156件)



属性別集計（年齢別）

		標本数 (件)	総合計画の認知度 (%)			
			読んだことがある	知っているが読んだことはない	知らない	無回答
年齢	10代・20代	77	11.7	20.8	67.5	0.0
	30代	107	6.5	22.4	68.2	2.8
	40代	164	13.4	26.2	59.8	0.6
	50代	170	12.9	32.4	52.9	1.8
	60代	257	12.1	38.9	45.5	3.5
	70代以上	357	9.8	44.3	33.9	12.0

【年齢別】

- ・「冊子や市ホームページに公開している計画書を読んだことがある」と「市総合計画」があることは知っているが、計画書は読んだことはない」を合わせた割合は、70代以上（54.1%）が最も高く、年齢が上がるにつれ、割合が高くなる傾向がある。

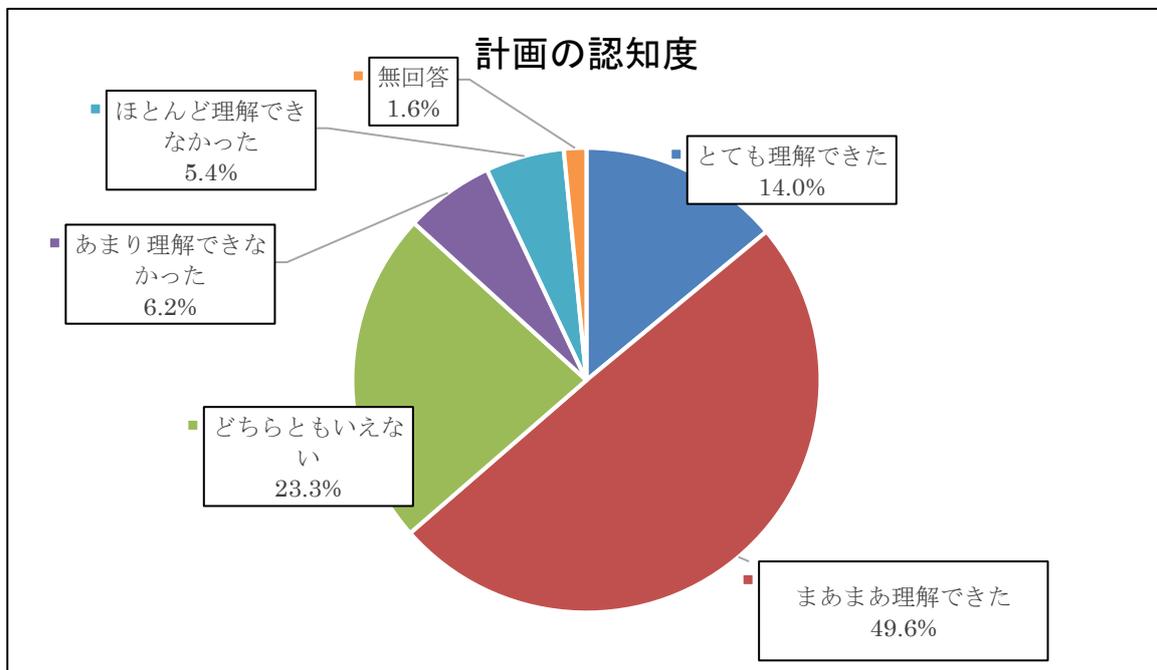
2 総合計画の理解度

- ・「まあまあ理解できた」の割合が最も高く、「とても理解できた」と「まあまあ理解できない」を合わせると63.6%を占めている。

問9-2 問9で、「冊子や市ホームページに公開している計画書を読んだことがある」に○をつけた方に伺います。「市総合計画」の内容を理解できましたか。（1つに○印）

	回答数 (件)	回答率 (%)
とても理解できた	18	14.0
まあまあ理解できた	64	49.6
どちらともいえない	30	23.3
あまり理解できなかった	8	6.2
ほとんど理解できなかった	7	5.4
無回答	2	1.6
計	129	

(標本数：129件)



属性別集計（年齢別）

		標本数 (件)	総合計画の理解度 (%)					
			とても理解できた	まあまあ理解できた	どちらともいえない	た あまり理解できなかった	ほとんど理解できなかった	無回答
年齢	10代・20代	9	44.4	33.3	22.2	0.0	0.0	0.0
	30代	7	14.3	28.6	28.6	0.0	28.6	0.0
	40代	22	18.2	59.1	9.1	4.5	9.1	0.0
	50代	22	4.5	68.2	22.7	4.5	0.0	0.0
	60代	31	6.5	35.5	48.4	6.5	3.2	0.0
	70代以上	35	17.1	48.6	11.4	11.4	5.7	5.7

【年齢別】

- ・10代・20代以外の年代では「まあまあ理解できた」の割合が最も高い。
- ・「とても理解できた」と「まあまあ理解できた」を合わせた割合は、10代・20代（77.7%）が最も高い。

3 計画の共有（わかりやすい計画）

- ・「パンフレットのようにページ数が少なく一目で全体がわかるもの」と「イラストなどが多く使用され、イメージが湧きやすい内容のもの」の割合が同率で最も高い。

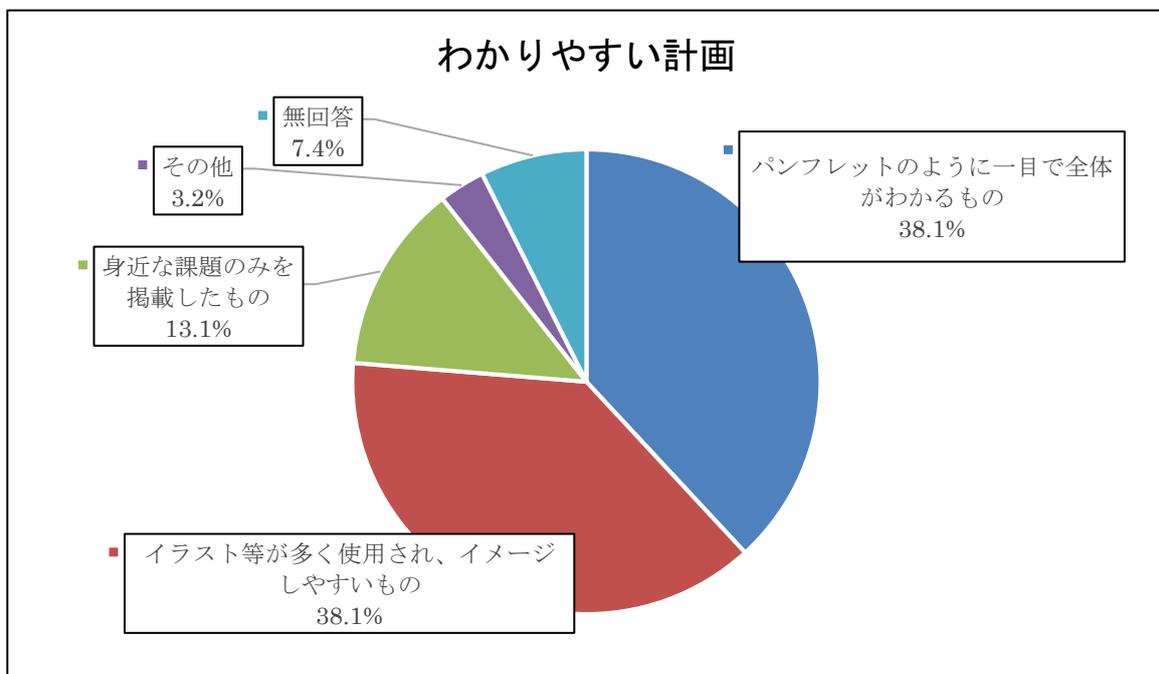
問10 あなたは、「市総合計画」がどのようなかたちであれば誰にでもわかりやすく読みやすい計画になると思いますか。（1つに○印）

	回答数 (件)	回答率 (%)
パンフレットのようにページ数が少なく一目で全体がわかるもの	441	38.1
イラストなどが多く使用され、イメージが湧きやすい内容のもの	441	38.1
市民が身近に感じている課題のみを掲載したもの	152	13.1
その他	37	3.2
無回答	85	7.4
	1,156	

(標本数：1,156件)

※「その他」内容

- ・「ホームページに掲載」「イラストや漫画を多用したもの」 など



属性別集計（年齢別）

		標本数（件）	わかりやすい計画（％）				
			の 一目で全体がわかるもの	パンフレットのように	イラスト等が多く使用され、イメージしやすいもの	身近な課題のみを掲載したもの	その他
年齢	10代・20代	77	40.3	49.4	3.9	5.2	1.3
	30代	107	38.3	45.8	7.5	4.7	3.7
	40代	164	36.0	42.1	14.6	5.5	1.8
	50代	170	32.9	47.1	12.9	2.4	4.7
	60代	257	43.2	34.6	11.7	3.1	7.4
	70代以上	357	37.5	31.7	16.2	2.0	12.6

【年齢別】

- ・50代以下は「イラストなどが多く使用され、イメージが湧きやすい内容のもの」の割合が最も高い。
- ・60代以上は「パンフレットのようにページ数が少なく一目で全体がわかるもの」の割合が最も高い。

5 市民によるまちづくりについて

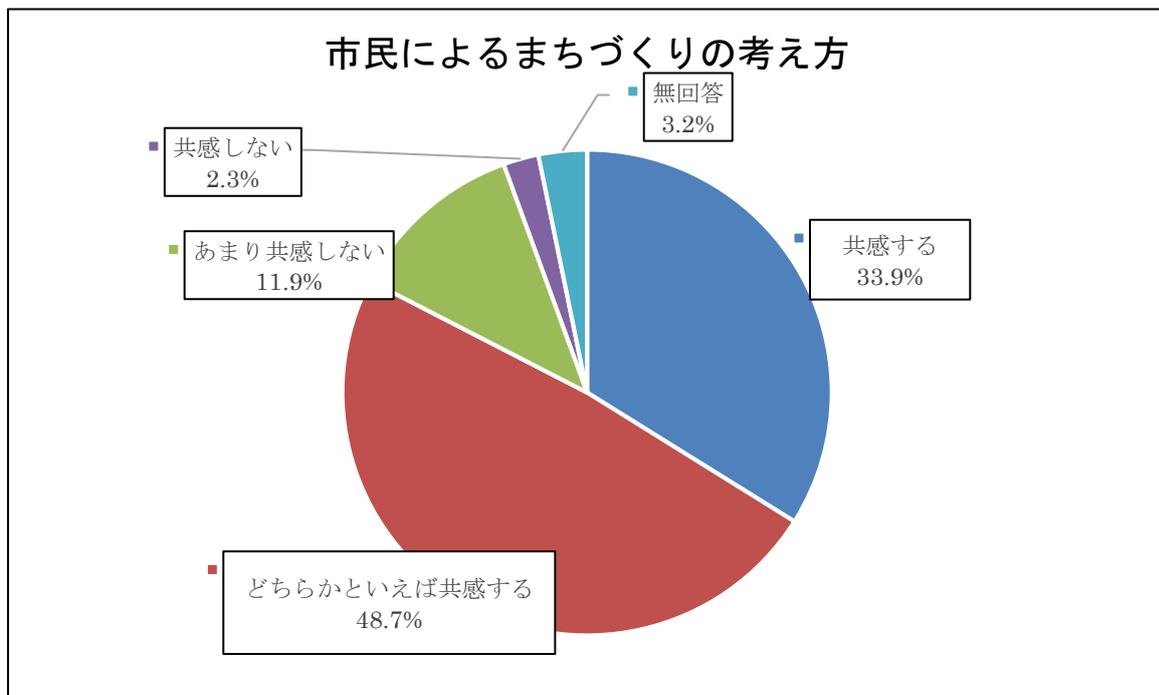
1 市民によるまちづくりの考え方

- ・「どちらかといえば共感する」の割合が最も高く、「共感する」と「どちらかといえば共感する」を合わせると82.6%を占めている。

問11 あなたは、安全安心で魅力ある地域をつくっていくために「自分たちの地域は自分たちでつくる」というまちづくりの考え方についてどう思いますか。（1つに○印）

	回答数 (件)	回答率 (%)
共感する	392	33.9
どちらかといえば共感する	563	48.7
あまり共感しない	137	11.9
共感しない	27	2.3
無回答	37	3.2
計	1,156	

(標本数：1,156件)



属性別集計（年齢別、居住地域別）

		標本数(件)	市民によるまちづくりの考え方 (%)				
			共感する	どちらかといえば共感する	どちらかといえ ない	あまり共感しない	共感しない
年齢	10代・20代	77	55.8	36.4	6.5	1.3	0.0
	30代	107	32.7	48.6	10.3	7.5	0.9
	40代	164	37.2	45.7	14.6	2.4	0.0
	50代	170	34.1	53.5	8.2	2.9	1.2
	60代	257	30.0	52.9	14.0	0.8	2.3
	70代以上	357	31.4	47.1	12.6	1.7	7.3
居住地域	高山地域	724	34.4	48.6	11.6	2.1	3.3
	東地区	49	34.7	55.1	10.2	0.0	0.0
	西地区	77	29.9	50.6	11.7	5.2	2.6
	南地区	96	38.5	42.7	12.5	5.2	1.0
	北地区	126	37.3	46.0	10.3	1.6	4.8
	山王地区	92	33.7	46.7	14.1	0.0	5.4
	江名子地区	46	39.1	41.3	8.7	4.3	6.5
	新宮地区	69	29.0	52.2	13.0	1.4	4.3
	三枝地区	39	28.2	59.0	10.3	2.6	0.0
	大八地区	55	27.3	54.5	14.5	0.0	3.6
	岩滝地区	12	41.7	41.7	8.3	0.0	8.3
	花里地区	63	39.7	49.2	9.5	0.0	1.6
	丹生川地域	51	27.5	58.8	13.7	0.0	0.0
	清見地域	39	43.6	46.2	7.7	0.0	2.6
	荘川地域	25	28.0	68.0	0.0	0.0	4.0
	一之宮地域	38	18.4	63.2	10.5	7.9	0.0
	久々野地域	63	38.1	44.4	7.9	3.2	6.3
	朝日地域	29	34.5	41.4	20.7	3.4	0.0
	高根地域	17	29.4	23.5	35.3	0.0	11.8
	国府地域	94	36.2	48.9	11.7	1.1	2.1
上宝・奥飛騨温泉郷地域	45	24.4	46.7	17.8	4.4	6.7	

【年齢別】

- ・「共感する」の割合が最も高い年代が10・20代で、「共感する」と「どちらかといえば共感する」を合わせた割合が最も高い年代も10・20代（92.2%）である。

【居住地域別】

- ・「共感する」の割合が最も高い地域が清見地域で、次いで岩滝地区、花里地区である。
- ・「共感する」と「どちらかといえば共感する」を合わせた割合が最も高い地域は荘川地域である。

属性別集計（家族構成別、定住年数別、居住形態別）

		標本数(件)	市民によるまちづくりの考え方 (%)				
			共感する	どちらかといえば共感する	ない あまり共感しない	共感しない	無回答
家族構成	単身世帯	145	35.9	47.6	9.0	1.4	6.2
	夫婦のみ	284	30.6	49.3	13.7	1.8	4.6
	二世帯世帯 (うち中学生以下の子と同居)	431 (144)	34.6 (38.2)	47.6 (45.8)	13.5 (11.1)	3.2 (4.2)	1.2 (0.7)
	三世帯世帯 (うち中学生以下の子と同居)	238 (138)	38.7 (37.0)	48.3 (48.6)	8.8 (9.4)	1.7 (2.2)	2.5 (2.9)
	その他	32	21.9	59.4	12.5	3.1	3.1
定住年数	1年未満	17	47.1	41.2	11.8	0.0	0.0
	1年以上～5年未満	40	32.5	50.0	5.0	10.0	2.5
	5年以上～10年未満	46	37.0	41.3	15.2	4.3	2.2
	10年以上～20年未満	93	37.6	45.2	14.0	2.2	1.1
	20年以上	950	33.4	49.5	11.9	1.9	3.4

【家族構成別】

- ・全ての家族構成で「どちらかといえば共感する」の割合が高い。

【定住年数別】

- ・1年未満以外の定住年数で「どちらかといえば共感する」の割合が高い。

2 まちづくりの基本的なルール策定による効果

- ・「行政の役割や責務が明確になり、わかりやすく効率的な市政が行われる」が最も高い割合となっており、次いで「市職員の意識が改革され、市民からの信頼や行政能力が高まる」、「市民の役割や責務が明確になり、市民の主体的なまちづくり活動が活発となる」となっている。

問12 現在、市では市民によるまちづくりをより一層すすめていくため、市民の皆さんや、行政、議会のそれぞれの役割等を定めるルールづくりの策定に向けて検討しているところです。

あなたは、このルールの策定によってどのような効果を期待されますか。

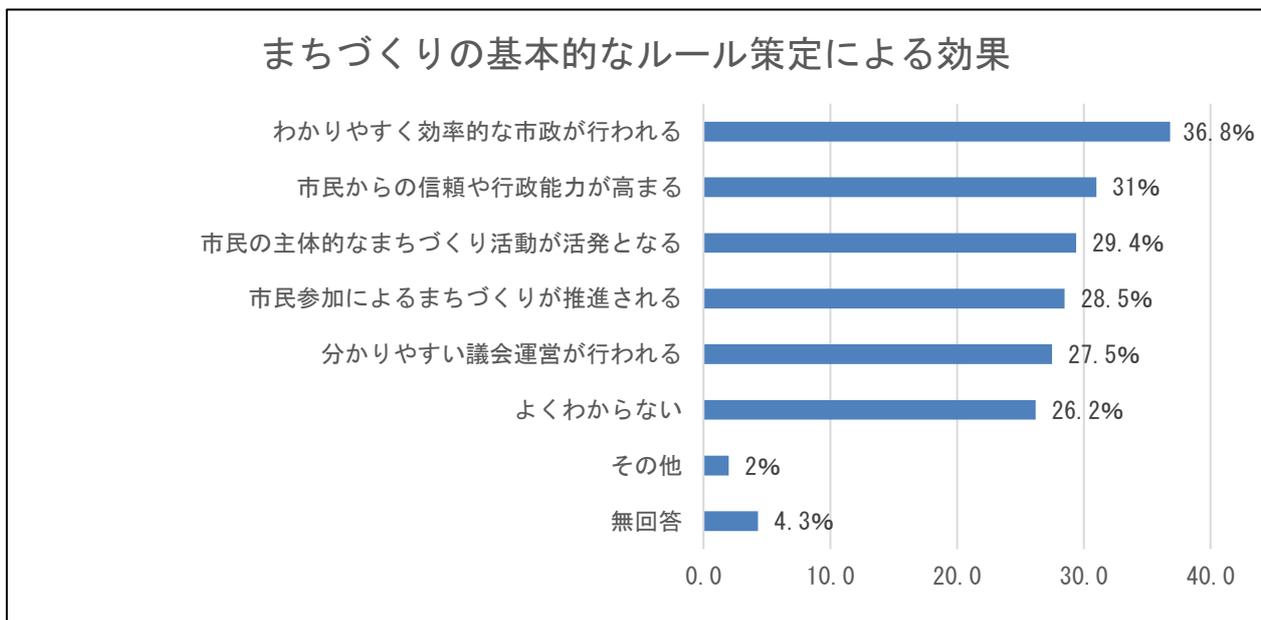
(あてはまるもの全てに○印)

順位		回答数 (件)	回答率 (%)
1	行政の役割や責務が明確になり、わかりやすく効率的な市政が行われる	425	36.8
2	市職員の意識が改革され、市民からの信頼や行政能力が高まる	358	31.0
3	市民の役割や責務が明確になり、市民の主体的なまちづくり活動が活発となる	340	29.4
4	市民参加によるまちづくりが推進される	329	28.5
5	議会の役割や責務が明確となり、分かりやすい議会運営が行われる	318	27.5
6	よくわからない	303	26.2
	その他	23	2.0
	無回答	50	4.3
	計	2,146	

(標本数 : 1,156 件)

※「その他」内容

- ・「策定しても効果に期待ができない」 など



3 市民の役割

- ・「近隣、町内などで住民がお互いを助け合うこと」が最も高い割合となっており、次いで「市民が自らまちづくりの主体であることを自覚すること」、「市や地域の活動に参加すること」が高い割合になっている。
- ・「近隣、町内などで住民がお互いを助け合うこと」が特に高い割合となっている。

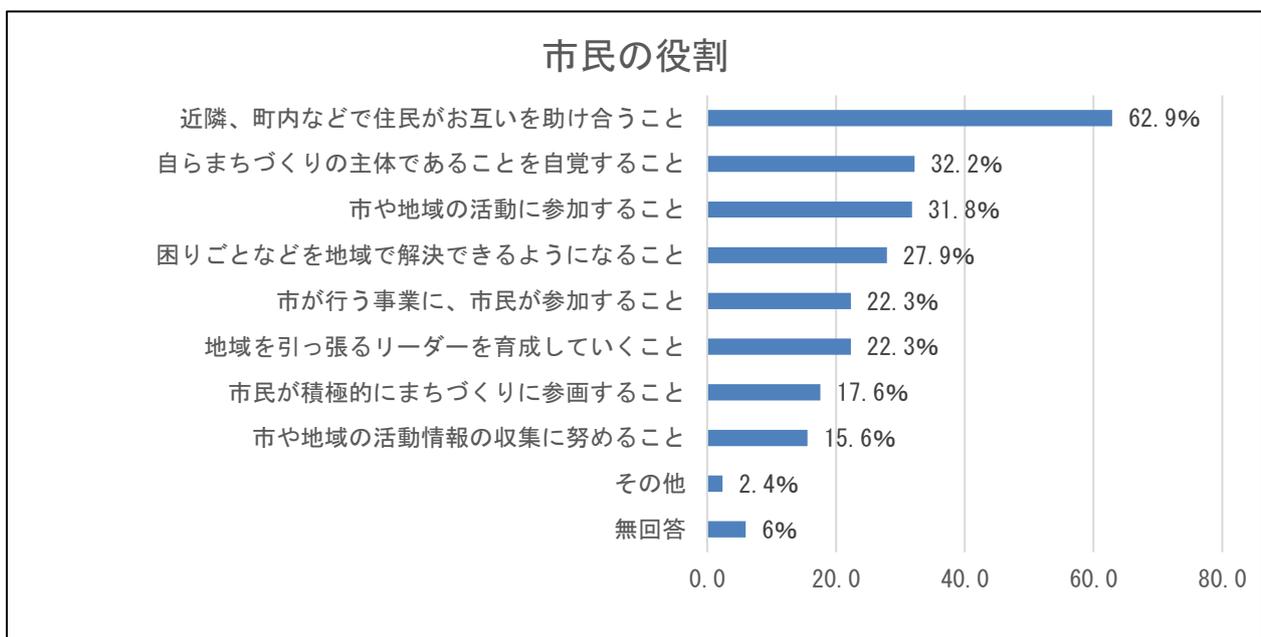
問13 あなたは、市民によるまちづくりをすすめていくうえで、市民の役割として必要と感じることはなんですか。（あてはまるもの全てに○印）

順位		回答数 (件)	回答率 (%)
1	近隣、町内などで住民がお互いを助け合うこと	727	62.9
2	市民が自らまちづくりの主体であることを自覚すること	372	32.2
3	市や地域の活動に参加すること	368	31.8
4	地域が抱える困りごとなどを地域で解決できるようになること	323	27.9
5	地域を引っ張るリーダーを育成していくこと	258	22.3
5	市が行う事業の企画・実施・評価に、市民が参加すること	258	22.3
7	市民が自らの発言と行動に責任を持って積極的にまちづくりに参画すること	204	17.6
8	市や地域の活動情報の収集に努めること	180	15.6
	その他	28	2.4
	無回答	69	6.0
	計	2,787	

(標本数：1,156件)

※「その他」内容

- ・「まちづくりに参加する余裕がない」 など



4 行政の役割

- ・「公平・公正、誠実、迅速かつ効率的に職務を執行すること」が最も高い割合となっており、次いで「自らも市民であることを認識し、積極的にまちづくりの推進に努めること」、「市民ニーズや地域課題を把握すること」となっている。

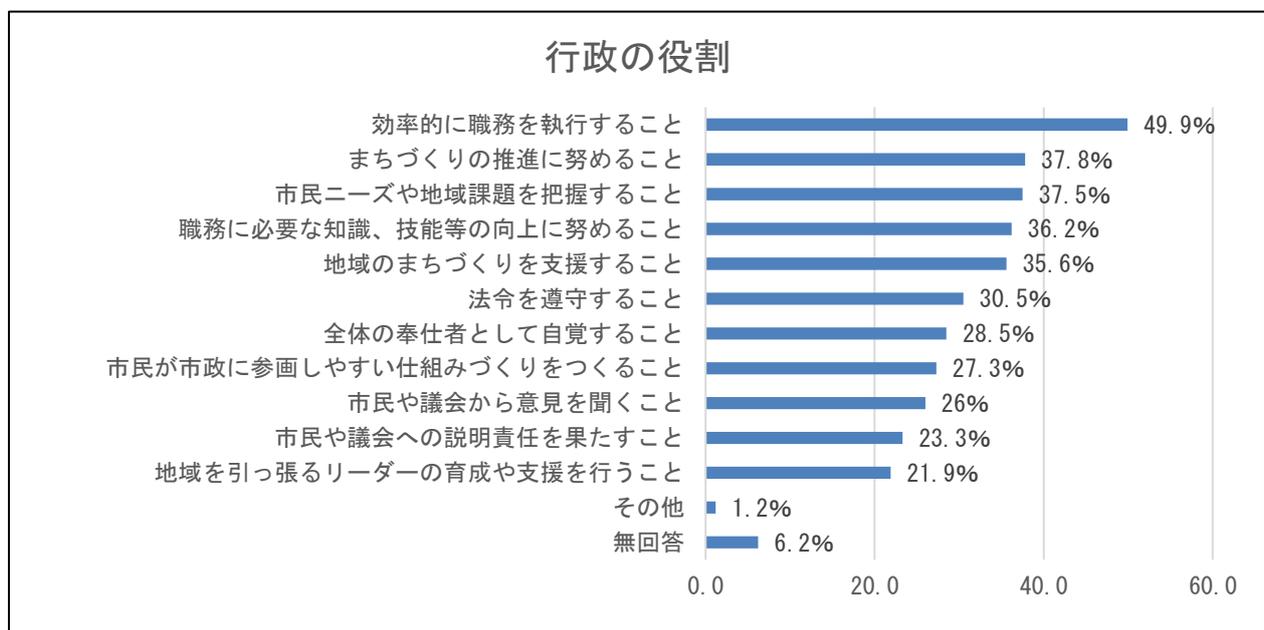
問14 あなたは、市民によるまちづくりをすすめていくうえで、行政の役割として必要に感じることはなんですか。（あてはまるもの全てに○印）

順位		回答数 (件)	回答率 (%)
1	公平・公正、誠実、迅速かつ効率的に職務を執行すること	577	49.9
2	自らも市民であることを認識し、積極的にまちづくりの推進に努めること	437	37.8
3	市民ニーズや地域課題を把握すること	433	37.5
4	職務に必要な知識、技能等の向上に努めること	419	36.2
5	市民との信頼関係を築き、地域のまちづくりを支援すること	411	35.6
6	法令を遵守すること	353	30.5
7	全体の奉仕者として自覚すること	330	28.5
8	市民が市政に参画しやすい仕組みづくりをつくること	316	27.3
9	市政やまちづくりをすすめていくうえで、市民や議会から意見を聞くこと	301	26.0
10	市民や議会への説明責任を果たすこと	269	23.3
11	地域を引っ張るリーダーの育成や支援を行うこと	253	21.9
	その他	14	1.2
	無回答	72	6.2
	計	4,185	

(標本数：1,156件)

※「その他」内容

- ・「まちづくり協議会との連携」 など



5 市民の思いが市政やまちづくりに効果的に反映される手段・方法

- ・「市ホームページやメール、FAXによる意見や提案等」が最も高い割合となっており、次いで「まちづくり協議会等を通じた団体からの要望・提案」、「SNSを利用した意見や提案等」が高い割合になっている。

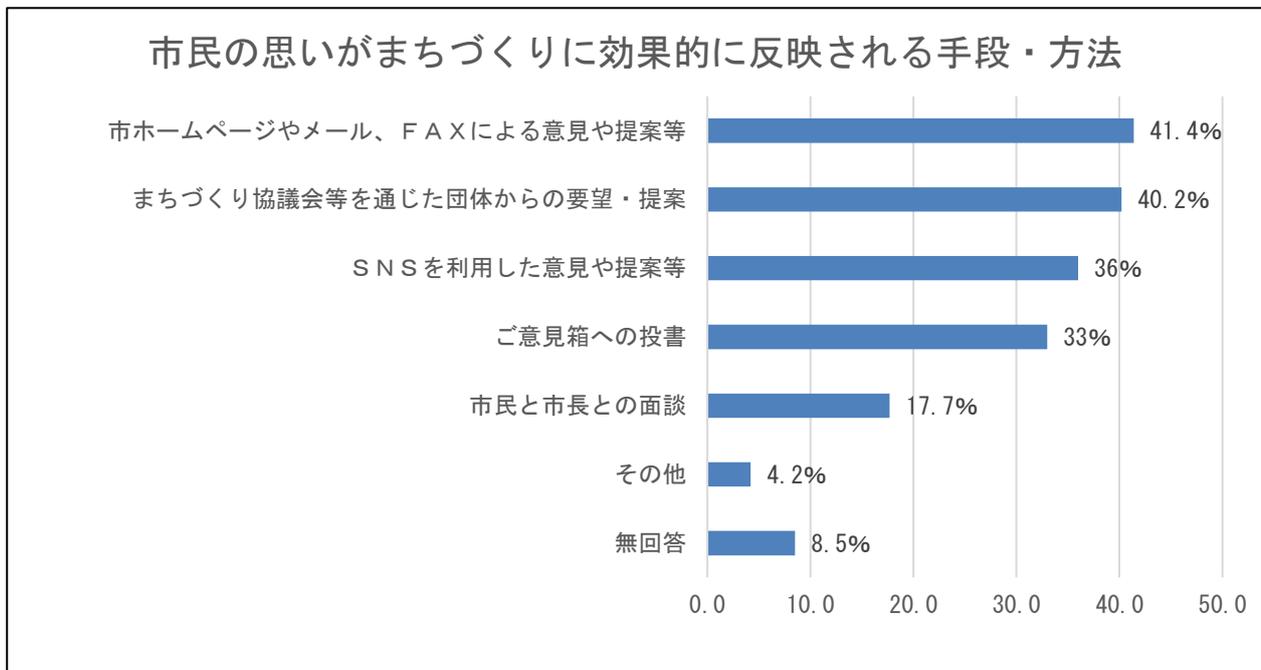
問15 あなたは、市民の思いが市政やまちづくりに効果的に反映される手段・方法はなんだと思いますか。（あてはまるもの全てに○印）

順位		回答数 (件)	回答率 (%)
1	市ホームページやメール、FAXによる意見や提案等	479	41.4
2	まちづくり協議会等を通じた団体からの要望・提案	465	40.2
3	SNSを利用した意見や提案等	416	36.0
4	ご意見箱への投書	381	33.0
5	市民と市長との面談	205	17.7
	その他	48	4.2
	無回答	98	8.5
	計	2,092	

(標本数：1,156件)

※「その他」内容

- ・「アンケート調査の実施」「市民・団体等の意見交換会の開催」 など



属性別集計（年齢別）

		標本数 (件)	効果的に反映される手段・方法 (%)						
			市HPやメール、FAX による意見や提案等	まち協等を通じた団体か らの要望・提案	SNSを利用した意見や 提案等	ご意見箱への投書	市民と市長との面談	その他	無回答
年齢	10代・20代	77	41.6	15.6	67.5	31.2	22.1	1.3	6.5
	30代	107	43.0	36.4	62.6	28.0	16.8	3.7	3.7
	40代	164	45.7	31.7	52.4	27.4	22.0	4.3	3.0
	50代	170	47.6	38.2	49.4	30.6	18.8	6.5	3.5
	60代	257	43.6	48.6	26.8	33.5	18.3	4.7	7.8
	70代以上	357	34.2	45.1	15.4	37.8	13.4	3.6	14.8

【年齢別】

- ・50代以下においては、「SNSを利用した意見や提案等」が最も高い割合であった。
- ・60代以上においては、「まちづくり協議会等を通じた団体からの要望・提案」が最も高い割合であった。

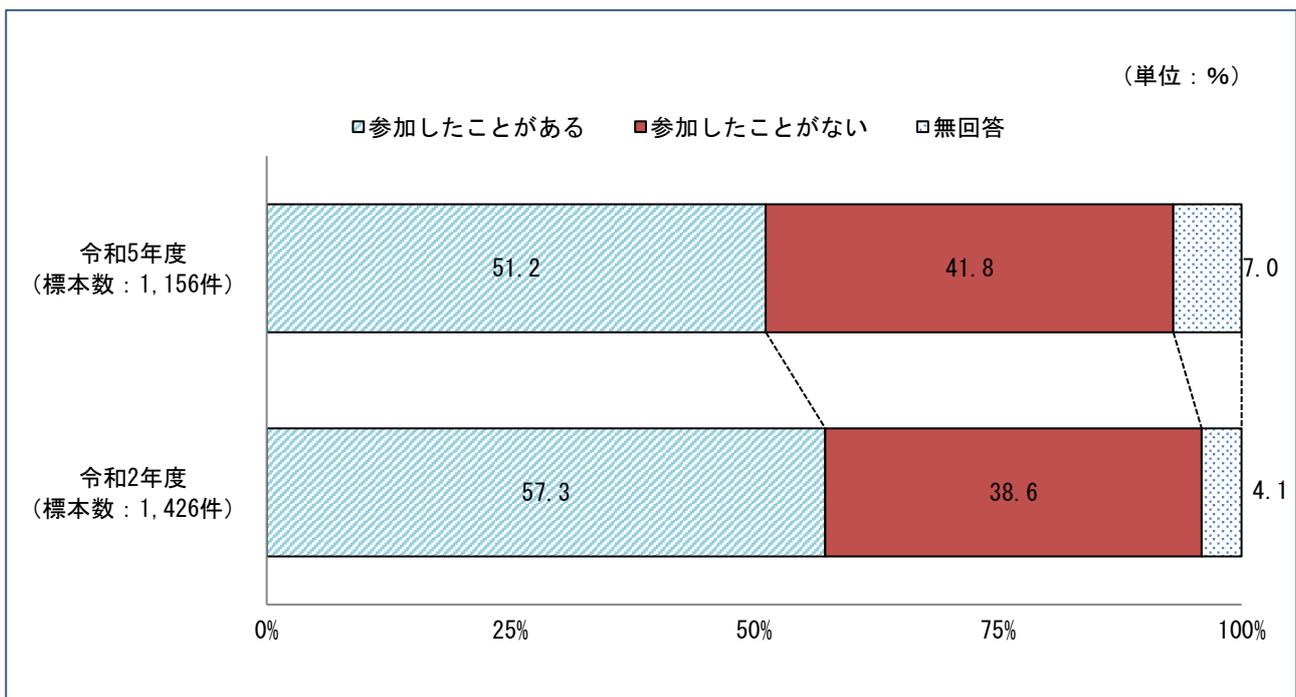
6 まちづくり協議会への参加状況

- ・「参加したことがある。もしくは参加している」の割合が最も高い。
- ・「参加したことがある。もしくは参加している」の割合は、前回（R2）の調査結果（57.3%）に比べ、6.1ポイント低下している。

問16 あなたは、お住まいの地域のまちづくり協議会（まち協）の活動に参加したことがありますか。（1つに○印）

	回答数 (件)	回答率 (%)
まちづくり協議会(まち協)の活動に参加したことがある。もしくは参加している	592	51.2
まちづくり協議会(まち協)の活動に参加したことがない	483	41.8
無回答	81	7.0
計	1,156	

(標本数：1,156件)



属性別集計（年齢別、居住地域別）

		標本数(件)	まちづくり協議会への参加状況(%)		
			参加したことがある。 もしくは参加している。	参加したことがない	無回答
年齢	10代・20代	77	29.9	70.1	0.0
	30代	107	33.6	65.4	0.9
	40代	164	57.9	41.5	0.6
	50代	170	61.2	36.5	2.4
	60代	257	64.6	30.4	5.1
	70代以上	357	44.5	39.8	15.7
居住地域	高山地域	724	49.2	43.8	7.0
	東地区	49	49.0	44.9	6.1
	西地区	77	49.4	44.2	6.5
	南地区	96	50.0	50.0	0.0
	北地区	126	42.1	50.8	7.1
	山王地区	92	47.8	44.6	7.6
	江名子地区	46	54.3	37.0	8.7
	新宮地区	69	49.3	42.0	8.7
	三枝地区	39	56.4	38.5	5.1
	大八地区	55	58.2	27.3	14.5
	岩滝地区	12	75.0	8.3	16.7
	花里地区	63	42.9	49.2	7.9
	丹生川地域	51	56.9	43.1	0.0
	清見地域	39	64.1	30.8	5.1
	荘川地域	25	60.0	24.0	16.0
	一之宮地域	38	73.7	23.7	2.6
	久々野地域	63	58.7	30.2	11.1
	朝日地域	29	82.8	10.3	6.9
	高根地域	17	47.1	35.3	17.6
	国府地域	94	41.5	54.3	4.3
上宝・奥飛騨温泉郷地域	45	44.4	44.4	11.1	

【年齢別】

- ・40代以上において「参加したことがある。もしくは参加している」の割合が高い。

【居住地域別】

- ・「参加したことがある。もしくは参加している」の割合が最も高いのは一之宮地域、最も低いのは国府地域である。

属性別集計（定住年数、居住形態別）

		標本数(件)	まちづくり協議会への参加状況(%)		
			参加したことがある。 もしくは参加している	参加したことがない	無回答
定住年数	1年未満	17	35.3	64.7	0.0
	1年以上～5年未満	40	15.0	82.5	2.5
	5年以上～10年未満	46	34.8	60.9	4.3
	10年以上～20年未満	93	45.2	52.7	2.2
	20年以上	950	54.5	37.9	7.6
居住形態	持ち家（分譲マンション・家族所有含む）	1,003	55.1	38.0	6.9
	借家（アパート含む）	113	23.9	69.9	6.2
	間借	5	40.0	60.0	0.0
	社宅・寮	18	11.1	88.9	0.0
	その他	4	100.0	0.0	0.0

【定住年数別】

- ・ 20年未満は「参加したことがない」の割合が高い。
- ・ 20年以上は「参加したことがある。もしくは参加している」の割合が高い。

【居住形態別】

- ・ その他を除くと持ち家が「参加したことがある。もしくは参加している」の割合が最も高い。

6-2 まちづくり協議会の活動に参加したことがない理由

- ・「名前は知っているが、どのような活動をしているのか分からない」の割合が最も高い。
- ・「まちづくり協議会（まち協）のことを知らない」の割合は、前回の調査結果（27.3%）と比べ、0.1ポイント上昇している。

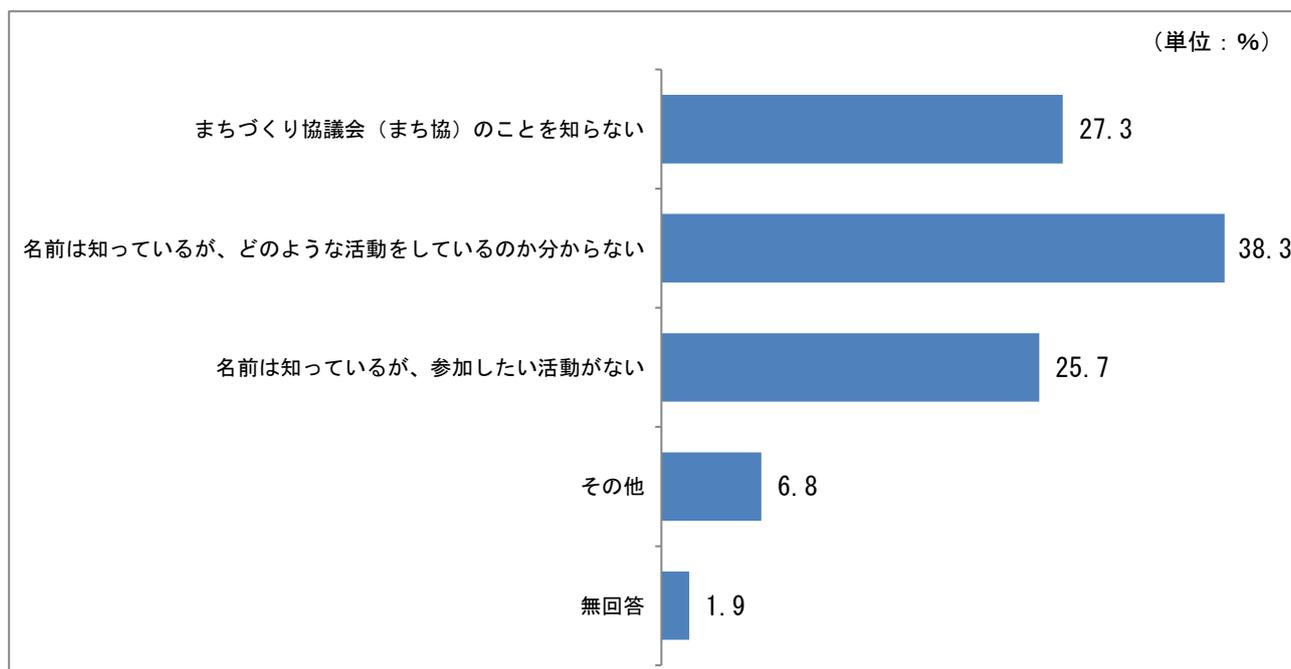
まちづくり協議会（まち協）の活動に参加したことがない理由はなんですか。（1つに○印）

	回答数 (件)	回答率 (%)	前回(R2)
			回答率(%)
まちづくり協議会（まち協）のことを知らない	132	27.3	27.2
名前は知っているが、どのような活動をしているのか分からない	185	38.3	36.3
名前は知っているが、参加したい活動がない	124	25.7	24.1
その他	33	6.8	8.5
無回答	9	1.9	3.8
計	483		

(標本数：483件) (標本数:551件)

※「その他」の内容

- ・「参加する時間がない」、「高齢のため」、「身体的な理由により参加できない」 など



属性別集計（年齢別、居住地域別）

		標本数(件)	まちづくり協議会の活動に参加したことがない理由(%)				
			知らない (まち協) のことを 知らない	まちづくり協議会 が、どのよう な活動をして いるのか分か らない	名前は知って いるが、どの ような活動 をしているのか 分からない	名前を知って いるが、参加 したい活動 がない	その他
年齢	10代・20代	54	53.7	25.9	16.7	1.9	1.9
	30代	70	37.1	37.1	18.6	7.1	0.0
	40代	68	33.8	36.8	20.6	8.8	0.0
	50代	62	22.6	40.3	29.0	6.5	1.6
	60代	78	23.1	34.6	34.6	6.4	1.3
	70代以上	142	14.8	43.7	29.6	8.5	3.5
居住地域	高山地域	317	31.2	34.4	25.9	7.3	1.3
	東地区	22	40.9	36.4	13.6	9.1	0.0
	西地区	34	38.2	23.5	17.6	20.6	0.0
	南地区	48	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0
	北地区	64	20.3	46.9	26.6	4.7	1.6
	山王地区	41	29.3	31.7	34.1	2.4	2.4
	江名子地区	17	29.4	23.5	29.4	17.6	0.0
	新宮地区	29	37.9	34.5	24.1	3.4	0.0
	三枝地区	15	40.0	26.7	20.0	6.7	6.7
	大八地区	15	33.3	26.7	26.7	13.3	0.0
	岩滝地区	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	花里地区	31	29.0	38.7	22.6	6.5	3.2
	丹生川地域	22	18.2	54.5	22.7	4.5	0.0
	清見地域	12	25.0	25.0	16.7	25.0	8.3
	荘川地域	6	0.0	33.3	50.0	16.7	0.0
	一之宮地域	9	22.2	22.2	55.6	0.0	0.0
	久々野地域	19	5.3	84.2	5.3	5.3	0.0
	朝日地域	3	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0
	高根地域	6	16.7	50.0	0.0	0.0	33.3
	国府地域	51	17.6	43.1	31.4	5.9	2.0
上宝・奥飛騨温泉郷地域	20	30.0	40.0	25.0	5.0	0.0	

【年齢別】

- ・30代以上は「名前は知っているが、どのような活動をしているのか分からない」の割合が最も高い（30代は「まちづくり協議会（まち協）のことを知らない」と同率）。

【居住地域別】

- ・「名前は知っているが、どのような活動をしているのか分からない」の割合が最も高い地域は、全20地域（地区）中9地域（地区）である。また、7地域（地区）において、「まちづくり協議会（まち協）のことを知らない」の割合が最も高い。

属性別集計（定住年数、居住形態別）

		標本数(件)	まちづくり協議会の活動に参加したことがない理由(%)				
			知らない (まち協)の ことを知 らない	名前を知っているが、 どのような活動をして いるのか分からな い	名前を知っているが、 参加したい活動がな い	その他	無回答
定住年数	1年未満	11	90.9	0.0	9.1	0.0	0.0
	1年以上～5年未満	33	63.6	27.3	3.0	6.1	0.0
	5年以上～10年未満	28	50.0	35.7	3.6	10.7	0.0
	10年以上～20年未満	49	24.5	42.9	24.5	6.1	2.0
	20年以上	360	20.8	40.3	30.0	6.9	1.9
居住形態	持ち家(分譲マンション・家族所有含む)	381	22.0	40.4	28.3	7.1	2.1
	借家(アパート含む)	79	44.3	34.2	16.5	5.1	0.0
	間借	3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0
	社宅・寮	16	75.0	12.5	6.3	6.3	0.0
	その他	0	—	—	—	—	—

【定住年数別】

- ・ 10年未満は「まちづくり協議会（まち協）のことを知らない」の割合が最も高く、10年以上は「名前は知っているが、どのような活動をしているのか分からない」の割合が最も高い。

【居住形態別】

- ・ 持ち家は「名前は知っているが、どのような活動をしているのか分からない」の割合が最も高く、借家及び社宅・寮は「まちづくり協議会（まち協）のことを知らない」の割合が最も高い。

※間借は回答割合が3項目とも同率のため除く

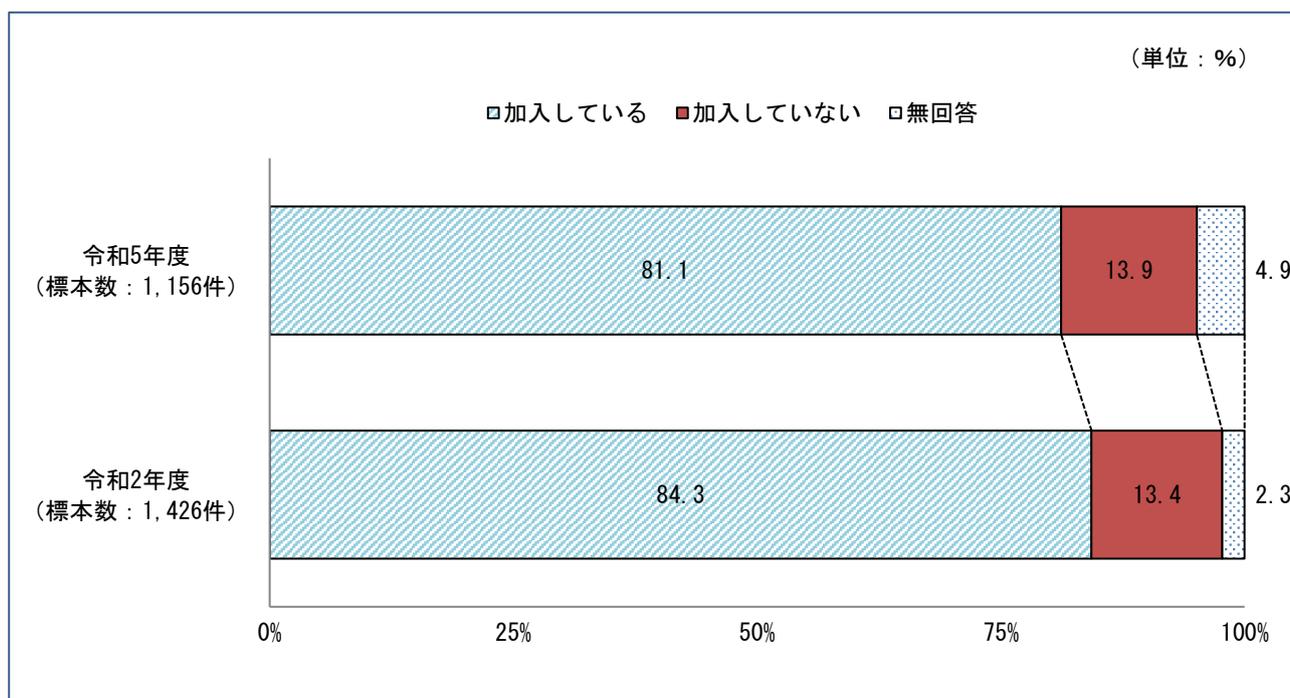
7 町内会への加入状況

- ・「加入している」の割合が最も高い。
- ・「加入している」の割合は、前回（R2）の調査結果（84.3%）に比べ3.2ポイント低下している。

問17 あなたは、町内会（自治会）に加入していますか。（1つに○印）

	回答数 (件)	回答率 (%)
加入している	938	81.1
加入していない	161	13.9
無回答	57	4.9
計	1,156	

(標本数：1,156件)



属性別集計（年齢別、居住地域別）

		標本数(件)	町内会への加入状況(%)		
			加入している	加入していない	無回答
年齢	10代・20代	77	63.6	35.1	1.3
	30代	107	68.2	29.0	2.8
	40代	164	82.9	17.1	0.0
	50代	170	87.6	10.6	1.8
	60代	257	89.5	8.2	2.3
	70代以上	357	79.8	9.2	10.9
居住地域	高山地域	724	80.2	15.2	4.6
	東地区	49	73.5	20.4	6.1
	西地区	77	76.6	16.9	6.5
	南地区	96	78.1	20.8	1.0
	北地区	126	84.1	11.9	4.0
	山王地区	92	82.6	14.1	3.3
	江名子地区	46	80.4	17.4	2.2
	新宮地区	69	75.4	20.3	4.3
	三枝地区	39	87.2	7.7	5.1
	大八地区	55	87.3	5.5	7.3
	岩滝地区	12	83.3	0.0	16.7
	花里地区	63	76.2	17.5	6.3
	丹生川地域	51	88.2	11.8	0.0
	清見地域	39	87.2	7.7	5.1
	荘川地域	25	80.0	8.0	12.0
	一之宮地域	38	89.5	7.9	2.6
	久々野地域	63	88.9	4.8	6.3
	朝日地域	29	89.7	3.4	6.9
	高根地域	17	64.7	5.9	29.4
	国府地域	94	79.8	17.0	3.2
上宝・奥飛騨温泉郷地域	45	84.4	8.9	6.7	

【年齢別】

- ・年齢が上がるにつれて「加入している」の割合が高くなるが、70代以上では低下している。

【居住地域別】

- ・高山地域における「加入している」の割合が最も高いのは大八地区（87.3%）、最も低いのは東地区（73.5%）である。
- ・支所地域における「加入している」の割合が最も高いのは朝日地域（89.7%）、最も低いのは高根地域（64.7%）である。

属性別集計（家族構成別、定住年数別、居住形態別）

		標本数 (件)	町内会への加入状況(%)		
			加入している	加入していない	無回答
家族構成	単身世帯	145	55.9	37.9	6.2
	夫婦のみ	284	81.7	11.6	6.7
	二世代会世帯 (うち中学生以下の子と同居)	431 (144)	84.2 (81.9)	12.5 (14.6)	3.2 (3.5)
	三世代会世帯 (うち中学生以下の子と同居)	238 (138)	89.9 (89.1)	7.1 (6.5)	2.9 (4.3)
	その他	32	93.8	0.0	6.3
定住年数	1年未満	17	47.1	52.9	0.0
	1年以上～5年未満	40	47.5	52.5	0.0
	5年以上～10年未満	46	56.5	41.3	2.2
	10年以上～20年未満	93	76.3	20.4	3.2
	20年以上	950	85.2	9.8	5.1
居住形態	持ち家(分譲マンション・家族所有含む)	1,003	87.9	7.6	4.5
	借家(アパート含む)	113	28.3	65.5	6.2
	間借	5	80.0	20.0	0.0
	社宅・寮	18	50.0	50.0	0.0
	その他	4	100.0	0.0	0.0

【家族構成別】

- ・全ての家族構成で「加入している」の割合が高いが、そのうち単身世帯は割合が低い。

【定住年数別】

- ・5年未満において「加入していない」の割合が高い。

【居住形態別】

- ・持ち家、間借において「加入している」の割合が高く、借家においては「加入していない」の割合が高い。

7-2 町内会に加入しない理由

- ・「賃貸住宅（貸家、アパート）住まいのため」の割合が最も高い。
- ・上位3位は、前回（R2）の調査結果と同じである。
- ・前回（R2）の調査結果に比べ、特に「会費が経済的に負担」の順位・割合が上昇し、「人付き合いがわずらわしい」、「必要性を感じていない」の順位、割合が低下している。

問17-2 問17で、「加入していない」に○をつけた方に伺います。その理由はなんですか。

（3つまで○印）

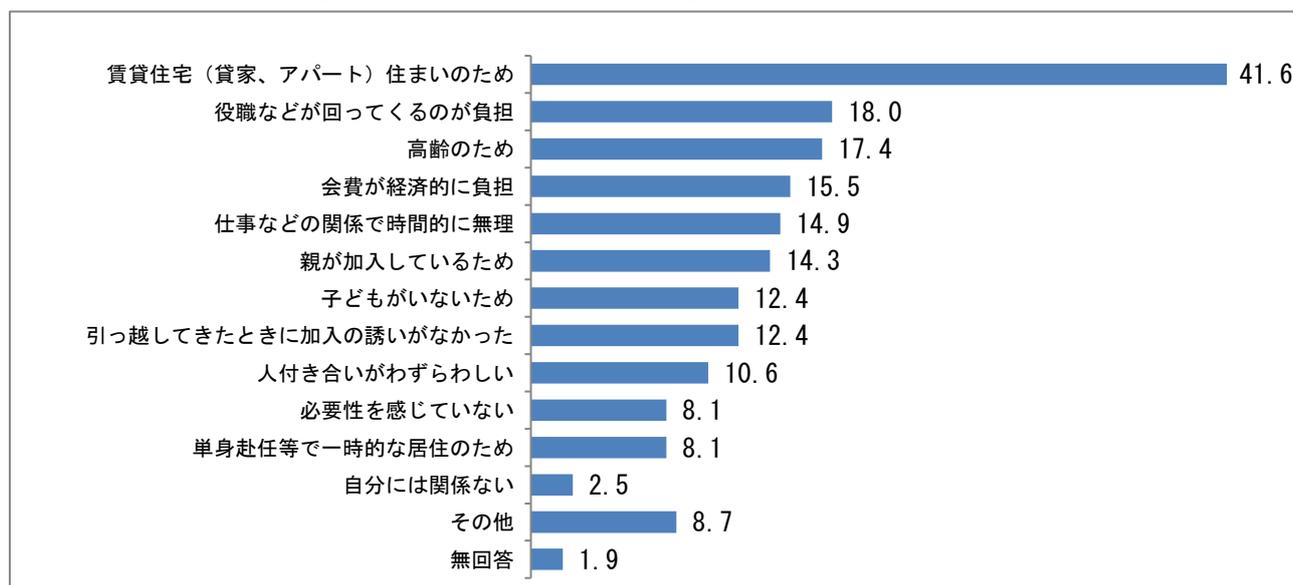
順位		回答数 (件)	回答率 (%)	前回 (R2)	
				順位	回答率 (%)
1	賃貸住宅（貸家、アパート）住まいのため	67	41.6	1	45.0
2	役職などが回ってくるのが負担	29	18.0	2	17.3
3	高齢のため	28	17.4	3	16.2
4	会費が経済的に負担	25	15.5	10	8.4
5	仕事などの関係で時間的に無理	24	14.9	4	14.1
6	親が加入しているため	23	14.3	6	12.6
7	子どもがいないため	20	12.4	8	11.0
	引っ越してきたときに加入の誘いがなかった	20	12.4	9	9.4
9	人付き合いがわずらわしい	17	10.6	4	14.1
10	必要性を感じていない	13	8.1	7	12.0
	単身赴任等で一時的な居住のため	13	8.1	11	7.3
12	自分には関係ない	4	2.5	12	4.2
	その他	14	8.7		6.3
	無回答	3	1.9		4.2
	計	300			

（標本数：161件）

（標本数：191件）

※「その他」の内容

- ・「家族の事情」、「別荘に住んでいるため」 など



属性別集計（年齢別）

		年齢					
		10代・20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
標本数(件)		27	31	28	18	21	33
町内会に加入しない理由(%)	賃貸住宅（貸家、アパート）住まいのため	48.1	45.2	46.4	44.4	38.1	27.3
	役職などが回ってくるのが負担	7.4	16.1	28.6	22.2	14.3	18.2
	高齢のため	0.0	0.0	0.0	0.0	19.0	66.7
	会費が経済的に負担	11.1	9.7	25.0	22.2	14.3	12.1
	仕事などの関係で時間的に無理	7.4	16.1	10.7	33.3	23.8	9.1
	親が加入しているため	22.2	25.8	14.3	11.1	0.0	9.1
	子どもがいないため	11.1	12.9	21.4	22.2	4.8	6.1
	引っ越してきたときに加入の誘いがなかった	14.8	9.7	21.4	16.7	4.8	9.1
	人付き合いがわずらわしい	7.4	16.1	10.7	11.1	14.3	3.0
	必要性を感じていない	11.1	3.2	10.7	16.7	4.8	6.1
	単身赴任等で一時的な居住のため	18.5	12.9	7.1	5.6	4.8	0.0
	自分には関係ない	7.4	6.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	0.0	6.5	3.6	11.1	33.3	6.1
無回答	3.7	0.0	0.0	5.6	0.0	3.0	

【年齢別】

- ・60代未満は「賃貸住宅（貸家、アパート）住まいのため」の割合が最も高い。
- ・70代以上は「高齢のため」の割合が最も高い。

属性別集計（家族構成別）

		家族構成						
		単身世帯	夫婦のみ	二世代世帯	(うち中学生以下の子と同居)	三世代世帯	(うち中学生以下の子と同居)	その他
標本数(件)		55	33	54	(21)	17	(9)	0
町内会に加入しない理由(%)	賃貸住宅（貸家、アパート）住まいのため	54.5	42.4	38.9	(66.7)	5.9	(11.1)	—
	役職などが回ってくるのが負担	16.4	18.2	18.5	(14.3)	23.5	(11.1)	—
	高齢のため	20.0	15.2	9.3	0.0	41.2	(55.6)	—
	会費が経済的に負担	16.4	6.1	25.9	(19.0)	0.0	0.0	—
	仕事などの関係で時間的に無理	12.7	15.2	13.0	(4.8)	23.5	0.0	—
	親が加入しているため	1.8	3.0	24.1	(4.8)	47.1	(33.3)	—
	子どもがいないため	18.2	18.2	5.6	0.0	0.0	0.0	—
	引っ越してきたときに加入の誘いがなかった	12.7	12.1	16.7	(23.8)	0.0	0.0	—
	人付き合いがわずらわしい	12.7	3.0	16.7	(9.5)	0.0	0.0	—
	必要性を感じていない	5.5	12.1	11.1	(9.5)	0.0	0.0	—
	単身赴任等で一時的な居住のため	16.4	9.1	1.9	0.0	0.0	0.0	—
	自分には関係ない	5.5	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0	—
	その他	10.9	9.1	9.3	(14.3)	0.0	0.0	—
	無回答	1.8	6.1	0.0	0.0	0.0	0.0	—

【家族構成別】

- ・単身世帯、夫婦のみ及び二世代世帯は「賃貸住宅（貸家、アパート）住まいのため」の割合が最も高い。
- ・三世代世帯は「親が加入しているため」の割合が最も高い。

属性別集計(定住年数別)

		定住年数				
		1年未満	1年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～20年未満	20年以上
標本数(件)		9	21	19	19	93
町内会に加入しない理由(%)	賃貸住宅(貸家、アパート)住まいのため	55.6	66.7	57.9	31.6	33.3
	役職などが回ってくるのが負担	0.0	14.3	10.5	15.8	22.6
	高齢のため	0.0	9.5	15.8	10.5	22.6
	会費が経済的に負担	11.1	0.0	26.3	26.3	15.1
	仕事などの関係で時間的に無理	0.0	4.8	10.5	15.8	19.4
	親が加入しているため	0.0	4.8	5.3	31.6	16.1
	子どもがいないため	0.0	9.5	15.8	10.5	14.0
	引っ越してきたときに加入の誘いがなかった	22.2	14.3	31.6	10.5	7.5
	人付き合いがわずらわしい	0.0	4.8	5.3	26.3	10.8
	必要性を感じていない	11.1	4.8	5.3	10.5	8.6
	単身赴任等で一時的な居住のため	33.3	23.8	5.3	5.3	3.2
	自分には関係ない	0.0	9.5	5.3	5.3	0.0
	その他	22.2	14.3	10.5	5.3	6.5
無回答	0.0	4.8	0.0	0.0	2.2	

【定住年数別】

- ・全ての定住年数で「賃貸住宅(貸家、アパート)住まいのため」の割合が最も高い。

属性別集計(居住形態別)

		居住形態				
		持ち家 (分譲マンション・家族所有含む)	借家 (アパート含む)	間借	社宅・寮	その他
標本数(件)		76	74	1	9	0
町内会に加入しない理由(%)	賃貸住宅(貸家、アパート)住まいのため	3.9	81.1	100.0	33.3	—
	役職などが回ってくるのが負担	25.0	13.5	0.0	0.0	—
	高齢のため	28.9	8.1	0.0	0.0	—
	会費が経済的に負担	18.4	14.9	0.0	0.0	—
	仕事などの関係で時間的に無理	19.7	10.8	0.0	11.1	—
	親が加入しているため	25.0	2.7	100.0	0.0	—
	子どもがいないため	11.8	13.5	0.0	11.1	—
	引っ越してきたときに加入の誘いがなかった	5.3	17.6	0.0	33.3	—
	人付き合いがわずらわしい	14.5	6.8	100.0	0.0	—
	必要性を感じていない	11.8	5.4	0.0	0.0	—
	単身赴任等で一時的な居住のため	0.0	9.5	0.0	55.6	—
	自分には関係ない	1.3	2.7	0.0	11.1	—
	その他	13.2	2.7	0.0	22.2	—
無回答	2.6	0.0	0.0	11.1	—	

【居住形態別】

- ・持ち家は「高齢のため」の割合が最も高い。
- ・借家は「賃貸住宅(貸家、アパート)住まいのため」の割合が最も高い。
- ・社宅・寮は「単身赴任等で一時的な居住のため」の割合が最も高い。

※間借は回答数が1件のため除く

6 将来に向けた高山市のまちづくりへのご意見など

問18 未来の高山市がこうあって欲しいと思う姿がありましたら、ご記入ください。

労働・産業
・高山が好きなのに帰ってこられない若者が、高山で好きな仕事をして適正な給与を得ることができるまち。若者が帰高することで介護などの問題も少しは解決すると思う。
・大卒の若者が働ける場所や高齢者に仕事があるまち
・若者が働ける企業（職場）がほしい。
・進学、就職で高山を出ていなくても地元で魅力的な仕事あるまち
・若年層や移住者が増加する魅力ある市に。また雇用・賃金等、地元への愛着のある人への環境整備をもっと大々的に取組み、人口減少を食い止め、中都市程度の市に前進するため努めてほしい。
・平均賃金も低いので高くなってほしい。物価高騰により実質賃金は低くなったと感じている。
・多くの雇用の場を誘致してほしい。若者が高山に残れる場所。
・海外からも観光客が訪れる高山市は自然、人情、食等に恵まれたところだからだと思う。半世紀前の駅周辺は西も東も木材で埋め尽くされていた。木材市場、製材所、木工所、大半の人がそんな仕事に就いていた。今はホテル街になって観光業に様変わりした。若い人が故郷へまた戻ってこられるような仕事のできる場所を作ってほしい。若い力は何物にも代えられない。飛騨の自然は本当に素晴らしいものである。
・若者の雇用が増え企業が活発に活動できるまち
・関東・関西・名古屋・岐阜市・富山・金沢等への交通利便性の向上をすすめてほしい。そして多くの会社を誘致し若者の働く場を作ってほしい。ホテルもコンビニも働く人がいない状況なため、とても大切なことだと思っている。若い方が帰ってくれない家族も増え、パート・アルバイトに出られる方も増えている。魅力ある高山へ導いてくれることを願う。
・若い人たちが働けるように企業を積極的に誘致してほしい。
・住みやすく、若い人も市内で就職をして市を盛り上げてくれると良い。観光客も大切であるが、市民が大切にされていると感じられる取組みがあると良い。
・工場を増やすことと（働き場の確保）、大学の充実（家から通学できる場所の確保）
・子育てがしやすいまちになってほしい。経済的にも厳しくなってきたので、子育て（学校にかかる費用など）に心配がないようになったらと思う。地域の特徴として、車が一人一台必要だったり、冬も灯油などで経済的負担が大きいので、全体的に給与が上がれば良いと思う。そのためには働く場所がもっと増えれば良いと思う。
・若者が地元に残って魅力ある仕事ができる環境（企業誘致）や移住者が増えるまちづくり
・私には中1の子どもがいる。進路はまだ決まっていなが、高山から地方へ出て私には正直高山へ戻ってきてほしいとは思わない。本音を言えば戻って就職、結婚をして私の近くに住んでほしいが、高山は給与水準が低いし、職種も少ないため、地方に出て頑張っ手職をつける勉強をしても高山では活かせないと思う。高山は自然に囲まれていて好きでは

<p>あり、子どもに将来高山に帰ってきたいと思ってもらえるような市であってほしい。観光産業に力を入れることも大事だと思うが、今高山に住んでいる子どもたちの目線で市を発展させてほしいと思う。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・人口増加（家族の増加）。若者の雇用、定着。
<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少、少子高齢化が今後著しく早いスピードでやってくる。人口流出を食い止めるための職場の確保や賃金の底上げ、また他地域や他県からの移住の推進などやらなければならないことが山積みである。大変なことばかりだが、手遅れにならないようすすめてほしい。自分の生まれ育った地域でいつまでも住み続けられることを望む。
<ul style="list-style-type: none"> ・観光業が中心の市になっていると思う。一部の人はゆとりがあり、経済的にも良くなると思うが、市民全体のことを考えると不安が募る。後継者もおらず廃業しなくてはいけない個人企業や会社等、観光客も戻ってきて活気が出てきたが、他県などからの会社が多く入ってきて収入も他に行ってしまうのではないかと思う。高齢になっても働ける場所が必要で、高齢により働けないのは少し不満である。高齢でも元気に働ける人はいる。ゆとりのある老後が必要であると思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・教育環境の充実・雇用の拡大・医療福祉サービスの充実およびそこで働く人々の労働環境の改善
<ul style="list-style-type: none"> ・働くところの多いまち（若者、高齢者も）
<ul style="list-style-type: none"> ・林業の活用について、市には山がたくさんあり、仕事につながると良いと思う。観光地であり、他国の方、他地方の方が多くなるのはうれしいことではあるが、市民が自信を持って住みやすいと思える市になれば、子どもたちのリターンも増えてくると思う。空き家ばかりの近所を見てさびしく感じる。
<ul style="list-style-type: none"> ・若い人の雇用、自ら事業を行える場所として環境が整備され、住んでいることでたくさんメリットが得られるよう、まずは若い人が高山に行きたい、住みたい、働きたいと思ってもらえるような高山市、魅力ある高山市であってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・大学まで地元で学べ地元で就職すること
<ul style="list-style-type: none"> ・観光地イメージしか無いように思う。雇用確保等に向け企業誘致活動に力を入れてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが大人になった時就職しやすい環境を整えてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・若い人たちの流出に対して、リターンをもっとできるように雇用促進をしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・働き手が少ないので、人口が増えてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・安心安全が確保され、若者が戻って来られるような企業の存在。都会で身につけた知識や技術が活かされる仕事があると良いと思う。新規企業を起こす人への支援も必要である。
<ul style="list-style-type: none"> ・今後高齢者が増加する中で、支える人口が減る。両方が安心して生活できるよう、介護の充実と低賃金の中、税金ばかり取られるのは辛いので、給与アップを希望する。
<ul style="list-style-type: none"> ・若者が働ける環境を整えてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・観光産業だけでなく、地場産業である農林畜産業・木工業等の各産業の人材育成・後継者育成がすすみ、進学等で高山から離れた若年層が戻ってこられる就業場所が確保されて活気のある市になってほしい。また、賃金が低いと感じているので、賃金だけでなく、雇用条件等も含めて改善が図られれば若年層を含めた就業者の確保もできると思う。

・ 経済的に豊かな高山市であってほしい。観光産業で生計を立てる市民が大半ではない。コロナでもわかったように、観光客の消えたまちなかはゴーストタウンのようであった。観光に頼る市ではなく、税収が見込まれる観光以外の企業誘致を積極的に行うべきである。
・ 観光業だけではなく、将来伸びると思われる生産業を誘致してほしい。
・ 若者が、就職し住み続けるまち
・ 若者の雇用を増やしてほしい。せっかくリターンで地元に戻ってきても雇用に偏りがあると、希望する職種が見つからず地域から離れていく。IT 関連企業は特に少ない気がする。
・ 支所地域の働く場所と人口の分散が必要である。
・ 優良な企業が増えて、進学で高山を離れた若者が戻ったり、他県・海外からも若者の流入が増えて活気あるまちになることを願う。
・ 若者がリターンし、意欲を持って仕事に取り組める魅力あるまち。高齢であっても生き生きと働ける場があるまち
・ 若者が安心して働ける環境づくりが必要である。結婚適齢期の若手が子どもと共に安定した生活を維持継続可能な収入の確保が第一であり、少子化を克服する唯一の特効薬だと思う。
・ 新しい農業・林業を構築維持できるようにリターン、Iターン（移住者）が住める古民家の提供。起業に対しての援助と継続しやすい環境を整える。
・ 匠のまちらしい家々のづくりや後継者の育成が必要である。
・ 市内の産業が充実することで、若者にとって魅力あるまちとして地域が活性化すること。仕事環境の充実が人口減少への対応になると思う。
・ 市の人口減少が心配である。人口が減ると地域の伝統工芸品を作る人材の確保ができない。山王地域は特に人口が減っているため、増やすために何らかの対策をしてほしい。
・ 観光中心になっているが技術産業に力を入れてほしい。
・ 産業と福祉の連携に取り組んでほしい。
・ 観光都市を目指しているのに、観光業の従事者の給料が少ない。

農業・畜産業・林業
・ 地産地消の食生活の向上を図ってほしい。
・ 日本が輸入に頼らないで自給自足できる国であるようにならなければいけないように、高山も地産地消できるよう農林畜産等、第一次産業に力を入れていける後継者が増えること。若者が定住したくなる高山市となってほしい。
・ もっと田畑をつくるようにしてほしい。
・ あと 10 年もすると農業をできない家がかかなり多いので、市としても請け負いできる農業法人への支援をして委託できるようにしてほしい。
・ 地産地消をすすめてほしい。
・ 地産地消、自校式のオーガニック給食のある園、学校、オーガニックが市民の当たり前になり、家庭以外にも外食産業や観光業でも基本にあり、日本のモデル的なオーガニック都市になってほしい。もちろん畜産でもオーガニック（飼料も地産地消で NON-GMO）で地産地消を通して高山の自給率を国内トップレベルにしてほしい。
・ 木を軸にしたまちづくりをすすめてほしい。

商業
・ まちなかには駐車場が少なく、若い人がまちなかに集える場も少ないので、駐車場が利用しやすいオープンスペースがあると良い。
・ 市民がオーナーである店やホテルが多いとうれしい。
・ チェーン店ばかりあるまちであってほしくない。
・ 観光も重要だが、高山で洋服やインテリア用品の買い物をしようと思わないので大型の商業施設がほしい。
・ 都会に行かなくても市内で遊べる場所（大型ショッピングモール、大型公園、映画館、イベント等）がほしい。
・ 旧市外の方も不便が少ないよう、交通の便、スーパーなどが増えると良い。
・ 支所地域にも医療施設や買い物ができるところがあると良い。雪道の危ない所も整備すべきである。
・ 観光産業も大事だが、まずは住民が暮らしやすく娯楽に満足できる環境を整えてほしい。子どもが十分に楽しめる公園が少ないように感じる。映画に親しめない環境もいかなものかと思う。
・ 映画館や公園があったら良い。
・ 映画館、大型商業施設等をつくってほしい。
・ 商店街の活性化を望む。まちなかを通るとシャッターの下りた店が多いのが寂しく感じる。まちなかを散策できるように無料の駐車場があったら良いと思う。
・ 駅周辺にこれ以上ホテルを建てないでほしい。高いビルはいらない。休日市外へ行かなくても、ショッピングや娯楽のできるまち（若者が増えそうな）
・ 昔のようには思わないが「隣は何をする人ぞ」のようなまちにはなあってほしくないと思う。高山に住みたい、高山が誇り、高山に住んでよかったと思えるような市であってほしい。観光も大事だと思うが、全国的大型チェーン店やホテル経営に食べ物にされている気がする。全国チェーン店などは採算が合わなければ撤退するだけであり、地元の人が経営する産業とうまくバランスが取れると良いと思う。
・ 観光がメインであると思うのもっと夜に観光客がいける飲食店を増やしてはどうかと思う。
・ 商店街を活性化してほしい。たまにシャッターが閉まっているのを見ると不安になる。
・ 若者離れが激しいので、商業施設などをもっと拡充してほしい。

観光・海外戦略
・ 広い市で一部の限られた地域も観光ではなく、自然景観を含めた心身ともに健全な市民を含めた観光PRをすすめてほしい。最近駅西2km位の田畑のある道を歩く外国人が多くみられるが、アルプスの山に関心があるように思う。
・ 国際観光都市としてさらに伸びていくことには賛成だが、国内の旅行者にも人気になるよう努力が必要である。
・ 富山、名古屋、松本等、移動に時間がかかってしまうので、アクセスを良くすることでより観光客に来てもらえると思う。
・ 高山市は日本の皆さん方から名前はよく知られているようだが実質的にはどうかと思う。上二・上三之町は観光客も多くにぎわっているが、上三之町のみで高山市ではない

<p>と思う。例えば朝市も現状のままで良いのかと思う。高山らしい朝市とは。市全体が高山らしく飛騨らしく感じられる時が必要ではないかと思う。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・観光客が多いことはとても良いと思うが、オーバーツーリズムにならないように、高山の良さが保たれることが大事だと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナが一段落して観光客が戻りつつあるが、来高した方でわずかに非常識な行動をとる方もいるかもしれない。その時に毅然とした態度で対応できるような体制を整えてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・外国の方が高山はすばらしいと思っていただける観光地にしていく。
<ul style="list-style-type: none"> ・観光に頼らないまち。支所地域があつてこそその高山市。中心部のみが発展するのではなく、支所地域への支援を続けてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・観光客が戻り活気のあるまち。魅力度ランキング上位になると良い。
<ul style="list-style-type: none"> ・今、高山地域には観光客が増えているが、それ以外の地域はどうですか。高山という一部の所みたいな気がする。もっと広く全部が潤う方法を考えていけると良いと思う。地元で任せている気がする。
<ul style="list-style-type: none"> ・観光都市を目指し、観光産業を活性化して、世帯あたりの収入を増やす。
<ul style="list-style-type: none"> ・観光は食事である程度の知名度と人気を誇れるまちであってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・観光はもう十分である。
<ul style="list-style-type: none"> ・観光資源、自然を活かした観光都市
<ul style="list-style-type: none"> ・高山地域も含め日本人が行ってみたいくなるような観光地づくりが必要である。
<ul style="list-style-type: none"> ・外国人の需要（市に何を求めて訪問するのか）を正確に把握した上で、市民もその情報を認識し、市全体でインバウンド増加に取り組む必要があると思う。また、高山市を筆頭に、岐阜県が日本のインバウンドランキングで10位以内に入ってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・高山の資源は観光なので観光宣伝を推進する。高山ブランドの家具、飛騨牛、飛騨の野菜などがあるため、輸出など海外戦略を考えても良い。外国人観光客などに市内を案内するなど、公助と共助が不可欠と考える。

<p>経済</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・旅館、美術館、商店の連携を強固にし、お互いに利益の上がるような体制をとっていただきたい。どうしても無駄が多くもったいないと思えることが多い。
<ul style="list-style-type: none"> ・経済の活性化
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの時、観光客の激減による業界の打撃を考えると、観光だけに委ねる市政は考えものだと思う。今はたくさんの観光客が戻っているが、これもブームの一つ、いつか去っていくものと考え、本来の農業、林業にもっと力を入れるべきである。
<ul style="list-style-type: none"> ・農林業をはじめ、みんなが誇りをもって働き、親の背中を見て子が育つような社会づくりを目指してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・第1次～第3次産業がバランスよく発展することが大切だと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・産業、観光、福祉、教育などが一体化して循環する仕組みができるといいと思う。今はそれぞれバラバラで自分に関連のないことは人ごとになっていると感じる。森林率が高いことを活かして市民が一日中過ごせるような大きな公園をつくり、そこには林業・農業他の障がい者・高齢者を含む雇用があつて、農産物や工芸品、自然を求める観光客も来て、子

どもたちはそこで学んでいく、というような自然の恵みと多様性を肌で感じるような場所をつくってほしい。

・自然や観光地としての魅力はそのままに、ネット環境を最大限に利用して「時代の最先端を行く田舎」であってほしい。交通の不便さには「ネットで予約できる自動運転タクシー」、医療なら「高山にいながら他地域の大学病院の遠隔診察」を受けられるとか、教育なら「他地域の高度な教育も受けられる」とか。スタートアップ企業やベンチャー企業を優遇するなどして、やる気のある企業を応援しながら市も共に成長できると良いと思う。

・未来の高山市になってほしい姿としては「ぶちぬいた高山市」である。例えば木エーつにしても、飛騨の家具として地域の人に飛騨の家具を感じてもらってなど、というのではもうこの先無理である。高山は東京や大阪のような富裕層が多い地域ではない。日本の田舎の人たちは大抵お金の余裕がない人たちで、そんなところに飛騨の家具ブランドを掲げて売れることはない。また木エスクールや伝統工芸の伝承を促進しても意味がない。1番大切なのはマーケティングである。つまり売れなければ産業は発達しない。だから今後市がとるべき施策としては海外へ販路を広げていくこと。例えばドバイやシンガポールという自然がない地域には木の家具というのは貴重だと思う。もちろん輸入されてはいると思うが、そういう海外需要に飛騨の洗練された木工家具を売り込む、そういったマーケティング戦略、国際的な飛騨の家具のブランド化、ブランディング戦略こういうことが求められている。今あることを守り抜くではダメであり、常に新しさを求め、その先にもみ「ぶちぬいた高山市」は存在するのだと思う。

保健・医療

・病気になった時、市外の大きな病院へ行くことが多いので、地元で治療できるようになるとありがたい。

・医療がもう少し充実してほしい。

・大きな病気をしたら高山では助からない。そんな認識が患者にも医療従事者にも当然のごとく根付いている気がする。開業医の選択が少なく、診療までに待つ時間が長い。でも大病は高山では何ともならない。何のための医療なのか。受診で疲れる感覚がおかしいとされるようになってほしい。

・身内にすぐ連絡が取れるだけでも違うため、もう少し在宅医療に力を入れてほしい。市内には大きな病院が少ないのであれば、もう少し地域の医師の力を借りて医療体制が壊れないようにしてほしい。

・病院の充実

・若者にとって魅力のないまちだと思う。医療も不安な所があり、これから老いる人々にとっても決して自信をもって誇れるまちではない。まずは医療体制を整えていただきたい。

・医療、福祉の充実

・自然や文化などはそのままだけど、市民が生きていく上で医療などは最低限、新しい医療が提供できる医者と医療従事者が働きやすく、仕事を続けられるようにしてほしい。

・免許のない高齢者が多くなっており、車に乗れない人も多くなっている。地方から高山市に早くいつでも行ける交通システムを考えてほしいし、医療を受ける施設、個人医院が地方は少なく施設の充実を考えて安心して暮らせるような市に早くなってほしい。

<ul style="list-style-type: none"> ・市内の中核病院が古くなっている。市民にとって大切な病院建設等、まず優先し医療職と家庭が両立できるよう願う。また、福祉施設、介護職の充実も。
<ul style="list-style-type: none"> ・高山に限った問題ではないが、病院が充実していないので自分の老後が不安になる。
<ul style="list-style-type: none"> ・ウエルネスでSDGsな市を目指し続けてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療の充実
<ul style="list-style-type: none"> ・医療体制
<ul style="list-style-type: none"> ・病気の時に安心してかけられる大きな病院にもっと気軽にかかれるようにすべきである。かかりつけを通じてと言われるが、タイミングを外し命にかかわることもある。バリアを外してほしい。今年の四月にのどが痛くて病院へ行こうかとあちこち電話したが、コロナのせいでどこも関わりたくないと及び腰であった。結局、無料のPCR検査へ行き陰性を確認してから、近くのクリニックへ行き、黄砂アレルギーと判明した。この市に途中から住んでいるものにはかかりつけ医もなく、まして普段健康な人は医者にも行かず、当然かかりつけ医などない。こんな時どこへ行けばいいのか。とにかく医療体制が整ってなく、大きな病気の時は名古屋か岐阜まで行かなければならない。観光事業に舞い上がるより地道に病院、医師の確保に力を入れてもらいたい。

<p>地域福祉</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・低所得者、母子家庭世帯などにはいろいろと手厚いが、税金を多く払っている者に対して恩恵が少ないのに疑問を感じる。
<ul style="list-style-type: none"> ・子ども、動物などの社会的弱者が笑顔で安心して暮らせるまち。
<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少は仕方ないとしても、子どもを育てやすい自然豊かなで高齢者も安心できる高山市であってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・私は独身でありまちづくりに対して意欲的ではない。すべてを一人で対処しなければいけないので人との交流さえ恐怖を感じる。経済面、役職負担の面から町内会に入れない孤独感を認識している者にとって何かに参加することはハードルが高い。一人であってもどこへどう相談し自立して生きられるのか、結婚しても孤独な人は少数かもしれないが、いると思うため、目を向けてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者、障がい児、障がい者の対策
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が多く子どもが少なく社会全体が不安で、高齢者と子ども等に目を向けてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが安心して生活できたらいいと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・人々が温かくて美しい高山であってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者に優しいまち、子育てしやすいまち
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもや高齢者に対する充実した施設や支援が行われることで少子高齢化を防ぎ人口増加につながる。
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちに優しいまちであることはとても大切だと思う。市でも国でも取り上げずめられていると感じる。できればお年寄りをもっと活躍されたり、外出できるまちになっていけば良い。便利になっていくのはありがたいが高山らしさはいつまでも変わらないでほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・弱者、いわゆる子どもや高齢者に優しいまちであってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・若者から高齢者までがたくさんいて、皆が安心して生活できるまちであってほしい。

<ul style="list-style-type: none"> ・結婚をしたくない若者が増えている。少子化の問題にはさまざま要素がある。大学、専門学校を出てもリターンで帰ってこられるような魅力ある仕事先、楽しく子育てできる、いじめのない学校、社会、地域、思いやりのある若い方にもお年寄りにも楽しい生活ができるまちになってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・市民全員が安心して暮らせる市であってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・新生児から老人まで、健康な人から病める人まで、大きな面積を誇る市ならそれを有効活用できるよう視野を広げ、大規模な改革が必要である。
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化がすすみ、一人暮らしの高齢者が多くなると思われる。そこで隣近所や地域で支えあい、市の支援を行い、安心して暮らせる市になってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者、障がい者にとって高山に住んでいて良かったと誰にでもいえるまちになると良い。僻地での高齢者介護は介護保険を払ってはいるが、ヘルパー不足と言われ、なかなか来てもらえない。医療職であったが介護との両立は難しく仕事を辞めた。一人親、高齢老夫婦世帯の買い物や食事、色々悩み過ごしている。ハンディある子どもの将来、現在において職種がない。ハンディある方の働く場において良き指導者の育成・採用を充実してほしい。親亡き後の子ども、将来の相談場所の充実を願う。
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者世帯、一人暮らし世帯に対して弁当配達等、僻地でも毎日稼働できるように願いたい。移動歯科訪問、距離で訪問が可能か決められているが、遠方でも訪問していただけるようになったら良いと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員の方が各家庭（必要者）へ訪問してはどうかと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・福祉に優しい高山市
<ul style="list-style-type: none"> ・観光ばかりに注目が集まり、そこに従事する方が中心の市政ではなく、もっと高山に住んでいる様々な人が、安心して住みやすいと感じる地域であってほしい。今、高山で子育てをしているので、感じることもある。医療の充実、子育て支援への充実（障がいをもつ子や保護者へのサポート、公園施設や教育施設の充実など）が図られ、高山地域でも、充実した子育てができるようになると良いと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・住みたいまちランキングに常に上位に入ってくるような、生活を支援する取組みが充実したまち
<ul style="list-style-type: none"> ・観光ばかりではなく、これからは福祉に力をいれるべき。
<ul style="list-style-type: none"> ・弱者（子ども、高齢者、障がい者など）に対する優しさが、何気ない日常の行動にあふれ、感じられるまちになってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・多様性のある、コツコツやっている人にもしっかり目を配ってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもから高齢者、障がい者などが、安心して、また平等に生活していける地域になってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・生活弱者（高齢者、障害者、生活困窮者等）にやさしいまち
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者、身障者、子どもに優しいまちづくり
<ul style="list-style-type: none"> ・市民が安全で安心した生活ができるまち

<h3>高齢者福祉</h3>
<ul style="list-style-type: none"> ・自分が今抱えていることが介護の問題であり、まちづくりというワードさえピンと来ないのが現実である。

・親の老後、自身の仕事、子育てと一緒に面倒を見れるのかが不安で、施設や介護サービスの充実が必要だと思う。
・立地の問題もあるが、もっと人や物が行き来しやすくなれば良いと思う。また高齢者の介護サービスや安心して入居できる施設の充実が必要である。
・私は70歳を過ぎたが、老後の介護に不安を感じている。色々大変かと思うが、安心して介護等を受けられるようにしてほしいと願う。
・自分の親も高齢になってきているので、高齢者が気軽に立ち寄れる場所があり、独居になる方が少なくなしてほしい。
・高齢化が進むので移動スーパーなどが増えれば良いと思う。観光だけでなく福祉関係にももうすこし力を入れてほしい。
・介護の取組みも一人にならないよう老人の集まりや働く場所などができるとよいと思う。
・高齢者になっても不安を感じず、楽しい毎日を送れるようなまち。他県より住んでみたいと思われるようなまち（光熱費の助成、土地が安い、働きかた改革の充実、ヘルパーや介護施設、デイサービスの充実）
・高齢者が健康で、働きやすいまち

児童福祉
・少子化対策
・観光業も重要ですが子どものためのまちづくりをしてほしい。大きな公園やたくさん遊具がありますが、現在全く整備されていない物もあるため、直したり、新たに作ってほしい。歩道もしっかり整備してほしい。
・より子育てしやすい高山市であってほしい。
・産後ママのリフレッシュできる教室の開催を望む。
・経済的に困っていても安心して子を産み育てられる地域の子育て環境
・子どもを育てやすい環境づくり。娯楽施設を増やしてほしい。
・人口が減少している。子育てにもっと予算を使ってほしい。教育費の無償、給食費の無償等、他の自治体の見本になるようなまちになってほしい。
・子どもたちが伸び伸びと暮らせるまちづくりを願う。
・こどもが笑顔で過ごせる。
・若い世代の人達が高山を離れることなく、未来の心配のない子育て等、楽しく生活できるように。子どもたちが遊べるところが少なく、遠くへ行かなければならないので、色々なことができる所が一ヶ所あれば良いと思う。
・子育て世代応援イベント
・子どもたちが遊べる施設がほしい。（例）屋内プール、長い滑り台、小学生対象とした施設
・保育士教育（働く親と子育ての両立ができるようになればよい）
・子どもたちが安心して遊べる場所の確保
・子どもたちが安心安全でのびのびと遊べる環境
・子どもたちが夢を持って暮らせるまち
・子どもを育てやすい環境。物価が上がり生活が大変なための賃金補助
・子ども達が遊べる公園や施設の増築

<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援の強化について。母親は育児休暇を取得し1人で2人の子育てをしている。市役所から、産前産後の未満児の入園は認められたが、育休を取る場合は一時預かり保育は認めない、とのこと。（私立幼稚園では預かり保育は可能）1人で育児することは、非常に大変なため、預かり保育を認めてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・子育てしやすいまち
<ul style="list-style-type: none"> ・子育てのしやすいまち。大きな公園等があり、のびのびと子どもがすごせる。
<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達に高山市にしか無い良さを感じてもらえると良いと思う。

学校教育
<ul style="list-style-type: none"> ・教育の中で市の魅力を伝え、都会では手に入らない住みやすい地域の良さを文化財や伝統芸能、農業などで体験できる授業を行ってほしい。大人になった時に高山市で活躍できると思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・教育者をもっと育てて安心して教育が受けられるようになってほしい。現在高山市の学力レベルが全国的に見て低いと感じる。
<ul style="list-style-type: none"> ・森林率93%、日本一山の国、木の国の高山市。美しい水の源。水は生活の必需品。農業、工業、木材業すべての元。この恵まれた資源を守り活かすため、大学など日本一の専門の学校を作ってほしい。

文化芸術・スポーツ
<ul style="list-style-type: none"> ・昔は高校野球や社会人野球を家族で見に行き、楽しみであった。野球場で応援ができることを期待する。
<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツに関する施設や環境が整っていて 市民が元気で健やかに暮らせる明るい高山市であってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習について、私は高山市になる前から書道教室、水墨画教室、民謡教室と、いずれも40年間続けている。年を重ねるにしたがって書道会は解散した。また水墨画教室も始めは高山文化会館に40名、下呂・飛騨市も100名近くいたが水墨画も解散。今日では国府の6名で入会する人はいない。民謡教室は70歳から88歳の8名の会員で、若い人は入ってこない。どれだけ募集してもゼロである。今後どうしたらよいか悩んでいる。

交流
<ul style="list-style-type: none"> ・外国人ばかりではなく日本人に愛される土地になってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・都市との交流

歴史文化
<ul style="list-style-type: none"> ・高山城か松倉城の復元を望む。
<ul style="list-style-type: none"> ・現在の高山のまちづくりに満足している。これからも二度と築くことのできないさんまの素晴らしい町並みを日本人だけでなく外国の子どもたちや高齢者にも多く来てほしい。笑顔で歩いて行かれる方々を見るとこのまちに来てよかったと元気をもらえる。
<ul style="list-style-type: none"> ・高山祭は市内あげての祭りで全国的にも知られているが、屋台のある町内は高齢の方が多くなり、毎年人足の確保が金銭面や体力面で大変だと聞いている。広く市内全域より人足を集めることはできないのか、各家庭の金銭面を市が負担することはできないのかと思

う。市街地へ引っ越したいと思っても、祭りの負担が高齢になってもかかってくるため躊躇すると聞く。若者が役を担い、祭りを誇れる高山市になることを願う。いつまでも高齢者が動かないといけないのは無理がくるように思う。
・城山に高山城が再建されたらと思う
・伝統や文化、古くからの方言（飛騨弁）を大切にしてほしい。
・文化・伝統が守られる静かなまち、つまり昔ながらののんびりしたまち。観光都市はやめるべき。
・自然豊かで市内だけでなく地域の伝統（祭り）などが受け継がれ、以前のような温かみのある高山市であってほしい。
・観光で得た収入が市民の健康増進に役立つ仕組みづくり。内面や見えない部分での DX を推進しつつ、表面的にはアナログな人々のつながりややりとりが脈々と受け継がれる姿。文化の中の食（昔からの）と言葉（飛騨弁）の継承。
・自然を大切に歴史を大切にすみやすい高山市にしてほしい。
・高山祭の参加や維持が大変で、後継者不足している。高齢世帯は遠方の子どものに依頼しているが、しだいに難しくなっている現状で、負担が大きい。市と神社が協力し祭りの仕事を維持していくことはどうかと思う。
・歴史ある飛騨高山の持続的発展を願い、子どもたちが魅力を感じる景色を提供し続けることが大切ではある。
・市が伝統文化に富んだまちであることを理解し誇りを持って伝えていくこと。
・古き良き伝統、文化をしっかりと守りながら観光客だけではなく、市民にとっても魅力ある高山市になってほしい。
・国内外を問わず、観光客は、体裁良く整えられた高山を観にくるのではない。高山本来の、古き良き田舎らしさ、のどかさ温かさを忘れて金儲けに走れば、かえってお客さんは興ざめする。地元には気づかない魅力を損なわずに活用する事が課題だと思う。高山の強さ、良さは自然環境にある。お金で買えない水と空気、山、田舎の環境を大事にする事を第一に願う。
・伝統を絶やささないでほしい。

協働
・新しい取り組みや変化にも保守的にならず取り組めるまちを目指してほしい。
・高齢化がすすみ、若者たちは就職先や住みやすさを求めて都会や高山地域に住むことが多い。高山地域の活動においても同じ方が同じ役職を何回もするような状態で、これでは思うようなサービス、活動はできない。
・強制的な人付き合いではなく、町内会や祭りの参加は希望者のみで良い。
・まち協も大切だけど、元々ある町内会を活性化すべきで、方向性が間違っている。町内会のあり方をまち協と合併して強化すべきと思う。
・これ以上自然を傷つけないでほしい。何より心が大切にされる。動物・植物がやさしく扱われ、尊重される。人々が謙虚でお互いに感謝と思いやりを忘れず歩いて行ける、笑い合っている。そんな願いがある。そんな未来の高山市になれば素敵で、地球ごとそうなれば一番である。

<ul style="list-style-type: none"> ・にぎやかで活気のある町であり続けてほしい。過疎にならないでほしい。地域行事が高山は盛んだと思うが、そこは変わらないでほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・以前のように地域のつながりを取り戻したい。
<ul style="list-style-type: none"> ・市民、隣人が声を掛け合い助け合う（老若男女）楽しく明るい高山を望む。挨拶、ひと声かけあう市民でありたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・昔の町内会の姿はよかったと思う。色々な町内の行事にも、高齢者や若者も前向きに参加して元気のある町内の姿があったように思う。人の気持ちにも余裕があったのではないかと思う。仕方のないことではあるが、人と人との交流、対話の場が持たれ、何でも気軽に話せる町内、高山市であると良いと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・少子化はこの地だけではなく、全国的に取り沙汰されている問題であるが、子どもたちの笑い声がたくさん聞こえることが理想である。先日テレビで県外の世界遺産を有する市に移住者がとても多いと紹介されていた。それには理由があって、なぜか子どもたちがとにかくよく遊ぶ、田んぼの泥の中でおかまいなし、親たちも一緒になって遊ぶ、他にも色々とか何か少しでもヒントになるところがあるのではないかと見ていた。高山では雪が武器になるかもと思った。子どもを巻き込むことでこの地も魅力が多いのではないかと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・市街地は観光に力を入れ文化、スポーツなども中心的存在であるが、支所地域は若い人の流出、高齢化で寂しくなるばかりである。コロナのせいもあって祭礼も盆踊りも尻すぼみなため、気持ちが高揚することがほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・現在はスマホの時代で、親や隣の人に聞いてくるということはほとんどないと思う。79歳の私は周りの人からの学びが多かったように思う。顔の見えない時代は来てほしくない。リモートと言われるが病んで寝ている人は何もわからない。人の温かさや心は、見て、触れ、声で理解できることもあると思う。人に優しいまちであってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・人づくりが大切だと思う。また、地域の行事や寺や神社などの半公共施設の管理など負担も多いので、できる限り削減し、都市部の方のような「個人のゆとり」が必要だと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・対話
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人との助け合い、交流。飛騨高山の良さを守る。
<ul style="list-style-type: none"> ・良好な人間関係を築きやすい優しいところであってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・昔からの伝統の押付けが無くなればいい。
<ul style="list-style-type: none"> ・経済的な豊かさよりも、生きがいや働きがい、文化的成熟や心の豊かさを享受できる社会となつてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・個人の意見が直接市政に届くようなしくみを構築し、自治会の負担を軽減することにより、より効率よく地域の活性化、安心、安全が保たれるようになってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・河川堤防の草刈りなど、ボランティアを強要している気がする。地元は、高齢化で人手がない。雇用創出のため、委託で対応すべきかと思う。必要なら、地元から協力金を徴収しても良い。
<ul style="list-style-type: none"> ・地域のことは地域で完結できる体制をつくり、活動すること。
<ul style="list-style-type: none"> ・若い人が多くいて活気あふれるまち。老人が生き生きしているまち。
<ul style="list-style-type: none"> ・地域や商店街の垣根を超えて仲良くする。誇りや愛着は大切だが、無駄なルールや束縛、昔からのプライドは捨て、親しみやすく身近である文化やまち
<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をかわし合えるまち

- ・恵まれた自然環境の中に、500年前の歴史と、今の文化や生活が混ざり合い、尊敬される高齢者と、未来を担う若者達が互いに支え合う事が出来る環境が整っているまち
- ・老若男女が安心して住めるまち
- ・人と人の繋がりで情報共有して困りごとが解決できるまちづくり

生涯学習

- ・今はコロナで開催はありませんが高齢化と共に(①脳力の活性化。書道教室、音楽、歌、琴、木琴、ピアノ等、趣味の活発化。②運動の推進。弓道、ソフトミニバレー大会、バドミントン等③栄養の勉強会。食事の大切さ、栄養学の勉強会。)を開催して市民の健康UPと楽しいまちづくりを望む。その場所で市民がお互いにふれあい、交流し語り、楽しい日を過ごせば市の活性化につながると思う。特に認知症に対しての訪問会話などまち協でも実施しているようなものの開催を望む。

土地利用

- ・高山市は不便な山岳地帯にありつつも、若い人の移住が多く、自然環境が良いため、とてもチャンスにあふれた土地だと思う。その上で、近年の田舎が陥っている「太陽光パネルだらけの風景」は絶対に避けてほしいと切に願う。そこにどれだけの損失や恐ろしさがあるかきちんと解っているから、若い人はあの風景のある場所にはもう絶対に戻ってこない。行政がしっかり介入し、高齢化で耕作できない田畑が出てきたら市で預かり、若い人が借りやすくする等、土地を守ってほしい。私の田舎(県外)は東京から近いこともあり、お年寄りが言いくるめられてどんどん土地を売ってしまい、太陽光パネルだらけになってしまった。建てるのは地元の人ではなく、都会や海外の企業である。その土地の財産である風景は一度壊すと二度と元には戻らず悔しい。どうかそうならないでほしい。
- ・今、他県のチェーンホテル等がたくさん建てられている。観光客にとってはありがたいと思うが、市営の駐車場が少ないように思う。ホテル業で働く人もそんなにいるのかと、余計な心配なのかもしれないが、地元の人を楽しめるような施設、公園など設置されると良いと思う。市民が移動しやすいような道路の整備、若者の働く場所も増えれば、他県へ出ていく人も少なくなるのではと思う。
- ・日本一広い市であるため、市街地と離れたところの差が大きく感じる。支所地域も住みやすいように目をかけてもらうと助かる。交通、食料品店など高齢になればなるほど不便になり不安である。他の県や地域が取り組んでいる企業誘致や新しいアイデアなどを参考にしてほしい。リモートによってIT系の事務所や名古屋からも近いので健康な老人の過ごせる施設、貸倉庫、広い土地があるため通販など色々あるのではと思う。
- ・空き家や遊休不動産を有効活用して、商店街やまちなかの新陳代謝を促したい。更地にしたり、建物を解体することに対して市民が意欲的になる施策をしてほしい。
- ・市有地の活用

住宅公園

- ・もっと公園などある良い。
- ・近隣市にあるような公園の整備を望む。
- ・もっと子どもの遊べる施設を増やしてほしい。近隣市にあるような大きな公園がほしい。その周りに飲食店などがあると1日遊べると思う。

<ul style="list-style-type: none"> ・観光業に力を入れすぎてホテルばかり建てずに、子どもたちが遊べるスポーツ施設レジャー施設が一つでもあればいいと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもを連れて遊びに行ける場所が限られどうしても遠出して買い物や遊び場に行くことが増えてしまう。自然を生かしたアスレチック豊富な公園や室内遊び場があると良い。
<ul style="list-style-type: none"> ・郊外だけでなくまちの中にも緑のある安らげる公園があったら良い。空地も駐車場になるばかりで寂しく感じる。高山に住む人も観光に来る人もほっとできるようなまちであってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・1日中、子どもが思い切り遊べる場所、屋内、屋外公園がほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・近年空き家が増えつつあるように思う。空き家を借りたい人がいても、家の中がそのままの状態ですることができないという話も聞く。何か対策・支援があれば有効な活用ができるのではと思う。空き家が放置されていると寂しく侘しく悲しく感じ、これからますます多くなるこの問題は早急に考えなければいけないと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・自然を生かしたみんなが行ける公園、施設があるとよい。県外にわざわざ行かなくても、市内でゆったり遊べたり楽しめれば日常生活でも楽しく過ごせると思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・県内外から訪れることのできるファミリーパーク的な大きな公園を作る。
<ul style="list-style-type: none"> ・城山公園や原山公園等、もっと子どもから老人まで楽しめる場所があると良い。
<ul style="list-style-type: none"> ・空き家を放置をするのではなく、解体やリフォームするなど少しでも減るようにしていく。
<ul style="list-style-type: none"> ・市には城山、北山、松倉山、原山、東山遊歩道などウォーキングに適した自然がある。整備をしている方もいて安全に歩くことができる。それは高山の良さであり、市民の健康を保つためにもこれからも大切にしていってほしい環境である。さらに多くの人たちが楽しく利用できるように（大人から子どもまで）すでに整備されているものがあるが、ベンチ、野鳥の看板、木の名前がわかるよう木札を付けるなど市としてもより工夫してほしいと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・今の高山はどこを見てもホテルしかなく、どんどん魅力がなくなっていると感じる。郊外へ出ても森林伐採が激しくなっており、自然の魅力すらも感じられなくなっている。観光に来てくれる方々に申し訳なく思うほど良さが感じられない。街の中を見ると、少し座って休むような場所もなく、お客様が気の毒になるので、空き家を壊して憩いの場所をたくさん増やしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・近くで遊べるところが少ない。桐生町5丁目付近に公園がほしい。

生活環境
<ul style="list-style-type: none"> ・荘川に産業廃棄物を受け入れてほしくない。いつまでもきれいな空気、水のある安全な市であってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・以前、ごみ処理場の最終処分場を見学して唖然とした。埋立地にはたくさんのまだ使えるような物が埋め立てられていた。少しでも物を大切にするためにごみ処理場の見学あるいは写真などをもっと市民が見たほうが良い。そのための（SDGs）特別プロジェクトをぜひ立ち上げてはどうでしょう。資源の無駄遣いをこのまましていくと高山だけでなく地球の未来がとても心配です。観光だけでなくSDGsの先進地域として有名になってはどうかと思う。

・ 外観を美しく意識した生活について、ごみ捨て場所に小屋風の置き場を設置し、市内統一してはどうかと思う。
・ 古い町並の美しさを保つ。ごみゼロの市。
・ 厳しいゴミ分別がなくなってほしい
・ 観光客が増加しても、今の環境を維持してください。

上下水道
・ 高山の水はおいしいだろうと言われたがやっぱり泥臭い。カルキを使わない浄水はないのだろうか。水、空気、自然は世界一であってほしい。

公共交通
・ 新幹線が通ってほしい。
・ 公共交通機関の便が良くなり自家用車に頼らなくてよいまち。
・ 高齢者が増えるため自動車を使えない人が多くなる。バスの本数も少なく公共交通機関も限られているので移動手段の選択肢が増えるといい。
・ 買い物難民をゼロに
・ どこからでもアクセスしやすい交通整備
・ 公共交通が充実していない。バスの時刻表も路線はたくさんあるが、路線によっては1日に1~2回くらいしか使えない。高山は雪が多いので、特に冬期は自家用車のない高齢者は不便である。バス停の停車の頻度を増やしてほしい。時刻表も町内回覧板で見れるようにして市民に周知してほしい。今のままではバス利用をしない人が増える一方である。
・ 地域の高齢化に伴い運転免許の返納をされる方も多く、支所地域での交通手段がもっと充実すると良い。デマンドタクシーもあるが、高齢の方は使い方がややこしくわからないために使用されていない気がする。効率が悪いのはわかるがもっと使いやすい交通手段が必要かと思う。
・ 今は車を運転し、仕事や買い物・受診等、一人で行うことができているが、数年後免許を返納した時には即難民となる。支所地域からの移動、バスを乗り換えなしにすませることはできないものかと思う。
・ 高齢者、子ども、障がいのある方が暮らしやすいまちであってほしい。そのためには道路（自転車や歩行者優先）の整備、市内循環バスの利用客を増やす取り組みをしてほしい。公園を増やして、子どもたちが外で遊んだり、高齢者が散歩したり、若い人がジョギングしたりと交流の場があるまちであってほしい。
・ もっと交通の便を良くして、他の県や地域に行き、色々勉強をしたい。
・ 中部新幹線の導入（①北陸新幹線の上田から高山を結ぶルート、将来的には高山から金沢・富山を結ぶルートがあってほしい②東海道新幹線の名古屋から高山を経由して金沢・富山を結ぶルート）
・ 交通が活発しコロナ以前のような活気のあるまち。今以上に住みやすいまち。
・ 電車の本数など、交通の良さが改善され、他県にあって、市にない有名店などが増えてほしい。
・ もう少し利便性の良い環境にしてほしい。病院が少ない。

道路
・冬も安全で市内を通行できる道路整備
・雪道の危ない所を整備すべき。
・千島江名子線の終わりから円龍寺のあたりに都市計画道路を整備してほしい。昔、市長と話したときに、家一戸を移転するのに一億かかるから無理と言われた。今は空家、空き地も多くなっているので検討してほしい。
・まちの中央ばかりでなく広く見てほしい。車いすで通るにもデコボコが多く通りづらい所がある。
・広い市なので移動しやすい道路の整備
・今の良い所はそのまま、名古屋や東京などでしかやらないライブやイベントなどがもっと行きやすくなる(安価で安全な道や手段の確立、さらに、移動時間の短縮が可能)。
・長野県の道をよくして、関東へ抜けられる道を整備してほしい。

情報
・市の行っている取組みがいまいちわかりにくいのでわかりやすくしてほしい。何の制度があるのかもよくわからない。年代に適した情報をはがき等で教えてもらえると助かる。
・幅広い意見を集約してほしい。
・生産年齢人口の減少を鈍化させることで、特に支所地域を衰退させないようにしたい。ネット環境等を改善し、都市部と同等のサービスを受けられる環境を費用が掛かっても整備すべきである。差を埋めていかないとますます生産年齢人口が減少するのではと思う。
・若者が興味を持てる情報を発信する。選挙に行きたいと思わせるように発信する。少子高齢化がなぜすすんでいるのかももっと考えてほしい。
・今後少子化に伴い市役所はもとより企業もデジタル化にして行くこと。

景観
・観光客が増えて高山の観光がにぎやかになるのは良いが、京都のようにオーバーツーリズムで住民が生活しづらくなるようなことにはならないでほしい。ホテルも市内にはこれ以上いらぬ、高山らしくない景観になってきている。
・JR 高山線（美濃太田～富山間）の景観は日本の原風景残る場所が多く美しい。市が中心となり、この景観を守る会を作り各地区の意識を高める。
・町の景観をよくする。和風の建物を大切にす。建物の色の規制を厳しくする、看板デザイン等を規制する。
・里山地域の活性化と充実。市民に頼らない行政の働き。耕作放棄地の再開発。
・周囲は山があるから緑がいっぱいであるが、中心地にあまり緑がない。観光地のため駐車場はあるが、5台以上の駐車場を作るには木を一本植えるとの決まりで、あまりにも味気なさすぎる。また小さくても中心地に季節の花がまとめて咲く（藤棚など）、老人でも散歩できるようなところがほしい。
・市内の古い建物等を法的にしっかり保護してほしい。市街地にあった立派な老舗の酒蔵が駐車場になった時はショックを受けた。高山駅も日本中どこにでもあるような駅になって、もっと飛騨らしい駅にしてほしかった。
・屋台が通る道路は全て電柱地中化。町並みも景観も良くない。せめて色を統一してほしい

・ 飛騨高山に来て北アルプスも一望でき、北アルプス・御嶽・穂高・白山等稜線の見える所を作ってほしい。アルプス・奥飛騨にも足を伸ばしていきたくはない。
・ 高山市は古い町並が観光客にも人気があるのだから、ビル、ホテルなど高い建物は景観を損ねると思う。昔ながらの建物を大事にしてもらいたいと思う。
・ 四角くて高いビルが建ち並ばない風景が良い。
・ 今の景観が廃らないようにしてほしい。

地球環境
・ このまま自然がたくさんあるまちであってほしい。
・ 美しい自然の景観が保存されることを望む。
・ 水や空気が変わらずきれいで、豊かな自然と歴史や文化の感じられるまちを願う。
・ 市ならではのエネルギー事業はできないか。
・ 車の騒音が少ない市になってほしい。
・ 最先端エネルギーの開発（水素エネルギーの推進等）
・ 高山の周囲にはほぼ同じ高さの山々が町を囲むようにある。この山々を大切にする。環境や景観上、アイドリングストップなど効果は大きい。
・ 自然、環境を守ってほしい。
・ 周囲の大自然が残されていること。山は青く、水は清く。
・ 美しい自然を残す。
・ 自然豊かな高山が何年先までもこのまま続くことを願う。
・ 今ある自然や古い文化（建物等も）は残しつつ、それらを上手く活用した生活。山の木を使うとか、難しいかもしれないが風力発電を勧めるとか、もっと大きな土地を活かしてできる何かがあるのではないかとそんな気がする。田舎でも若者が移住してくるようなまちづくり。
・ 高山・飛騨地域で安全にまかなえる自然エネルギーづくりができると都市としてかなり強みになると思う。そしてその可能性を秘めた自然環境がたくさんある。森や川、雪など。エネルギーや食生活、ごみ問題、医療、子育ても循環型になってそれにかかる費用が少なくなれば一生安心できる。
・ 人も動物も共生できる社会であってほしい。そのための市民への一人一人の意識向上、アドバイスなど専用の相談窓口がほしい。人にも人以外の動物にも優しいまちであってほしい。自然が多い高山だからこそ野生動物にも配慮を望む。
・ 自然環境が悪くなってほしくない。町並みや景観も今のままがよい。高い建物で周りの景観を崩してほしくない。空気のおいしい高山であってほしい。
・ 交通の便が不便でもそれが味（特徴）。このままの自然が多い市であってほしい。それが一番の願いである。

防災
・ 自然災害、その他大きな災害、事故、病気等について。7月初めの大雨警報の時、市より避難命令が出されましたが避難された人は数名だという話を聞いた。各地に設置されている広報器にて避難指示が出たがどれだけの人が聞いただろう。高山の人はあまり大災害を経験していない。自分は大丈夫と思っている人が多いはず。今後は各支所と市役所の横の

連絡を密にして、市民の意識向上が図られるよう願う。支所による消防団員勧誘に注力してもらいたい。
・ 自然災害における機動性や情報収集等の活動を支援する手段を検討してほしい。
・ 災害がない安全なまち

安全
・ 安心・安全なまちづくりを取り組んでほしい。
・ 外国人観光客が増えて活気ある高山は良いが、日本のルールを守らない（信号無視、ごみ、金の無心）人も増えてる。安全で安心できる市であってほしい。
・ 安心・安全。
・ 特に冬に生きづらいのが今より楽になってほしい。

行財政運営
・ 市役所の担当課から情報や資料がほしいと言われて、なぜこちらが持参しないといけないのか。職員が訪問するという発想が微塵もないのか。
・ 市民税が高い。
・ 上から目線での行政では何も変わらない。市民の立場で見えて考えて行動しなければ無理な話である。アンケートを書いても反映もしてくれない。無駄な金を使うだけ。
・ 市民が安心して最後まで過ごせるような市であってほしい。支所に勤務している職員が地域住民と交流できる場を設け、困っていることがあればすぐ相談できるような風通しのいい関係になるといい。なかなか足を踏み入れることに戸惑いもある。
・ 今後少子化はさらに進んでいき歯止めは難しいと考えられるので、少子化がすすむことを前提とした将来の高山ビジョンを検討してもらいたい。
・ 少子高齢がすすんでいく中、サービス等の拡大は市中心部のみ充実しており、支所地域は置き去りとなっている。過疎地域を盛り返すことが高山市を繁栄させることにつながると思う。
・ 子どもが誇りをもって、自分が生まれ育ったまちを他地域に行っても語れること。市役所の職員の方が笑顔で心に余裕をもって仕事ができる行政。
・ 市は観光産業や木工産業などで成り立っているが、ひとたびコロナのような事態が起きるとかなりの打撃を受けてしまい、観光がだめになると何が一体この市には残るのかと今回強く感じた。そんなことが起きても負けにくいだけの地場産業の強化や、食品の全国レベルでのブランド化の強化。今は飛騨牛くらいだが、例えば栃木県のとちおとめのように誰が聞いてもわかるような身近なブランドを創っていくのも必要なのではと思う。それから、隣の市の話で申し訳ないが、福祉に対してすごく前向きである。文化面、観光面でもいろいろな工夫をされているのが面白い。高山市は一步先を行っているとは思いますが、もう一度見直しをしても良いのではと思う。
・ 市役所の中での職員同士、または課などのたて・よこのつながりをもっと持ってほしい。
・ 未来を担う子孫のために SDGs の取り組みを強化してほしい。市役所が冷房、暖房を省エネしているのは大変すばらしい。男性のスーツ姿、暑苦しい。高山市が率先してクールビズで、例えばノーネクタイだけでなく、沖縄のようになりゆしウェア、半そでをフォーマルウェアにしたらどうでしょう。

<ul style="list-style-type: none"> ・利用度の少ない施設の見直し等（農道空港等）
<ul style="list-style-type: none"> ・先ず市役所職員が「自分たちが市政に投入できる予算(税金)の限界はいくらか？ それを使って自分達にできることは何か、できないことは何か？ 自分達の今の時点での能力は未来の高山市を語るのに十分なのか？」ということ把握した、未来の高山市であってほしい。でなければ、無駄なことに税金を突っ込み、税金の突っ込み先がないとなると無駄な仕事を作り出し、民間事業者に発注し、自分達が上級の間人であるかのように錯覚し、良く分からない思い付きの提案に乗っかって結局、業者に丸投げ。一般市民は誰も得しない代物を「立派な成果」と自画自賛する今の現状から一歩も出ない暗い未来が待っている。
<ul style="list-style-type: none"> ・行政が補助金を出すと社会が歪むから何もしない方がよい。税金の一部を投票形式で思い通りの事業に投資出来る仕組みがあったら良いと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・健全な財政のもと、安心安全に暮らせるまち
<ul style="list-style-type: none"> ・面積が広大で地域が分散して成り立っているのは他市と比較するとハンディが多い。市営の各施設も多くあり、施設の維持管理費も同規模の人口の市と比較し多く不利と思います。また、森林面積も多いが林業の活性化に繋がるような政策も見受けられないので高山市にメリットになるような施策を考えていく必要があると思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・市と県の二重行政の解消
<ul style="list-style-type: none"> ・市町村合併による旧高山市内と周辺地域とのギャップがあまりにも大きすぎる。税金などを取り立てる時、何でも民主主義と言って一律に支払わせるのは良くない。

<p>若者</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・大学などへ進学することにより地元企業への就職率が低い。他県に住んでいて親の介護の為に地元への転職を考えて探すも、希望の職が無く、帰省できない話もよく耳にする。Uターンの助成ばかり考えず、まずは働く場所、多種多様な大手企業の誘致と、新たな独自の企業に対してしっかりと耳を傾け、若者に夢の実現のための助成金など支援をしてほしい。自分たちの住むこの場所を皆が好きになってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・若い人が仕事がないからと都会に流出するのを防ぎ、かつ地元に戻ってきても仕事があるまちづくり。
<ul style="list-style-type: none"> ・孫、曾孫が高山に住みたいと思うまちであってほしい。（就職、子育て、教育など）
<ul style="list-style-type: none"> ・若者たちが高山の自然を生かし、安心安全に暮らせるまち
<ul style="list-style-type: none"> ・商業施設が少なく中高生の遊び場がない。有名なブランドの商品がほしい時、名古屋や富山まで行かなくてはいけない。若者の生活が潤うようなまちであってほしいかと思う。わざわざ他県へ行かなくてもいいように大学や専門学校を充実してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・若者が安心して家庭を持てるまちになってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・若者や子どもたちがどんな地域でも住みたいと思える魅力ある市になってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・近年、少子化・高齢化がすすんで残念に思っている。大学を卒業したら高山には働くところがないと言って帰ってこないと言われ皆からよく聞く。なんとか若者が定着する手立てはないものだろうかと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・進学や就職で高山を離れる若者が増加している。一時的に高山を離れることがあっても住み慣れた地元高山に魅力を感じ戻ってきてくれて、地域社会を活性化してくれることに期待する。

・市に若者が戻ってくるような会社がほしい。
・子どもたち、若い人たちが輝ける場をつくってほしい。
・高山地域は観光などでにぎやかになっているが、支所地域は人口が減り高齢者が多く、自分の生活でいっぱいになかなか参加することもできない。若くて30～40代の人たちはまだ結婚していない人が多くて子供がいない。このことが一番の問題だと思う。
・今後ますます高齢化が進んでくるので、高齢者が生き生きとしていることが若い人たちが外へ出て戻ってきけるために大切なことだと考える。また大学や職場が多いことも大切である。そのための予算配分等を市議員ともよく話し合っしてほしい。
・若者が生き生きと暮らせるまち。若者が高山から出てまた帰りたくなるまち。若者が住みたいと思うまち。
・高山は自然が豊かで人々が温かい。子どもたちを育てるのにとってもいい環境だと思う。私も名古屋へ出てからやっぱり高山に戻ってきた。でも子どもたちには「高山から出たら帰ってこないほうがいい」と言っている。仕事がない、給料が安い、生きづらいから。そしてやっぱり若い子が遊べる場所がない。若い子育て世代が楽しくのびのび暮らせる高山であってほしい。
・長いこと高山に住んでいるので他のことはあまりわからないが、とにかく若い人が高山に戻ってきけると良い。高山は本当に住みやすいし、良い所である。
・子どもが大学で県外に行っているが、高山には何もないので帰ってきたくないとされた。高山に帰ってきたくなくなるような就職先や遊ぶ場所があれば良いと思う。
・若者が増え、子どもが増え、活気のある高山市になってほしい。
・今高山で育っている小中学生が誇りを持てる市にならなければならない。若者たちはほとんどの人は18歳で高校を卒業すれば大学や専門学校で他の地域へ出て行く。その地域で他の地域から来た人と自分の郷土、暮らしの話をした時、自分の育ったところはすばらしい所だと実感できるようにしなければならない。そうすれば高山へ帰ってきける子たちも多くなるのではないではないかと思う。若者を大切に、若者がいなくては未来はない。
・若いファミリーが移住してくるような魅力ある施策を望む。観光一本やりでなく、市民が楽しめる公園や施設を作り、輝きを持てる市民を増やす。
・レジャー施設や映画館等、若者に魅力あるまち
・就職先がなく若者は高山を出ていき、片親の場合、高山にいる理由がないと出ていくパターンもある。若者が戻ってきたくなくなる高山、就職先の充実など、どんどん若い学生などの意見を取り入れて改善していったほうがいいと思う。子育てしている者は遊ばせる場所が少なく、市内を出ていきがち。自然はたくさんあるのでとても良い環境ではあるが、自然を生かした大規模な公園があると良いと思っている。そこで子どもはもちろん、ランニングする人や高齢者の散歩、イベントなど人が集まりたくなる場所ができることを願う。
・若者が働ける会社、企業、市から離れた方が戻ってきても安心して暮らせる（給与水準向上）。映画館などの娯楽施設がもっとあっても良い。
・若者が大学を出たら故郷で働きたいと思えるまち。世帯を持つとき市内で家を持ちたいと思えるまち。
・若い人たちが高山に残って生きがいのある仕事に就けるような場所になってほしい。

<ul style="list-style-type: none"> ・観光を中心としたまちづくりではなく、住民（若者）が学べる場所、働く場所を作るべきである。また、高山地域に小さい子どもが遊べる公園整備を考えるべきである。
<ul style="list-style-type: none"> ・若者が喜んで住みたいというまち。中学生、高校生の意見を聞いて交流を深め、一人一人を大切に育てることもすすめてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・大学誘致。人口減少がすすんでいく要因に若者の市外への流出が多いと思われる。専門性の高い大学を誘致すれば市内で学び、就職も実現でき、地域の人との交流する機会も多くなり、市への愛着もでき、定住、結婚とつながり、様々な所へ波及効果が生まれるような気がする。人が集まれば市全体が活性化すると思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代が流出しないまち、またリターンしたくなるようなまち。子どもが子どもらしくいられるまち。
<ul style="list-style-type: none"> ・高山に移住したい、または住み続けたいと思うまちであってほしい。若い世代の人口が多くなる。
<ul style="list-style-type: none"> ・子育て環境や若者がはつらつと働くことができる環境が整っているまちにしていきたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・高校卒業後、子どもが大学進学や就職などで市外へ出て行ってしまふことは仕方がないことと思う。ただ、将来は高山に帰ってきて仕事がしたいと考えている若者は多いと思うので、20代は都市部や市外あるいは海外で、スキルを磨いてもらって30代になったら、若者が帰ってきて、活躍する、家族をもって幸せに暮らせる環境をつくるのが大切だと思う。将来、市外にでていく子どもたちや、高山で暮らす子どもたちが社会人になったときに「高山はいいところだ」と実感できるように、高校生までにいろいろな経験を、社会全体で行っていくのが大切だと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・若者が住みたいと思う環境づくり
<ul style="list-style-type: none"> ・美しい自然景観が維持されながらも、日常生活の利便性も高い。高い志を持った若者が活発に働き、生涯を「高山市」で終えることができると思える場所。
<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達が大人になっても住み続けたいと思うような環境であってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・生まれ育った高山市ですみ続ける若者が増える。子どもを産みたい、育てたい環境づくり。
<ul style="list-style-type: none"> ・進学等で高山を離れた若い人が戻ってきやすい環境（賃金や補助金等）であってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・一度学業や就職で出て行った子どもたちが戻ってくる地域になると良い。
<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代、子ども達の活気があるまち
<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代、特に学生を取り込むべき。大学の整備、学生が住みやすい賃料物件の整備、多少の娯楽施設はあるべき。今のままでは、子どもが大きくなっても名古屋や都市圏に出で行かれるだけ。
<ul style="list-style-type: none"> ・若い方々が住みたいと思うようなまちになるといい。仕事の業種も増えてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・移住者の受入れにより地域が若年化すれば、もっと活性化するのではないかと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・世の中が悪い方向に向かっている。せめて、高山は良い所、良い人間であってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代が定住しやすい環境づくりや、子育て世代が暮らしやすい高山市になってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代の人が住みやすく、都会から帰って来て働きやすい環境
<ul style="list-style-type: none"> ・若者が活躍出来る高山になってほしい。子育て世代にも優しく人口減を食い止めてほしい。

・若い世代が住みやすく子育てにやさしいまちになり、育った子どもたちがまた戻ってくるようなまちになるといいと思う。
・若者が増えて働きやすい市になってほしい。子育てがしやすく結婚後などで戻ってきたくなる環境づくり。
・若者が高山に住み着き、高山の文化や伝統を守りながらも、発展させていくまちにしてい

その他
・子育て、仕事などで困らない過ごしやすいまちを望む。
・高山市に住み、人との関わり、子育て、子どもの将来に希望の持てるまちになってほしい。健康面、経済面が手厚く、県外へ出ていくことより高山市に住んでいて良かったと思える市であってほしい。
・市民プールや映画館、文化施設や公園など子どもも大人も楽しめる場所がほしい。
・子どもたちが将来地元に戻ってきたいと思う高山市であってほしい。
・旦那衆という言葉を使わなくてもよいまち。
・格差のないまち。
・現代社会では難しいが隣近所との付き合いを大切にしたい。コロナになってからなおさらできなくなっている。高山は有名だと思っていたが、他地域で話を聞くと意外と高山市を知らないひが多くて驚いた。なんとか努力して知人全員に覚えていただく方法はないか、特に若い世代ほど知らない人が多い気がする。高山から出て行った若者に高山市をPRしてもらうのも一つの方法かと思う。
・豊かな自然を守り、その中で幼い子どもたちも高齢者も笑顔で暮らせる市であり続けてほしい。しかしそれを阻む問題として高齢者の増加や単身世帯の増加が考えられる。人生の終の住み家として選ばれるような素敵で高山になっていくために、様々な手立てを今から早急に取り組むべきと考える。
・日本で一番住みやすいまちの実践づくり
・観光業ではなく地元で若人が根を下ろす行政を希望する。
・子どもがのびのび遊べる公園、施設があって、子どもからお年寄りまで住みやすい地域
・現在が続けば良い
・観光に頼らずとも人が来て住みたくくなるような魅力が何かしらあるとよい。
・住みたい町No.1になってほしい。
・若い人が高山市政にもっと関心を持つと良いと思う。
・著名人やクリエイター等のすばらしい体験者に観光大学等で講演をいただくと未来につながるのではないかと思う。
・せっかく森に囲まれた自然豊かな環境なので、それらを生かしたテーマを発信してほしい。最重要は子育て、せっかく大学に行っても良い就職先がないから地元に戻ってこない。古い建物をリノベーションなどして活かしてほしい。
・年金関係なくこのまちに住みたいと思えるようなまちづくりをしてほしい。子どもたちは遊ぶところもなく、給料も安い高山にメリットはないと言って離れていった。不安、不満が解消していくためにもスピーディーにすすめてほしい。

<ul style="list-style-type: none"> ・空家が減り新しい人が入ってきてほしい。東京や関東方面からの行き来がもっと楽になるとうれしい。移住者が増えてほしい。インターナショナルスクールができてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・観光地という魅力以外でも、住みやすい、暮らしやすいという魅力を持ったまちであってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・市民憲章のような姿
<ul style="list-style-type: none"> ・市民みんなが自慢できるまち
<ul style="list-style-type: none"> ・福祉サービスが充実しており、公園・イベントなど子育て環境も良い。富山など外に出なくても高山の中で楽しいと思える。県外のお店やホテルばかりではなく地元のお店が活性化し伝統文化を大切に守り継承していける。美術館、博物館など学べる環境もあるある。
<ul style="list-style-type: none"> ・住みたい町ランキングで TOP3 に入るくらいの魅力ある市。自然もあるけど不自由なく住める環境の整備。県外に出た子どもが戻りたいと思える所であってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが高山から出ても、また戻ってきたく魅力的な高山になってほしい。もっと世の中の人が高山を好きになり遊びに来たくなる、高山にしかないもの、ここでしか経験できないものを見つけて広めていってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・観光客だけでなく地元住民も楽しめるまち。高齢になったり障がいがあっても心配なく生活できること。
<ul style="list-style-type: none"> ・今は 10 万の高山市民がいる。将来は 20～30 万ぐらいになるように、高山市に住みたいと思うようなまちを望む。若い人や 50～60 歳代の人が高山が良くて住みたい、それには市長の強い思いが必要である。
<ul style="list-style-type: none"> ・議員定数について。高山市と合併し、早いもので 17 年余り経過している。その当時は合併した町村がいろいろな意見を市の政策に取り入れられるか不安もあって、議員定数を増員してスタートし、その後定数も減ってきているがまだ多いと思う。他の県の市、また県内の市の議員定数と比較しても定数が多いと思う。これから人口減少が続く中では定数を考える時期、それは合併して年数が経ち市民の一体化もすすんでいるし、まちづくり協議会もいろいろの事業ができる状態になっている。議員定数の減少を考えてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・10 年くらい県外で生活していた。帰高した時には知らないまちに来たような感じで、どこに何があるのかわからず、ずいぶん変わってしまったと思った。それ以前は若かったこともあるかもしれないが、世の中は人間関係もその他色々、町中がとても良かったと思う。ただ物価はどんどん高くなり生活は苦しい。高齢者の周りも不公平ばかりである。このアンケートはもっと若い方にされたらいいかと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・もう二人とも 80 歳過ぎで、ここ数年の自分たちの心配ばかりである。この市が皆の住み良いまちに今以上になるよう願っている。
<ul style="list-style-type: none"> ・若者や子どもがのびのび笑顔で暮らせるようなまちの姿（各地域で）
<ul style="list-style-type: none"> ・ペットと歩けるまちづくり
<ul style="list-style-type: none"> ・過疎地域の整備、まちづくりなど
<ul style="list-style-type: none"> ・観光に力を入れてもリピーターが増えるほどの魅力がない。教育、文化に力を入れ、女性が集まるまちにしないと発展がないと思う。根強い男性社会の高山、商人中心の高山、考え方がすごく田舎。おいしい食べ物、コンパクトなまち、ほどほどの便利なまち、割と災害の少ないまち、それではだめなのではないでしょうか。
<ul style="list-style-type: none"> ・広い市なので、一部の地域だけが発展しても市全体の活性化につながらないので、特に支所地域が元気になる施策にしてほしい。

<ul style="list-style-type: none"> ・どこの地域に住んでいても全員が同等の生活ができる環境を望む。
<ul style="list-style-type: none"> ・観光地ではあるが、都会とは違う田舎を全面に出していく、古き良きものや、日本の古里とってもらえるような懐かしや、居心地の良さ、自然を中心としたまち全体がテーマパークであってほしい。1年先は花を育て10年先は木を育て、100年先は人を育て、高山市が100年先を見据えた生涯遺産になるよう、目先ばかり追求するのではないことを願う。
<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが、住みやすいまちであってほしいと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対する包括的アプローチ
<ul style="list-style-type: none"> ・沢山の方に愛される高山であってほしいと。観光客の方だけでなく市民の方が誇りをもてるような地になったら良いと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・若者世代が住みたいと思えるまちになってほしい。魅力的な仕事があり、子育てに必要な教育環境や遊び場が揃っているまち。動物園などがあると、地域の子どもからお年寄りまで憩いの場所にもなるし観光資源にもなると思う。飛騨牛の地として獣医学校設立も良いと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・都市の近代化に負けない市。古い伝統を削減しつつ、田舎から脱却した住民の住みやすい市になってほしいと思う。娯楽施設を増やしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが高等教育（大学進学）をするための費用が補助され、補助を受けた子どもたちが、将来何かしらの形で、市に還元したいと感じられるまちであってほしい。高山地域と支所地域インフラの格差なども改善されることを望む。
<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少から今以上を期待するのは高望みかと思うが、現状維持はせめて願いたい。ブラッシュアップし、今と同じ仕組みがなされれば良い。
<ul style="list-style-type: none"> ・他の市町村にはない独自の魅力がある場所になってほしい。それは県外から見た場合だけでなく、住民でも感じられるような魅力であってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・無耕作地を有効活用（例えば行政が買い上げて低価格で貸す・売る）し、過疎地域に住んでいる独居世帯、高齢者世帯、生活保護に相当する方が集まる地区、もしくはアパートのような住宅を整備する。そこにはスーパー、金融機関、コンビニ、公園、共同畑、医院もテナントとして介入し、車で移動することもなく、買い物を楽しみ、人との語らいを楽しみ、家庭菜園、花を楽しめる心が豊かになれる、弱者が助け合える地区をつくる。観光客が文化に触れている、展示物を見てお土産を買って、食べ歩きして散策して帰るだけでなく、せつかく山林豊かな地域なのだから、アウトドアが楽しめる大きなキャンプ場、大掛かりなアスレチック、トレーラーハウス可ブースなど、これら全てが働く場所、働く人、そして魅力を作り出してくれると思う。

問19 未来の高山市のため、皆さんや地域でできると思われる取り組みありましたら、ご記入ください。

労働・産業
・観光だけに頼らない産業の誘致、育成、支援
・少子化を防止できるよう企業の活性化を目指す。
・東証プライム等上場企業を、ぜひ高山へ誘致してほしい。高山には安定した会社がないので帰ってこれないとよく聞く。
・市全体の組織を考えるべき。若者の働く場所が少なく働く場がほしい。上枝駅の近くにあった企業規模の大きな会社など。
・日本国中、人手不足と言われているが、仕事が無く生活保護を受ける人も増えている。このミスマッチを少しでも解消する事はできないか。空き家を利用して、建設、建築、農業、林業などに携わってみたい人が高山に来られる様な施策ができないものかと思う。
・就職する場所。土地があるので大きな企業の工場とかあると良い。
・婚活イベントなど支所地域にお嫁さんに来てもらう。そのためには女性が働ける場所が必要である。

農業・畜産業・林業
・農業で魅力のあるまちづくりを目指して、都市部から人口流入を行い、移住促進を目指す。
・未来の高山市のため地域でできる取組みといえば農業の活性化である。生卵を食べるのは日本だけというのは知っているか。海外では衛生環境が悪いところで生産流通しているため卵を生で食べることはない。しかし、日本の卵は生でも食べられるが、これからの農業は「輸出」ということがキーワードになってくると思う。だから霜降肉といった脂身が多い肉を脂身を嫌う欧米に売るのではなく、日本酒や地場ウイスキーなど海外で売れる物、海外で需要がある物を伸ばしていく、これからの高山にはこうした海外まで見通した市政が農業という分野でも必要だと思う。農業の活性化がなければ地域の未来もないと思うので、市には国際戦略を推進してほしい。
・地産地消
・昔のような自然豊かな高山が好きなので、市民で植林活動ができたらと思う。

商業
・チェーン店ばかりの利用で、まちのお店は勝つことができない。理由は金額面が大きいと思う。安さばかりに目を向けず、高山が豊かになれば自分や子どもたちにどんなことが返ってくるか、それを実感できることがあればと思う。
・道の駅をつくる。自分が思うのは、山を削り高台につくる。インパクトがあると思う。バスやタクシーを使った駐車場もあるなど、市内の人も来やすく、バスやタクシーで来た方は全メニューを1割引きにする。

観光・海外戦略

- ・市の知名度の向上。もっと国内外からの観光客、移住者を増やす。そのためにまず地元民が住んでいる地域の魅力を再発見しアピールする。地元民は無料の観光スポットを増やす。

経済

- ・地域通貨の活用
- ・さるぼぼコインの流通

保健・医療

- ・医療の充実を図る。

地域福祉

- ・まず今の自分ができることをやっていくことだと思う。住民健診を受け、診断結果を改善すべく毎日の食生活や運動を心掛けること、地域に住む一人世帯の方に声掛けや訪問をすること、まずはその二点から始めて、他地域へも目を向けていければと思う。
- ・仲良く生きる心構え
- ・個人的には年齢的に家族を支えること。近所と支え合うこと。イベントに協力できることがあれば手伝うことはできると思う。
- ・人にやさしくする。
- ・となり近所で助けあう。
- ・地域内の住人を一人ぼっちにしない、繋がりのあるやさしい地域づくり
- ・町内、近隣住民との助けあい

高齢者福祉

- ・年をとっていくことがすばらしいと思える環境づくり
- ・これだけ高齢者が増加していると、高齢者施設も不足しそう。施設に入らなくて済むようお互い手助けする必要性を感じる。

児童福祉

- ・昔みたいに子育てを地域でサポートできないか。難しいかもしれないが親が抱えこまなくてもいいようにしたい。
- ・みんなで子育て。元気な子どもたちが外で遊んでいると、うるさい、危ないと苦情を言われてしまうことが多々あり、優しく見守る姿勢を大切にしていく。
- ・子ども達が安心して遊べる場所確保
- ・少子化に対する対応と保育士の待遇
- ・子どもに対しての支援、行事が多くなると良い。

学校教育

- ・地域とともに保育・教育を考えてほしい。

- ・教育現場での先生の負担が減り、子どもたちと向き合う時間を増やせるようボランティアを導入する。デイサービスやシニアマンション等、高齢者施設と保育園、幼稚園を一体化する。地域ごとに学童的な場所と公園があり、地域の人達で運営。
- ・市有地を活用した大学の誘致（それで人材不足解消となるように）

文化芸術・スポーツ

- ・R5. 7. 22 に新宮町のまち協で行われた原山市民公園での夏のフェスティバルはとても良かった。小さな子どもたちから年配者までが芝生の上で寝転がったり走り回ったりとみんながとても楽しそうであった。夜の花火は周りの木々を照らしてコロナからの開放感で幸せな気持ちになった。野外コンサート等がもっと開催されると良いと思う。

交流

- ・関係人口の増加を図る。
- ・海外の方が気軽に道など尋ねられるよう市民が多言語を話せるようになれると良い。

歴史文化

- ・必要な伝統は守らなければならないが、改革できることは改革する。
- ・伝統芸能の継承
- ・伝統文化を勉強する事

協働

- ・市の取組みを理解した上で、同じ方向を向き行動する。
- ・具体的には思いつかないが、人のつながりが持てる場（他業種の人たちとの交流の場）
- ・まち協の行事、特に昔から引き継いで行われているイベントを再検討し、予算の見直しを行う。無駄な行事は廃止し、子どもの居場所作りなど、地域住民にとって本当に有効なことに使う。
- ・町内会の役を減らす。
- ・町内会の役のスリム化。若者が入ってくれる町内会の在り方を考える。
- ・普段から近所の方とコミュニケーションを取り互いに助け合う。
- ・人口減少は避けられず、高齢者が増加するのは必然的だと思われる。町内会行事（まち協）等の参加の重要性を子どもころから教育し、大人になっても参加しやすいような環境を整えてほしい。勤め先の企業からも積極的に地域に参加する働きや、賃貸アパート住まいの従業員にも町内会への加入を働きかけてほしい。
- ・マルシェやフリーマーケットでの交流や新たな店の発見もあるので、みんなで作り上げるイベントがあるとうれしい。世代を越えての交流もできると思う。
- ・近所や地域の方々と助け合うことで日常からまち協での助け合いに備える。各町内、地域で祭りの人材の減少が課題となっている。祭りの規模縮小も将来あるのではないかと思う。
- ・町内会加入の意味がよくわからない。加入のメリット、デメリットを知らせる必要があると思う。
- ・ごみ拾い、子ども食堂、不用品交換等、地域内での交流や助け合いの場を増やす。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 過疎化、高齢化で行事や役職の負担が大きい。時代に合わせ合理化してほしい。無駄な行事、集まり、集金が多いと感じている。集金は正直何に使われているのか不明である。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 田舎へのUターン移住等も増えていると思う。町内会にも加入してほしいと思うが、町内会の改革も必要ではないか。すぐには無理なことだと思うが行政にも関与してほしい。例えば私の現在の町内会では町内会費・班費・各種寄付等合わせると年間3万円以上になる。氏子のみではあるが神社費もプラスされる。所得の低い高山市では大きな負担となる。それが原因で入会しない人も多い。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 高山市は都市からみると「ふるさと」です。人と人とのつながりと、ほっとできる景観を守るため、小さな町の地域の人々で助け合えるよう市からの働きかけもほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 夏休みのラジオ体操ですが、町内の子ども会が毎夏行っているが、長寿会も合同で行えば健康や人とのつながりにもよい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の中で協力しながら地域のことをやるのが精いっぱい、市全体のことは考えられない。高根は地区ごとに離れていて人の集まりも悪く、自分の生活がいっぱいで余裕がない。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢化がすすみ一人暮らしも多くなるので、地域で人とのつながりの取組みができればと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 人口の減少が祭り等の伝統行事の縮小傾向を招いている。特に小さな氏神様は影響がある。こういうことを近隣で集まって、共同運営等を考える必要があるのでは。まち協によって小さな町内ではできない行事を続けることで、市町村合併のように町内の再編成も考えてみるというのはいかがでしょうかと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報収集、地域行事の参加
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域のルールを守り、行事等に積極的に参加する。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 問題意識、良くしていきたいという気持ちを持ち、行政任せ、行政のせいにせず、身近な所から話したり活動したりできたら良い。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 近隣、町内等、住民がお互いを助け合う取組みのためにも、町内会をもっと参加しやすいものにしていく必要があると思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 身体に気を付け地域活動にも参加していきたい。声掛けも大事にしたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 雑談で構わないのでとにかく会話ができるような取組みができると情報共有ができ、先手を打つことが可能になると思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 家を建てても町内会に加入しない方が増えている。その地域に住んだ方は必ず町内会加入すること、それは大事なことだと思う。義務化することは無理なのか。役職などは近所の方々みんなで助け合いながらできることをやれば良いと思う（病気などの場合は役職はやらなくてもいいので）。
<ul style="list-style-type: none"> ・ もっと身近に、もっと柔軟に日常的にまちづくりに参加できる環境をつくってほしい。意見を聞くだけでなくそれに対して意見をもらえたり、堅苦しくなくフレンドリーに大人も子どもも高山市について語れる場があるといい。そうしたらもっと市民として市に愛着も沸くし、大切にしたいくなる。自分のやっていることや仕事が高山市のみんなのためになっている、喜ばれているんだと肌で感じられたらもっとやる気も責任も持てると思う。協力したい、できることをやりたいのにやり方もわからないし、どうしたらいいかわからない人が多いと思うので、もっとアピールして参加できる環境を学校や職場で行ってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域活動の参画

<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり協議会の強化。農村型地域運営組織（農村 RMO）など新たな地域維持の取組みをモデル的に実施する。地域住民のやる気を引き出す工夫が大事である。
<ul style="list-style-type: none"> ・近所同士の交流、高齢者と若者の交流など楽しく気楽に参加できる催し。
<ul style="list-style-type: none"> ・であい塾で月一回の食事会。一人一人大切な子どもたちを学校に行かれない子として見るのではなく、社会に出た時にどう生きられるか、温かい心で触れ合っていたくために、地域の人たちにも呼び掛けて一緒に食事をしたり、畑作りに協力していただいたり、と皆さんと共に 16 年くらい続いていることに感謝している。
<ul style="list-style-type: none"> ・月に一度くらい市が場所や交通手段を手配して、高齢者や若者がビッグアリーナのようなところで集まり、語り合い、音楽を聴くなどの集いの日があると良い。
<ul style="list-style-type: none"> ・隣近所のお互いさまの心、「結」の風土を取り戻し、安心安全の生活ができるよう努めたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・今のところに住んで 20 年以上経つが、一度も行事も何も参加したことがない。こんな人多くはないですか。スポーツの参加でも本当に少ない人数しか参加できない。（卓球教室など）もっと多く、日時も色々な教室のようなものがあつたら行きたいと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の住民が同じ方向をみて、皆が一致協力してすすむこと
<ul style="list-style-type: none"> ・各地域活動への参加（ゴミの分別なども含め）
<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり協議会を中心に、各地域が特色ある魅力的な地域にしていってほしい。共有する所は大いに活用し、その地域ならではの魅力を前面に出し、住みたいと思える地域づくりをしてほしい。ただ地域における防災活動は町内会単位で検討し、まちづくり協議会が地域の頭となって運営していくことが大切であり、行政におんぶにだっこは限界が来ていると感じている。また町連は必ずしも必要ではなく、まちづくり協議会の組織を更に充実して、一つの組織として運営できるような体制づくりを今後検討していく必要を感じる。町内会長がみえるのに、重複している内容はかなり多いのではないか。
<ul style="list-style-type: none"> ・地域のお祭りはあるのでそれは継続してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・町内会への参加等、ご近所の方と顔見知りになること。
<ul style="list-style-type: none"> ・各問題に直面した方々は、それぞれに対してすでに真剣に取り組んでいる。その方達の声は本物であり、実践から出た解決策も中身の詰まったものであると思う。今はその方達だけが孤独に活動を“ガンバル”（頑張っている）状況である。無理やりルールを作って担当を決めて取り組むのではなく、問題意識をもって活動されてる団体を「周りがフワッと応援する」という取組みができたと思う。孤独でガンバルより団体の外に応援団がいる方が活動は活発になる。応援している人が、自分のお困りごとを解決する団体を立ち上げる力をつけられるかも知れない。「自分には関係ない」「ここにそんな人等が集まったら迷惑」「そんな団体に助成金つけるな」と誰も言わない社会であってほしい。何事も「やりたくない人」って発信する声が大きと思う。自分にそのポストが回って来るのが嫌なので、全力で潰しにかかるのではないかと思う。出来ない人が、出来ない事がバレたくなくて潰しにかかる人もいる。何かをやる時に困るのは、足を引っ張る人達。私はそういう人達に「何もしなくていいから、足を引っ張ることもしないで」と思う。問題意識を持ち何かしらの活動を始め、続ける人こそ、地域を引っ張るリーダーになると思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・イベントなどの集客が見込める時に出店などイベントを盛り上げる手伝い
<ul style="list-style-type: none"> ・町内会の活動をもっと効率よく、ひらけたものにする。受け継がれてきたもので現代に必要なものは潔くやめ、地域ごとの濃いつながりではなく、本当に必要なときだけ助け

合えるような地域をつくる。そのために、市がまちづくり協議会などを通して、統制する必要があるのではと思う。

・町内会、班にも入っていない家が沢山いるが、未加入世帯へもごみ等無料券が配布されている。市でもっと積極的な入会方法を検討してほしい。

・地域単位の活動は今後必要ないと考えます。

・地域の繋がりを密にする

・まち協や自治会に加入して、みんなでまちづくりをしていくこと。

・少子高齢化がすすみ、徐々に住民同士のつながりや地域の活性化が失われつつあるなかで、思い切って町内会の再編成に取組み、適正な単位での活動ができるようにする。

生涯学習

・町内でウォーキングやフラワーアレンジメント、陶芸教室等ができれば良いと思う。

・健康づくりのスポーツや音楽を楽しむ会など継続していく。

住宅公園

・周りにも一人暮らしの方が増え、空き家も増えている。空き家を有効活用できたら若い人たちも住みやすく、子育てしやすくなっていく気がする。

・住民の声に基づいた施設の整備。無駄なものは削減し、便利な公園や遊び場を作る。

・都会へ出た若者のリターン、テレワークや在宅ができる仕事が増えてほしい。新しいアパートを建てるのではなく、空き家を減らす取組みをしてほしい。持ち家なら町内会にも入ってくれる人が増えると思う。

・空き家を減らしたい。管理しない方は税率を上げるとか、取り壊した補助金を出すなど。

生活環境

・市全体の美化活動

・ごみ拾い、河川清掃

・ごみリサイクル細分化

・不用品や学校の必需品は地域内で無料で使いまわせる取組み（ごみの削減）

・除草など美化協力

・川、側溝等の清掃活動。ごみの分別

・町内によって違うが、もっと草刈りなどして手入れをすることが大切ではないか。草が伸びると安全性がなくなると思う。

・ごみ拾い、またはポイ捨てがゼロになるための取組み

・地域猫活動を市全体で行う（市発信にて）お世話、費用負担の難しい避妊手術、見守りなど

・まちをきれいにする取組み

・ごみ削減、花植え、ゴミ、缶拾いなど

・自然豊かなこの景観を損なわないよう環境整備に心掛け、清掃活動等はできる限りやっていきたいと思う。

・ゴミが落ちていたら拾う。

<ul style="list-style-type: none"> ・地域の環境整備（蔵柱地域は住民を上げて、以前から県道・河川・林道の草刈りを7月に実施している）
<ul style="list-style-type: none"> ・生活道路（市道）の維持管理（側溝清掃、草刈 等年2回）を実施している。今後とも継続し生活環境を整える。
<ul style="list-style-type: none"> ・公共の場の清掃

公共交通
<ul style="list-style-type: none"> ・東京までの移動時間と費用が安くなりありがたいが、トンネルなど難所がある。住民が嘆願書を出して、長野県の方と相談、協力したほうがよい。東京、高山間のバスを知らない人もかなりいるし、高山から関東に出た人も多いはず。
<ul style="list-style-type: none"> ・市外より市内に容易に移動できる交通手段をつくる。
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の車両事故防止に資するため、免許証を返納しやすい環境整備を希望。例えば、独居高齢者に対し（医療機関やスーパーへの買い物に）タクシー割引券が発行されると免許証返納の後押しになる。

道路
<ul style="list-style-type: none"> ・大きな祭りのアクセスのしやすさや配慮等
<ul style="list-style-type: none"> ・地域を結ぶために大きな取組みの一つとして環状線道路をつくり、動線の良い市をつくってほしい。通勤するにも別居する家族の安否を確認するにも、とても便利になり魅力的な市になる。もちろん景観を大切に市街地の外側（現在の山）が繋がったら良い。

情報
<ul style="list-style-type: none"> ・市民の思いを市政まで届けること。

景観
<ul style="list-style-type: none"> ・景観保存のための一斉清掃事業など
<ul style="list-style-type: none"> ・観光客は宮川の鯉が珍しく、放流を続けてほしい。少しの間子どもや大人が大変喜んで遊んでいる。

地球環境
<ul style="list-style-type: none"> ・市の魅力は山にあると思う。空気がきれい、水がきれい、景観は四季それぞれすばらしい。この恵まれた環境を活かして健康な体作りができる市にしてほしいと思う。私は80歳代だが昨年黒部五郎岳へ行ってきた。山の頂まで高山市。山登りに年齢は関係なく、時間に余裕を持ちゆっくり歩けば誰でも新しい魅力を見つけ出すことができると思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・一人でできることはとても小さなことではあるが、自然が豊かなまちになるよう何かお手伝いできることがあれば取り組みたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・環境保全
<ul style="list-style-type: none"> ・支所地域の既存施設・地域特性を活かした取組みが拡大できないかと思う。高根地区では廃校を活用した取組みがすすめられている。支所地域の困りごと・活性化が図られる取組みにボランティアとして活動していきたいと思う。丹生川地域の乗鞍岳外来植物除去作業など自然環境保全のボランティアに登録して活動している。

- ・豊かな自然を守る。
- ・子どもたちが自然に触れる機会をつくる。

防災
・災害も増えており各家庭等で備えをしておく。
・町内ごとで防災時の備蓄などをすれば会費も有効に使ってもらえるし、高齢の方も助かるのではと思う。
・災害に備える。
・市街地の様々なバリアフリー等の対策はいいと思うが、三枝地区への対策は希薄な気がする。同じ市民税を払っているのだから格差をなくしてほしい。防災の面でも避難所が遠く、車なしでは避難が不可能である。

安全
・子どもを安心して育てられるよう見守り活動。まちをもっと歩く人を増やす。
・信号の無い横断歩道では、歩行者がいたら一旦停止してほしい（法律で決められている）。海外では、止まることが一般的とのことで、インバウンドの方が「危ないっ！」と感じているらしい。インバウンドの方への印象が良くなる。
・他県からの魅力的な地域づくり(安心、安全)
・子ども達を守るため、特に小学生の登下校の見守りには今後も力を入れてほしい。

行財政運営
・市の職員は横柄な態度をやめ、自分たちのしている仕事を理解し、質問に答えられるぐらいであってほしい。それもまた市民が”自分のまち”を意識していく小さな一歩だと思う。市民としては自ら人と交わり、高山市の今を理解する努力が必要だと思う。そういった意識を養う取組みがあればと思う。
・治安面・衛生面・交通面において町中で気づいたことや意見、要望をいつでも受け入れられる機関を設置する。
・市長主催のタウンミーティングの開催について。市長と市民の直接の交流はとても重要で、市政に関して住民が理解を深めることができるのはもちろん市長や市の中核を担う方たちがリアルタイムでどんな問題があるのかのヒアリングを行うことができる。転入する前に暮らしていた埼玉県ふじみ野市の取組みが参考になると思う。
・市有財産の売却等は慎重に検討してほしい。
・民間のことは民間に任せる。市役所は市民活動のサポート役に徹すること。

若者
・子どものための活動、支援・帰ってきたくなるまちになるような取組み
・シルバー人材センターのような組織を若い人たちも立ち上げてほしい。
・まず中学、高校生など若者から理想の高山を聞き出し、それに寄り添い元にして皆で取り組めばよいのではと思う。今の若者の思いを私は知りたい。柔軟な頭の素直な気持ちが気になる。
・若い人たちの流出防止・リターンをもっとできるように雇用促進

- ・ 学業を希望し、都会の大学へ進学される学生に対し、地元へ帰ってくるという意識づけを持たせる事が大切。大学へ進学するとほとんどの学生が地元へ帰ってこない現状を変革するように、親・知人・地域の方が若者に高山の魅力や地域を守る事の大切さを根気よく伝えることが大切である。
- ・ 若者に対しての起業や企画提案の場を設けるなどのサポート

その他
・ まちづくりに市民の声をもっと拾える集まりやアンケートなどしてほしい。
・ 自然、人の心を大切に。観光にも力を入れて住みよい高山を望む。
・ こんなアンケートで市民の意見とは言えない。意見を伝え考えるという取組み。行政においても若い人の意見をもっと聞き大きな変化が欲しい。活力など全く感じられない。
・ 高山の人口は減っている。何をにおいても人口を増やすことを考えてほしい。
・ 私たちの幼き頃のように、もっと子どもを産み人数を増やし教育し、世の中が生まれ変われば生活が楽になるのではないかと。少子化対策をしなければ発展しないと思う。現在、私の家でも子が一人、結婚もせず働いている。男も女も独身が多い状況である。早く結婚して孫の顔が見たい。何か子どもを増やす方法はあると思う。このままでは次第に高山市ばかりでなく日本中が、文化芸術ばかりでだけではなく、農業、歴史文化がなくなるような気がする。
・ 選挙に参加し、未来の高山市のリーダーになってほしい方を選出する。
・ 空き店舗の利用。空地が多く寂しい。
・ 私は今、高山二輪災害レスキュー隊で活動している。災害時に向けて訓練と練習を行っているが、少しでも金銭的な支援を民間団体に行っていほしい。
・ 何かあるんでしょうか。日々の暮らしに精一杯。守らなければならないと思って守っている全てに税が課せられ、本当にこれでいいのか、この先楽しいことがあるのか。スーパーで買い物をしていても物価の高騰でますます心がすさんでしまう。沈んでしまう。
・ 今まで通りにやれば良いと思う。
・ 何もしないこと。
・ 市民に対してサービス・インフラを当たり前だと思わない講義をやってほしい。
・ 高山の魅力を発信していくこと。仕事を創出していくこと。
・ 謙虚で素直な思いやりで接し合えるよう頑張る。
・ 市政の関心を持つ。広報誌などに目を通す。誰もが安心して笑顔で住み続けられるように、人との繋がりを大切にする。
・ 無駄な業務を無くす。
・ 少子高齢化や人口減少は大きい問題であるが、過大に評価しすぎてはいけない。効果の無い取組みに人材と予算をかけ過ぎてしまう危険がある。高齢であっても能力のある方やボランティア意識の高い方、経済的な社会貢献が可能な方は一定数存在すると思われ、そうした方の知識やマンパワー、経済力を社会に還元していただく仕組みを作ることが重要。
・ SDGs の取組み
・ 空き家を増やさないこと。終活や遺産相続は必ずすること。

<ul style="list-style-type: none"> ・市がなんでもやる社会ではなく、市民が自分たちで活動をして、市はそれを支えてくれる仕組みづくりや学校の活動や施設が地域や市民に開かれるような仕組みづくり。
<ul style="list-style-type: none"> ・他地域から来てくれた人・企業や、新しい目線を持った高山市の若い人に、田舎の暗黙のルールを押しつけず、のびのびと温かく見守ってあげること。
<ul style="list-style-type: none"> ・小さなことでも頑張っている方がいる。迅速で、柔軟な対応でしっかりサポートしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・現代日本の民主主義では未来志向の意思決定は難しい状況にあると思う。市民のみんなですすめるまちづくりが、一定の性別や年齢層の声が大きな人達の意見だけが優先的に通ってしまうことのないように期待する。敬意を持って10代の方々の意見に耳を傾けたり、意図的に子育て世代や、キャリアアップを目指す女性などの意見を多く聞き入れることで、未来志向のまちづくりが可能になるのではないかと考える。
<ul style="list-style-type: none"> ・きっと個々ではもう動いていると思う。みんな高山が大好きだから。でも、個では動きが小さく見えにくい。
<ul style="list-style-type: none"> ・まずは身の周りから無理をしない程度にきれいにする事。自分でできない事はお守り隊へ相談。
<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちでより良いまちにするための意見交換会の実施(市民なら誰でも参加OKとする)
<ul style="list-style-type: none"> ・高山はこんな面白いことをしているという発信を仕事・プライベートで行っていくこと。
<ul style="list-style-type: none"> ・移住促進
<ul style="list-style-type: none"> ・地域に応じた企画立案

問20 その他、ご意見、ご提案などがございましたらご自由にご記入ください。

労働・産業
・観光客相手ゆえ仕方ないのかもしれないが、市民の給料は安いのに市内の物価が高く暮らしにくい。
・最低賃金が低すぎると思う。
・人手不足で困っている第一次産業の人たちに温かいご協力をお願いするとともに、周りの者も安心させてほしい。
・市民の喜ぶ会社を誘致してほしい。
・高山の工場で働くこと若者はいつかなくなると思う（公務員や銀行員等は別として）。
・高山に移住したいと思えるようなPR、呼び込みにもっと力を入れてほしい。コロナが落ち着いている今、外国の方がたくさん観光に来ている。宿泊施設が建設されているが、従業員（清掃スタッフも含む）が足りていないと耳にしたことがある。働く環境、賃金、労働時間等を整えることによって改善すると思う。
・福祉サービスの向上、福祉事業に携わっている人の給料アップ。
・高速が通っているのだから、企業誘致等を行い、働く場が多いと良い。賃金が安い。観光ばかりに頼らない。
・子育て中に働ける場所をつくってほしい。テレビで見たことがあるが、単発で仕事を紹介して、その分の賃金がもらえる仕組みがとても良いと思った。。一日のみ、2~3時間などと、自分の空いている時に働けるので無理なくできると思った。
・会社で男女平等は無理かもしれないが、女性がもう少し有利な立場に立てることができれば良いと思う。女性の給料を上げてほしい。将来の生活が不安になる。
・高山で働きたいという若い人が増えるよう、老人ホーム等の仕事以外も充実させてほしい。
・どこの会社も人手不足と聞く。改善がされることを願う。
・一般家庭から出るごみと大企業から出るごみの量はだいぶ違う。大企業にも補助金がほしい。
・夫婦二人で製材所をやっている。79歳と77歳である。後継者もないのでこれで終わることになる。職人という仕事に就く人がいない。鋸の目立て、丸太を挽き分けする人、大工さん、建築関連でも人手不足だと思う。地味な仕事で給料の問題などあり、若い人には敬遠されがちである。木材に関心を持ってもらえるような良い手立てがあると良い。
・福祉関係の仕事をしているが、なかなか新しいスタッフも増えない。年配の方が多いです。もっと魅力ある高山にして若者が戻ってきたい住みたいまちになってほしいと思う。

農業・畜産業・林業
・イノシシ、カモシカの被害が大きい。対策を早急をお願いする。
・地元の農作物を販売する場所があまりない。地元の農家さんが持ち寄り安く買えるような場所、システム（一部のスーパーに少しあるのみ）があったら良い。せっかくみんな作っているのにもったいない。国府のあじかのような場所が高山地域にあっても良いと思う。

- ・父の借金と相続税の返済に苦しんでいる。農業経営で支払うというのは困難である。私の町内の方に聞くと相続登記をする方はあまりいない。このような政策では農地を手放すしかない。

商業
・映画館を作ってほしい。
・本町の大政の利用者がいないこと、もっと出入りしやすい何かお店を出すとか考えて活気あるまちにしてほしい。ベンチがあると便利。疲れても休むところが少ない。
・ホテルばかりできて景観が悪いし、買い物や娯楽など住民の必要な施設が少ないので困る。住みづらい。生活の質の向上を求む。
・大型の商業施設があったら良い。色々な物の選択肢が少なく、わざわざ岐阜市の方まで行き買い物する時も多々ある。
・高山には観光の人のための施設は充実していると思うが、住んでいる人のための買い物、ファッションのお店がなく、ウィンドウショッピングなどを楽しむ要素がない。中心街はシャッターの下りた店が多く、何か活用法はないのかと思う。
・高山には若い子の服や子どもたちの服などが買えるところがほとんどないため、富山、岐阜、名古屋まで行かないと良いものが買えない。大型ショッピングセンターがあればと思う。

観光・海外戦略
・観光に力を入れることも重要だとは思いますが、市民あつての観光だと思う。観光や旅行客の集客のために大きなお金を使うよりも、もっと市民のためにお金を使ってほしい。
・映画やドラマなどの作品のロケ誘致してもらえるとうれしい。観光客に何度も来てもらえるよう、子どもも楽しめる施設があると良いと思う。
・観光客が多すぎて街へ行けない。ホテルがどんどん建っていて高山の情緒が失われつつある。観光に頼らないで安心して暮らせるまちにしたい。
・観光客が戻ってうれしいのはその業界だけ。市民は毎週末、連休ごとの混雑に迷惑している。うんざりしている。市民第一の市であってほしい。特に外国人観光客のマナーの悪さ、信号無視、真夜中に大声で酔っぱらって帰る。これが電動キックボードの解禁になったら交通事故が起きるのはもう目に見えている。お金が入ってくるのだから目を瞑れというのか。JRも高速バスも混んでいて、地元の人が東京、富山、名古屋へ行くのも大変。観光ブームはいつか去るもの。地元の人を置き去りにするときついっぺ返しが来る。
・この地域の発展は観光と農林畜産業の振興以外にはないものと思われる。この中でも行政が直接的に貢献できるのはインバウンドを含めた観光客の誘致である。農林畜産業やその他の製造業に対する直接的な支援は補助金ぐらいしか方法がないものと思われる。この場合、「市は観光にのみ重点的に支援をしている」との市民の言われなき批判を避けるためには、宿泊税の導入は避けられない命題である。ただし今日までは入湯税の徴収のみであったので、入湯税を納付していないホテル、旅館に対して一人100円程度の宿泊税の徴収をしたうえで、その入湯税と宿泊税は観光客の誘致事業以外には使うことができないようにすべきである。このように入湯税と宿泊税を独立会計にすることによって、徴収義務者と一般市民の両者を納得させることができるものと思われる。いずれにせよ交流人口の増

<p>加はあらゆる分野に波及効果があり、その効果は計り知れないものがあると思う。市が持つ歴史遺産や自然遺産を十二分に活用していくことが極めて重要であると思う。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・現状の市の観光への取組みについて、海外誘致に力を入れすぎ。もっと国内のお客様誘致を重点とした対策を考え実行してほしい。下呂温泉の取組みを見習うべきである。
<ul style="list-style-type: none"> ・高山は「観光のまち」ということであるが、今回のコロナで観光に関連した仕事をしている人たちは被害などはどの程度だったのか。市はどう対応したのか。そういう情報が全体として入ってこない。ぜひ広報たかやまなどでお知らせしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・「富裕層の外国人観光客向けに飛騨の里を利用して」という新聞記事を読んだが「金もうけ」第一主義のようで不快になった。富裕層に特化する必要があるのだろうか。高山の低山を歩いていると外国人観光客とよく会う。Guten Morgen とかちょっと会話したりするのも楽しみ。外国のどんな方にも楽しんでいただける高山であってほしい。市民も楽しめる外国の方も楽しんでもらえる環境をつくるのが一番である。
<ul style="list-style-type: none"> ・市は文化と地場産業のまちだと思っていたが、いつの間にかホテルだらけのまちになり、市中心部は店がなくなり、観光客のためだけのつまらないまちになった。
<ul style="list-style-type: none"> ・この広い自然豊かな高山市は魅力にあふれている。併せて金森時代から引き継ぐ町並みと歴史は他所では真似のできない資源である。この広い市域の中で2～3泊していただけるメニュー、コース設定。奥飛騨温泉から高根の野麦峠、市街地、旧城址巡りなど、祭り・山・川・自然・歴史・料理と何もかも揃うまちはそうはない。農業・畜産・木工業と観光がコラボしても良いと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・外国人観光客が一昔前と比べると住宅街にまで多く見られるようになり、治安の悪化等、オーバーツーリズムの心配をしている。居住域にまで多くの観光客が侵入しないよう、人の流れを検討してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・良くも悪くも、高山にとって観光産業は必要だと思う。特に海外の方々にとって魅力的な要素が高山には多くある。その魅力の根源を正確に評価して、更に価値あるまちへと昇華させる事が大切では無いだろうか。近年の観光開発は、短期的な収益にフォーカスし過ぎて、ツーリストトラップのようなまちになっていると感じている。海外からの観光客からもその様な声を聞いている。地域住民が充実して、幸せに暮らすまちや文化が観光客が求める、本来の魅力ある高山だと信じている。
<ul style="list-style-type: none"> ・高山が活気を維持するには観光しかないと思う。ただ観光客が増えるにつれトラブルも増えるだろうから、例えば京都みたいに住人が住みにくいまちにならないような制度づくりは必要になってくると思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・観光だけが主力産業にならないようにないと良いと思う。最近急増した宿泊施設など本当に市のためになるのだろうかと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・観光都市としてインバウンドの取り込みは大事だがもっと日本人に向けたアピール、取組みはできないだろうかと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・新しいホテルが目立つ。もう少し地元の民宿やホテルが活躍できるような高山であってほしい。知らない民宿とか結構あるので雑誌で紹介するとか、その宿に何かしら支援をしてもっと地元の観光業を盛り上げさせるように考えられたらと思う。

経済
<ul style="list-style-type: none"> ・福岡県飯塚市の話で。物価が上がってきているので電子応援券（QRコード付きカード、スマホアプリ）を発行していた。抽選になり還元率も高くはないが、1口5000円で6500円分、10口まで購入できた。紙ベースのものだけでなくアプリがあれば若い人にも購入してもらえる気がする。レジで紙を出すのは少し恥ずかしいかも。昨年12月には1世帯当たり1人5000円のクーポン券をゆうパックで送付してもらった（使用期限は3か月）。少しでも参考にしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・プレミアム商品券の再販をたくさんお願いしたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・定期的にプレミアム商品券が欲しい。物価高騰でどこの家庭も生活が困窮しているので支援してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・物価が上がり生活が大変である。前のようにプレミアム商品券を発行してもらえれば大変助かる。
<ul style="list-style-type: none"> ・プレミアム商品券を定期販売にする。市民はほとんど購入すると思うので、経済が少しでも潤えば良いと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・物価上昇による家庭経済への圧迫に対する対策

保健・医療
<ul style="list-style-type: none"> ・医療依存が高い人の受け入れ先がない。医療福祉の充実度が飛騨市の方が高いように感じる。
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが高山へ帰ってきたいと思うためにはまちとしての基本的な社会インフラが整っていることが重要と考える。特に医療と教育は都会との格差が顕著なのではないか。都会並みの医療と教育があれば、自然豊かな高山で生活し、子どもを産み育て、心の豊かさを感じながら次の世代へのバトンタッチができ、人口減少も少なからず減速されるのではないか。IT技術がすすんだ現在なら教育のほうは可能かもしれないが、医療はどうだろうか。平時は良いかもしれないが、手術が必要になったり、がんで働きながら通院することを想像した時、市内の中核病院において十分な医療を提供できるのだろうか。市立病院を持っていない高山市はもっと医療にお金をかけるべきだと思う。命より大切なものはない。市民が安心して暮らせるまちづくりを。基本的な医療水準の確保を。市内医療施設の病室の古さ、汚さ、市民として恥ずかしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・健康保険料等が他地域に比べ高いと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・医療の面で都会に比べて遅れているのであれば、高山に充実できるよう改革をしてほしい（産婦人科の充実、高い技術を持つ医院等）。
<ul style="list-style-type: none"> ・今回のコロナワクチンはすべてモデルナで、前回打った後体調不良で入院となった。ファイザーの時は問題なく日常を過ごせた。毎回打って安心したいと考えているが、今回は諦めざるをえなかった。日々気をつけて過ごしているが、自分だけではどうしようもなく残念で不安な気持ちになる。この先ファイザーの接種はないのかと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・最近のコロナの状況（大きな病院の患者数）を発表してほしい。病院へ行くときの参考にしたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・不妊治療ができる病院が市内にはあまりなく、高度な治療をする際は他市、他県に行かなければならないのはとても大変だと感じる。治療を受けるに際し、仕事を休まなければならない、子どもを誰かに預けないといけないなど様々な問題点が出てくる。その点を改善

できたら、子どもの人口の減少も多少は解決できると思う。産婦人科の病院が少なすぎるため、誘致を強く希望する。

・高度医療の病院

・江名子の厚生病院が閉院する。ごみ処理場や火葬場などに使えないか。そのエネルギーを火力発電などに使い電力にしたり、また温水プールなどに使えるように考えてはどうか。病院もよそへ行かなければ治療ができないことも多い。医療格差も不安だ。

・高齢者の障がい施設病院として地域に密着と必要な高山厚生病院を再開させてほしい。これを実現させるために地元出身の国会議員（県議会議員）に嘆願してみたいかと思う。

・観光も大事ですが市民のこと、高齢者のことをもっと考えてほしい。例えば带状疱疹の予防接種の助成金、市は何も見えてくれない。高齢者でこの病気になり、痛みで何か月もまたは三年、四年も苦しんでいる人がたくさんいると聞いた。予防接種を受けるため、隣の市や他の市などでは助成金が出ているのにどうして高山市は出してくれないのか。もっと高齢者、市民のことを大切にしてほしい。

・带状疱疹ワクチンの公費補助を早期に実現してほしい。

・医療面では、総合病院で医師が不在でやっていない曜日もある。手術など高山では不安だと、県外などに行く人も多くいる。安心して高山でも受診できると良いと思う。皮膚科も市内には少なく混んで待ち時間も大変である。かといって総合病院の皮膚科は空いているが、初診料が取られる。もっとスムーズな方法はないのかと思う。

地域福祉

・私は冷たく思われるかもしれないが、なぜ高齢者や一人親世帯が優遇されるのかわからない。子に恵まれず夫婦二人だけの生活であるが、私は持病があるため働けず、月何万円もの病院代、夫の収入だけで生活は苦しい。私たちだけではない。子に恵まれなかった夫婦は弱く、一人親でも子さえいれば強いのだと思わされることが多い。子に恵まれなかった夫婦にも何か安心してこれからの時を過ごしていける良い案はないものか。不安しかない人のことを考えてほしい。

・社会的弱者でない人たちへの社会的サービスがほとんどないのはどの自治体でも同じだと思うが、独身の納税者や子どものいない世帯にも何かしらの社会的サービスが行き届くと良い。

・空き家を利用して、子育て支援、貧困問題を念頭に置きつつ誰でも利用できるスペースを確保してはどうか。自分達で料理をして食べるアフタースクールがほしい。

高齢者福祉

・主人の母の介護の為、10年前に主人の定年と同時に高山へ来たため、介護のための関わりしかなく、他に何かをという気力もなく、正直愛着という感情は持てない。時折、ショートステイに預け、私だけが実家に帰るのが唯一の楽しみになっているが、年金暮らしでショートステイもお金がかかるので年2~3回。時折ストレス解消に主人が富山のイオンやファボーレに連れて行ってくれるが、デイサービスの迎え時間までに戻らなければという現状である。

・高齢者が施設に入所したくても費用が高くて入所できない人がたくさんいる。高額所得者は入所できるが、もう少し低所得者のことも考えて、誰でも入所できるようにしてほしい。

・後期高齢者が五人に一人の割合で右肩上がりに増加する。免許返納者や体の不自由な方々などの買い物難民について色々なところに話をした。行政に相談をしたら、まち協に相談をするよう勧められた。まち協に話したら何でもこちらに持ってこられても困るとのこと。市議会議員の方に相談すると、まち協との連携をとること。誠に残念な答えしか返ってこない。私自身の提案としては、介護業者と連携してデイサービスの車両を利用する。各自治体や町内会に買い物希望者を募りまとめていただく。ただ介護タクシーや運搬業者との関係があると思われるので、行政主導で協力を促してほしい。

障がい者福祉

・このまちづくりアンケートは健常者ありきで障がい者の立場からも見てほしい。高山の玄関口である高山駅周辺のバリアフリーなど課題がある。市内商店街の交差点に音響式信号機が少ない。歩道には段差があり、車いすの観光客が通行が困難なところも何か所がある。市内の駅周辺の観光名所を改善してほしい。

・障がい・福祉分野の職員の生活を良くすれば支援を受ける障がい者の支援が充実し、しいては生活が良くなると思う。障がい・福祉分野の人材育成に力を入れてほしい。

児童福祉

・子どもの遊び場がとにかく少ない。雨の日は無い。加賀市にある「かがにこにこパーク」に視察に行ってほしい。若者を高山市に呼びたいなら、子どもの生活環境をより良くしていただけると良いのではないか。

・市がより一層発展していけるよう、一人の市民として全力を尽くす。今後子どもたちが希望を持てるよう、子育てがしやすくなり大人たちの不安を減らしていけるように、市が全力で動いてくれることに期待している。

・雨の日子どもを遊ばせる場がない。

・子育て世帯への市独自の支援を増加してほしい。（おむつや市の特産品のおもちゃ、金銭、食品の提供）3人目も4人目も産みやすい地域に。金銭的な面で自立できず、同居により追いつめられる若者世帯へ収入に関係なく住宅支援をしてほしい。

・ずっと以前から思っていることですが、支所地域では保育園しかない。そんな中で他と同じように”家庭で保育できない子”を対象にするのではなく、年少の年になったら家庭の状況にかかわらず入園できるようにしてはどうか。例えば母親が専業主婦だとして、小学校まで集団生活を経験しないのは現実的ではない。また下の子の出産に伴い退園させられるのも、子育てを余計厳しいものにしてしまうとを感じる。保育士の確保など課題は多いと思うが、人がいない地域からもっと人がいなくなるためだと思う。

・子育て中の母親が保育園に預ける環境づくり。保育士の給料改善。

・高校までの授業料、医療、給食無料化。

・夜間保育の補助と施設の充実、夜間保育があるのかも分からない人も多い。

<ul style="list-style-type: none"> ・他の市に住んだことがあるが、子どもが重なった時に（例えば二人いて、小学生と小学生など）二人目から学童保育や給食費が半額になるなど支援が手厚く助かった。高山で子育てすると良いと思えるような支援が必要だと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・私は子ども一人を持つシングルマザーである。高山には十年以上住んでいる。子どもの進路についてとても不安がある。市で助成金や補助もあるとは聞いているが、大学・専門学校の進学を選んだ場合にお金に余裕がなく進路を諦めることになると思う。貯金もちろんコツコツしているが、今物価が高騰して生活が苦しい状況。そのため貯金に回せないのが現状である。児童扶養手当や児童手当はありがたいが、国はもちろんのこと、市の方でも子どもが将来のために勉強できるように、すべての子どもが自分の夢を叶えられるように支援をしていただきたい。せっかく勉強してきて高山に帰ってきても、国に借りたお金で借金をして、ローンのために働くことになるのは親としては心苦しい。高山が将来の子どもたちにとって、住みやすく働きやすい環境になることを心から願っている。
<ul style="list-style-type: none"> ・発達障がいという言葉をよく耳にする。小・中学校には支援の必要な生徒も多いと聞く。幼少期より、より早く発見し支援すること、その子の生きにくさを理解して指導していくことが大切と思う。小学校に入ってから支援を考えるのではなく、就学時前の早期発見が本人にとっても周りにとっても大切なことと思う。市全体で幼稚園、保育園時代の見極めに力を入れていただけると、未来を担う子どもたちの成長に大きく影響すると思う。それが不登校児童などの減少にもなるのではないか。であい塾は学校に行けない子にとって救いの場だと思うが、その子をどうしたいのか、出口を見て指導しているのか疑問に思うことがある。
<ul style="list-style-type: none"> ・園児、小中高校生の意見も聴きとれる手段を常設してほしい。また、その提案を実行し、園児や学生にも達成感を味わってほしい。大人もなんでもかんでも自分たちでやらずに、子どもたちの喜ぶ顔に大人が喜びを感じてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・赤ちゃん世帯への支援について。課税世帯も物価高騰で苦しいので給付金などを早急に考えてほしい。

<p>学校教育</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍もあり、学校に行けない、行かない子どもたちの数が増え、引きこもりが増えることを心配している。地域住民も学校に行っていない子への理解もあまりなく、ますます引きこもりになってしまう。ホームスクーリングやフリースクール、通信制学校、オンライン授業など学び方の選択は増えているので、安心して過ごせる学校以外の場所があると良いし、そこで子どもに寄り添い見守る大人がいることを望む。そして学校に行かないことへの理解が地域の大人たちに広まると良いと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの教育活動を充実させてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・私の地域の学校では新入生が少なく、複式学級のように将来が不安である。昔に戻る気がする。
<ul style="list-style-type: none"> ・少子化で1クラスの人数が少なく、変わらない顔ぶれなのでいじめ等が起こり不登校につながる。校区に関係なく自分の行きたい、やりたい部活等もある学校を選べると良い。
<ul style="list-style-type: none"> ・息子が北小学校へ通っている。児童の人数も多い中、学校全体の取り組みや先生方の対応が素晴らしいと感じる日々。子どもが参加できる行事や町内行事が徐々に再開してきたので楽しんで協力していきたい。

- ・支所地域に住んでいる高校生にとってはバスの本数が少なく通学が大変。（親も）朝だけでもスクールバスがあったら助かる。
- ・私は支所地域に住んでいる。子どもが高校生でバスの定期券代の支払いが家計にかなりのしかかる。助成はあるが、年度初めの出費が重なるタイミングで一度は支払いがある。定期券の支払いについては助成額を引いた金額で支払うことができたら本当にありがたい。

文化芸術・スポーツ

- ・有名な文化的な催事を各地域へ呼び込むなど、積極的に取り入れることは高山を広めるためにも、市民にも良いことだと思う。
- ・富山では河川敷を利用してパターゴルフ等老人でも楽しめる場所がたくさんある。道具等も他県の者にも無料で貸し出している。場所も無料だしうらやましい。高山でも皆が楽しめるような場所や公園が作れないものかと思う。
- ・高齢者のスポーツについて、現在ゲートボール、グラウンドゴルフなどあるが、マレットゴルフが高齢者には一番良いスポーツと考える。若者、子どもにも最適である。現在ある土地を借りてプレーしているが、全国にはいくつもあり、長野には15施設もある。高山に一つもないというのは寂しい限りである。どこか、例えば原山にでもと思う。コロナ前には色々な場所に参加し、色々な人との交流ともなり、高山でも大会ができるようになれば活性化につながると思う。

歴史文化

- ・昔は5月に家々でこいのぼりを立てたが最近はこの風景がなくなった。せめて高山駅、市役所、学校などの公共施設ではこいのぼりを立ててひとときでも心安らぐまちになればと願う。
- ・夏の風鈴は人の心に安らぎをもたらすよき風景。高山駅や商店街等につければ町の良き伝統行事になる。以前、国分寺通りに夏の間、全国から募集した川柳をあんどんに書いて風鈴をつけて飾られていた。夏の良き文化行事だったが今は手間がないとみえて実施されておらず残念。また、昔は盆踊りが寺や神社境内や広場で行われていたが、最近は少なくなった。昔は本町通りで民謡流しが行われ、にぎわい良き伝統行事だった。高山陣屋と本町通りでの盆踊りを高山の夏にふさわしい行事として、青年会議所が中心となってなんとかできないものかと思う。高山の盆踊りは昔は仮装踊りが多かったそう。最近行われているちよけらまいかは踊りも歌も品がなくて高山にふさわしい踊りではないと思う。早くやめて代わりに本来の高山盆踊りを伝統芸能として大切にしてほしい。
- ・高山の自然豊かな場所の保存、古い町並の景観の維持は今後も継続すべき点だと思う。
- ・祭りのために袴を着て行列というのが負担である。そういうのは希望する人だけにしてもらいたい。
- ・日本中の子ども和太鼓チームの為に新しい祭りを創設してはどうか。

協働

- ・まち協の事業への半強制的参加をやめてほしい。人数の割り当てなど、参加したくない事業もある。

<ul style="list-style-type: none"> ・町内会や近所付き合いは無意味だし差別にもつながる。町内会不加入者はよそ者扱い。祭りにも強制参加で報酬がある地域との差が出るので平等にして伝統を守れるといい。
<ul style="list-style-type: none"> ・町内会について。担い手が高齢化していて行事等重荷となっていることもある。これから変わっていく必要があると思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・かつて数回ほど氏神様の神社員が当たって、行事等で神事の手伝いをしたことがある。空町では錦山神社、東山神明神社、東山白山神社の三神社が氏神様の運営について氏子総代等の役員が語り合う機会をつくっている。ある年の会議の後の宴会の席で小さな神社のための苦労話を聞いた。三年の周期で当番神社での例祭、他の神社は御旅所にする事で三神社と一緒に例祭を行っていけば人口減少にも対応できるのではとの話もあった。もちろん一笑してその場は終わったが、夢のような話であるが町内会の再編で人口減少に伴う困難を防ぐことができないか。町中の小さな町内のことを真剣に考える時期にかかっているのではないかと考える。
<ul style="list-style-type: none"> ・町内会の活動も昭和時代の古い活動がメインである。今後人口減少を考えた上で活動がどうあるべきか教えてほしい。独居老人・防災・回覧システムが役立っていない。
<ul style="list-style-type: none"> ・私の地区でも高齢者の為に参加できる行事を色々計画しているが、なかなか参加する方が少ないようである。高山地域に在住の友人から聞くと行事に参加する方は多いそうで、支所地域は何かと消極的かなと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・数年前に他県から移住してきた。町内会参加の誘いもなく、町内会長さんが誰なのか今でも知らない。また地域の行事がいつ、どこであるのかもわからない。今後大きな災害があった時に孤立するのではと不安に思う。この状況では自主防災はおろか、取り残される可能性も出てくるのではないかと。地域とのつながりをもっと綿密にするべきだと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・町内会に入るかどうかは個人の自由にしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが自身がいっぱいいっぱいだと他人のことをいたわるのが困難になると思う。何となくギスギスして生きづらい世の中になってきているような気がする。でもそんなときに高山に来るとホッとするとおっしゃるまちであり続けられると良いと思う。住む人も働く人も高山で良かったと思えることが大前提である。
<ul style="list-style-type: none"> ・行き過ぎた行政改革はやめること。元に戻せとは言わないが、住民が行政の仕事をして公平にできるとは思わない。地域、そこに住む人、条件などすべてが千差万別のため、住民にやらせることに無理がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり協議会、社会福祉協議会について。市民が主役という美しい言葉の下で、一部の市民がボランティアでたくさん仕事をさせられていることを知っているのか。近所の方や家族もその協議会で頑張っているが納得いかないと言っている。市役所や支所の仕事をはっきり言って肩代わりしているのにあまりに予算も公的な支援も少なすぎると思う。仕事が多いのでやめようと思っても次の方がなかなか決まらないため仕方なく続けている人が多い。市民の皆が納得してやっているのかどうか、いま一度考え直す必要があると思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢になるとまちづくり協議会の活動はもとより町内会の活動にも参加しにくくなる。市から委嘱される役職やまち協、町内会の役職など役が多いと思う。もう少しコンパクトにできないものか。色々な役職もこの地域に住みたくない理由の一つとして挙がっている。行政も縦割りではなく横のつながりをもっと重要視し、組織の見直しも必要だと思う。

<ul style="list-style-type: none"> ・声掛けが大事だと思う。我が家は中学校の近くで、朝夕学生さんの方から声をかけられることもあり元気をもらう。また近所同士声をかけ、健康等注意し見守ることが大事だと思う。お願いするほうもお互いさまという気持ちで甘えても良いと思う。世話焼きでなく、さりげなく。我が家の周りはお互いに頼れる関係だと思う。昔はお葬式の手伝いを近所でして、もちろん良かったことも悪かったこともあるが、勉強にもなった。
<ul style="list-style-type: none"> ・まち協の行事、町内の行事を始め、とにかく、行事が多すぎる。行事の多さだけとつても、住みづらい。もっと、行事を減らすべきである。
<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり協議会にアンケート調査依頼がきてないのは、どうしてか。地域の一番大切な組織であり、市の職員も各地区へ割り振られているにもかかわらず、意見を聞くべきだと感じる。
<ul style="list-style-type: none"> ・私を含めて市民はいろいろな意見を持っていると思うが、それを上手く市政に届ける手段が無いのが課題だと思う。とはいえ市民は「自分はこう思う」と主張できるような人は少なく市議会議員に頼ろうという人も少ないはず。このアンケートのようにある程度匿名性が保たれた状態で、広く市民の意見を集めることは大切だと思う。そしてそのデータを活かして欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> ・自治会に加入するメリットを与えて、入らない世帯にはなんらかのデメリットを課すと良い。
<ul style="list-style-type: none"> ・まち協の予算の内訳がひどい。しっかり監査してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・まち協自体のシステムや予算の出どころなどが一般市民には分かりづらい。
<ul style="list-style-type: none"> ・私の地域（町内会）では、若い人が著しく減少している。その原因の一つとして自治会（町内会）の抱える問題があると思う。現在の自治会は数十年も前に決められた行事を守っていくべきだと、年配者が主導してすすめられており、その時代の世代の人口を比較すると、1/3~1/4になっているにも関わらず、「自分達もやってきたことだ」や「昔より行事が楽になってきた」など、依然その方向を大きく変えようとしない。特に若い世代にとっては家庭での子育てや、PTA や部活など子どもとの時間が以前より必要となっており、仕事、家庭、町内会との労力に疲弊しているのに、地域活性化という名の基に、これ以上行事や集まりを増やすのではなく、地域として絶対必要なもの①衛生活美化活動、②公共インフラ維持、③消防・防災活動、④高山市との連携、⑤地区の財産管理(不動産等)など、快適な生活をするために最低限必要なものがあることを理解してもらって、もっと簡素化した町内会とし、高山市から町内会に紐付けとなっているような役も簡素化し、私たちも若い人達も住みやすい町にしてほしい。若い人達は3月~6月(場合によっては8月)まで祭りの練習、消防の操法大会で、ほぼ毎日練習している。でもこれから災害の時期に向けてが本番。彼らの力が必要です。
<ul style="list-style-type: none"> ・施策立案を積極的に、地域住民にアピールする。

<p>生涯学習</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・図書館をよく利用しているが、せめて高齢者の貸し出しを現行の2週間から3週間に延長されることを切に願う。

土地利用
<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査の結果を踏まえ、市民の思いに寄り添っていただけるような行政であることを望む。現在ホテルの建設が増え観光も大事だと思うが、もう少し市民が楽しめるような土地活用を考えてほしい。
住宅公園
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の少ない一之宮の公園や他の利用していない公園、草だらけの公園があるので整備してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが楽しめる公園が少ないように思う。いつでも大人数の子どもが心から満足できる魅力ある大型の公園があると良い。
<ul style="list-style-type: none"> ・公園の整備をしてほしい。大きな公園を作ってほしい。古川の杉崎公園のように小さい子から大きな子まで遊べる公園があるとうれしい。赤保木公園と市民プールの工事が着工されるが、どのように変わるのか楽しみにしている。古川の公園の遊具は一つ一つがとても楽しく遊べるもので、さらに滑り台がたくさんあるので子どもたちの並ぶ待ち時間が少ない。多くの高山市民が利用する、そんな公園になったら良いと思う。赤保木公園も楽しいが、駐車場までの細い道が怖く、ほぼ行かない。大きな対向車が来たらとても嫌なので。どうか子どもたちが安心安全に思いっきり遊べる公園を整備してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ホテルばかりが目立ち観光重点のまちと化した高山。少子化をなくすためにもスケールの大きい奇抜な遊園地とか、雪の高山として冬はスケート場など地元を活性化することが大事である
<ul style="list-style-type: none"> ・道路工事ばかりに税金を使わず、公園整備もすすめてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが遊べる児童公園は所々にあるが、どこも魅力的ではない。子どもが体を使ってのびのびとたくさん遊べる広い場所や色使いが豊富な遊具、「あそこの公園に行って遊びたい」と子どもが思えるような公園が必要だと思う。また親同士の交流の場にもなると思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ワイドビューの車両をポップ公園の機関車のところや他に保存できないかなと思う。みんなに愛着があるし、それ目当てで観光客も来そうだと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・広い土地が手つかずのままになっている。活用はないか。まちなかに大きな公園があっても良い。
<ul style="list-style-type: none"> ・空き家対策を何とかしてほしい。空き家の周りは木が茂り動物のすみかとなり、近所に住んでいる人は大変困っている。家主の方に行政から指導なり意見なり伝えてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・空き家が増えて景観が悪い。ごみ捨て場になっているようなところもある。市のほうでも何とかしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・飛騨市の杉崎に素敵な公園ができたが、市内にはほとんどない。孫が遊びに来ても古川まで行かないといけないので、ぜひ公園を作ってほしい。娘が住んでいるところには至る所に公園がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・自然豊かな高山市、過疎化により山村人口が少なくなり、その維持が困難になりつつある。特に空き家があちこちに見られ（まちの中にも）空き家対策が急務と言える。
<ul style="list-style-type: none"> ・観光に来る人達はファミリーも多く見かけますが、子どもにとっては退屈な場合もあると思う。郊外で思い切り遊べるような大きめの公園を作ってほしい。市内の子育て世代は週末は高山から出ていることが多い。

- ・飛騨市のような遊具が充実して大きな公園をつくってほしい。
- ・公園が少なすぎだと思う。石浦もなぜかタイヤ公園とヘビ公園の二ヶ所は並んだように近くにあるが、人口の割に他にはなさ過ぎて、小さなお子さんがいる家庭は車で行かなくてはならない。気軽に立ち寄れる公園があると良いと思う。

生活環境

- ・車の騒音をどうにかしてほしい。1か月に1回くらい見回りをしたらどうかと思う。
- ・ごみ処理に関して、回収されていないのを見ると心が痛む。市民である証明として直筆で世帯主の名前をはっきりと誰にでもわかるように記入すべきである。ごみを出す者の責任として当然だと思う。
- ・本当においしい水が飲みたい。本当に澄んだ空気を吸いたい。特に夏、一日中窓を開けたい。
- ・観光客のごみ捨てマナーが悪いのでポイ捨てされるよりゴミ箱を設置した方が良いと思う。観光に力を入れるのであれば歩行者が通る道をもっときれいに整備した方がベビーカーや高齢者の方が歩きやすくなると思う。毎年道がボコボコになって運転しにくいし歩きにくい。
- ・リサイクルステーションが少なすぎる。回収BOXを設置。大手スーパーの店先にアルミ缶やペットボトルの回収場所があるが、各支所にも設置して、ポイントでゴミ袋や図書券に交換できるなどできたら良い。
- ・アパートの住人で所在の分からない人がいる。市役所へ相談したが皆逃げるばかりでなんともならない。荷物をゴミとして処分したいがどうしたらいいかわからない。市民課で死亡しても教えられないと言われたがなんとかならないかと思う。
- ・ごみシールについて、現在無料で配られるごみシールは家族数で配られるが、事業で出るごみは有料のシールを購入する。例えば、自宅と事業所が同じになっている場合、職種にもよるが、一日のほぼ大半を仕事場、食事も仕事場、日々のごみは大方有料のシールである。自宅部分で出たごみをもったいない、まだ入ると一緒にすればそれは有料シール。どちらにしても一緒にすれば有料シールの扱いになる。配られるシールはほぼ使わない。このような状況の事業所がどれだけあるかわからないが、現在は余ったシールは学校へ行く。これを有料シールと交換できると良いと思う。ごみの減量も世界規模の話でわかっているが、職種によっては観光客が増えれば増えるほどごみも比例して増える。ごみ収集場によっては配られるシールで集めていくと聞き不公平な気がする。そこで現在の指定のあるゴミ袋ならシールはいらず、またシールが貼ってあれば事業所でもOK（不足する事業所は有料シールを購入）、家庭用シールと有料シールを交換できるなど、何とか考えてほしい。
- ・ごみの分別、特に紙類が分かりにくい。不法ゴミに対する罰則を条例で厳しく決めてほしい。カラス対策をしてほしい。
- ・高齢者がペットを残して施設入居する場合やペットを残して亡くなってしまった場合の対応も今後、増えてくると思う。その他、地域猫や虐待なども解決すべき問題が多いと思う。名だたる観光地としても、ペットと一緒に安心して楽しめる観光地になってほしいし、飼われているペットだけでなく他の動物にも優しい場所であってほしいと思う。

公共交通
・乗客があまりいないのらマイカーのバスが終日回っていて燃料費の無駄では。例えばタクシーならば雨の日でも荷物が多くても玄関まで送迎してくれる。必要な時間に必要な人のところへ直行してくれるので利用者にとってはありがたい。
・免許証を返納した場合、もっと色々な補助があると助かる。市街地に住んでいる者は買い物、病院などに通うのが大変になってくる。何とか対策を考えてほしい。
・高山に来てから思っていたが、バス路線にあるように在来線にもさるぼぼとか白川の絵があると素敵だなと思う。（瀬戸大橋アンパンマントロッコなどの観光列車とか）
・個人的には高山駅周辺にバイクを駐車できる場所がほしい。車や自転車はあるのにバイクが止められない。電車やバスで出かけるときに都合が悪い。
・これから高齢者が増えるばかりで買い物などが不便になるので、公共交通機関の便数を増やすなどしてほしい。

道路
・大きな災害が起きた時、道路が一つしかないと孤立する地域が多数ある。早急な交通整備を願う。何度も同じ道路の工事が続いている。1回でできないのか。
・高山市と松本市は姉妹都市となり50年以上の友好都市である。平成9年には念願の安房トンネルが開通し、ますます多面的に交流が盛んになった。そのため安房トンネルを通勤や仕事で利用するようになった。以前トンネル通行料金を無料化という動きがあったようだが立ち消えになった。無料化とまでは言わないが、仕事や通勤、介護、看病などで安房トンネルを利用する場合、年間パス等、何らかの割引があるとありがたい。ますます連携を結んだ活動ができるのではと考える。両市民が団結して「世界水準のナショナルパーク」、世界に誇れる山岳都市を目指すにあたり、通行料割引はその一助となると思う。
・上下水道の整備もなく、交通の便も悪く、大雨が降ると道路状況も不安ある。市民皆が平等に住めるよう、整備に力を入れてほしい。
・槍ヶ岳の下まで、自動車が通れる遊歩道を付けてはどうかと思う。
・道ができるということは大事なことだと思うが、早く柵をしてほしい。
・通年、道路工事を多く見かけるが、主要道路ばかりが目立ち、でこぼこした脇道等はそのままだま放置されている印象がある。道路工事の現場でも、あまり必要性を感じない交通整理なのか危険防止のためなのか、立って棒を振っているだけの人をよく見かける。人件費の使い方、予算の組み方に疑問を感じる。

情報
・私は昨年の子を出産した。子どもができるまでは市が教育、子育てにいろいろと取り組んでいることを知らなかった。正直、いろいろな制度があることも妊娠してから知った。出産までの補助券や出産してからの子ども手当等の助成金にとっても助けられた。金銭的に不安な時期だったので、出産してもやっつけていけるか心配であったが助成のおかげで何とかやっつけている。昔からある市の制度なので、職員の方には当たり前のことだと思われるかもしれないが、子の誕生を祝福されているようでとてもうれしかった。保健所の方の対応や産後の健診等もいろいろとあり、安心して暮らし子育てができていて感じている。全国的には子育てが難しい土地がまだまだあるが、高山で子育てができ幸せに思う。

<p>いろいろなことに力を入れてくれて感謝している。もう少し市の少子化対策を発信する場があったら良いと思う。もう少し早く知っていたらと思うことがあった。少子化対策だけでなく、せつかくすてきな制度があつていろいろ取り組んでいるので、市民や他県民にも伝わるように発信にもっと力を入れてほしい。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報たかやまが毎月2部届く。各戸へ配られるものと新聞等にチラシと一緒に折り込まれているもの。もったいないので各戸1部ずつと決めると良いと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 何でも「ホームページを見てください」はやめてほしい。パソコンのない家や携帯があつても使いこなせない人も結構いる。デジタルばかりを推進しないでほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 別荘地内なので、有線放送が無く、ネット環境も悪いので、光回線の範囲が増えてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報の放送が反響し何を言っているか分からないので対応を考えてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 市の広報やチャイムが聞こえないので、スピーカーを設置してもらいたい。

<p>景観</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内にある高層の建築物について、建ってしまったものは仕方がないが条例などで高さ規制ができると思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 高山へは観光客の方がたくさん来ていただいている。古い町並や祭り屋台もすごく魅力的なものだが、もっとすばらしい景色がある。それは北アルプスのパノラマである。私は今、たまたまホテルの清掃を仕事にしており、ホテルの上の階から見ることのできる北アルプス、乗鞍、穂高、また振り向けば白山、とても美しい景色である。よそ者の私は高山の人がこの素晴らしい景色を当たり前にあることとして誇りに思っていないことが不思議でならない。この美しいパノラマを見に、東京や関西から4~5時間もかけて高山へ来てくださることをわかっているのか。JRやバスで来てくださった方はなかなかこの景色を見ていただく場所がない。そこで、駅西開発でも市の施設が建設される予定があるならば、ビルの7~8階程度の高さの展望台（パノラマルーム）を設けていただけませんか。もちろん全フロアでなく、一部パノラマルームのみ高くしていただければ良い。駅近くで高山に来てすぐ、また帰る前にすばらしい景色を見てほしいと思う。今すぐできることは市役所の上階で、北アルプスの景色が見られるところがあれば、そこを観光客にも開放してパノラマルームにしてほしい。そしてPRを忘れずに。（東京都庁にも展望ルームはある）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 町並みの景観を大事に考えているなら、電柱の地中化をした方が良いように感じる。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 太陽光発電システムを導入すること自体にそこまで異論はないが、場所は考えた方が良いかと思う。わざわざ自然豊かで美しい場所に、ただ土地が広いからと言ってソーラーパネルを設置するのはどうかと思う。各建物の屋根の上や看板の裏、パネルをそのまま屋根として使用するなどできるだけ見栄えを損なわないようにしてほしい。

<p>地球環境</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 私が具体的に提案したいのは中部山岳国立公園内の鏡平に遊歩道をつくること。鏡池に映る槍・穂高連峰はすばらしい景観で多くの人に知られ、登山者もここを通過する。この鏡池から南の方向には平坦な地形で池等もいくつかあり景観のよいところである。南に向かって歩くと左側に槍・穂高連峰が見られ、右側には弓折岳、大ノマ岳、秩父岩、抜戸岳、

笠ヶ岳、前方には焼岳、乗鞍岳、遠くに白山が見られる。起伏が少なく、ここは子どもたちから中高年の人まで、また外国人にも好かれるところになると思う。案内は不要、ここをゆっくり歩き浮世のことは一時忘れ、心身とも健康になること間違いない考える。全長 1500m くらい、小さな笹の刈払、土砂の切盛は少なく、途中で 3 か所くらい腰を下ろすところと看板の設置くらいが良い。

防災

- ・避難所の設備の向上・災害指定地域へ指定以降、何の対策もないためどのような取組みをしているのか不透明である。
- ・これからは防災は必須であろう。高山は大雨、地震、土砂災害、どれが起きても町が孤立する。先日も安房峠が通行止め、JR も不通、東海北陸道は通行止めとなり、他県からの移動が難しくなった。食料をすべて高山でまかなえるだけの力をつける必要を感じる。土砂災害についても今以上の雨が降った時、村落は大丈夫か。スキー場のような木がない山は大丈夫か。見直す必要はないだろうか。市独自でエネルギー供給ができるように。自給自足や地産地消のような自然と融合した準備はできないだろうか。これからは災害は大きくなると思う。天候異変はさらに大きくなって地球を狂わせ、人類の生存は難しくなっていくと言われている。
- ・災害時の避難時にペットの同伴・同行避難が課題だと思っている(高齢者や体の不自由な方などは早く避難する事が望まれるが)ペットがいる事、ペットの同伴避難できる避難所が無い事などが、早い避難の妨げになっていないだろうか。我が家もペットの事を考えて、避難所への避難は最終手段と考えてしまっている。
- ・飛騨エアパークを行政向け災害時緊急駆け付けヘリコプター基地にしてはどうかと思う。
- ・地域の災害危険箇所の要望があったとき、早急に対応してほしい。
- ・自然災害への対策も重要かと思う。

安全

- ・静かで安心して暮らせるまちが何よりの行政の仕事。週末のバイクのツーリングの騒音も野放し。古川へ行くバイパス、バスの通る道はスピード出し放題。違反で止められているのは見たこともない。横断歩道で歩行者無視。たまに止まってくれる車を見ると奇跡かと。住民しか通らない裏道を見知らぬ外国人が通っていると、ちょっと怖い。
- ・高校生も自転車に乗るときはヘルメット着用を義務化してほしい。個別に促しても「自分だけではしたくない」と言い着用しないので、市で義務化してもらいたい。

行財政運営

- ・古くなった施設(例えば中山公園野球場)をもう少し管理すればとても良い所なのだと思う。中途半端になっている所が多々あると感じる。管理すれば他県の方々も使用できるようになるのでは。そうすれば高山のことに少しは関心を持てたりするのではないかと思う。
- ・新しい市長のもとで、市民主催で課題・政策などを行政や有識者と考える「高山市政策検討市民委員会」を設立してほしい。

<ul style="list-style-type: none"> ・市役所の受付に人がいても椅子に座っている人が多すぎる。必ず誰か対応に行かなければだめ。飛騨市は対応している。
<ul style="list-style-type: none"> ・要望を町内会を通すと1年以上かかったりするのに、市へ直接電話で要求すると即行動に移してもらえたように感じる。
<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートに答えながら集計したらどんな結果が出るのか考えてみた。②やや感じている、②やや重要であるが一番多くなり、あまり参考になる結果が出るとは思えない。手間暇、お金をかけてもったいないことだと思う。良いことをどんどんすすめれば良いし、予算もあり、その立場人全部が満足することは不可能だが、温かい思いやりのある、誠意のある行政を心掛ければ良いと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・市役所は市民より市役所職員を大事にしていると感じることがある。具体的には仕事をしない(できない)職員をお咎めなしで雇用している。そんなことから市役所職員は危機感が欠けている。もちろん一生懸命役職を全うしている人もいるが、だらけている職員がいるのも確かである。今後だらけている職員や仕事のできない職員は、研修の受講等を通して能力ややる気の向上を図っていくべき。また研修等を受講してもだめな職員は免職、降格、減給の処分をしていくことが大切である。
<ul style="list-style-type: none"> ・行政にかかわるすべての人が全体の奉仕者であるという認識を持っているのか。納税者はそれを求めている。
<ul style="list-style-type: none"> ・市民一人一人の小さな声、要望に耳を傾けてほしい。それがすぐ実現することは難しいと思うが、そんな声の情報共有は必要ではないかと。観光都市として大きくなっていくのは結構だと思う。それだけでなく市民サービス、行政も他の自治体の見本になるくらい大改革をしてほしい。そうすれば人口減少問題もなくなるし、高山市に対する誇りと愛着がすべての市民に芽生えていくと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・何か困ったことがあった時に市役所に相談しづらい。相談しやすい窓口や姿勢であってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・日本一広域な市なのに人口が少ない。つまり過疎化の現状では切り捨てても必要と思われるので、各地域の実情を考えながら、市全体の財政の負担を軽減できる施策を行うべきと思う。例えば、小中学校の統廃合等による経費の節減と統合校の教育の充実。そのためには道路環境の整備も当然必要となるが、それにより買い物等の条件も好転できる可能性もある。無駄なお金は使わないことが大事だと考える。議員の定数も早急に見直し、役立たない議員はなくすべきである。火葬場の件でも、前段でどれだけ無駄な経費を使っているのか。行政の取組みのまずさが、この混乱を招いていると思われる。100%の賛同が得られることはありえないのだから、もっと指導力のある行政をやる人材ですすめてもらいたい。特に市長をはじめ、本庁の部長・課長にお願いしたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・飛騨市は色々と柔軟な感じがする。高山というか飛騨が好きなのでこれからも住み続けたいし、よりよいまちになったらと思う。市役所に行くと職員は大変だと思う。大変なのに市民の不満の矛先になってしまう。
<ul style="list-style-type: none"> ・入浴券をもらいに市役所へ行った。。そうしたら4月1日に高山に住民票がないから上げられないとのこと。何度か行ったが決まりであると、絶対にもらえなかった。これも事前に話をしてくれれば何度も行かずに済んだのに、もっと何でもスムーズにそして年寄りに優しい市になってほしい。職員も事務的である。もっと親切に対応してほしい。こういうアンケートがちゃんと読んで役立てられるよう希望する。まちづくりはまず心からではな

<p>いか。異動したばかりだからわからないではなく、ちゃんと給料をもらっているのだから、ちゃんと勉強してほしい。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・高山市の文化とか、まずまちなかのトイレを水洗化など 21 世紀に相応しい物にしてから「文化」を語ってほしい。大層な「文化会館」を建設するのが文化なのか。今は金がなくてそう大した物は建てられないだろうが、昔は派手に箱物をつくっていた。今その手のものが老朽化して、直す金もなくて閉鎖とか。未来を考えていた結果だろうかと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・民間と人員の奪い合いとならないためにも、市役所の職員も削減していくことが必要であり必至。市民の意見が全て正義とは限らないという当たり前の事実にかかわらず、意見を聞くことそのものに多大な労力を取られてしまいかねない。声の大きい人（クレーマーも含む）によって行政のあるべき姿がゆがめられている実態も感じる。公務員は公僕であっても奴隷ではない。行政のやるべきことやらなければならないことの見直しを立ててゆく作業を期待している。
<ul style="list-style-type: none"> ・色々なことが早くすすむ今の高山市はとても良い。失敗を恐れず挑戦してほしい。コロナ禍を期に、昔からの色々な仕組みを見直して若い世代の活躍できる社会になるよう期待している。
<ul style="list-style-type: none"> ・市役所の職員の受付の対応は良い方もいれば悪い方もいる。その差が極端である。受付に立つ方はしっかりと対応できる方にしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化、人口減少社会到来に向けたビジョンを示すべき。高齢者の関心は、その一点のみ。すること、しないことを明確にして、ビジョンを描いてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・市役所の窓口対応が悪すぎる。これを何とかしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・働いている市の職員の疲弊が見えるときがある。きっと一人が抱える仕事の量や責任の重さもあるのかなと感じる。正職員の増員や職員の方のメンタルヘルスなど、まちづくりを担う職員が時間も心にも余裕をもって仕事ができると、行政サービスの向上、市民への利益につながるのではと思う。

<p>若者</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・若者の流出が問題だと思う。長い目で見た流出対策をとってほしい。市民・住民が楽しく暮らしていることが重要。それを見聞きした外部の人は高山に興味を持ち、転入増（人口維持）、交流人口の増加につながる。ひいては観光客も増えていく。このようなシナリオを描いて施策を考えられないかと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・官民一体でとは、高山市では都合のいい言葉でしかない。もっと若い人の夢を聞く必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・4年ほど住んでみて、給料に対して家賃が高いと感じた。長く住むためにも若者の経済的支援の充実をしていただけると嬉しい。

<p>その他</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・主人が九州出身だが、実家に戻った時に高山を知っている人が少なく、「君の名は」や「白川郷」、「飛騨山脈」を出してやっと思いついてもらえらる程度。まだまだ知名度が低いと感じた。

<ul style="list-style-type: none"> ・火葬場について、昔から近くに住んでいる者にとってはそこにあって当たり前であるためこのままの場所を望む。ただ道の修繕はお願いしたい。昔は火葬場へつながる道の雪よけのせいで畑の小屋がつぶれるなど毎年大変であった。
<ul style="list-style-type: none"> ・西洞町の火葬場建設について提案する。山中にドームを作り現火葬場と繋ぎ一体化したらいいと思う。または長坂辻バス停向いに入った場所も良いと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・退職した市職員、関係団体が取り仕切っている。あまり付き合いたくない人間が多い。
<ul style="list-style-type: none"> ・火葬場はスカイパークがよかった。住民投票で決めるべきであった。
<ul style="list-style-type: none"> ・市会議員の数はもっと少なくていいと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・日ごろから「高山市の今」を意識するのは大事だと思った。高山市のために私が心がけていることは駅前での運転である。観光客が駅に着いて最初に気分を良くしてもらえたらと思う。横断歩道での歩行者優先は当たり前だが、特に心がけている。そういう小さなことから自分のまちを大切にす意識を持とうと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者にこのようなアンケートはしないほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・非課税の家庭はお金がもらえる。一人でも納税している家庭は対象にならない。少ない年金でほとんど生活を助けてもらえない。もっと平等にしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・教育、医療への取組みが少ないと感じる。観光については市の力で今の高山があると思う。このようなアンケートはとても良いと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・高山には文化があり、風土、環境もよく住むには良い所だが、給与の低さと物価の高さ、人間のしがらみなどで若者の人口が減少する一方である。都会よりも人間関係などでの負担が大きいいうえに、給与も安いのでは若い人が都会に行ったきり戻ってこないのは必然である。現在すでに経済的な実権はほとんどないにも関わらず、発言力だけは大きい保守政の既得権益を得ることだけを考えている地元有力者の存在も市の閉塞感に拍車をかけている。前回、前々回の市長選挙を見ても、変革を望むよりも既得権益を確保したまま衰退して死んでいくことを多くの市民が望んでおり、自己実現や大きな利益を求める若者は市を脱出し都会に流れる傾向がはっきり出ている。
<ul style="list-style-type: none"> ・退職した今、古い町並にある家に毎週出かけている。家に入ると不思議と心の中にある色々な迷いの心が穏やかになっていく。二階から外を見るとたくさんの外国人や犬を連れて人が幸せな笑顔で通りを歩いて行かれる姿があり、私はこの家で一番幸せな生き方をしている。その上このまちで一番素敵な所として色々な所から観光に来てもらえて最高と感じている。
<ul style="list-style-type: none"> ・昔からの古い文化、伝統を守っていくことも大事だが、それよりも若者の高山市への定着率を上げること、他県からも高山に住みたい、働きたいと思える新たな施設を整えることにも積極的に取り組んでほしい。高山を出なくても魅力あるレジャースポットをつくったりと、守りから攻めることに考え方を改めてほしい。隣接する長野県、愛知県等には大規模な緑地公園があったりするが高山市にはない。何をすることも規模が小さく魅力がないので、他県へ遊びに行き魅力を感じ、最悪高山から移住してしまう人もいる。古い町並を守るだけでは今後高山市は生き残っていけない。豊かな自然があるが活かし切れていない。スキー場も減少していく。子どもからお年寄りまで集える河川環境もない。またホテルばかりが建ち、観光にのみ力を注いでいると思う。特に高山には工業がほとんどない。大規模な製造業も高山に来てもらえれば雇用も生まれる。高山にはあり他にはないもの、このあるものばかりに注力しすぎて守りになっていると感じる。今の高山にない魅力

<p>に注力し、攻めの姿勢で高山を本物にしてほしい。他県の人に魅力を持ってもらうことも重要だが地元民に魅力あるまちだと言ってもらいたい。会社で例えると顧客満足度<社員満足度となる。将来的には社員満足度が上がれば顧客満足度も上がる。そういった市の運営を望む。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・火葬場の候補地として久々野町山梨地区辺りを推薦する。トンネル完成によって過疎地になっているため、住民も賛成する可能性がある。人口減少対策として市出身で全国的に活躍している人たちをオブサーバーとして迎え入れ、意見を聞いたり対策を考えた方がいい。
<ul style="list-style-type: none"> ・高山がどうかではなくどこで住もうが適度に生活できれば良い。
<ul style="list-style-type: none"> ・他人に頼るのではなくて身近な所から草取り、掃除など積極的に行ったら子どもたちにもいい影響があるのではとささやかながら願っている。まずは実行と思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・観光業だけに力を入れるのではなく、もっと医療や子育て、福祉を充実してほしい。子育てしながら働く、介護しながら働くというのはとても大変だと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・市の人口15万人以上を目標にまちづくりの計画をつくる。
<ul style="list-style-type: none"> ・市が主催する有名人を呼んだコンサート、観光客を呼べるラリーやマラソンの定期開催をもっと行って地域活性化につなげてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の魅力体感ツアー復活について。荘川町、朝日町で新型コロナ前に実施したものに参加した。高山地域以外のまちのことは案外知られていないのでこのツアーでそれぞれの地域の観光地や事情を知ることができ、大変参考になった。最近新型コロナ感染も減少してきたので地域の魅力体感ツアーの復活を希望する。
<ul style="list-style-type: none"> ・火葬場は今の場所が良いと思っていた。少し整備すればとても使いやすくなると思う。道路は奥の山にトンネルをつけ長坂方面より入れると良いと思う。奥まっけていて火葬場にちょうど良い。静かで落ち着いた場所である。
<ul style="list-style-type: none"> ・映画館を市営にする。
<ul style="list-style-type: none"> ・宮川の行神橋は本当に必要だったのか疑問に思う。その地域の活性化は見られないような気がする。シンボルにもなっていない。観光客など人の流れは中橋付近の方がある。陣屋の近くに市民も朝市などに買い物に来れるように駐車場の整備をしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバーが保険証の代わりになるようだが、色々問題が起きているので絶対安心して使えるようになってから始めたらどうか。まだまだ不安である。高齢者に分かりやすい説明をほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・これからもまちづくりにお互い尽力したいと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢になったため、若い人の意見を期待したいし高山市の発展に期待したい。
<ul style="list-style-type: none"> ・市長は市内で行う観光イベントについてどういう考えを持っているのか。観光という名目のためなら何をしても良いのか。そのために市民が我慢すれば良いのか。なぜ行政は市民を見てくれないのか。見ているふりをしている。市長は市でイベントを行うのに申請書をどこまで確認しているのか。ただ下から来た申請書に押印するだけか。申請書の内容と別の行動をしても、市は見ても何もしない、なかったことにする。知らなかった、で済ましていいのか。市内で公道レースが始まっても行政は許すのか。公共の施設を公道レースのためだけに使用してもいいのか。
<ul style="list-style-type: none"> ・他県からの移住者がどのくらいいるか気になる。空き家の問題も気になる。
<ul style="list-style-type: none"> ・このアンケートが無駄にならないよう取り組んでほしい。

<ul style="list-style-type: none"> ・高根に住む若い人のために一人一人に結婚する気があるのか確かめることが一番だと思う。全体ではなく一人ずつ話を聞けば結婚したいと思っている人もいるのではないかと。高根に来る人はいないと思う。若い人、子どもがいないのでは高根は滅びてしまう。個々に問うことで開ける道もある。高根は昔から貧しい生活をしてきた。そのことをずっと引きずっている。仕事をしなくなっても生活のことで頭がいっぱいでスポーツや旅行を楽しむ余裕がない。70歳を過ぎると体がどこも痛くなってついていけない。遊んで楽をしている人はいない。80歳を過ぎても畑を作り自立してみえる。そうでなければ一人では暮らしていけない。私はなるべく地域のことに参加するようにしている。昔の高根村のころのように行政が一人一人に届く配慮をしてもらいたい。各家庭を回っていた保健師は高根のことをわかっていたと思う。高根の人がどこにいて体の具合はどうだろうかと思うと、頭の中に地図が浮かんでいただろう。そんなまちをつくってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・一つの会社に15年ほど勤めたが、年金は少なく、携帯、スマホ、PC（インターネット）等ではできず、自動車は免許返納し細々と暮らしている。
<ul style="list-style-type: none"> ・市庁舎の西側駐車場、何度補修されても陥没しているが、50年前くらいまでは製材所貯水池であったため徹底した修繕が必要では。観光看板もあり観光客に印象が悪いのではと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・まち協の会報で「子育て中の人」限定という日があるが、老人が集まりお茶やコーヒーを飲める場としても使わせてほしい。児童館も無料で老人が集まれる部屋を作ってほしい。気軽に入れる、予約なしの場所があるといい。
<ul style="list-style-type: none"> ・今まで様々なアンケートに協力してきたつもりだが、アンケート結果がこのようになったと結果の報告はあっても色々な（個々の）意見に対する答えが見えていない。一人一人の意見に答えるのは難しいかもしれないが、少数意見を大事にしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・歴史、文化を持つ市の観光が単なるテーマパーク化してしまわないように願う。ホテル等が乱立しているように感じる。働き口も増え、観光客の受け入れも十分と思うが、観光客（特に外国人）は夕食をホテルの外で食べる人が多いのか、夜の町が異様な感じである。それだけの観光客の食を満たすまちなかのレストランの数は少ない気がするが大丈夫なのか。観光も高山市街地から白川郷、奥飛騨方面などへ大体決まったルートが中心だと思うが、支所地域の一部では取り残され、市街地だけが潤っている感が否めないが、そう感じるのは私だけではないと思う。市全体は広大な自然に囲まれているので、その自然を生かした体験型の観光を考えたら良いのではと思う。まずは住民に幸福感がないと市に住みたい、働きたいとは思わないと思う。もちろん観光業も大切である、何より根本的な面をもう一度見直していただき、新しい総合計画がより良いものになることに期待する。
<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート設問が長すぎる。今回の回答された意見はどのように公表するか疑問である。
<ul style="list-style-type: none"> ・市総合計画の中身をわかりやすく理解できるよう何らかで知らせてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・このようなアンケートを作って、それを市政に生かせるなら税金の無駄遣いではないと思うが、単なる行政のパフォーマンスならやめてもらいたい。私たちはこれだけ市政のことを考えている。設問が多すぎて、途中でいい加減に回答してしまう傾向があると思う。いかに市に観光以外で収入を増やすか、市長自ら営業して外に出て行ってほしい。観光以外では他企業（ホテル等以外）の誘致、文化施設の充実である。
<ul style="list-style-type: none"> ・家はどんどんぼろくなっているのに固定資産税が何年たっても変わらないのは少し不満である。

<ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事、役職等の負担が多いため、移住するのも難しい気がする。高齢化がすすんできている。若い世代が地元に戻ってこられる場所にする。（雇用の場、病院、レジャー施設等）
<ul style="list-style-type: none"> ・高山は色々なことに保守的で、移住しても出ていく人もいると聞いている。住みにくい。
<ul style="list-style-type: none"> ・市役所の自転車置き場にずっと放置されたままのパンクした自転車が何台もあり、市民が使いたくても置けない。多分職員の自転車でいつもいっぱいになっている。放置自転車を早く撤去してほしい。また積雪の時期は自転車置き場の前に積まれた雪がずっと解けるまで残っていて、自転車を置くときにとても不便。歩行者の出入り口の除雪ができていなくて高齢者などは特に足元が危険なので常に除雪してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・高山市で生まれて高校卒業まで高山市に住み、他県に引っ越した。色々な県で色々な地域活動などに触れ、20年ほど経って高山に戻ってきた。住んでいる時は高山しか見えていなくて、またずっと高山に住んでいる親兄弟は高山に愛着があり、驚くほど高山を好きでいる。でも色々な地域を見てきた私には、驚きや早く高山を離れたいと思うことが多々ある。魅力がないというか恐怖を感じるくらい。観光などで短期間訪れるには良い所かもしれないが、住むとなったらこんなへき地では医療も昔からいる医師が多く、新しい技術や知識もなく古い考えのままでとても不安である。自分の親など診てもらいたいと思えず、他県の病院を勧めたくなる。すべてが遅れている。教育も医療も何もかも。お金がなかったのかセンスがなかったのか、せつかく作った建物や公園も良いとは言えず、もっと他県などから人を呼んで魅力的なまちづくりをしてほしい。せつかく素敵な人情もある高山なのに生かし切れていなくてもったいないと感じた。ずっと高山にいて高山に愛着を持っている人が高山をつくっていくことも大切であるが、これからの高山のためには、高山に住んでいないよその人に入ってもらい、一から今の令和の時代に合った市に変えていくべきところは変えていく必要があると思う。高山しか知らない人が集まったところでさほど何も変えられない。これからの高山に期待できるように若者が戻ってきたくなる高山にしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・道路の老朽化の修理や事故の多い場所などの工事は必要だが、山を切り開いての拡張によって外から人を呼び込むという流れはもう古いと思う。魅力あるまちであればへんぴな所でも人は集まる。何より住んでいる人間が住みやすいことを話していれば、おのずと都市の魅力は伝わっていくと思う。また市議会などでも古い固執した考えの運営でなくて、どんどん新しい風を入れてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・超高齢化社会である現代、人と人とのつながりも弱い社会、動物を簡単に飼える社会。ペットなどの問題が増えるので備えてほしい。個人が最後まで責任を持つ社会から、コミュニティで命の最後まで責任を持つ社会になってほしい。市民のボランティアではなく、長期継続、見守りのできる行政でいてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・高山に転居したとたん昨年は住民票が高山になったため住民税を払えと言ってきた。私は納得がいらず、何度か担当の人と電話で話した。なぜ転居する前に、こういう税金がいるのだと連絡をくれないのか。また担当の人が休みだった時、他の担当の人と話したが減茶苦茶な内容であった。その人は異動したばかりとのこと。でも私には関係ない。分からないなら話さないでほしい。聞いたものは頭がごちゃごちゃになる。もっと分かりやすくスムーズにしてほしい。

<ul style="list-style-type: none"> ・数年前のことであるが、子どもたちが習っていた外国人英会話講師が「日本の子どもたちはいつも疲れているね」と心配そうに話していた。早朝から夕方まで学校で過ごし、課題や塾で夜遅くまで勉強している。でもそれは与えられた課題とノートを埋めるだけで、子どもの身についていないようにも感じる。本で読んだ「「非常識な教え」のような教育があっても良いと思う。また、人口減少に伴いPTA活動も縮小してきた。町内会も高齢者の一人住まいが増えたり、物価高で生活が困窮していても会費は支払わなくてはならない。お金をかけなくても町内会を維持できるように活動を縮小しても良いのではと思う昨今である。
<ul style="list-style-type: none"> ・地元が好きで実家もある。高山を離れ学び、資格を取り、Uターン。結婚し高山に住み、転勤にて他県で生活。再度転勤にて高山に。観光地としての動きは盛んだと思う一方、現実の生活を見た時住みにくい、他県のほうがと思ってしまう。高齢の両親がいて生活している姿を見て、子どもたちは高山を離れ他県で就職。帰省も少なくなっている。親は地元に戻ってきてほしいと願ってはいるが難しい。空き家問題、少子高齢化、医師不足、介護人材不足。多くの問題がある中、やはり空気がきれいで人のやさしさに触れるとき高山は良き所と思う。バランスよく考えて良い方向に行けばいいと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・高山は外国の方々が多すぎる。国内の方も「ホテルに外国人ばかりでせつかくの旅行楽しやない」との声も。偏らないでほしい。市街地ばかりに力を入れないでほしい。支所地域の方にも目を向けてほしい。歴史あるところ、大自然の豊かな所を残して行ってほしい。また、道路について毎年被害にあう箇所はトンネルを作るなどして通行止めにはしないでほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア団体の一員として活動している。福祉協議会や市からの補助金、会員の会費などで会が運営されているが、補助金のための書類作りや補助金の減額など年々大変なことも多いように聞く。また会員の高齢化や新入会員がいないなど悩みも多く、続けることの難しさもある。どの団体も悩みはあるのではないかと思うが、ボランティア団体が少しでも長く続けられるような支援をしていただけるとありがたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・私たち年齢が多くなって参加することが大変になっている。このアンケートはもう少し年齢を下げて中年、若年の方に聞いてほしいことが多くなっているように思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・各々地域の特徴があるので、全部同じ物指しで判断しないで、平等・公平の中身をよく考慮して施策に活かしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・世界全体が不安定な中、日本はもちろん高山市が発展することも考えられず、とても未来に希望を描けない。あれもこれもと手を出して、やっていけるのかとても不安である。
<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化を見据えて、人口を増加できる施策に取り組む。
<ul style="list-style-type: none"> ・「補助金を平等に配る」これは平等だろうか。各家庭に平等に配っても、平等に子ども達に使われるのか。パチンコ等に消える家庭はないか、与えられる事しか知らない人間は、他人を頼る事しか出来なくなる。そして与えられなくなった時に犯罪に走る。犯罪者や生活能力が無く生活保護に頼る大人を生み出すと、さらに税金をつぎ込む事になる。子どもが大人になった時、納税出来る人に育てなくては、配ったお金が無駄になる。
<ul style="list-style-type: none"> ・子育てのしやすい環境・支援に取り組んでおりありがたい。実際、福祉サービスを整えたり、金銭面での支援があるとはいえ、職場がそのような環境でなければ離職者の増加や、安心しての子育てにはならないと思う。経済的な支援も大切であるが、職場環境の方が一番に支援が必要だと感じている。

<ul style="list-style-type: none"> ・議員定数は削減するべきだと思う。特に、春の市議会議員選挙で誰もが感じたことではないか。先送りせず、すぐに考えるべき課題だと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・観光一つにしても、古い町並を歩いてもらう。そして古い町並を感じてもらったり、お土産物を買ってもらう、そういった今までどおりの取組みではゆくゆくは活気を失っていくと思う。例えば、VRをつかって昔の高山市を歩ける疑似体験ができるブースを作ったりするなど、VRという新しい技術と観光、これをセットにした新しい観光の楽しみ方、そういう物をどんどん打ち出していかなくてはならないと思う。また今の時代ですから SNS 対策も大事だと思う。高山市の SNS だと公務員的で、なにかお堅い感じがしてあまり効果は無いと思う。もちろん市がやるもののため、ちゃらちゃらした SNS 発信ではだめだが、しっかり市の良さがわかるし、見ていても楽しい、そういった市からの発信という感じではなくて、見た人も楽しい SNS 発信が市には求められているのではないかと思う。私は法人経営をしていて思うのだが、法人としての行動、高山市だったら行政的行動というのは泥臭いことにあると思う。VR 観光、酒の都「高山」そういったことも上手くいかないことも多いが、それでもその都度改善をしながら少しずつ思い描いた方向へ向かっていく、その過程は決して賞賛されるものでもなければ失敗もある。それでも考え、修正し、理想を描き邁進する。その姿が成功へ向かっていくのだと思う。だから泥臭くたってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・高山で出産するとメリットがある様な企画がほしい。安心子育ての充実とか、伸び伸び子育ての場など。若い女性たちが、高山に住みたいと思うようなまちになれば、自然と人口が増えると思う（ファッション界、病院、仕事など）。
<ul style="list-style-type: none"> ・地方の方が短時間で移動できるための道路網の整備、通信設備の充実
<ul style="list-style-type: none"> ・欲張って八方に手を出して、何をしようとしているのか分からないなんてことのないように、方向を絞って分かりやすい計画にしてほしい。各地の町内会もまち協も、高齢化で役員のなり手不足が深刻である。結果として町内会を退会される方も年々増加している。町内会活動の在り様も含めて、地域社会と行政の関わり方に、新しい形を模索していく時期だと思う
<ul style="list-style-type: none"> ・市長、無理せず市民活動に参加し、海外戦略も大切だとは思いますが、高山市の未来、20年後、10年後、5年後を具体的に考えシュミレーションしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・補助金で片寄った支援をするのではなく、税金を減らしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・新しい火葬場を早く決めてつくってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・予算の関係で大変ではあるが、文化会館について早急に取り組んでほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・介護について思うことは、なるべく自分でできることは自分でやるように努力してほしい。近所に自分で歩き、タバコも吸う、そんな方がみえますがちょっと甘やかしすぎているように見える。私事であるが、父親が介護のお世話にならず亡くなった。介護保険料も上がるばかりなのでどうということかと思う。子育ても同じように思う。私たちは稼いでもお小遣いももらえず、自分の子どもは自分で一生懸命に働いて育てた。どんなに辛くても我慢して会社勤めしながら、日曜日には家の農業をやって、遊ぶなんてことはなかった。今は我慢できない人が多く離婚してしまい、福祉制度が良いためか、もう少し厳しくした方が良いと思う。



高 山 市
まちづくりアンケート